

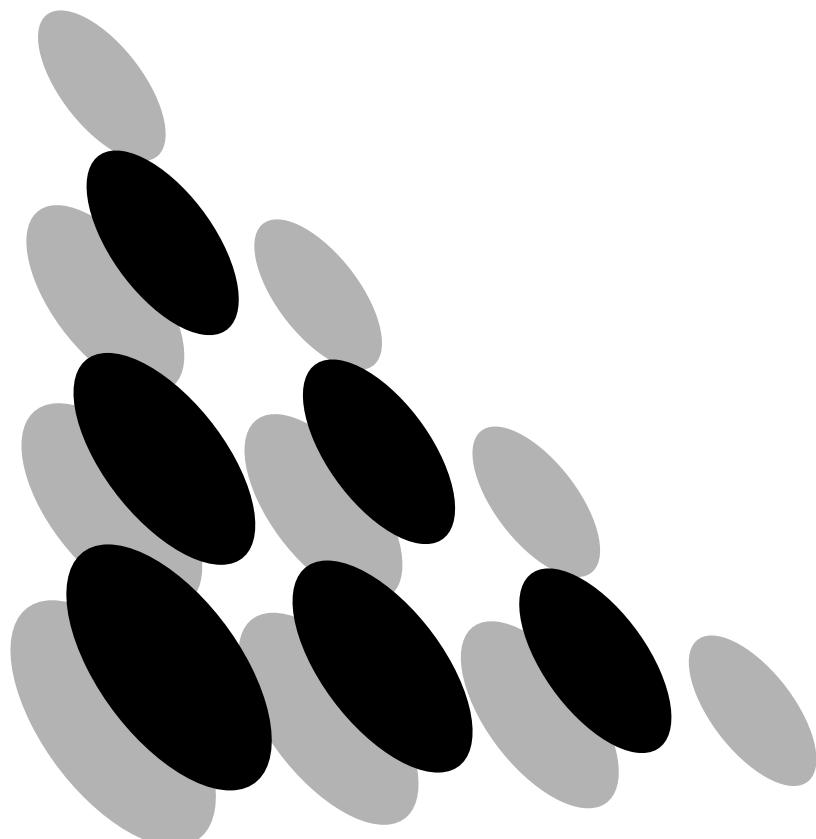
FUJITSU FM SERIES PERSONAL COMPUTER

FMシリーズ

水平漢字プリンタ-15

(FMPR5600/FMPR5400)

取扱説明書



FUJITSU

製品を安全に使用していただくために

本書の取り扱いについて

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要なことがらが記載されています。製品を使用する前に本書をよくお読みください。
特に、本書に記載されている「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、内容をよく理解したうえで製品を使用してください。
本書はお読みになった後も製品の使用中いつでも参照できるように、大切に保管してください。

VCCI 適合基準について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

電源の瞬時低下について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。

（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。



国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク(ロゴ)は参加各国の間で統一されています。

本製品のハイセイフティ用途について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途(以下「ハイセイフティ用途」という)に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談ください。

All Rights Reserved, Copyright[©] 2001 富士通株式会社

はじめに

このたびは、水平漢字プリンタ-15(FMPR5600/FMPR5400)をお買い求めいただきまして、ありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、プリンタが十分に機能を発揮でりますよう正しい取り扱いをお願いいたします。

「FM プリンタシーケンスリファレンスマニュアル（シリアルプリンタ編）」（別売）について
「FM プリンタシーケンスリファレンスマニュアル（シリアルプリンタ編）」（マニュアルコード：80HP-0700-＊）では、プログラムを作成する方のために、本プリンタで使用できる FM モードのコマンドについて詳しく説明しています。
(マニュアルコード：80HP-0700-＊末尾の「＊」は版数を表します。)

2001年3月

ESC/P は、セイコーエプソン(株)の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国および
その他の国における登録商標です。

本文中の略語について

本文中では、Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0 日本語版およびMicrosoft® Windows NT® Server operating system Version 4.0日本語版をWindows NT 4.0、Microsoft® Windows 2000 Professional日本語版およびMicrosoft® Windows 2000 Server日本語版をWindows 2000と表記しています。Windows NT 4.0とWindows 2000を同時に示す場合はWindows NT 4.0/2000と表記しています。また、Microsoft® Windows® 95 operating system日本語版をWindows 95、Microsoft® Windows® 98 operating system日本語版をWindows 98、Microsoft® Windows® Millennium Edition 日本語版を Windows Meと表記しています。Windows 95とWindows 98およびWindows Meを同時に示す場合は、Windows 95/98/Meと表記しています。

警告表示マークについて

本書では、製品を安全にかつ正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられる恐れのある危害や損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。

 警告	 注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

絵記号の例とその意味	
	で示した記号は、警告、注意を促す事項があることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を表す絵（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

安全上のご注意

プリンタ設置および移動時のご注意



プリンタの上にまたは近くに「花びん・植木鉢・コップ」などの水の入った容器、金属物を置かないでください。

感電・火災の原因となります。

湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所におかないでください。

感電・火災の原因となります。

電源プラグは、交流 100V、10A 未満の専用コンセントには差しこまないでください。また、タコ足配線をしないでください。

感電・火災の原因となります。

添付の電源コード以外は使用しないでください。

感電・火災の原因となります。



電源を接続する前に必ず以下のいずれかにアース接続してください。

- ・電源コンセントのアース線
- ・銅片などを 650mm 以上地中に埋めたもの
- ・接地工事（第 3 種）を行っている接地端子

アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。



風呂場、シャワー室など、水のかかる場所で使用しないでください。

火災や感電の原因となります。



オプション機器の取り付けや取り外しを行う場合は、プリンタ本体およびパソコン本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。

感電の原因となります。

オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。

感電・火災または故障の原因となります。

⚠ 注意



プリンタの開口部（通風孔など）をふさがないでください。

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

プリンタの上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。

バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。

高温によってカバーなどが加熱・変形・溶解する原因となったり、プリンタ内部が高温になり、火災の原因となることがあります。



プリンタを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。接続ケーブルなどもはずしてください。作業は足元に十分注意して行ってください。

電源コードが傷つき、感電・火災の原因となったり、本プリンタが落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

プリンタケーブルの抜き差しは、必ずパソコンとプリンタの電源を切ってから行ってください。

電源を切らずに行うと、パソコンやプリンタが故障する原因となることがあります。

プリンタ使用時のご注意



異常音がするなどの故障状態で使用しないでください。故障の修理はお買い求めの販売店またはハードウェア修理相談センター（163 ページ参照）にご依頼ください。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

プリンタに水をかけたり、濡らしたりしないでください。

感電・火災の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。

重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源コードを傷め、感電・火災の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。修理はお買い求めの販売店またはハードウェア修理相談センター（163 ページ参照）にご連絡ください。

カバーを外した状態でコンセントを差したり、電源を入れたりしないでください
感電・火災の原因となります。

開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

感電・火災の原因となります。



プリンタ本体のカバーや差し込み口についているカバーは、必要な場合を除いて取り外さないでください。内部の点検、修理はお買い求めの販売店またはハードウェア修理相談センター（163 ページ参照）にご依頼ください。

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

プリンタをお客様自身で改造しないでください。

感電・火災の原因となります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となります。



警告



万一、プリンタから発熱や煙、異臭や音がするなどの異常が発生した場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、その後、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

煙が消えるのを確認してお買い求めの販売店またはハードウェア修理相談センター（163 ページ参照）に修理を依頼してください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

異物（水・金属片・液体など）がプリンタの内部に入った場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店またはハードウェア修理相談センター（163 ページ参照）にご連絡ください。

そのまま使用すると感電・火災の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

プリンタを落としたり、カバーなどを破損した場合は、プリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店またはハードウェア修理相談センター（163 ページ参照）にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。



電源プラグの金属部分、およびその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。

そのまま使用すると、火災の原因となります。

⚠ 注意



電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。

火災・故障の原因となることがあります。

プリンタが動作しているとき、給紙口や排紙口に髪やネクタイなどが巻き込まれないように注意してください。

けがの原因となることがあります。



電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードを引っ張ると、コードの芯線が露出したり断線して、火災・感電の原因となることがあります。

使用中のプリンタは布などでおおったり、包んだりしないでください。

熱がこもり、火災の原因となることがあります。

電源コードを束ねて使用しないでください。

発熱して、火災の原因となることがあります。



長期間プリンタを使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電・火災の原因となることがあります。

近くで雷が起きたときは、電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。

入れたままにしておくと、プリンタを破壊し、お客様の財産に損害を及ぼす原因となることがあります。



使用中や使用直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がるまで触らないでください。

やけど・けがの原因となることがあります。



プリンタが動作しているとき、給紙口や排紙口に手を触れないでください。
けがの原因となることがあります。

プリンタケーブルコネクタや印字ヘッドの金属部には触らないでください。
けがやプリンタの破壊の原因となることがあります。

印字ヘッドが動いているときは、印字ヘッドに触れないでください。
やけど・けがの原因となることがあります。



本書の構成

本書は、プリンタ装置の設置や操作について説明する『プリンタ編』と、プリンタドライバのインストールについて説明する『ソフトウェア編』からなります。

【プリンタ編】

本プリンタをお使いになる前の準備、プリンタの機能とその使いかた、用紙のセットのしかた、保守と点検のしかたなどについて順を追って説明します。

◆ 第1章 お使いになる前に

プリンタで印字する前に知っておいていただきたいことについて説明します。

◆ 第2章 プリンタの機能とその使いかた

オペレータパネルの機能や機能設定の変えかたなど、プリンタのもつ機能と、その使いかたについて説明します。

◆ 第3章 用紙のセット

用紙のセットのしかたを、連続帳票用紙と単票用紙に分けて説明します。

◆ 第4章 用紙について

このプリンタで使用できる用紙と取り扱い上の注意点について説明します。

◆ 第5章 保守と点検

リボンカセットの交換や、用紙づまりなどトラブルの対処のしかたなど、プリンタを使用している上で必要になることがらについて説明します。

◆ 第6章 オプション

このプリンタのオプションの取り付けおよび取り外しをはじめ、基本的な使いかたについて説明しています。

◆ 付録

このプリンタの仕様、インターフェース仕様、コマンドなどの技術情報を列記しています。

【ソフトウェア編】

◆ 第1章 ソフトウェアの概要

プリンタに添付されているソフトウェアの基本的なことがらやインストール方法について説明しています。

◆ 第2章 プリンタドライバ

プリンタドライバのインストールと設定方法について説明しています。

◆ 第3章 FMPR モニタ

FMPR モニタの機能について説明しています。

◆ 第4章 FMPR リモートパネル

FMPR リモートパネルの機能について説明しています。

◆ 付 錄

FMPR モニタ状態表示一覧表を列記しています。

目次

製品を安全に使用していただくために	
はじめに	i
安全上のご注意	ii
プリンタ設置および移動時のご注意	ii
プリンタ使用時のご注意	iv
本書の構成	viii
プリンタ編	1
第1章 お使いになる前に	3
主な特長	4
製品の内容	6
使用上のお願い	7
設置場所について	7
電源について	7
使用方法について	8
用紙について	8
パソコンの BIOS 設定について (対象: FMV シリーズおよび各社 DOS/V 互換機)	8
各部の名称とはたらき	9
各部の名称	9
各部のはたらき	10
プリンタを設置する	12
設置手順	12
輸送用固定材の取り外し	13
単票テーブルのセット	14
単票テーブルの取り扱いについて	15
リアスタッカの取り付け	16
パソコンとの接続	17
電源コードの接続	18
電源の投入と切断	19
電源を入れる	19
電源を切る	20
リボンカセットを取り付ける	21
第2章 プリンタの機能とその使いかた	25
操作パネルの機能	27
液晶ディスプレイ	27
ランプ	28
スイッチ	29
操作パネルを操作する	30
オンライン状態とオフライン状態を切り替える	30

オンライン状態で行う操作	31
用紙をカットする	31
単票用紙の排出方向を切り替える(手前排出)	31
印字モードを切り替える	32
高複写モードに切り替える	32
漢字の書体を切り替える	32
オフライン状態で行う操作	33
用紙の吸入や排出を行う	33
改行する	34
改ページを行う	34
給紙口を切り替える	35
紙厚調整モードを切り替える	35
印字開始位置を微調整する	35
単票手差しの方法を切り替える	36
プリンタをリセットする	36
機能設定項目について	37
メニュー印刷	37
テスト印刷	37
装置機能設定	37
余白量設定	38
ESC/P 固有設定	38
補正機能	38
その他の設定	38
登録	38
保守モード	38
機能設定を変える	39
基本的な操作	39
選んだ項目に設定する操作	40
数値を設定する操作	41
途中で機能設定を抜ける操作	41
セットアップ項目一覧	42
機能設定の変えかた	42
行間ズレを直す	62
用紙吸入量を調整する	65
連続帳票用紙をカット位置に送る	67
カット位置に送る	67
自動検出機能	69
第3章 用紙のセット	71
用紙をセットする	72
連続帳票用紙をセットする(前トラクタ給紙の場合)	72
連続帳票用紙をセットする(後トラクタ給紙の場合)	79
単票用紙をセットする(単票セットフリーオン時)	84
単票用紙をセットする(単票セットフリーオフ時)	88
単票用紙をセットする(カットシートフィーダを取り付けた場合)	91
用紙厚を調整する	95
印字開始位置について	99
印字開始位置(行方向)を微調整する	100

第4章 用紙について	101
連続帳票用紙	102
一般用紙（前・後トラクタ）	106
はがき用紙（前トラクタ）	107
封筒用紙（前・後トラクタ）	108
タック用紙（前・後トラクタ）	110
宅配伝票（前トラクタ）	112
手差しで使用する単票用紙	113
一般用紙	113
用紙のとじ方法	115
はがき	115
封筒	116
宅配伝票	118
カットシートフィーダ（オプション）で使用する単票用紙	119
一般用紙	119
用紙のとじ方法	121
はがき	121
プレプリント用紙を使用するとき	122
用紙の形状について	125
取り扱い上のご注意	126
第5章 保守と点検	127
リボンカセットを交換する	128
用紙詰まりのとき	131
連続帳票用紙がつまつたとき	131
単票用紙がつまつたとき	136
リアスタッカ部に用紙がつまつたとき	138
カットシートフィーダから吸入した用紙がつまつたとき	140
プリンタがうまく動かないとき	143
エラーメッセージが表示されている	143
単票用紙吸入時の不具合	150
単票用紙排出時の不具合	150
連帳用紙吸入時の不具合	151
印字中の問題点	151
印字結果の問題点	152
印字位置の問題点	155
印字位置がページによってズレる	156
カットシートフィーダ使用時の不具合	156
テスト印字をする	158
HEXダンプ印字をする	160
清掃のしかた	161
プリンタを輸送するとき	162
アフターサービス	163

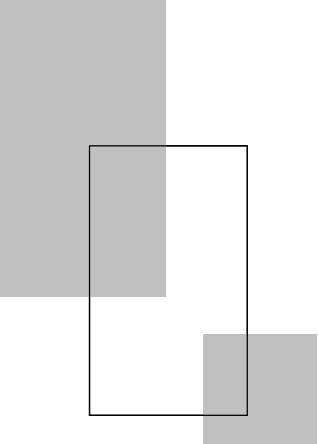
第6章 オプション	165
オプションの概要	166
カットシートフィーダを取り付ける	167
プリンタ前部に取り付ける	167
プリンタ後部に取り付ける	171
カットシートフィーダを取り外す	174
付 錄	177
プリンタの概略仕様	178
外観図	181
標準外観図	181
カットシートフィーダ(オプション)取り付け時の外観図	182
インターフェース仕様	183
ESC/P モードの制限事項	187
初期状態	188
FM モード	188
ESC/P モード	189
コマンド一覧表	190
FM モードコマンド一覧表	191
ESC/P モードコマンド一覧表	199
キャラクタコード一覧表	204
FM モードキャラクタコード一覧表	204
ESC/P モードキャラクタコード一覧表	205
非漢字一覧表	207
JIS ⁻⁹⁰ 第一水準漢字一覧表	214
JIS ⁻⁹⁰ 第二水準漢字一覧表	217
ご注意	220

ソフトウェア編	223
第1章 ソフトウェアの概要	225
添付ソフトウェアの機能	226
添付ソフトウェアの動作環境	227
プリンタの動作環境	227
CD-ROM の内容	228
FMPR5600/5400 セットアップディスク	228
ソフトウェアのインストール	229
プリンタドライバのインストール	229
Windows95/98 のとき	229
WindowsMe のとき	240
WindowsNT4.0 のとき	253
Windows2000 のとき	260
FMPR ユーティリティのインストール	274
初めてインストールするとき	274
FMPR ユーティリティをメンテナンスするとき	277
第2章 プリンタドライバの設定	281
プリンタドライバの設定	282
Windows95/98/Me の設定画面	282
WindowsNT4.0 の設定画面	292
Windows2000 の設定画面	305
印刷可能領域	318
印刷の向き	322
給紙方法	323
用紙の種類またはメディア	324
印刷品質	324
印字圧	325
第3章 FMPR モニタ	327
FMPR モニタのインストール	328
FMPR モニタの機能	328
FMPR モニタの起動	328
ステータス表示ウィンドウ	329
第4章 FMPR リモートパネル	331
FMPR リモートパネルのインストール	332
FMPR リモートパネルの機能	332
FMPR リモートパネルの起動	332
プリンタの機能設定	334
消耗品管理	355
付 錄	357
FMPR モニタ状態表示一覧表	358

索引～プリンタ編	361
索引～ソフトウェア編	365

プリンタ編





第 1 章

お使いになる前に

この章では、プリンタの主な特長や製品の内容、使用上の注意事項、各部の名称とはたらき、設置のしかた、リボンカセットの取り付け、電源の投入/切断について説明します。

主な特長	4
製品の内容	6
使用上のお願い	7
設置場所について	7
電源について	7
使用方法について	8
用紙について	8
パソコンの BIOS 設定について	
(対象: FMV シリーズおよび各社 DOS/V 互換機)	8
各部の名称とはたらき	9
各部の名称	9
各部のはたらき	10
プリンタを設置する	12
設置手順	12
輸送用固定材の取り外し	13
単票テーブルのセット	14
単票テーブルの取り扱いについて	15
リアスタッカの取り付け	16
パソコンとの接続	17
電源コードの接続	18
電源の投入と切断	19
電源を入れる	19
電源を切る	20
リボンカセットを取り付ける	21



主な特長

◆ 優れた印字品質

- ・ピン径 0.2mm の 24 ピン × 2 階建て構造の印字ヘッドは、日本語の表現に適した見やすく優れた印字品質を実現します。

◆ 印字処理時間の短縮

- ・24 ピン × 2 階建て構造の印字ヘッドにより、FMPR5600 漢字 180 字/秒、FMPR5400 漢字 130 字/秒の高速印字を実現しています。
- ・同一行内に漢字、ANK が混在したとき（ドラフトのみ）は、自動的に速度を切り替えて高速度で印字します。
- ・自動的に正逆方向の最短距離を判別して印字します。
- ・印字中に新しいデータを受信するダブルバッファ方式を採用し、印字処理時間の短縮をはかっています。
- ・ドットの間引き印字（高速印字モード）により、さらに高速度で印字できます。

FMPR5600（漢字 360 字/秒：高速）

FMPR5400（漢字 260 字/秒：高速）

◆ 専用 Windows プリンタドライバ添付

- ・Windows 95/98/Me、Windows NT4.0/2000 対応の専用プリンタドライバを添付しています。
- ・専用プリンタドライバを使用する事で、用紙サイズ選択の他に用紙給紙口の切り替え、印字速度の切り替え、紙厚設定がプリンタドライバで設定可能です。

◆ ユーティリティソフトの添付

- ・Windows 95/98/Me、Windows NT4.0/2000 対応の専用ユーティリティソフトを添付しています。
- ・専用ユーティリティソフトによりプリンタの状態監視、セットアップの設定が可能です。
(セントロニクス接続時のみ)

◆ 優れた操作性

- ・水平用紙パスの採用により、連帳、単票ともにプリンタの前後から用紙吸入が可能であり、多様な設置環境に対応できます。
- ・単票の排出方向が前後に設定でき、後部には用紙スタックが可能です。
- ・APTC 機構（自動紙厚調整機構）、HCPP 機構（連単自動切換機構）、単票セットフリー機能（手差し口に簡単に用紙をセットする機構）を標準装備することで、媒体ハンドリングを容易にしています。

◆ 複写紙対応のカットシートフィーダ（オプション）

- ・オプションのカットシートフィーダはプリンタの前後に搭載可能で、最大 5P までの複写紙が使用できます。
(前側にセットする場合は、前側のトラクタは使用できなくなります。)

◆ デュアルトラクタ標準搭載

- ・プリンタの前後にトラクタを搭載しており、同時に 2 種類の連続用紙をセットできます。

◆ 高い複写能力

- ・用紙厚さに合わせて自動的に印字ヘッドをコントロールする事で標準モードで 8P の複写枚数を実現しています。（オートで印字圧が高くなると、印字スピードは低下します。）
- ・縦罫線/横罫線のコントロール適切化により縦罫線/横罫線の濃度差の少ない、鮮明な複写能力を実現しています。
- ・高複写モード 1 を選択する事で、さらに 9P の複写能力を実現しています。
- ・さらに高複写モード 2 を選択すると、2 度打ちによりより高い複写能力を実現します。

◆ FMR シリーズとの接続 (FMPR5400 のみ可能)

- ・FMV シリーズおよび各社 DOS/V 互換パソコンの他に FMR シリーズのパソコンに接続して、お使いいただくことができます。
- ・FMR シリーズのパソコンに接続する場合は、プリンタのメニュー モードで、「ホストインターフェース」および「エミュレーション モード」の設定を「FM」に設定してください。
設定方法については、「第 2 章 プリンタの機能とその使いかた」の「機能設定を変える」を参照してください。
- ・FMR シリーズでお使いになる場合の動作環境は、MS-DOS、Windows 3.1、Windows NT3.51 です。
- ・FMR シリーズの Windows でお使いになる場合のプリンタドライバは、Windows にバンドルされている「FUJITSU FMPR-180」ドライバ（FM モード動作）を使用してください。

◆ 省資源対応

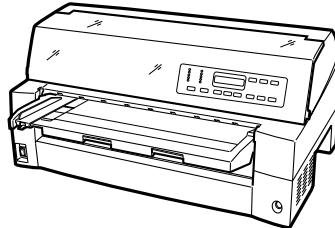
待機時 10W 以下の省エネルギー設計です。



製品の内容

お使いになる前に、以下の製品が揃っていることを確認してください。

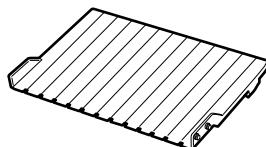
なお、プリンタが入っていた箱は、プリンタの保管・輸送の際に必要になりますので捨てないでください。



プリンタ本体



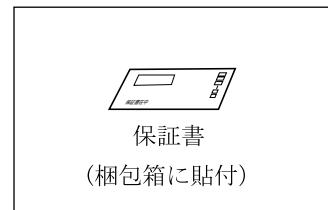
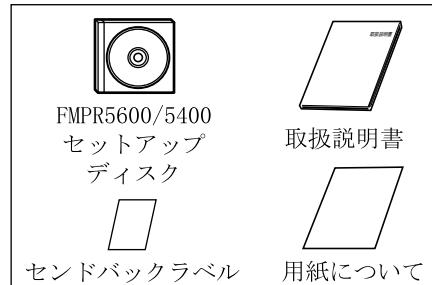
変換プラグ 電源コード



リアスタッカ



リボンカセット（黒、1個）



お願い

- ・本プリンタにプリンタケーブルは含まれていません。プリンタケーブルは、別途用意してください。なお、不明な点については、お買い求めの販売店、またはハードウェア修理相談センター（163ページ参照）までお問い合わせください。
- ・保証書に必要な事項が書かれていることを確認してください。お買い求めのときに、正しい記載のなかった保証書は無効となり、無償保証を受けられないことがあります。
- ・保証書は大切に保管してください。

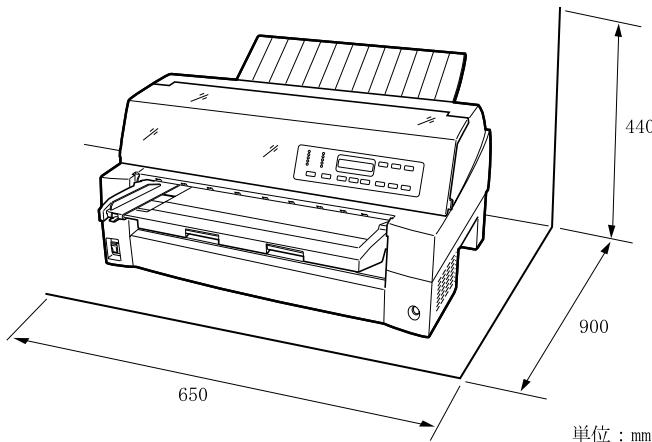


使用上のお願い

このプリンタを使用する際には、以下の点に十分留意されるようお願いします。不明な点については、お買い上げの販売店、またはハードウェア修理相談センター（163ページ参照）にご相談ください。

設置場所について

- ・長時間直射日光の当たる場所や、エアコンの前など極端に温度や湿度が変わる場所には設置しないでください。
温度と湿度が、以下の範囲内の場所に設置してください。
 - ・周囲温度：5 ~ 35
 - ・周囲湿度：30% ~ 80%（結露しないこと）
- ・ほこり、腐食性ガス、潮風にさらされる場所は避けてください。
- ・磁石はもちろん、テレビやスピーカなど磁気の強いものの近くに設置しないでください。
- ・プリンタを設置するときに必要なスペースは下図のとおりです。



十分なスペースがないと正しい設置や操作ができません。図を参考にしてゆとりのある設置場所を確保してください。

電源について

次の電圧、周波数の範囲の電源を使用してください。

- ・電源電圧 : AC100V ± 10%
- ・電源周波数 : 50/60 ± 1Hz

使用方法について

- ・用紙およびリボンカセットをセットしていない状態で、印字しないでください。印字ヘッドやプラテンが傷む原因となります。
- ・印字ヘッドが動いているときは、電源を切らないでください。プリンタの故障の原因となります。

用紙について

お使いになる用紙については、「第4章 用紙について」の内容を事前に確認してください。また、次のような用紙を使用しないでください。次のような用紙を使用すると、用紙送りが不安定になり、用紙つまり、用紙折れ、および印字ずれの原因となります。最悪の場合には、印字ヘッドのピンが折れる可能性もあります。

- ・極端に薄い紙または厚い紙（用紙規格を満たさないもの）
- ・小さすぎる紙または大きすぎる紙（用紙規格を満たさないもの）
- ・切り抜き部分や窓のある紙
- ・ピン、クリップ、ホチキスの針など金属の付いている紙
- ・のり付け面が露出している紙、波打っている紙、はがれている紙
- ・浮き彫りのある紙
- ・連続帳票用紙の横ミシン目以外で折りたたんだ紙
- ・複写紙において、オリジナルと複写紙で大きさの異なる紙、または部分的に複写枚数が異なる紙
- ・端または角が破れていたり、折れている紙
- ・束のりとじの複写用紙

パソコンの BIOS 設定について（対象：FMV シリーズおよび各社 DOS/V 互換機）

本プリンタを接続するパソコンのパラレルポート設定は、必ず「Bidirectional（双方向）」にしてご使用ください。

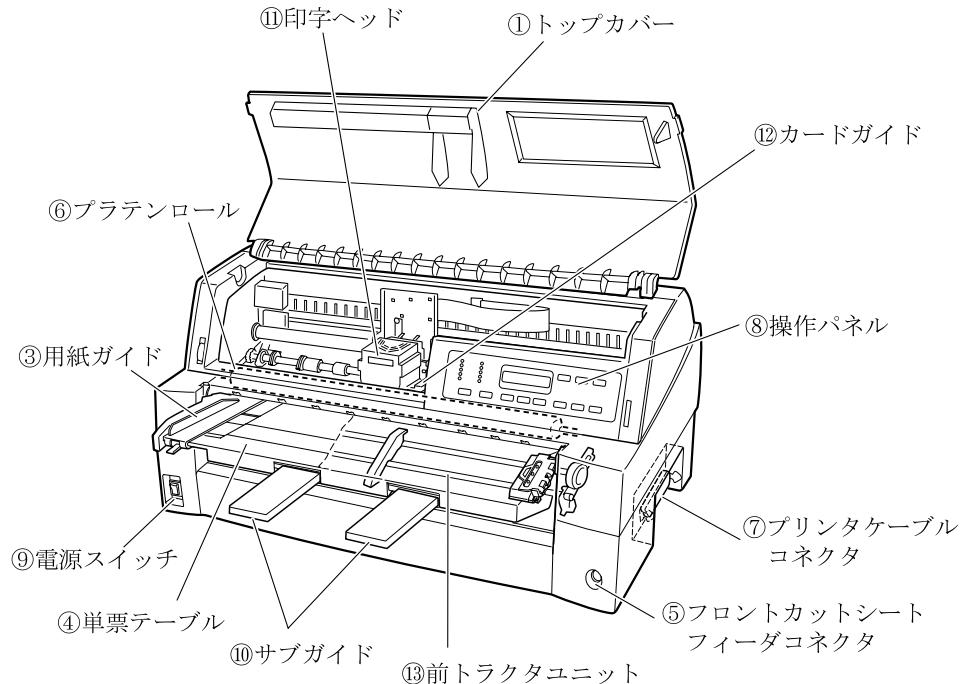
確認および設定の方法については、パソコンのマニュアルを参照してください。



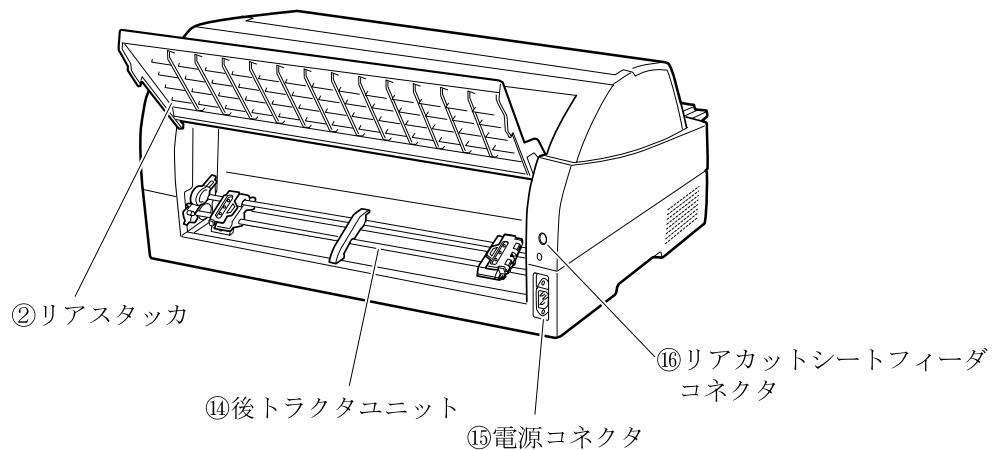
各部の名称とはたらき

各部の名称

◆ 正面



◆ 背面



各部のはたらき

各部の名称	はたらき
トップカバー	オペレータが動作中の印字ヘッドに触れない様に保護します。また印字ヘッドをホコリやチリから守ります。トップカバーを開けるとプリンタはオフライン状態となります。引き続き印字を行う場合は、トップカバーを閉じて、オンライン状態としてください。
リアスタッカ	単票用紙をスタッカします。
用紙ガイド	単票セットフリーオフの場合に、単票手差し時に用紙の左端を支えます。印字開始位置に対して用紙ガイドを移動することにより、左端余白を調整できます。 単票セットフリーオンの場合は使用しないので、左端に寄せておきます。
単票テーブル	手差し単票用紙を使用するときのテーブルです。
フロントカットシート フィーダコネクタ	オプションのカットシートフィーダを前部に取り付けて使用する場合、ケーブルを接続するコネクタです。
プラテンロール	印字時に用紙を支えます。
プリンタケーブルコネクタ	プリンタケーブルをここに接続して、プリンタとパソコンをつなぎます。
操作パネル	プリンタの状態表示、プリンタを操作するための各種スイッチがあります。（詳細は、「操作パネルの機能」27 ページを参照）
電源スイッチ	「+」側を押すと電源が入り、「-」側を押すと電源が切れます。
サブガイド	長い単票を使用するとき、引き伸ばして用紙がプリンタから落下しないようにするものです。
印字ヘッド	用紙に印字する部分です。
カードガイド	用紙を送るときの案内板です。また、カードガイド上の二本線は、行方向の印字位置を合わせるための目安です。
前トラクタユニット	前トラクタ給紙で連続帳票用紙をプリンタ内部へ送ります。
後トラクタユニット	後トラクタ給紙で連続帳票用紙をプリンタ内部へ送ります。
電源コネクタ	電源コードを接続します。
リアカットシート フィーダコネクタ	オプションのカットシートフィーダを後部に取り付けて使用する場合、ケーブルを接続するコネクタです。

お願い

- ・プリンタの電源が入っているときは、印字ヘッドに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。
- ・印字中は、トップカバーを開けないでください。
トップカバーを開けると、途中で印字が中断されます、カバーを閉じた後に、オンラインスイッチを押すと、中断した位置から印字を再開しますが、印字品質が低下する事が有ります。



プリンタを設置する

設置手順

プリンタは下記の手順を確認しながら設置してください。

1 製品がすべてそろっていることを確認する

梱包されている製品は「製品の内容」(6 ページ) を参照してください。

2 カバー部品を固定しているテープング、固定部材を外す

(テープは 8 本あります。)

3 単票テーブルをセットする

単票テーブルのセットについては「単票テーブルのセット」(14 ページ) を参照してください。

4 トップカバーを開けて輸送用固定材を外す

輸送用固定材の取り外しについては「輸送用固定材の取り外し」(13 ページ) を参照してください。

5 リアスタッカを取り付ける

リアスタッカの取り付けについては「リアスタッカの取り付け」(16 ページ) を参照してください。

6 電源コードを接続する

電源コードの接続については「電源コードの接続」(18 ページ) を参照してください。

7 リボンカセットを取り付ける

リボンカセットの取り付けについては、「リボンカセットを取り付ける」(21 ページ) を参照してください。

8 パソコンと接続する

プリンタケーブル（別売り）を準備します。パソコンとの接続については「パソコンとの接続」（17ページ）を参照してください。

9 ドライバをインストールする

ドライバのインストールについては、『ソフトウェア編』を参照してください。

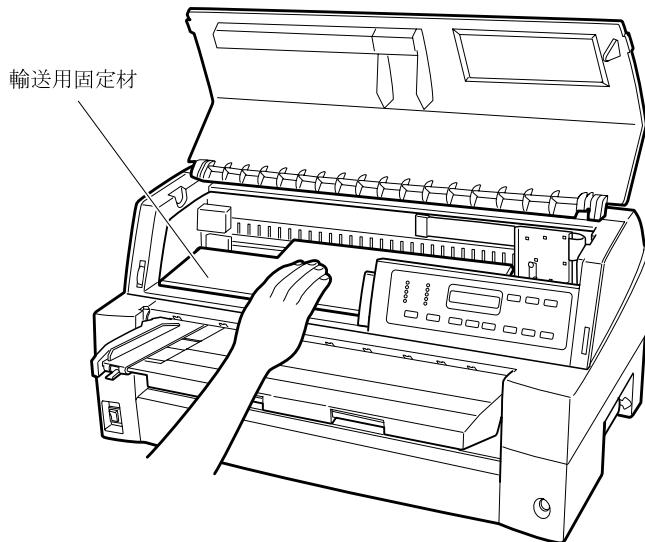
輸送用固定材の取り外し

輸送中の振動などから印字ヘッドを保護するため、輸送用固定材が取り付けられています。プリンタを使用する前に、必ず取り外してください。

お願い

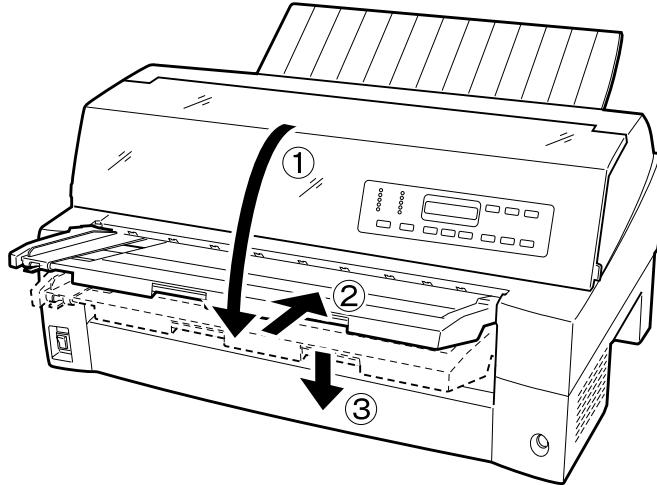
取り外した輸送用固定材は、箱と一緒に保管しておき、再びプリンタを輸送する場合や保管する場合に使用してください。

トップカバーを開けて、印字ヘッドを固定している輸送用固定材を抜き取ります。

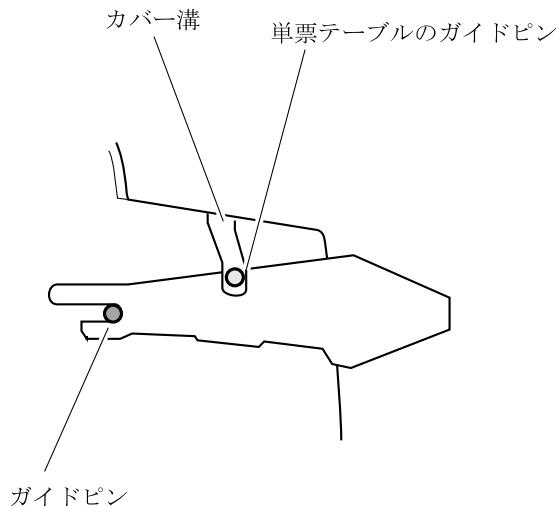


単票テーブルのセット

下図のように単票テーブルを回転させた（①）のち、奥に押し込んで（②）セットします（③）。



セット完了状態は下図のように、単票テーブルの先端がプリンタのガイドピンに挿入され単票テーブルのガイドピンがカバーの溝に入っていることを確認してください。



お願い

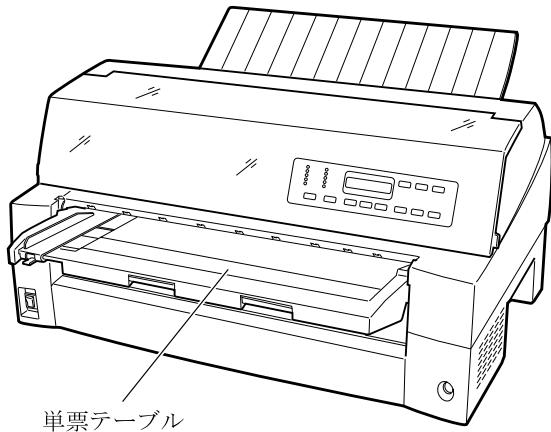
単票テーブルの操作の途中で、無理な力をかけないでください。破損の原因となります。また、途中の状態で放置しないようにしてください。単票テーブルをセットしている途中の状態で使用すると、用紙づまりの原因となります。

単票テーブルの取り扱いについて

単票テーブルは、連続帳票用紙を前トラクタにセットするときや、カットシートフィーダをプリンタ前部に取り付けるときに、いったん開閉する必要があります。

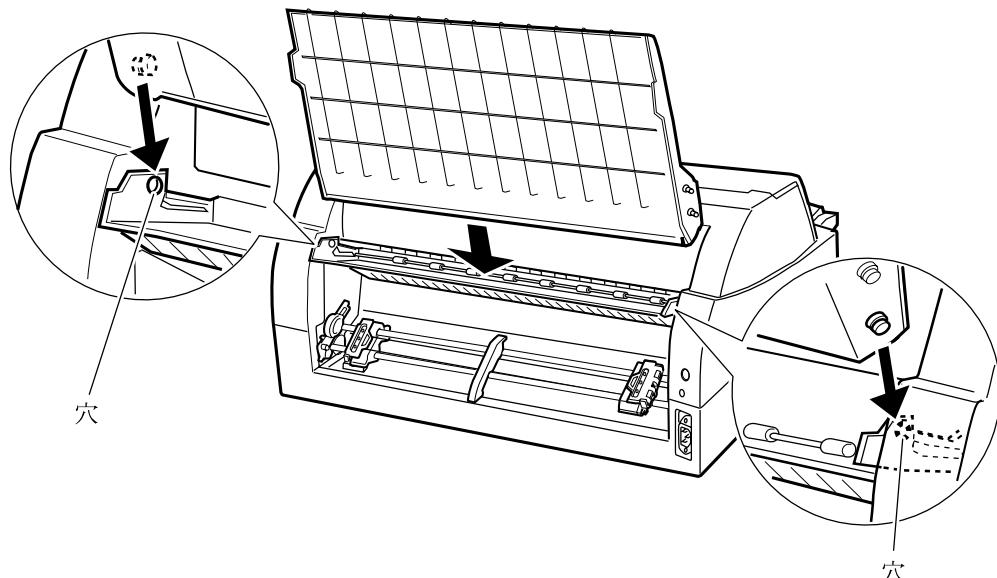
◆ 通常時

通常は下図のような状態です。



リアスタッカの取り付け

下図の様にプリンタ背面のスタッカガイドの内側の穴にリアスタッカ両側の突起をはめます。



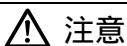
パソコンとの接続

このプリンタは、セントロニクス仕様のパラレルインターフェースを備えています。プリンタケーブルは接続するパソコンによって異なります。別途用意してください。



警告

感電 プリンタケーブルを抜き差しするときは、必ずパソコンと本プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。感電の原因となります。



注意

感電 プリンタケーブルの接続は間違いがないようにしてください。

誤った接続状態で使用すると、プリンタ本体およびパソコン本体が故障する原因となることがあります。

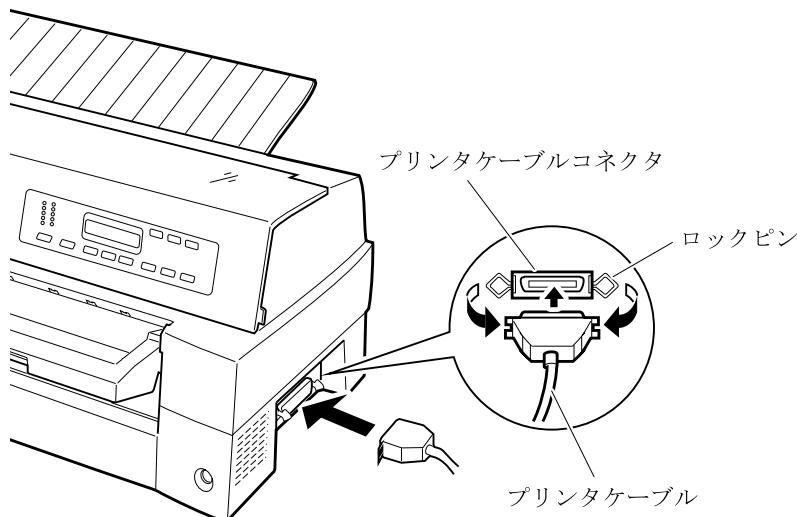
パソコンとの接続は、次の手順で行います。

1 プリンタとパソコンの電源を切る

電源スイッチが「」側に倒れていることを確認します。

2 プリンタケーブルをプリンタに接続する

プリンタケーブルの一方を、プリンタ右側面のプリンタケーブルコネクタに差し込み、左右のロックピンで固定します。



3 プリンタケーブルのもう一方をパソコンに接続する

接続の方法は、お使いになるパソコンのマニュアルをご覧ください。

電源コードの接続

⚠ 警告

感電 添付の電源コード以外は使用しないでください。変換プラグを使用する場合、プラグから出ている緑色のアース線を、必ず次のいずれかに取り付けてください。

- ・電源プラグのアース線
- ・銅片などを 650mm 以上地中に埋めたもの
- ・接地工事（第3種）を行なっている接地端子

アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。

電源コードの接続は、次の手順で行います。

1 プリンタとパソコンの電源を切る

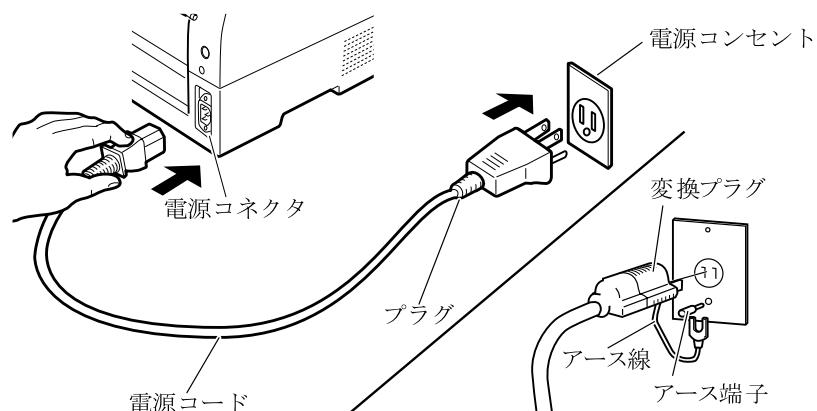
電源スイッチが「」側に倒れていることを確認します。

2 プリンタに電源コードを差し込む

プリンタ背面の電源コネクタに電源コードを接続します。

3 電源プラグをコンセントに差し込む

できるだけ3ピンの電源プラグを使用してください。もし3ピンのコンセントがない場合は、添付の変換プラグを使って電源コードとアース線を接続してください。



お願い

電源プラグは、根元まで確実に差し込んでください。



電源の投入と切斷

プリンタの電源の入れかたと切りかたについて説明します。

電源を入れる

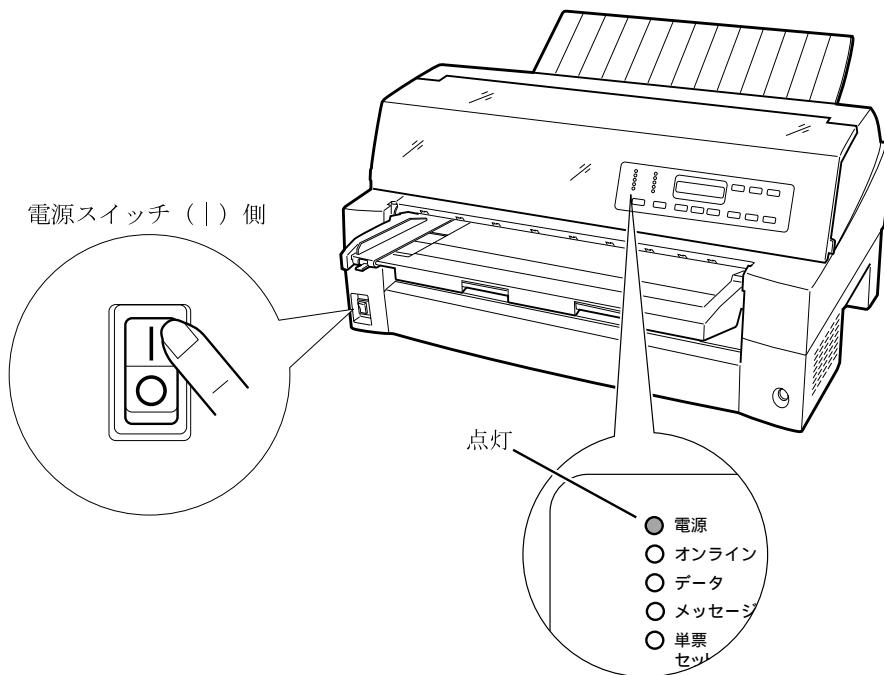
お願い

購入後初めてプリンタに電源を入れるときは、次の点を確認してください。

- 輸送用固定材（印字ヘッド部保護用固定材）が取り外してあること
- 電源コンセントの電源電圧が 100V、周波数が 50 または 60Hz であること

トップカバーを閉じていていることを確認して、プリンタの前面にある電源スイッチを（|）側に倒します。

「電源」ランプが点灯します。



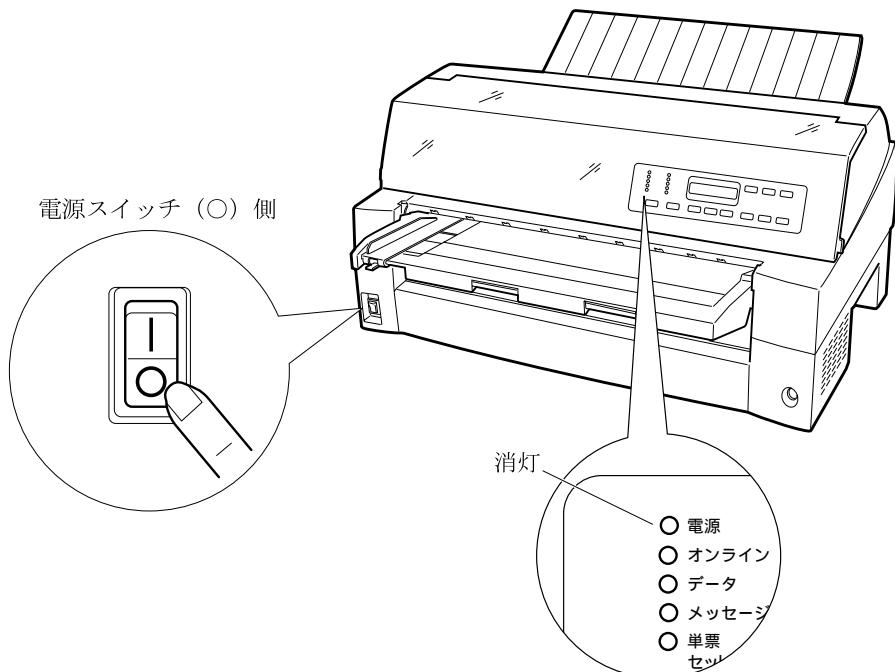
電源を切る

お願い

- ・電源の切断は、必ず電源スイッチで行ってください。電源プラグを抜いて電源を切ると、プリンタ内の回路を傷めたりする場合があります。
- ・印字ヘッドが動いているときは、電源を切らないでください。
- ・電源を切った後、再び電源を入れる場合は、4秒以上待ってください。間隔を開けずに電源を入れると、故障の原因になります。

「電源」ランプが点灯しているときは、電源スイッチを(○)側に倒します。

「電源」ランプが消灯します。



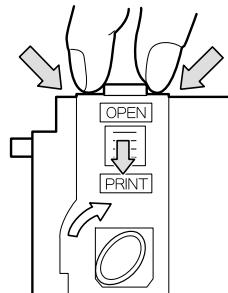


リボンカセットを取り付ける

リボンカセットの取り付けは、次の手順で行います。

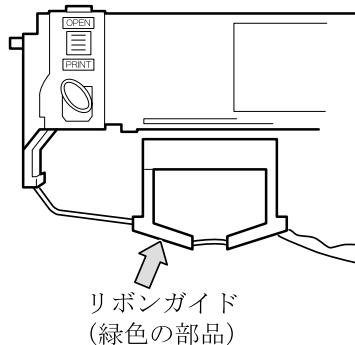
1 リボンカセットのローラ離反ツメロックを外す

リボンカセット上部ツメを矢印方向に押し、ロックを解除します。



2 リボンカセットからリボンガイドを外す

リボンカセットからリボンガイド（緑色の部品）をゆっくりと外します。なお、リボンのよじれを避けるため、ガイドを外す前にカセットのツマミを回したり、ガイドを急激に引き抜いたりしないようご注意ください。



3 プリンタをリボンが交換できる状態にする

印字ヘッドの輸送用固定材が取り外されていることを確認した後、トップカバーを閉じた状態で電源を投入します。印字ヘッドが移動し、リボン交換位置に停止することを確認します。



ガイド

トップカバーが開いていると印字ヘッドは動作しません。トップカバーを閉めて電源を投入してください。

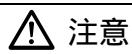
4 プリンタの電源を切る

電源スイッチが「」側に倒れていることを確認します。

5 トップカバーを開ける

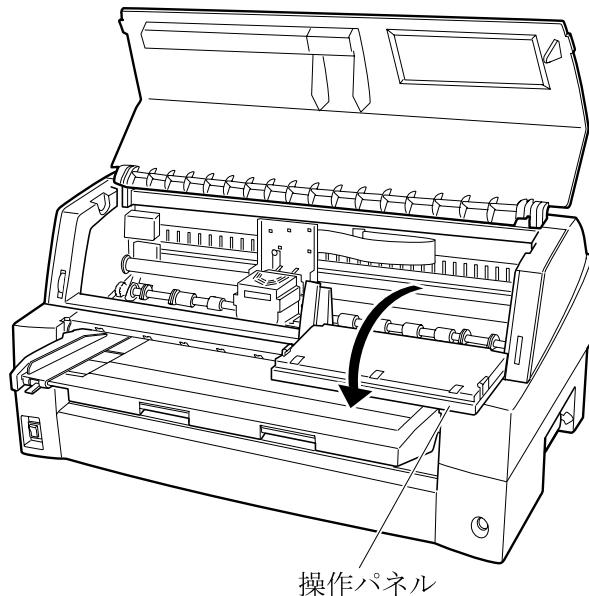
**6 印字ヘッドがリボン交換位置（プリンタ本体に刻印があります）
にあることを確認する**

印字ヘッドがリボン交換位置にない場合は、印字ヘッド部分を持ち、
ゆっくり横方向へ移動させてください。



高 温 使用中や使用直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がるまで触らないでください。

7 操作パネルを手前側に倒す



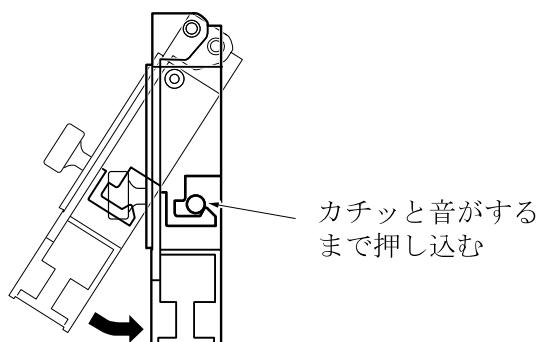
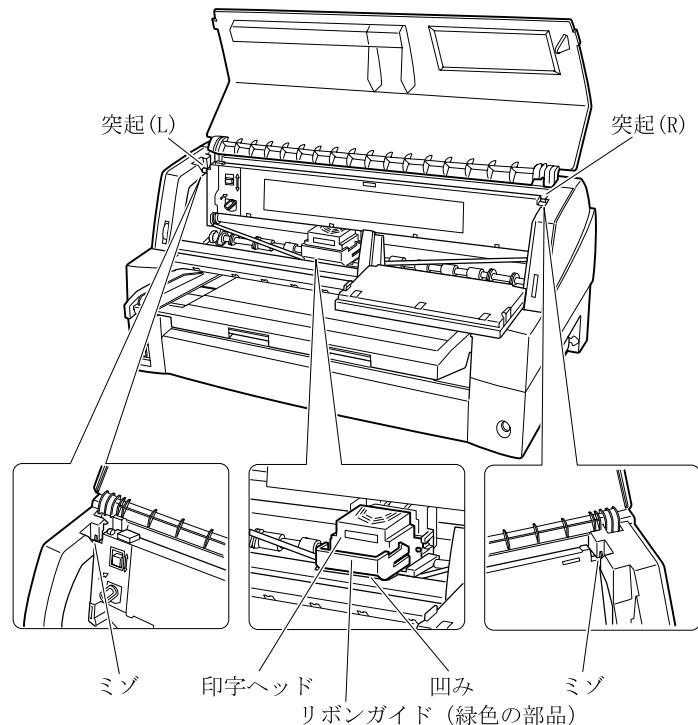
8 リボンカセットを取り付ける

リボンガイド（緑色の部品）を印字ヘッド手前の凹みに置きます。次にリボンカセット両側の突起（L）, (R)をほぼ垂直状態にしてプリンタ上部のミゾに入れ、リボンカセットが完全に垂直になるように左右下部をカチッと音がするまで奥に押し込みます。

お願い

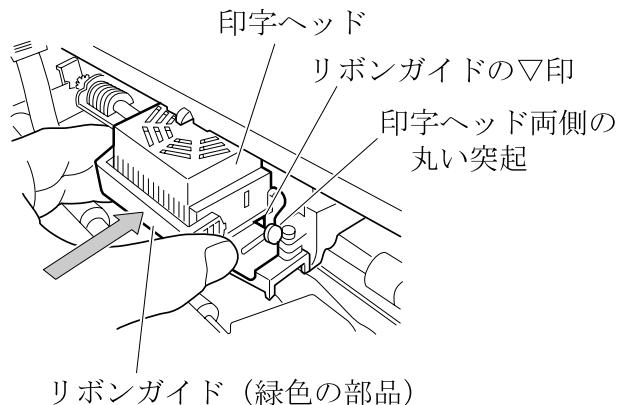
リボンカセット装着の前にリボンカセットのツマミは回さないでください。

リボンを張った状態でリボンガイドを装着すると、リボンが折れたりよじれたりして、正常に送られなくなることがあります。



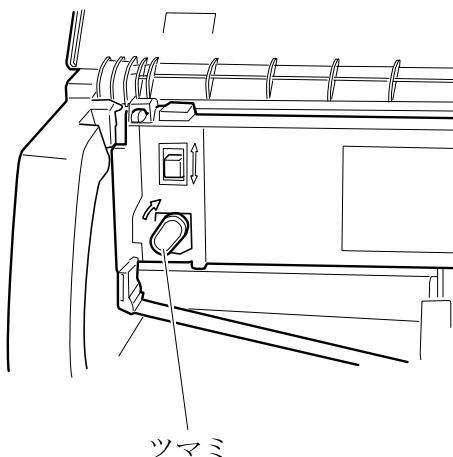
9 リボンガイドを取り付ける

リボンを軽くたるませた状態で、リボンガイド（緑色の部品）の 印部を印字ヘッド左右両側の丸い突起にしっかりとはめ込むと、リボンがセットされます。この際リボンがよじれないようにご注意ください。



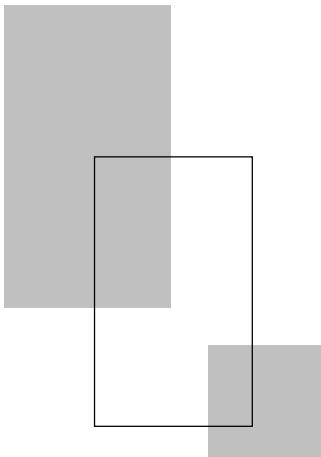
10 リボンのたるみを取る

リボンカセットのツマミを矢印の方向(時計回り)に回して、リボンのたるみを取ります。



11 操作パネルを元に戻す

12 トップカバーを閉める



第 2 章

プリンタの機能と その使いかた

この章では、操作パネルの機能、機能設定の変えかた、行間ズレの修正のしかた、用紙吸込量の調整のしかた、および自動検出機能などプリンタの機能とその使いかたについて説明します。

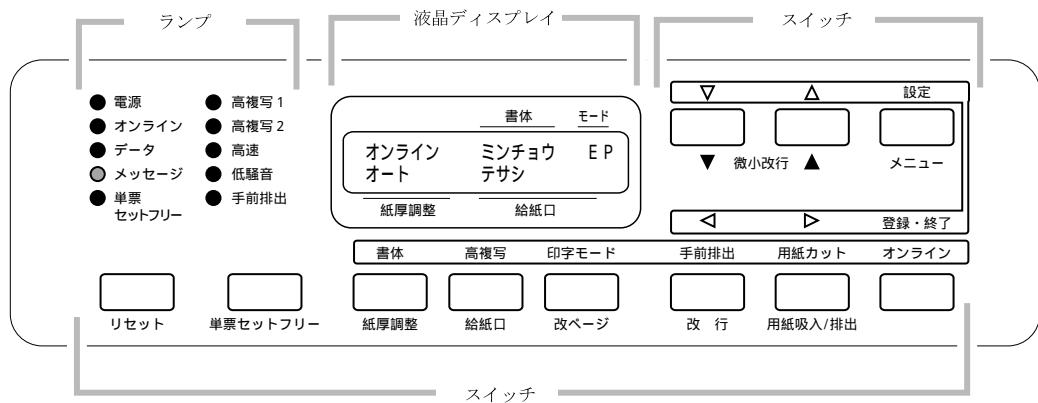
操作パネルの機能	27
液晶ディスプレイ	27
ランプ	28
スイッチ	29
操作パネルを操作する	30
オンライン状態とオフライン状態を切り替える	30
オンライン状態で行う操作	31
用紙をカットする	31
単票用紙の排出方向を切り替える(手前排出)	31
印字モードを切り替える	32
高複写モードに切り替える	32
漢字の書体を切り替える	32

オフライン状態で行う操作	33
用紙の吸入や排出を行う	33
改行する	34
改ページを行う	34
給紙口を切り替える	35
紙厚調整モードを切り替える	35
印字開始位置を微調整する	35
单票手差しの方法を切り替える	36
プリンタをリセットする	36
機能設定項目について	37
メニュー印刷	37
テスト印刷	37
装置機能設定	37
余白量設定	38
ESC/P 固有設定	38
補正機能	38
その他の設定	38
登録	38
保守モード	38
機能設定を変える	39
基本的な操作	39
選んだ項目に設定する操作	40
数値を設定する操作	41
途中で機能設定を抜ける操作	41
セットアップ項目一覧	42
機能設定の変えかた	42
行間ズレを直す	62
用紙吸入量を調整する	65
連続帳票用紙をカット位置に送る	67
カット位置に送る	67
自動検出機能	69



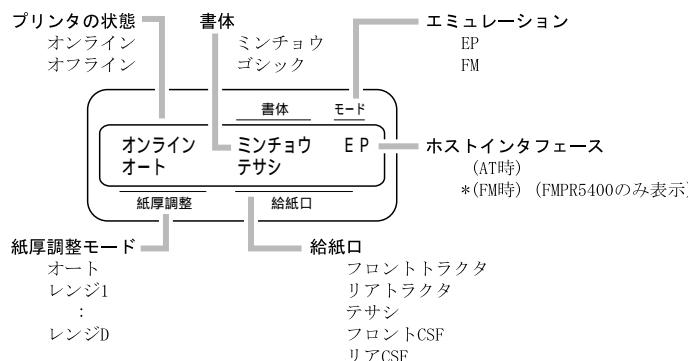
操作パネルの機能

操作パネルには、プリンタの状態を示すランプとプリンタを操作するためのスイッチ、プリンタの設定状態や障害発生時にその内容を表示する液晶ディスプレイが付いています。



液晶ディスプレイ

16桁×2行表示の液晶ディスプレイであり、プリンタの状態を表示します。



ランプ

- | | |
|----------------|--------|
| ● 電源 | ● 高複写1 |
| ● オンライン | ● 高複写2 |
| ● データ | ● 高速 |
| ● メッセージ | ● 低騒音 |
| ● 単票
セットフリー | ● 手前排出 |

各ランプの機能は下表のとおりです。

ランプ名称	色	機能
電源	緑	電源スイッチを入れる(()側に倒す)と点灯します。
オンライン	緑	オンライン状態で点灯します。
データ	緑	プリンタ内に印刷するデータがあるかどうかを知らせます。 点灯: データが残っている 点滅: データをパソコンから受信中 消灯: データがない 点灯または点滅中に電源を切断すると、そのデータは失われます。
メッセージ	橙	印刷できない状態にあることを知らせます。 点灯: エラー やアラームが発生し、印刷できない状態 消灯: 印刷できる状態
単票セットフリー	緑	単票セットフリー機能がオンの状態で点灯します。
高複写1、2	緑	高複写印字モードのときに点灯します。
高速	緑	高速印字モード(間引き印字)のときに点灯します。
低騒音	緑	低騒音印字モード(間引き印字)のときに点灯します。
手前排出	緑	単票の排出方向が「手前排出」のときに点灯します。

スイッチ

用紙カット/用紙吸入/排出、手前排出/改行、印字モード/改ページの
ように、スイッチの上下に名称が書かれている場合、そのスイッチの
機能はオンライン状態のときは上側、オフライン状態のときは下側に
なります。

各スイッチを使用した機能については、次ページ以降を参照してくだ
さい。



操作パネルを操作する

印刷をするときに用紙の給紙口を切り替えたり、強制的に改ページを行ったりするために操作パネルを操作します。



ガイド

プリンタのトップカバーが開いていると、スイッチは操作できません。ただし、▼微小改行▲スイッチは操作できます。印字ヘッドが動いているときに、トップカバーを開けた場合は、▼微小改行▲スイッチも操作できません。

オンライン状態とオフライン状態を切り替える

プリンタの状態には、オンライン状態とオフライン状態があります。オンライン状態とオフライン状態は、操作パネルのオンラインスイッチによって切り替えます。

◆ オンライン状態

パソコンからデータを受信して印刷動作ができる状態をいいます。通常、電源を投入するとオンライン状態になり「オンライン」ランプが点灯します。「オンライン」ランプが消灯しているとき(オフライン状態)にオンラインスイッチを押すと、オンライン状態になります。

◆ オフライン状態

パソコンからデータを受信できない状態をいいます。オンライン状態のときにオンラインスイッチを押すと、オフライン状態になります。



オンライン状態で行う操作

ここで使用するスイッチは、スイッチの上の名称で表記します。

用紙をカットする

前/後トラクタ時に用紙カットスイッチを押すと、あらかじめセットしたプリンタの用紙がカット位置にくるように用紙送りを行います。(67ページ参照)

再度押すと、元の位置(ページ先頭位置)に戻ります。

単票モードの場合は、本スイッチは無効になります。

単票用紙の排出方向を切り替える(手前排出)

単票用紙の排出方向の切り替えを行います。

単票用紙の排出方向には、手前(テーブル側)と後方(スタッカ側)の2つがあります。

◆ 「手前排出」ランプ消灯時

手前排出スイッチを押すと、「手前排出」ランプが点灯し、単票用紙の排出方向は手前排出となります。

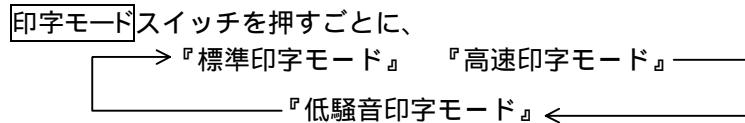
◆ 「手前排出」ランプ点灯時

手前排出スイッチを押すと、「手前排出」ランプが消灯し、単票用紙の排出方向は後方排出となります。

排出方向は、単票手差し、前カットシートフィーダ、後カットシートフィーダとも用紙繰り出し方向です。

Windowsから印字する場合、プリンタドライバのプロパティ設定が優先します。プロパティが「自動排出」設定の場合は、プリンタ側の排出方向設定が有効となります。

印字モードを切り替える



の順に切り替わります。

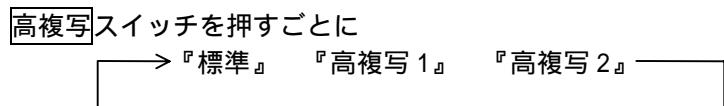
標準印字モード : 180dpi の解像度で印刷します。

高速印字モード : 間引き印字することにより、標準の 2 倍の速度 (高速ランプ点灯) で印字します。

低騒音印字モード : 高速印字モード (間引き印字) のパターンを標準 (低騒音ランプ点灯) 準印字速度で印字し、騒音を低減します。プリンタドライバからの高速印字、高品質 (標準印字) の指定は、低騒音印字モードが解除されると有効になります。

Windows から印字する場合、プリンタドライバのプロパティ設定が優先します。プロパティが「プリンタ設定優先」の場合は、プリンタ側の印字モード設定が有効となります。

高複写モードに切り替える



の順に切り替わります。

高複写モードのときは、「高複写 1」または「高複写 2」ランプが点灯します。

高複写 1 : 印字速度を若干落とし、印字圧を上げます。
(高複写 1 ランプ点灯)

高複写 2 : 印字速度を半分以下に落とし、フロント、
(高複写 2 ランプ点灯) リアのヘッドで同一ドットを二度打ちします。

漢字の書体を切り替える

書体スイッチを押すごとに『ミンチヨウ』と『ゴシック』が切り替わります。

選択された書体が、液晶ディスプレイに表示されます。



オフライン状態で行う操作

ここで使用するスイッチは、スイッチの下の名称で表記します。

用紙の吸入や排出を行う

◆ 前トラクタ / 後トラクタセット時

(給紙口を「フロントトラクタ」または「リアトラクタ」選択時)

用紙無し状態の場合用紙吸入 / 排出スイッチを押すと、前トラクタ、または後トラクタにセットしてある連帳用紙を印字開始位置まで吸入します。

用紙有り状態の場合用紙吸入 / 排出スイッチを押すと、前トラクタ、または後トラクタにセットしてある連帳用紙を待機位置まで後退します。

◆ 単票用紙セット (手差しモード) 時

(給紙口を「テサシ」選択時)

機能設定の「ソルキノウ セッティ」(44ページ参照)で「オトローデ イング」を「ムコウ」に設定している場合、単票テーブルに単票用紙をセットした状態で用紙吸入 / 排出スイッチを押すと、単票用紙を印字開始位置まで吸入します。

用紙有り状態で用紙吸入 / 排出スイッチを押すと、単票用紙の排出を行います。

排出方向は、「手前排出」ランプの表示状態に従い手前または後方です。

◆ 単票用紙セット (カットシートフィーダ搭載) 時

(給紙口を「フロント CSF」または「リア CSF」選択時)

フロントカットシートフィーダまたはリアカットシートフィーダにセットした用紙が未吸入状態で用紙吸入 / 排出スイッチを押すと、単票用紙を印字開始位置まで吸入します。用紙吸入状態で本スイッチを押すと、単票用紙を排出します。

排出方向は、「手前排出」ランプの表示状態に従い手前または後方です。

カットシートフィーダが前後に搭載されている場合、フロントカットシートフィーダおよびリアカットシートフィーダのどちらをピン1、ピン2に割り当てるかは、機能設定「ソルタセッティ」の「CSF 1ピンセタク」(56ページ参照)に従います。

改行する

改行スイッチを1回押すと、正改行(用紙繰り出し方向)動作を行います。

正改行の方向は、プリンタ前面から吸入する用紙(前トラクタ、単票、フロントカットシートフィーダ)と、プリンタ背面から吸入する用紙(後トラクタ、リアカットシートフィーダ)では、用紙繰り出し方向が異なります。

押し続けると、連続正改行動作となります。

(**改行**スイッチによる正改行の送り量は、1/6インチ固定です。)

改ページを行う

改ページスイッチを押します。

◆ 前トラクタ/後トラクタ時

(給紙口を「フロントトラクタ」または「リアトラクタ」選択時)

用紙を次のページの先頭行に送ります。このときのページの長さは、機能設定「ESC/P ココセッティ」で「レンジョウページ」により設定されます。(初期設定 11インチ)(50ページ参照)。

印刷実行後はプリンタドライバ、アプリケーションから設定した値になりますが、その後に電源の切断、**リセット**スイッチによるリセット、リセットコマンド送出によるリセットを実行した場合は、機能設定「ESC/P ココセッティ」の「レンジョウページ」で設定したページ長になります。

◆ 単票用紙セット(手差しモード)時

(給紙口を「テサシ」選択時)

用紙を排出します。

(機能設定「リタナセッティ」で「テサシヨウノ FF コード」を「ページオクリ」(55ページ参照)にした場合はページ長分用紙を送ります)

◆ 単票用紙セット(カットシートフィーダ搭載)時

(給紙口を「フロントCSF」または「リアCSF」選択時)

フロントカットシートフィーダまたはリアカットシートフィーダにセットした用紙が未吸入状態で本スイッチを押すと、単票用紙を印字開始位置まで吸入します。用紙吸入状態で本スイッチを押すと、この単票用紙を排出後、フロントカットシートフィーダまたはリアカットシートフィーダにセットした次の単票用紙を印字開始位置まで吸入します。

カットシートフィーダが前後に搭載されている場合、フロントカットシートフィーダおよびリアカットシートフィーダのどちらをビン1、ビン2に割り当てるかは、機能設定「リタナセッティ」の「CSF 1ビンセッタ」(56ページ参照)に従います。

給紙口を切り替える

使用する給紙口を選択します。

給紙口スイッチを1回押すごとに、給紙口が、

→『フロントトラクタ』『リアトラクタ』『テサシ』――

――『リア CSF』『フロント CSF』――

の順に切り替わります。

選択された給紙口が、液晶ディスプレイに表示されます。

フロント CSF、リア CSF は、それぞれカットシートフィーダが搭載されているときのみ選択可能です。

フロント CSF 搭載時はフロントトラクタには切り替りません。

Windows から印字する場合、プリンタドライバのプロパティ設定が優先します。

ただし、手差し口に用紙がセットされている状態で、プロパティ設定とプリンタ設定の給紙口が一致した場合は、手差し口から給紙します。

紙厚調整モードを切り替える

紙厚調整スイッチを押すごとに、

→『オート』『レンジ 1』……『レンジ 9』――

――『レンジ D』……『レンジ A』――

の順に切り替わります。

選択されたモードが、液晶ディスプレイに表示されます。

「オート」に設定した場合は、プリンタドライバのプロパティでの用紙厚設定が優先されるので、プリンタドライバのプロパティで用紙厚を正しく設定する必要があります。

「オート」以外に設定した場合は、プリンタドライバのプロパティで設定した内容を無視するので設定されたレンジで印字します。

印字開始位置を微調整する

微小改行スイッチを1回押すと、の方向に、1/180 ずつ微小改行を行います。

詳細は「第3章 用紙のセット」「印字開始位置について」(99ページ)を参照してください。



单票手差しの方法を切り替える――――――

单票手差しの方法を切り替えます。

单票セットフリースイッチを押すごとに单票セットフリーのオン、オフが切り替わります。

◆ 单票セットフリーオフ時（单票セットフリーランプ消灯）

用紙ガイドに用紙左端を沿わせてセットします。印字開始位置は、用紙ガイド（左）を移動させて余白を調整してください。

单票セットフリーの場合のみ「ヨハキヨウ セッティ」の「オートローディング」の時間設定が有効となります。

◆ 单票セットフリーON時（单票セットフリーランプ点灯）

用紙を单票テーブルの用紙吸入口に軽く押し込むだけで用紙がセットされます。「单票セットフリー」ランプが点灯します。印字開始位置は機能設定「ヨハキヨウ セッティ」の「セットフリーノサタヨハク」で設定した値になります（49ページ参照）。オートローディングが無効の場合（44ページ参照）は、用紙吸入/排出スイッチを押さないと用紙を吸入しません。



プリンタをリセットする――――――

リセットすると未印刷データは消去されます。



ガイド

プリンタ内に未印刷データがあるときは、「データ」ランプが点灯しています。このときプリンタを初期化すると、未印刷データは消去されます。

リセット後、動作モード表示（27ページ参照）にEP、FMのいずれかが表示されているときは、再度プリンタをリセットしてください。

1 **オンライン**スイッチを押してオフライン状態にする

2 **リセット**スイッチを押す

液晶ディスプレイに「ショキカ シマスカ ?Y:リセット N:オンライン」と表示されます。



ガイド

初期化しないときは、**オンライン**スイッチを押すと、リセットせずにオフライン状態に戻ります。

3 再度、**リセット**スイッチを押す



機能設定項目について

プリンタの設定値は、メニュー モードで変更することができます。ここでは、メニュー モードで設定できる各項目について説明します。設定を変更する手順については、「機能設定を変える」(39 ページ)を参照してください。設定項目の詳細は、「セットアップ項目一覧」(42 ページ)を参照してください。

メニュー印刷

設定一覧の印刷を行います。

設定内容変更後、まだ設定値を登録していない場合、変更した設定値ではなく、登録されている設定値を印刷します。

テスト印刷

テストパターンを選択し、印刷を行います。

テストパターンは、イメージ モード、漢字 モード、ANK モード、スキップ モードから選択できます。

テスト印刷は、登録・終了スイッチを押して終了します。

装置機能設定

装置機能を設定します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- ・ホストインターフェース
- ・エミュレーション モード
- ・印字 モード
- ・用紙厚さ調整 モード
- ・印字圧
- ・オートローディングの有効/無効、開始時間の設定
- ・単票セットフリー機能
- ・単票手差し用紙の排出方向
- ・CSF 用紙の排出方向
- ・単票用紙なし検出
- ・電源投入時の PE 検出制御
- ・漢字書体

- ・ 単票自動排出
- ・ ブザー鳴動
- ・ 印字方向
- ・ ESC/P モード時の受信バッファ
- ・ FM モード時の受信バッファ

余白量設定

上下端または左端の余白量を設定します。

上端余白量は、いずれも用紙上端から 1 行目の文字上端までの値を指します。

ESC/P 固有設定

ESC/P 固有の書式設定を行います。

補正機能

改行や上端余白の補正を行います。

その他の設定

メニュー印刷～補正機能以外の設定を行います。

登録

設定内容に関する初期化、取り消し、書き込みを行います。

ESC/P 有効設定では、変更した設定内容の取り消しや、初期化(工場出荷状態に戻す)、変更内容の登録を行うことができます。

保守モード

保守に必要な表示や設定、ROM 版数の表示やヘッド使用状況の表示、HEX ダンプ印刷などを行います。

保守モードは保守者用の機能です。保守以外の目的では使用しないでください。



機能設定を変える

プリンタの設定を変えるときの操作方法について説明します。設定の変更は、メニュー モードで行います。

基本的な操作

メニュー モードでは、目的の設定値を上位のレベルから順に選んで表示させ、設定します。設定値までのレベルの深さは項目によって異なります。

メニュー モードでは、次のスイッチを使用します。

設定/メニュースイッチ オフライン状態で本スイッチを押すとメニュー モードに入ります。メニュー モード移行後は、本スイッチを押すと表示中の値に設定します。

または スイッチ

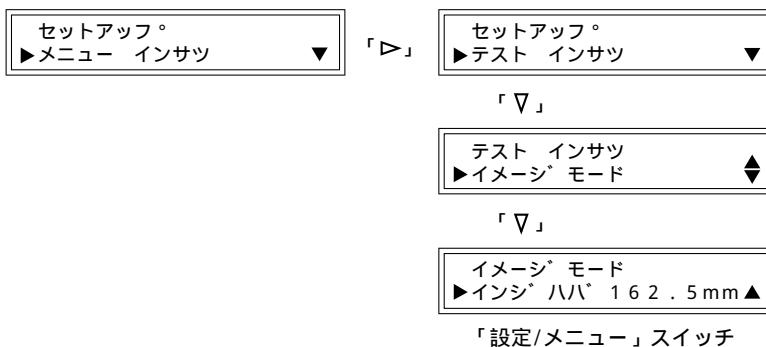
レベルを移動します。

<または>スイッチ

同じレベル内で項目を切り替えます。

オフライン状態

「設定/メニュー」スイッチ



選んだ項目に設定する操作

具体的な操作方法を以下に示します。
表示例は、ブザーの鳴動のオン/オフを設定するときのものです。

- 1 オフライン状態で**設定/メニュー**スイッチを押し、メニュー モードにする

オンライン状態
「オンライン」スイッチ
オフライン状態
「設定/メニュー」スイッチ

セットアップ。
 ▶メニュー インサツ ▼

- 2 ◇または▷スイッチで、同じレベル内の項目を切り替える

「◇」「▷」

セットアップ。
 ▶ソウチキノウ セッティ ▼

- 3 または スイッチで、レベルを移動する

スイッチを押すと、2で選択した項目が上段に、その項目の下にある項目が下段に表示されます。スイッチを押すと、上のレベルに移動します。

- 4 2と3の操作を繰り返して、目的の設定値を表示する

「◇」「▷」
 「▽」

ソウチキノウ セッティ
 ▶フサ一 ▲

フサ一
 ▶*オン ▲

「◇」「▷」

フサ一
 ▶オフ ▲

- 5 **設定/メニュー**スイッチを押して、値を確定する

設定/メニュースイッチを押すと、設定値の前に「*」が表示され、その値が設定されます。

「設定/メニュー」スイッチ

フサ一
 ▶*オフ ▲

6 必要に応じて設定を繰り返す

ほかに設定する項目がある場合は、操作を繰り返して設定します。

7 メニュー mode の「トウロク」で「セッティトウロク」を実行し、設定内容を登録する

登録・終了スイッチを押した後、スイッチを押すと、設定を登録します。スイッチを押すと、登録が取り消しになります。これを実行しないと、ここまで設定した内容は保存されません。

「登録・終了」スイッチ

: セッティトウロク
: セッティトリケシ

5 の操作後、**登録・終了**スイッチを押すと、メニュー mode の「トウロク」と同様に設定内容を登録できます。

注) 設定登録後、オンライン状態になっていない場合、**オンライン**スイッチを押してオンライン状態にします。

数値を設定する操作

余白の設定や用紙吸込量の設定など、値を数値で指定するときは、次のように操作します。

表示例は、F トラクタ給紙位置を設定するときのものです。

設定画面を表示し、▷スイッチで加算、◁スイッチで減算します。

設定画面を表示 「◁」「▷」「▽」「△」

F トラクタ キュウシイチ
▶ * - 1 . 0 mm

値を増減 「◁」「▷」

F トラクタ キュウシイチ
▶ + 1 . 0 mm

途中で機能設定を抜ける操作

登録・終了スイッチを押します。

設定変更をしていない場合は、下の画面表示に戻ります。

「登録・終了」スイッチ

ヨウシ ナシ *****
ヨウシヲ セットシテクタ [®] サイ

***** は現在の給紙方法が表示されます。



セットアップ項目一覧

メニュー モードで設定できる項目の一覧を次の表に示します。設定値の後の「*」は、工場出荷時に登録される初期値を示します。

FMPR5600 と FMPR5400 で機能設定が可能な項目が異なります。

CSF とは、カットシートフィーダの略称です。

機能設定の変えかた

レベル1	レベル2	設定内容	機能
メニュー インサツ	セッティノ インサツ	インサツチュウ	「セッティノ インサツ」を表示させて 設定 / メニュー [スイッチ] を押すと、設定内容の一覧を印刷します。変更した設定値を登録していない場合、変更した設定値ではなく、登録されている設定値を印刷します。
テスト インサツ	イメージ モード	インジハハ 162.5mm インジハハ 345.5mm	テストパターンと印字幅を選択して 設定 / メニュー [スイッチ] を押すと、テスト印刷します。 終了するときは 登録・終了 [スイッチ] を押します。
	カンジ モード ミンチヨウ	インジハハ 162.5mm インジハハ 345.5mm	
	カンジ モード ゴ シック	インジハハ 162.5mm インジハハ 345.5mm	
	ANK モード ド ラフト	インジハハ 162.5mm インジハハ 345.5mm	
	ANK モード コウヒンイ	インジハハ 162.5mm インジハハ 345.5mm	
	スキップ モード	インジハハ 162.5mm インジハハ 345.5mm	

レベル1	レベル2	設定内容	機能
ソウキノウ セッティ	ホストインターフェース FMPR5400 のとき	AT*	プリンタが接続されているホストインターフェースを設定します。
		FM	
	ホストインターフェース FMPR5600 のとき	AT*	FMPR5600 の場合、ホストインターフェースは AT 互換機のみです。
		RSV1	「RSV1」は保守用の機能です。誤作動の原因となりますので「AT」以外に設定しないでください。
	エミュレーションモード FMPR5400 のとき	ジドウシキバツ	電源投入後のエミュレーションモードを設定します。
		ESC/P*	
		FM	
	エミュレーションモード FMPR5600 のとき	RSV2	「RSV2」は保守用の機能です。誤作動の原因となりますので設定しないでください。
		ESC/P*	
		FM	
	印字モード	ヒヨウジヨン*	印字モードを設定します。
		コウソク	
		テイソウ	
	ガミアツヨウセイ	オート*	電源投入時の紙厚調整方法を選択します。電源投入後は操作パネルより変更可能です。
		レジン1	・オートの場合、自動またはプリンタドライバのプロパティ設定に従います。
		：	
		レジンD	・オート以外の場合、プリンタドライバのプロパティ設定を無視し、指定した設定に従います。

レベル1	レベル2	設定内容	機能
ソウキノウ セッティ	インジ アツモード	ヒヨウジ ユン*	電源投入時の印字圧モードを設定します。
		コウフクシャ1	
		コウフクシャ2	
	オートローディング (注1) (注2)	ムコウ	単票用紙に印刷するときに、自動的に給紙するかどうかを設定します。自動的に給紙する場合は、単票用紙がセットされてから用紙の吸入が開始されるまでの時間を選択します。単票用紙セットの操作性に合わせ設定を変更してください。
		0.5sec ゴ カイシ	
		1.0sec ゴ カイシ	
		1.5sec ゴ カイシ*	
		2.0sec ゴ カイシ	
	タンピ ヨウセツフリー	ユコウ*	電源投入時の手差し単票用紙の単票セットフリー機能の有効/無効を設定します。
		ムコウ	
	テザン ハイシュツホウコウ	テマエハイシュツ*	電源投入時の手差しモード時の単票用紙の排出方向を設定します。操作パネルにより変更できます。また、プリンタドライバで設定することができます。
		コウホウハイシュツ	
	CSF ハイシュツホウコウ	テマエハイシュツ	電源投入時にカットシートフィーダを搭載している場合の単票用紙の排出方向を設定します。また、プリンタドライバで設定することができます。
		コウホウハイシュツ*	
	テザン PE ケンシュツ	ケンシュツスル*	手差しモードの単票用紙無しを検出する/しないを設定します。
		ケンシュツシナイ	

注1) 「エミュレーションモード」が「FM」モードで給紙口がカットシートフィーダの時は、オートローディングは無効です。

注2) 「タンピ ヨウセツフリー」が「ユコウ」に設定されている場合は、本設定での時間は無効です。

レベル1	レベル2	設定内容	機能
ソウキノウ セッティ	POW ONジ'ノ PE (注1)	オンライン*	用紙無し状態で電源投入した場合に、オンラインとするかオフラインとするかを設定します。
		オフライン	
	PE ケンジ'ノジ'ヨウタイ (注2) (注3)	オンライン*	PE(用紙無し)検知時の状態をオンラインとするかオフラインとするかを設定します。 「オンライン」の場合： 単票モードの時に印刷後、用紙無しを検出してもオンラインとします。
		オフライン	
	カンジ'ショタイ	ミニチョウ* ゴ'シック	電源投入時の全角漢字および半角漢字の書体を、明朝体またはゴシック体に設定します。
テサン ジ'ド ウハイシツ		ハイシユツル*	手差し PE 検出が「ケンジユツル」に設定されているとき、手差し PE 検出したときに用紙を自動的に排出するかしないかを設定します。
		ハイシユツルナイ	
ブザ'-		オン*	ブザー鳴動のオン/オフを設定します。 オフを選択すると、一切鳴らなくなります。
		オフ	

注1) 本項目はFMPR5400 でのみ有効です。
FMPR5600 では表示されません。

注2) 本項目はFMPR5600 でのみ有効です。
FMPR5400 では表示されません。

注3) 操作パネルで用紙カット/用紙吸収/排出スイッチおよび
手前排出/改行スイッチなどで用紙無しを検出した場合はオフラインとなります。

レベル1	レベル2	設定内容	機能
ソウキノウ セッテイ	インジ ホウコウ	リョウホウコウ* カタホウコウ	電源投入時の印字方向を、両方向または片方向に設定します。両方向に設定されているときは、プリンタドライバからの設定が優先されるので、プリンタドライバのプロパティ設定を行う必要があります。片方向に設定されているときは、プリンタドライバの設定にかかわらず片方向印字となります。
	ジ ユシソバ ッファ EP	ナシ 16KB*	ESC/P モード時の受信バッファを設定します。
	ジ ユシソバ ッファ FM	ナシ* 16KB	FM モード時の受信バッファを設定します。
ヨハクリヨウ セッテイ	ジ ヨウタンヨハクシテイ	ド ライバ ユウセン* ブ リンタユウセン	「ド ライバ ユウセン」にすると、本メニュー モードで設定されている上端余白量にかかわらず、プリンタドライバで指定した上端余白量となります(前後トラクタフィーダにおける用紙吸 入直後の印字は4.2mmとなります)。「ブ リンタユウセン」にすると、本メニュー モードで設定されている上端余白量になります。

レベル1	レベル2	設定内容	機能
ヨハクリヨウ セッティ	テサン FCSF ウエヨハク EP (注1)	4.2mm	ESC/P モード時の手差し口および前カットシートフィーダから用紙を吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。
		8.5mm*	
		22.0mm	
		リ/タ (XX.Xmm) (注2)	
	RCSF ウエヨハク EP (注1)	リ/タ: 0.0mm (0.5mm 単位) ~ 30.0mm	ESC/P モード時の後カットシートフィーダから用紙を吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。
		4.2mm	
		8.5mm*	
		22.0mm	
	F トラクタ ウエヨハク EP (注1)	リ/タ (XX.Xmm) (注2)	ESC/P モード時の前トランクタ用紙吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。
		リ/タ: 0.0mm (0.5mm 単位) ~ 30.0mm	
		4.2mm	
		8.5mm*	
	R トランクタ ウエヨハク EP (注1)	22.0mm	ESC/P モード時の後トランクタ用紙吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。
		リ/タ (XX.Xmm) (注2)	
		リ/タ: 0.0mm (0.5mm 単位) ~ 30.0mm	
		4.2mm	

注1) 「ショウタシヨハクシティ」の設定が「ドライバユウゼン」のときは、ドライバで設定した上端余白量となります。

(前後トランクタフィーダにおける用紙吸入直後の印字は、上端余白量4.2mmとなります。)

注2) 4.2mm未満は、印字領域外となりますので、印字はしないでください。

レベル1	レベル2	設定内容	機能
ヨハクリヨウ セッティ	テサシ FCSF ウエヨハク FM	4.2mm	FM モード時の手差し口および前カットシートフィーダからの用紙を吸入後(前カットシートフィーダ)の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。 9.1mm : はがき(横)印刷時 14.3mm : はがき(縦)印刷時
		9.1mm	
		14.3mm	
		22.0mm*	
		リノタ (XX.Xmm) (注1)	リノタ: 0.0mm (0.5mm 単位) ~ 30.0mm
	RCSF ウエヨハク FM	4.2mm	FM モード時の後カットシートフィーダから用紙を吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。 9.1mm : はがき(横)印刷時 14.3mm : はがき(縦)印刷時
		9.1mm	
		14.3mm	
		22.0mm*	
		リノタ (XX.Xmm) (注1)	リノタ:0.0mm (0.5mm 単位) ~ 30.0mm
	F トランクタ ウエヨハク FM	4.2mm	FM モード時の前トランクタ用紙吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。
		22.0mm*	
		リノタ (XX.Xmm) (注1)	リノタ:0.0mm (0.5mm 単位) ~ 30.0mm
		4.2mm	
	R トランクタ ウエヨハク FM	22.0mm*	FM モード時の後トランクタ用紙吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。
		リノタ (XX.Xmm) (注1)	リノタ:0.0mm (0.5mm 単位) ~ 30.0mm
		4.2mm	

注1) 4.2mm 未満は、印字領域外となりますので、印字はしないでください。

レベル1	レベル2	設定内容	機能
ヨハクリヨウ セッティ	F トラクタ カタンヨハク	4.2mm* 101mm	前トラクタ用紙の下端余白量を用紙下端から印字可能最終行の文字の下端までの量で設定します。 ESC/P モード、FM モード共通。
	R トラクタ カタンヨハク	4.2mm* 157mm	後トラクタ用紙の下端余白量を用紙下端から印字可能最終行の文字の下端までの量で設定します。 ESC/P モード、FM モード共通。
	settfr - ノ サタンヨハク (注1)	0.0mm : 5.1mm* : 45.2mm [約 0.3mm (1/90 インチ) 単位]	単票セットフリーオン時の左端余白量(用紙の左端から第一印字開始文字の第一ドット目までの量)を設定します。
	タノヨシ - ノ サタンヨハク	ヒヨウジ ュン* ヒダ リヨセ	単票セットフリー機能無効時の印字開始位置を設定します。 この設定は、すべての用紙に有効になります。 「ヒヨウジ ュン」の場合、第一ドット目印字開始位置が目盛り(86ページ参照)の位置となり、「ヒダ リヨセ」の場合、12.7mm 左になります。

注1) 5.0mm 未満は、印字領域外となりますので、印字はしないでください。

レベル1	レベル2	設定内容	機能
ESC/P ココセッティ	レンショウヘーディショウ	11インチ*	連帳用紙のページ長を設定します。
		12インチ	前トラクタおよび後トラクタ用紙の両方に有効な値です。Windows から印字した場合は、ドライバからの指定値に変更されます。
	レンショウミシンメスキップ [°]	0インチ*	連帳用紙のミシン目の手前でスキップする量を設定します。
		1インチ	前トラクタおよび後トラクタ用紙の両方に有効な値です。Windows でユーザ定義サイズを指定して印字した場合、本機能は動作しません。
	オートティアオフ	コウコウ*	連帳用紙のオートティアオフの有効/無効を設定します。
		ムコウ	オートティアオフとは、印刷が終わる(または印刷データを印刷し終わる)ごとに自動的に用紙カット位置まで用紙を送る機能です。
	キヨウカン	6LPI*	行間(改行ピッチ)の大きさを設定します。
		8LPI	
	ANKモジピッヂ	10CPI*	ANK 文字の文字ピッチの大きさを設定します。
		12CPI	
	ANKモジヒンイ	LQ*	ANK 文字の文字品位を設定します。
		ドラフト	
	ANKシクショウモジ [°]	ヒヨウジユン*	ANK 文字の大きさを設定します。
		シクショウ	
	ANKコードヒョウ	グラフィックコード	ANK コード表を設定します。
		カタカナコード*	
	ANKショタイ	クーリイ*	ANK 文字の書体を設定します。
		サンセリフ	

レベル1	レベル2	設定内容	機能
ESC/P ココセッティ	ゼロフォント	スラッシュナシ*	ANK コードの「0(ゼロ)」の字体を「0」とするか「Ø」とするかを設定します。
		スラッシュアリ	クーリエフォントに対してのみ有効となります。
	コクサイモジ	ニッポン*	国際文字の出力種類を設定します。
		アメリカ	
	CR コード	CR*	CR コードの機能を印字指令とするか、印字改行指令とするかを設定します。
		CR + LF	
		AFXT (注1)	
	SLCT IN	ユウコウ*	SLCTIN 信号の有効/無効を設定します。
		ムコウ	
	DC1/DC3	ユウコウ	DC1/DC3 コマンドの有効/無効を設定します。
		ムコウ*	
拡件ノウ	テサン カヰ ソウホセイ	-1.0mm	手差し単票用紙に対する累積改行補正量を設定します。(約 254mm 改行したときの改行ズレ量を補正します。印字位置が上にズれている場合は、+ 方向の補正を行います。)
		-0.6mm	
		-0.3mm	
		0mm*	
		+0.3mm	
		+0.6mm	
		+1.0mm	
	FCSF カヰ ソウホセイ	-1.0mm	前カットシートフィーダ用紙に対する累積改行補正量を設定します。(約 254mm 改行したときの改行ズレ量を補正します。印字位置が上にズれている場合は、+ 方向の補正を行います。)
		-0.6mm	
		-0.3mm	
		0mm*	
		+0.3mm	
		+0.6mm	
		+1.0mm	

注1) ハード信号の制御にしたがいます。

詳しくは、185 ページの *AUTO FEED XT を参照してください。

レベル1	レベル2	設定内容	機能
枚付け	RCSF カギヨウホセイ	-1.0mm	後カットシートフィーダ用紙に対する累積改行補正量を設定します。(約254mm改行したときの改行ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は、+方向の補正を行います。)
		-0.6mm	
		-0.3mm	
		0mm*	
		+0.3mm	
		+0.6mm	
		+1.0mm	
F ト ラ カギヨウホセイ	-1.0mm	前トランクタ用紙に対する累積改行補正量を設定します。(1ページ目に対する、その後のページの印字位置ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は、+方向の補正を行います。)	
	-0.6mm		
	-0.3mm		
	0mm*		
	+0.3mm		
	+0.6mm		
	+1.0mm		
R ト ラ カギヨウホセイ	-1.0mm	後トランクタ用紙に対する累積改行補正量を設定します。(1ページ目に対する、その後のページの印字位置ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は、+方向の補正を行います。)	
	-0.6mm		
	-0.3mm		
	0mm*		
	+0.3mm		
	+0.6mm		
	+1.0mm		
F ト ラ サイシユウページ	-1.0mm	前トランクタ用紙の最終頁に対する累積改行補正量を設定します。(最終ページの下端から約100mm間の改行ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は、+方向の補正を行います。)	
	-0.6mm		
	-0.3mm		
	0mm*		
	+0.3mm		
	+0.6mm		
	+1.0mm		

レベル1	レベル2	設定内容	機能
拡件/カ	R ト ラ サイ シュ カ ページ	-1.0mm	後トラクタ用紙の最終頁に対する累積改行補正量を設定します。(最終ページの下端から約 155mm 間の改行ズレ量を補正します。印字位置が上にズれている場合は、+ 方向の補正を行います)。
		-0.6mm	
		-0.3mm	
		0mm*	
		+0.3mm	
+0.6mm			
+1.0mm			
テサシ FCSF キュウシイ	-1.0mm	手差し口および前カットシートフィーダから用紙を吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で微調整します。	
	:		
	0mm* (0.1mm単位)		
	:		
	+1.0mm		
RCSF キュウシイ	-1.0mm	後カットシートフィーダから用紙を吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で微調整します。	
	:		
	0mm* (0.1mm単位)		
	:		
	+1.0mm		
F ト ラクタ キュウシイ	-1.0mm	前トラクタ給紙後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で微調整します。	
	:		
	0mm* (0.1mm単位)		
	:		
	+1.0mm		
R ト ラクタ キュウシイ	-1.0mm	後トラクタ給紙後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で微調整します。	
	:		
	0mm* (0.1mm単位)		
	:		
	+1.0mm		

レベル1	レベル2	設定内容	機能
ソノタノセッティ	Fパス キャリア 仔	ポジション1* ポジション2	単票手挿入、前トラクタ、前カットシートフィーダから用紙を吸入するときの印字ヘッドキャリアの位置を設定します。 ・ポジション1 : 約 31 行目 ・ポジション2 : 約 42 行目 帳票用紙を事前に印刷したプレプリント用紙を使用する場合、用紙上端が正しく検出できない場合があります。その場合は、ポジションを変更してください。
	Rパス キャリア 仔	ポジション1* ポジション2	後トラクタ、後カットシートフィーダから用紙を吸入するときの印字ヘッドキャリアの位置を設定します。 ・ポジション1 : 約 31 行目 ・ポジション2 : 約 42 行目 帳票用紙を事前に印刷したプレプリント用紙を使用する場合、用紙上端が正しく検出できない場合があります。その場合は、ポジションを変更してください。

レベル1	レベル2	設定内容	機能
ソノタノセッティ	シャコウケンシユツ	ユウコウ*	単票用紙を吸入するときに斜行を検出するかしないかを設定します。
		ムコウ	
	シャコウケンシユツチ (注1) (注2)	1.5mm*	手差し単票用紙を吸入する時に、斜行吸入と判断する値を設定します。
		2.0mm	
		2.5mm	
	テザシ ジ'ド ウオンライン	ユウコウ*	単票用紙吸入後、自動的にオンラインとするかしないかを設定します。
		ムコウ	
	トラクタジ'ド ウオンライン	ユウコウ	連帳用紙吸入後、自動的にオンラインとするかしないかを設定します。
		ムコウ*	
	テザシヨウシノ FF コード	ハイシユツ*	単票用紙セット時(手差しモード時)のFFコードおよび改ページスイッチの処理方法を設定します。
		ページ オクリ	
	ヨウシガ' インジ' ホ' ウシ (注3)	ユウコウ*	用紙の左右端を検出し、印字領域を超えるデータの処理方法を設定します。
		ムコウ	

注1) 本項目はFMPR5600でのみ有効です。

FMPR5400では表示されません。

注2) 「ソウチキノウ セッティ」の「タンピョウセッタリ」が「ユウコウ」(44 ページ参照)に設定されて、なおかつ「ソノタノセッティ」の「シャコウケンシユツ」が「ユウコウ」(55 ページ参照)に設定されている場合のみ本設定値が有効となります。

注3) カットシートフィーダおよび連帳使用時は、用紙外印字防止が有効の場合でも、114 枝を越える媒体(約 A4 横以上の単票、約 11 インチ幅以上の連帳)では、右側の用紙外印字防止が作動しませんので、注意してください。

レベル1	レベル2	設定内容	機能
ソノタ/セッテイ	カ什 ょウジ やムケンチ	コウコウ* ムコウ	改行ジャム検知機能の有効/無効を設定します。 「コウコウ」に設定してあると用紙の紙送り中に紙づまりが発生した場合、LCDに「カ什 ょウジ やムケンチ」のエラーメッセージが表示されます。 注)段差のある用紙を使用すると「カ什 ょウジ やムケンチ」エラーが発生することがあります。その場合は「ムコウ」に設定してご使用ください。
	CSF 1ビンセンタク	FCSF* RCSF	前/後カットシートフィーダを同時搭載した場合に、どのカットシートフィーダをビン1として使用するかを設定します。選択されなかったカットシートフィーダがビン2となります。 本項目は、前/後カットシートフィーダを同時搭載した場合のみ有効となる設定です。

レベル1	レベル2	設定内容	機能
ソノタノセッティ	CSF キュウシセヰ ^ト ヨ	ヒヨウジ ^ト ユン*	カットシートフィーダからの吸入方式を設定します。
		スイッチバ ^ト ック	「ヒヨウジ ^ト ユン」は、カットシートフィーダホッパから用紙を直接吸入する方式です。 「スイッチバ ^ト ック」に比べ、カットシートフィーダ処理時間が短縮されます。スイッチバ ^ト ック」は、カットシートフィーダホッパの用紙を一旦途中まで排出させた後に、もう一度吸入する方式です。「ヒヨウジ ^ト ユン」に比べ、改行精度が向上します。
	トラクタ キュウシセヰ ^ト ヨ (注1)	セイト ^ト ユウセン*	連帳用紙の吸入方式を設定します。
		ソクト ^ト ユウセン	「セイト ^ト ユウセン」は、用紙吸入時に用紙厚さ検出動作を行い、吸入された用紙の厚さに最適な用紙送り制御をします。「ソクト ^ト ユウセン」に比べ改行精度が向上します。 「ソクト ^ト ユウセン」は、用紙厚さ検出をしないで直接印字開始位置まで用紙を吸入します。「セイト ^ト ユウセン」に比べ用紙吸入時間が短縮されますが、「セイト ^ト ユウセン」と比べ改行精度が悪くなります。
	キヤクカヰ ^ト ヨウヨクセイ	ソクト ^ト ユウセン ムコウ*	逆改行抑制制御を行うかどうかを設定します。

注1) 本項目はFMPR5600 でのみ有効です。
FMPR5400 では表示されません。

レベル1	レベル2	設定内容	機能
ソノタノセッティ	ヨウシカットオクリセイギョ (注1)	イッテイリヨウ* カットイチアワセ	<p>用紙カットスイッチを押したときの、用紙の送りと戻し動作を設定します。本項目は、前トラクタモード、および後トラクタモード時のみ有効な制御です。</p> <p>「イッテイリヨウ」の場合： 用紙カットスイッチを押すと 1 インチ用紙を送り出します。</p> <p>微小改行スイッチで上余白を変更したときは、用紙のミシン目とプリンタのカット位置は合わなくななります。もう一度用紙カットスイッチを押すと元の位置に戻ります。</p> <p>用紙カットスイッチを押さないで（用紙を戻さないで）、印刷起動をした場合は、用紙を元の位置に戻してから印刷します。</p> <p>「カットイチアワセ」の場合： 微小改行スイッチで上余白を変更しても、用紙のミシン目とプリンタのカット位置が合います（ただし、電源を切ると、カット位置が合わなくなります）。</p> <p>もう一度、用紙カットスイッチを押すと元の位置に戻ります。</p> <p>用紙カットスイッチを押さないで（用紙を戻さないで）、印刷起動をした場合は、用紙を元の位置に戻してから印刷します。</p>

注1) 本項目はFMPR5600でのみ有効です。FMPR5400では表示されません。

レベル1	レベル2	設定内容	機能
ソノタノセッティ	リボンホコキノウ (注1)	ユウコウ ムコウ*	連帳改行時に印字ヘッドが用紙送り穴位置に停止した場合、用紙送り穴位置を避けて改行し、リボンを保護するかしないかを設定します。
	CSF カミアツケソシユツ	マイカイ ツウジヨウ*	紙厚調整が「オ-ト」に設定されているとき、カットシートファイダ給紙の印刷時に、用紙厚さ検出を毎ページ行うかどうかを設定します。
	ACK タイミング*	コウソク ヒヨウジユン*	インタフェースの*ACKNLG 信号のパルス幅を設定します。
	BUSY-ACK タイミング FMPR5400 のとき	A-B A-B-A B-A ジドウシキベツ*	インタフェース信号の*ACKNLG と BUSY のタイミングを設定します。
	BUSY-ACK タイミング FMPR5600 のとき	A-B A-B-A* RSV3 RSV4	FMPR5600 の場合、ホストインターフェースは AT 互換機のみです。 「RSV3」、「RSV4」は保守用の機能です。誤作動の原因となりますので設定しないでください。

注 1) 「ソノタノセッティ」の「ヨウシガインシボウシ」が「ユウコウ」(55 ページ参照)と設定されている場合のみ、本設定が有効となります。

レベル1	レベル2	設定内容	機能
ソノタノセッティ	ヘッド コウカン ヒヨウジ	ユウコウ*	印字ヘッドの交換時期が近づくと電源投入時に LCD に警告表示します。（印字ヘッドの消耗状態は FMPR リモートパネルの消耗品管理、「ホュモード」の「ヘッド ピンカンタ」、および設定一覧の印刷内容にパーセントで表示します。） 消耗状態によって警告表示は以下のようになります。 90%以上： 「ヘッド コウカン ジュンビ」 100%以上： 「ヘッド コウカン」
		ムコウ	
エラー カンシ キノウ		ユウコウ*	FMPR モニタでのプリンタエラー監視機能を有効とするか無効とするかを設定します。 LAN アダプタを装着し、ネットワーク環境で使用する場合は、本設定を「ムコウ」に設定してください。
		ムコウ	

レベル1	レベル2	設定内容	機能
トウロク	セッテイ トリケシ	セッテイ	各設定項目の設定値を、変更前の設定に戻します。
	セッテイ ショキカ	セッテイ	各設定項目の設定値を、工場出荷時の設定に戻します。
	セッテイ トウロク	セッテイ	各設定項目の現在の設定値を記憶します。
ホシュモード	ROM ハンスウ		ファームウェアの版数を表示します。
	ヘッドピソンカウンタ		印字ヘッドの印字打数を、ヘッド寿命に対する割合(%)で表示します。
	HEX ダンプ インサツ	セッテイ	HEX ダンプ印刷モードとなります。詳細は「HEX ダンプ印字する」(160 ページ)を参照してください。



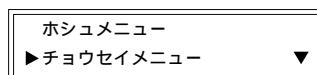
行間ズレを直す

縦罫線などを正逆両方向で印字したときに生じる行間の横方向の印字位置の不揃いを直します。

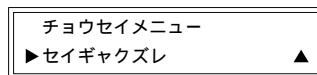
標準印字圧と高複写モードの 2 つの印字圧についてそれぞれ標準印字モード、高速印字モード、ドラフト印字モードの行間ズレを直すことができます。ドラフト印字モードとは 60dpi の解像度の内蔵フォントを使用して標準の 3 倍の速度で印字するモードです。行間ズレは、次の手順で直します。行間ズレを直すときは、必ず用紙をセットしてください。

注) FMPR5600 の場合、単票用紙を使用するときは、単票セットフリー機能をオフ(操作パネルの**単票セットフリー**スイッチを押して「単票セットフリー」ランプを消灯状態)にしてから用紙をセットしてください。

- 1 前側より 15 インチ幅以上の連続用紙または A4 タテ以上の単票用紙をセットする
 - 2 **設定/メニュー**スイッチを押しながら電源を入れる
保守メニュー モードになります。
 - 3 調整メニューを表示させる



- #### 4 スイッチを押して「セイギヤクズレ」を表示させる



- ## 5 設定/メニュー|スイッチを押す

標準印字圧の標準印字モードで調整用パターンを印字します。
矢印(↑と→)は、印字ヘッドの移動方向を示します。

The diagram consists of a horizontal row of 20 'X' characters. Below this row are four vertical lines of equal height. To the left of the first vertical line, there are four arrows pointing upwards, indicating a flow or connection from the arrows to the first vertical line.

6 調整用パターンの印字が始まったら調整を行う

印字ヘッドの移動方向と同じ方向に印字結果を移動させるとき

スイッチを押します。

押し続けると、印字ヘッドの移動方向が変わるたびに
1/900 インチずつ矢印と同じ方向に印字結果が移動します。

印字ヘッドの移動と逆の方向に印字結果を移動させるとき

スイッチを押します。

押し続けると、印字ヘッドの移動方向が変わるたびに
1/900 インチずつ矢印と逆の方向に印字結果が移動します。

7 印字モードを切り替えて、高速印字モード、ドラフト印字モードで手順 6 の調整を行う

印字モードの切り替えかた

調整パターン印字中に印字モード/改ページスイッチを押します。

印字モード/改ページスイッチを押すたびに、以下の順に印字速度が切り替わります。

▶ 高速印字モード ドラフト印字モード 標準印字モード――
(高速ランプ点灯) (高速+オンラインランプ点灯)

注) 印字モードは印字ヘッドが行端位置にきたときに切り替わります。

印字モード/改ページスイッチを押したままにすると、1行印字後にその次の印字モードに切り替わってしまいます。印字モードが切り替わったら、すぐに印字モード/改ページスイッチを離してください。

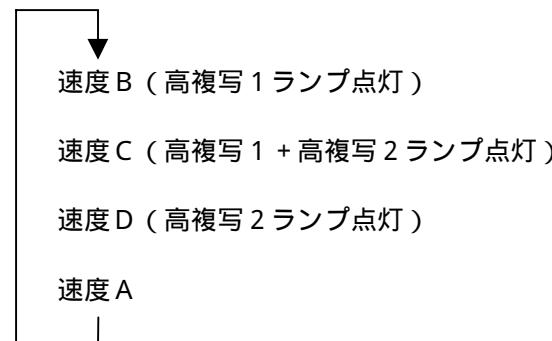
8 高複写スイッチを押して高複写モードにする

高複写モードは印字する用紙厚により基本となる A ~ D の 4 つの印字速度があります。

用紙厚	複写モード		
	標準	高複写 1	高複写 2
レンジ 1 ~ 3	A	B	D
レンジ 4 ~	B	C	D

9 高複写モードでの標準印字モード、高速印字モード、ドラフト印字モードそれぞれで手順 6 の調整を行う

高複写スイッチを押すたびに、以下の順に印字速度が切り替わります。



10 調整が終わったら登録・終了スイッチを押す

調整した内容がプリンタに記憶され、調整パターンの印字が終了し、調整項目選択モードに戻ります。

注) 登録・終了スイッチを押さないと、調整した内容がプリンタに登録されず、電源を切ると元の状態に戻ります。



用紙吸入口を調整する

用紙の自動吸入（オートロード）時の用紙吸入位置を、行方向に微調整します。工場出荷時に用紙の吸入量（印字開始位置）は、初期設定値に調整されていますが、ずれている場合はこの機能で調整してください。連続帳票用紙、単票用紙それぞれの吸入量を調整できます。

用紙の吸入量は、次の手順で調整します。

1 用紙をセットする

2 オフライン状態で**設定 / メニュー**スイッチを押す

メニュー モードになります。

オンライン状態

「オンライン」スイッチ

オフライン状態

「設定/メニュー」スイッチ



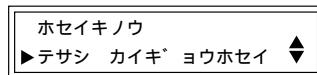
3 ◀または▶スイッチを押して、「ホセイキノウ」を表示させる

「◀」「▶」



4 スイッチを押して、下のレベルに移動する

「▽」

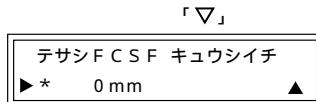


5 ◀または▶スイッチを押して、次のいずれかのモードを選択する

- ・ テサシ FCSF キュウシイチ
- ・ RCSF キュウシイチ
- ・ F トラクタ キュウシイチ
- ・ R トラクタ キュウシイチ

6 スイッチを押して、下のレベルに移動する

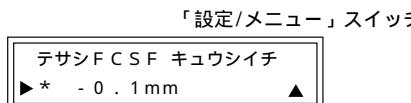
「テサシ FCSF キュウシイチ」を選択した場合の例で説明します

**7** ◇または▷スイッチを押して吸入位置を調整する

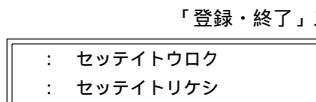
◇スイッチを1回押す毎に-側に0.1mmづつ変化します。

▷スイッチを1回押す毎に+側に0.1mmづつ変化します。

- 前方から吸入された用紙に対して上端余白を大きくしたいときは、▷スイッチを押します。
後方から吸入された用紙に対しては、上端余白が小さくなります。
- 前方から吸入された用紙に対して上端余白を小さくしたいときは、◇スイッチを押します。
後方から吸入された用紙に対しては、上端余白が大きくなります。
- 用紙位置の補正は、単票(前カットシートフィーダも含む)、後カットシートフィーダ、前トラクタ、および後トラクタを各々独立して行うことができます。

8 調整が終わったら「設定/メニュー」スイッチを押す

設定値の先頭に「*」が表示されます。

9 「登録・終了」スイッチを押して設定した値を登録する

スイッチを押すと、設定した内容で登録します。

これを実行しないとここまで設定した内容は保存されません。

スイッチを押すと、設定した内容が取り消しになります。

調整した内容がプリンタに記憶され、オンライン状態になります。



連續帳票用紙をカット位置に送る —————

あらかじめセットした連續帳票用紙のミシン目がカットしやすい位置（カット位置）にくるように、用紙を送る機能です。

カット位置に送る

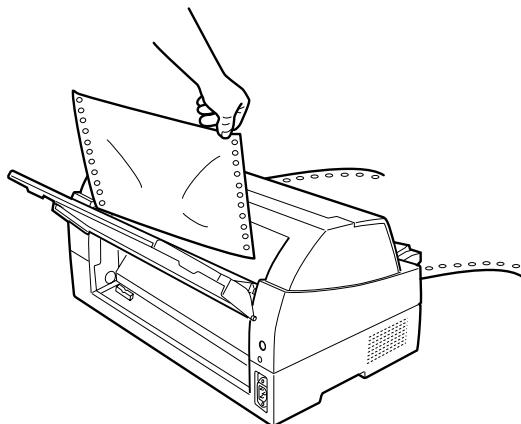
次の手順で、連續帳票用紙をカット位置に送ります。

1 オンライン状態で用紙カットスイッチを押す

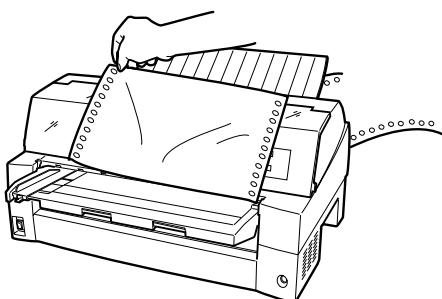
ミシン目が用紙カット位置まで送られます。

ESC/P モード時、機能設定の「ESC/P ココウセッティ」で「オ-テイオ」を「コウコウ」に設定している場合は（「機能設定を変える」39 ページ参照）、印刷が終わる（または印刷データを印刷し終わる）毎に自動的に用紙カット位置まで用紙が送られます。

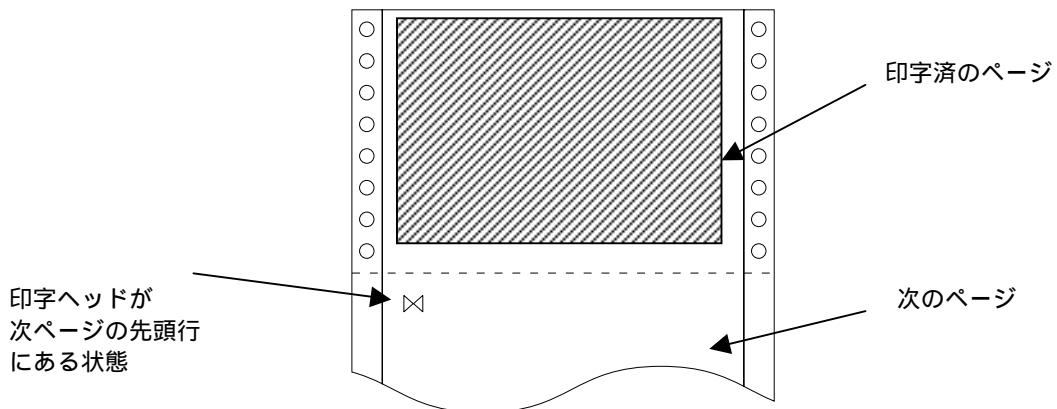
連續帳票用紙を前方からセットした場合



連續帳票用紙を後方からセットした場合



印字ヘッドの位置が次のページの先頭行にあるときには、ミシン目がカット位置まで送られます。



注) ページ長設定が正しくないとき、および **微小改行** スイッチで用紙を移動させた場合は、カット位置が合わなくなります。

2 用紙を切り取る

3 もう一度、**用紙カット**を押す

用紙が印字開始位置に戻ります。

この操作を行わない場合は、次の印字データを受信すると自動的に元の位置に戻ります。



自動検出機能

このプリンタには、次の4つの自動検出機能があります。

◆ 用紙無し検出

印字中に用紙がなくなると、印字動作が停止して「メッセージ」ランプが点灯し、ブザーが鳴ってオフライン状態になります。液晶ディスプレイには「ヨウシ ナシ *****」と表示されています。

◆ 印字ヘッド昇温検出

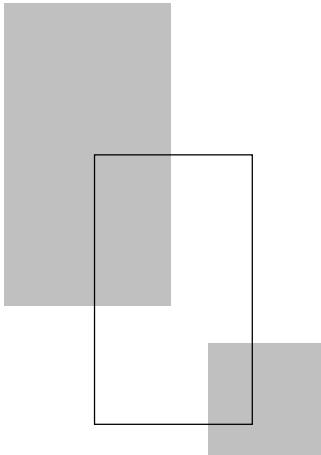
印字ヘッドの加熱状態を検出すると、1行を2回に分けて印字して印字ヘッドの劣化を防止します。

◆ ヘビーデューティ検出

高密度の印字(50%以上)を行うと、1行を2回に分けて印字します。

◆ 異常電流検出

プリンタ内で異常電流が流れたときは、プリンタ保護のために、自動的に電流を切断します。この状態で電源スイッチを“ON”にしても、約5分間は電源が投入できません。数分後、電源を再投入してください。この状態で電源が投入できないときは、プリンタの故障ですので、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店またはハードウェア修理相談センター(163ページ参照)に相談してください。



第 3 章

用紙のセット

この章では、用紙のセットのしかた、用紙厚の調整のしかた、および印字開始位置について説明します。

用紙をセットする	72
連続帳票用紙をセットする	
(前トラクタ給紙の場合)	72
連続帳票用紙をセットする	
(後トラクタ給紙の場合)	79
単票用紙をセットする	
(単票セットフリーオン時)	84
単票用紙をセットする	
(単票セットフリーオフ時)	88
単票用紙をセットする	
(カットシートフィーダを取り付けた場合)	91
用紙厚を調整する	95
印字開始位置について	99
印字開始位置(行方向)を微調整する	100



用紙をセットする

このプリンタでは、連続帳票用紙および単票用紙が使用できます。



ガイド

プリンタの前後にトラクタを搭載しており、同時に2種類の連続用紙をセットできます。

連続帳票用紙をセットする（前トラクタ給紙の場合）

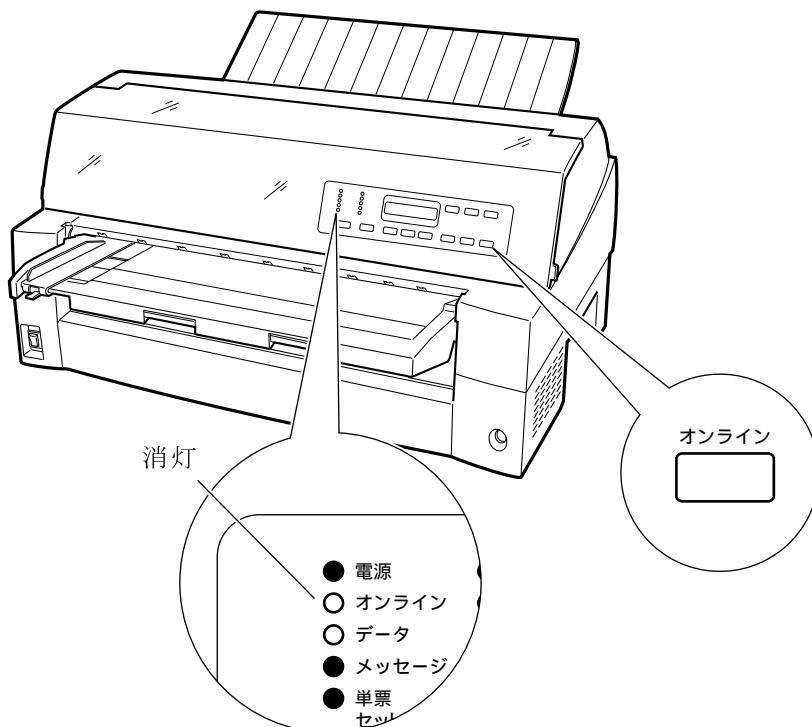
連続帳票用紙のセットは、次の手順で行います。

1 プリンタの電源を入れる

電源スイッチが「|」側に倒れていることを確認します。

2 オフライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。



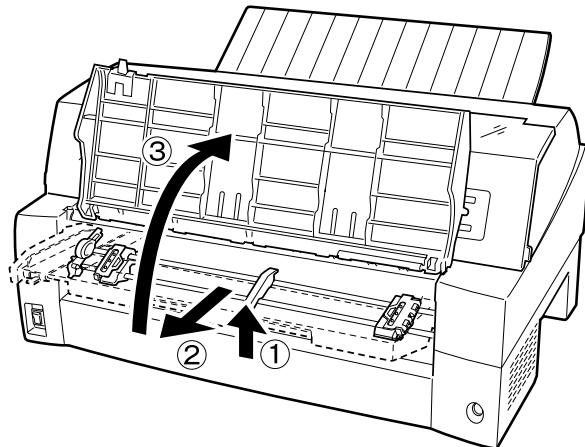
3 液晶ディスプレイに「フロントトラクタ」と表示されるまで給紙口スイッチを押す

「前トラクタ」状態にします。

4 単票テーブルを開く

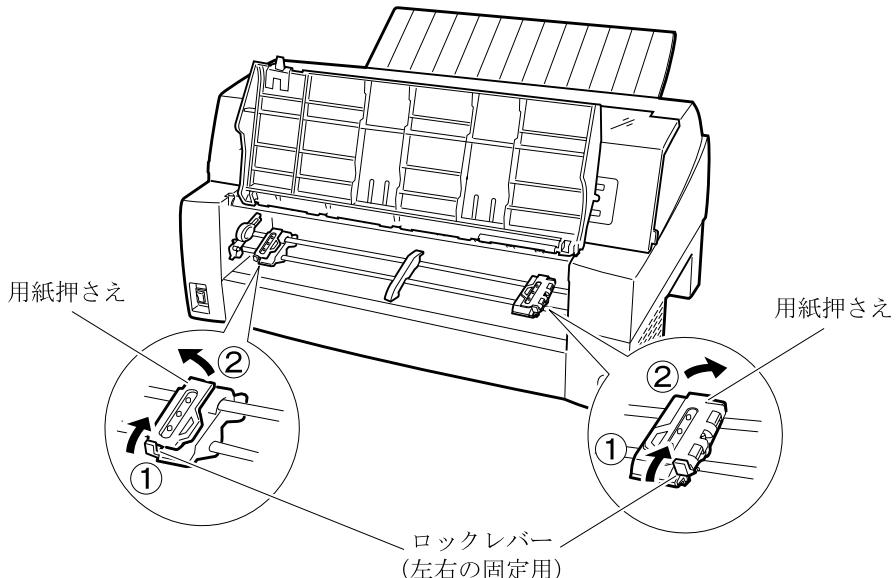
単票テーブルを開くと、単票検知センサーに外乱光が入り誤動作することがあります。電源が入った状態で単票テーブルを開くときには給紙口を「フロントトラクタ」に変更してから以下の操作を行ってください。

単票テーブルの先端を少し持ち上げ（①）、手前に引いた後（②）、回転させて開きます（③）。



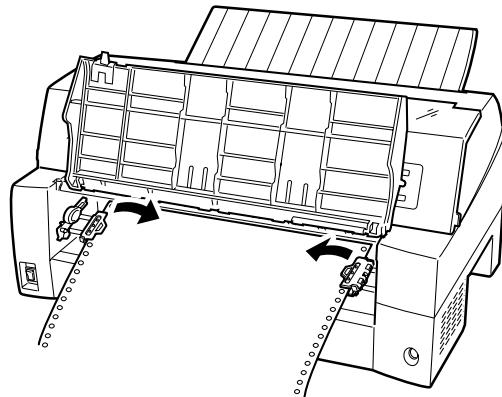
5 用紙送りトラクタのロックを外し、用紙押さえを開く

左右の用紙トラクタにあるロックレバーを、矢印方向に動かして（①）トラクタが左右に移動できるようにします。次に用紙押さえを開き（②）、用紙をセットできる状態にします。



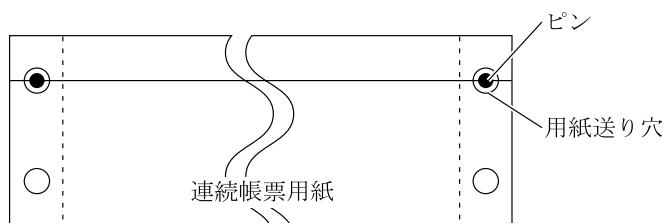
6 用紙送りトラクタに用紙をはさむ

用紙送りトラクタのピンに用紙送り穴を通し、用紙押さえを閉じます。



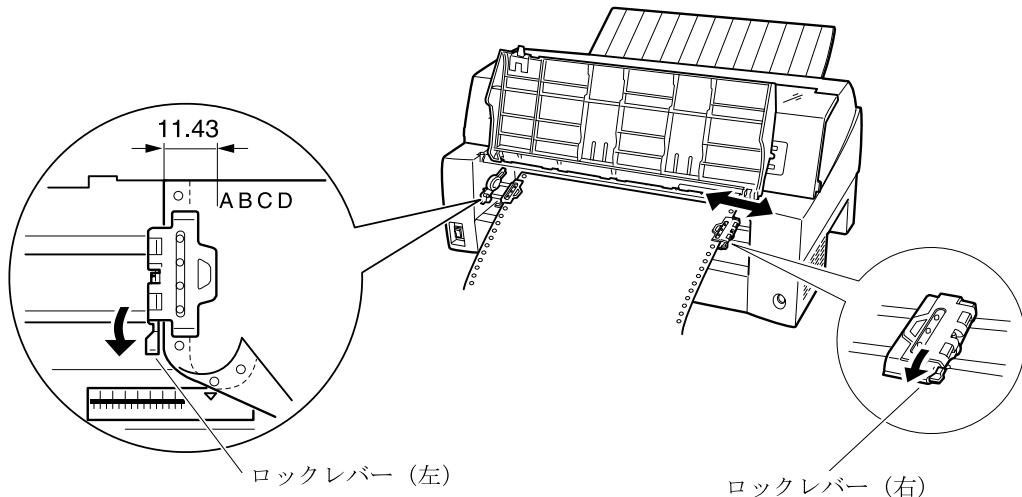
お願い

- 用紙送りトラクタの用紙押さえを開いたまま単票テーブルを倒さないでください。用紙送りトラクタおよび単票テーブルの破損の原因となります。
- 用紙づまりを防ぐために、次の点に注意してください。
 - 用紙を用紙送りトラクタにセットするとき、用紙を張りすぎないように用紙送りトラクタの幅を調整してください。（用紙送りトラクタのピンと用紙の用紙送り穴の中心が一致するようにします。）
 - 用紙がたるんでいると、用紙づまりの原因となりますので注意してください。

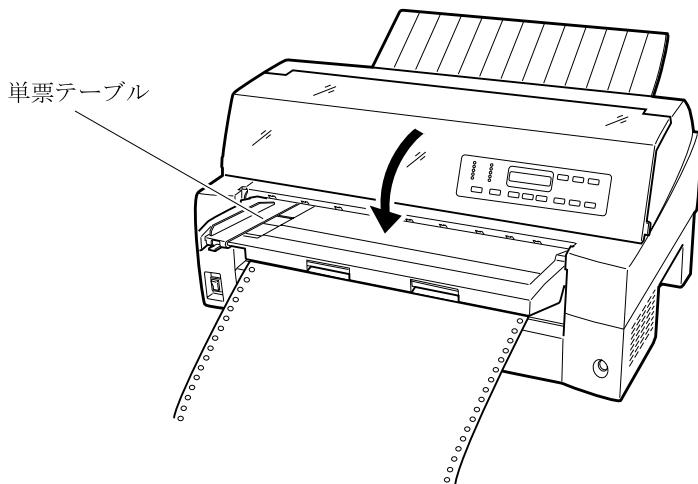


- 7 左側の用紙送りトラクタを用紙基準位置（桁スケール）に合わせ、右側の用紙送りトラクタを用紙が軽く張るくらい右へ動かし、ロックレバーを矢印方向に倒して固定する

用紙の左端を「0」の位置に合わせると、左端余白が最小 11.43mm（用紙左端からの余白）となり、第1ドットが「」の位置となります。



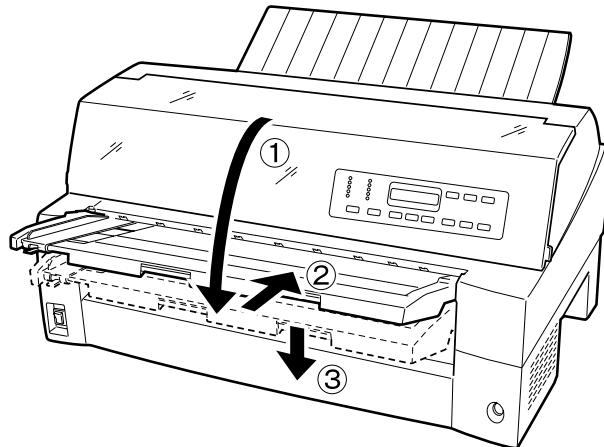
- 8 単票テーブルを倒す



お願い

単票テーブルを上方向に開いたまま連帳用紙を吸入させると、用紙詰まりを起こす場合があります。必ず、単票テーブルを倒してから用紙を吸入させてください。

単票テーブルは下図のように回転させた（ ）のち、奥に押し込んで（ ）閉じます（ ）。



9 印字開始位置に用紙をセットする

用紙カット/用紙吸入/排出スイッチを押します。
用紙が印字開始位置まで送られます。

印字開始位置の微調整については、「印字開始位置について」（99 ページ）を参照してください。

お願い

- 用紙吸入時に用紙づまりが発生した場合、吸入動作失敗として操作パネルのメッセージランプ点灯および液晶ディスプレイに下記の表示がされます。

キュウシシ[”] ャム F ト ラクタ
ヨウシヲトリノゾ[”] イテクダサイ

用紙づまりが発生した場合は、131 ページの「用紙づまりのとき」を参照してつまた用紙を取り除き再度用紙をセットし直してください。

- 単票テーブルに用紙が残ったまま連帳用紙を吸入させると、単票テーブルの用紙も同時に吸入してしまう場合があります。連帳使用時には、単票テーブルの上に用紙をセットしないでください。

10 オンライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオンライン状態（「オンライン」ランプ点灯）にし、パソコンからの印字データを送ります。

- 注) 用紙を排出するには、次の方法があります。
- 印字ヘッドがページの先頭印字位置にあるときは、オンライン状態にして用紙カット/用紙吸込/排出スイッチを押すと、用紙がカット位置まで送られます。
- オフライン状態にして印字モード/改ページスイッチを押します。
1回押すたびに1ページ分の用紙が送られます。

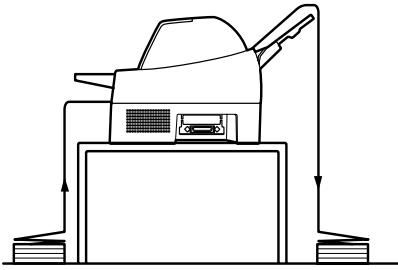
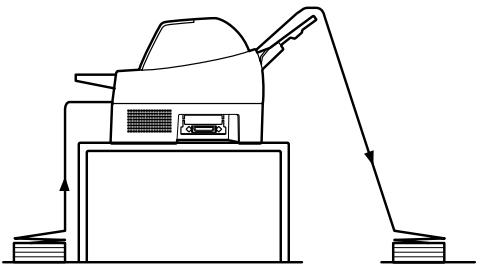
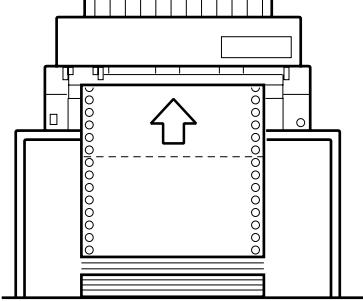
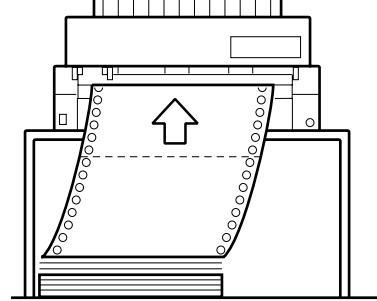


ガイド

用紙をカット位置にした状態では、パソコンから印字データが送られてくると用紙を自動的に印字位置（元の位置）に引き込んで印字を行います。

◆ 前連続帳票用紙の置きかた

連続帳票用紙は、下図(印)のように置いてください。用紙が机の角などに当たって妨げられると、正しく用紙が送られないので注意してください。

		×
プリンタ側面		
プリンタ正面	<p>プリンタの用紙出口と、用紙の置く位置のズレをなくしてください。</p> 	<p>用紙を置く位置が下図のようになされると正しく用紙が送られない場合がありますので、注意してください。</p> 

お願い

連帳用紙は、連続して逆送りをさせると用紙送りトラクタから外れることがありますので注意してください。

連続帳票用紙をセットする（後トラクタ給紙の場合）

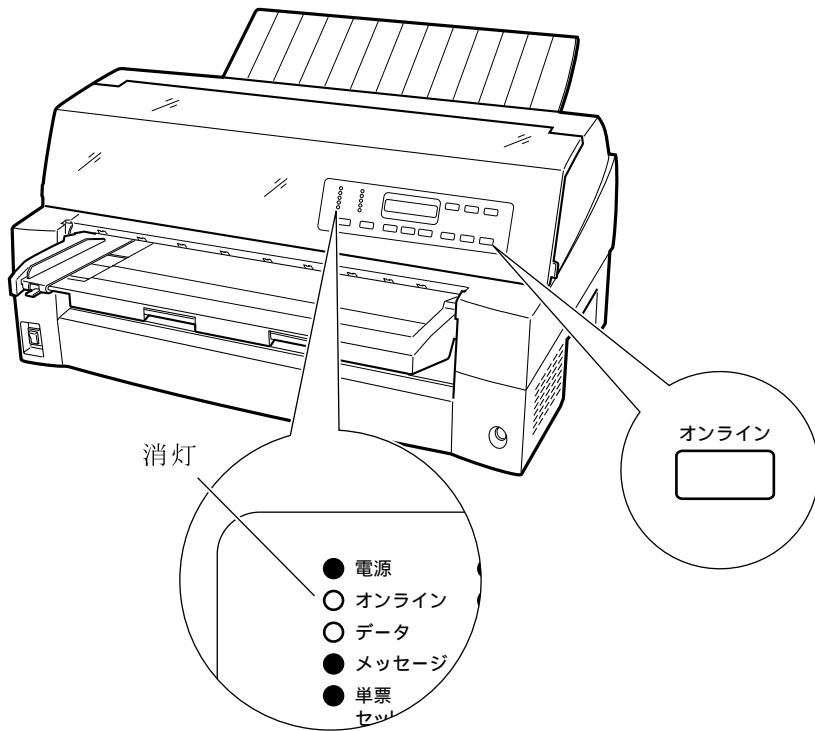
連続帳票用紙のセットは、次の手順で行います。

1 プリンタの電源を入れる

電源スイッチが「|」側に倒れていることを確認します。

2 オフライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

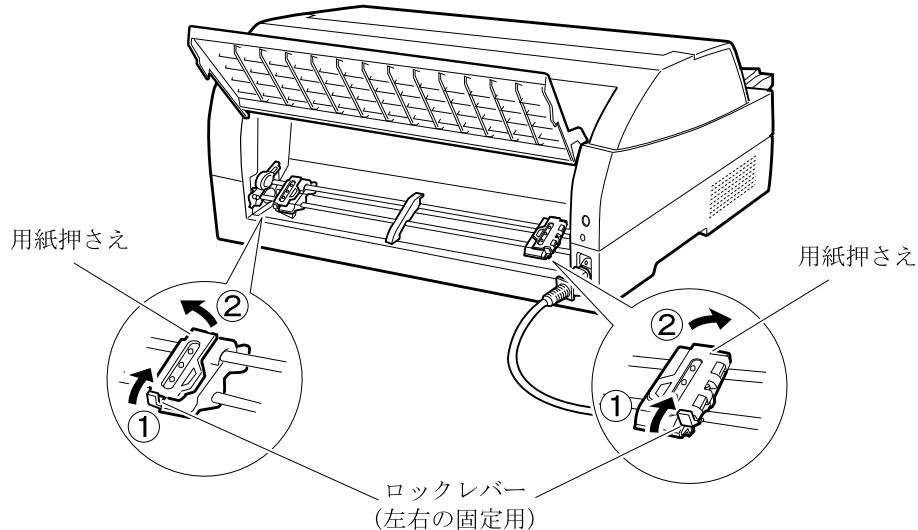


3 液晶ディスプレイに「リアトラクタ」と表示されるまで **給紙口**スイッチを押す

「後トラクタ」状態にします。

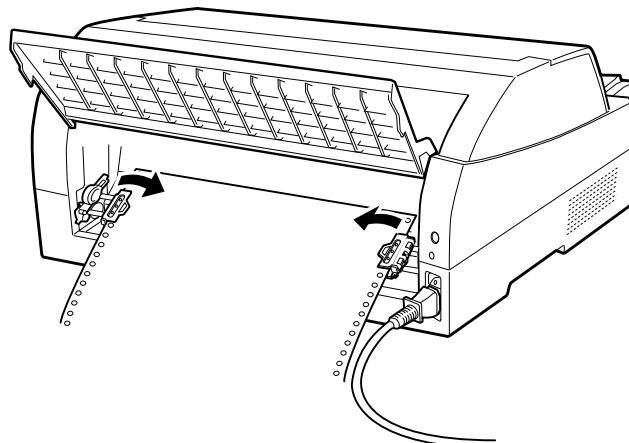
4 用紙送りトラクタのロックを外し、用紙押さえを開きます

左右の用紙トラクタにあるロックレバーを、矢印方向に動かして（ ）用紙送りトラクタ左右のロックを外し、用紙押さえを開きます（ ）。



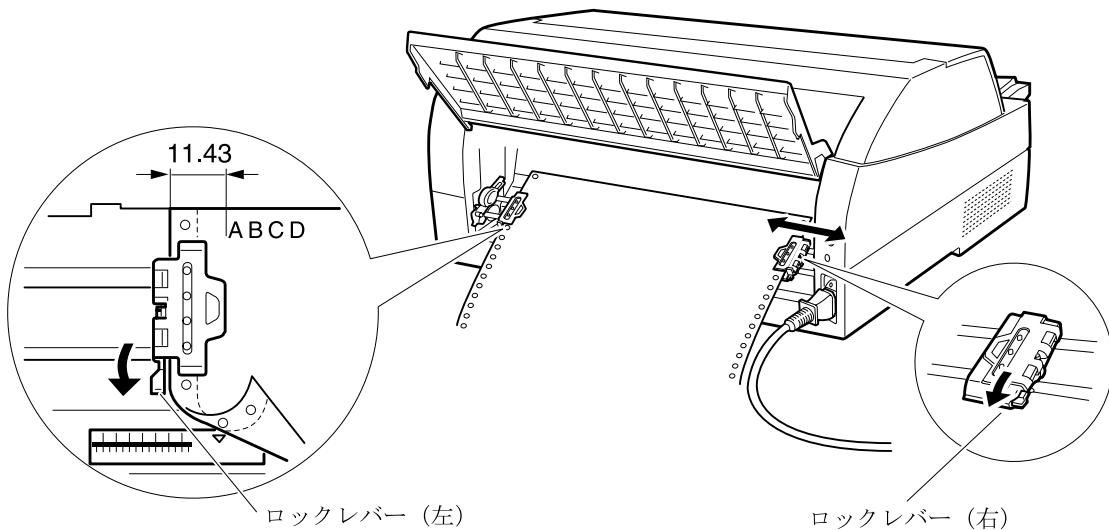
5 用紙送りトラクタに用紙をはさむ

左右の用紙送りトラクタの用紙押さえを開きます。用紙送りトラクタのピンに用紙送り穴を通し、用紙押さえを閉じます。



- 6** 左側の用紙送りトラクタを用紙基準位置（桁スケール）に合わせ、右側の用紙送りトラクタを用紙が軽く張るくらい右へ動かし、ロックレバーを矢印の方向に倒して固定する

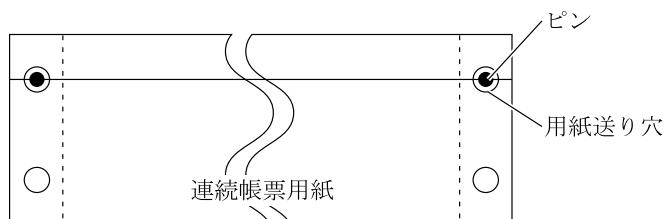
用紙の左端を「0」の位置に合わせると、左端余白が最小 11.43mm（用紙左端からの余白）となり、第1ドットが「」の位置となります。



お願い

用紙づまりを防ぐために、次の点に注意してください。

- 用紙を用紙送りトラクタにセットするとき、用紙を張りすぎないように用紙トラクタの幅を調整してください。（用紙送りトラクタのピンと用紙の用紙送り穴の中心が一致するようにします。）
- 用紙がたるんでいると、用紙づまりの原因となりますので注意してください。



7 印字開始位置に用紙をセットする

用紙カット/用紙吸込/排出スイッチを押します。

用紙が印字開始位置まで送られます。

印字開始位置の微調整については、「印字開始位置について」(99ページ)を参照してください。

8 オンライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオンライン状態(「オンライン」ランプ点灯)にし、パソコンからの印字データを送ります。

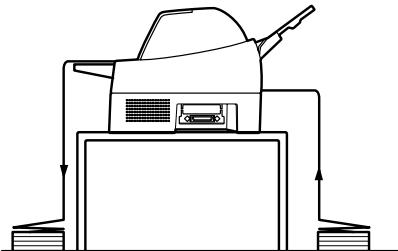
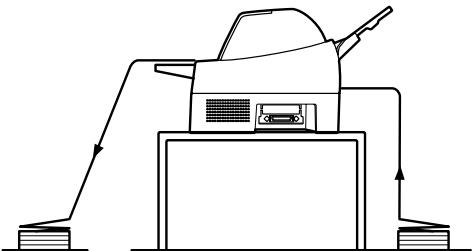
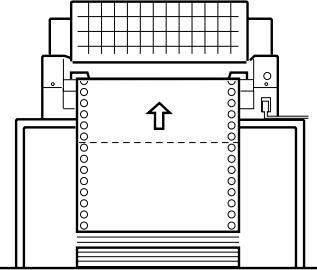
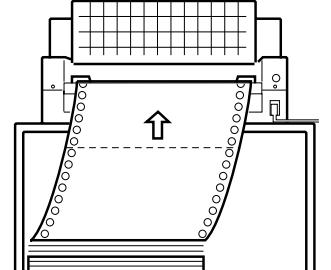
注) 用紙を排出するには、次の方法があります。

印字ヘッドがページの先頭印字位置にあるときは、オンライン状態にして用紙カット/用紙吸込/排出スイッチを押すと、用紙がカット位置まで送られます。(詳細については、「カット位置に送る」(67ページ)を参照してください。)

オフライン状態にして印字モード/改ページスイッチを押します。1回押すたびに1ページ分の用紙が送られます。

◆ 後連續帳票用紙の置きかた

連續帳票用紙は、下図(印)のように置いてください。用紙が机の角などに当たって妨げられると、正しく用紙が送られないので注意してください。

		×
プリンタ側面		
プリンタ正面	<p>プリンタの用紙出口と、用紙の置く位置のズレをなくしてください。</p> 	<p>用紙を置く位置が下図のようになされると正しく用紙が送られない場合がありますので、注意してください。</p> 

お願い

連帳用紙は、連続して逆送りをさせると用紙送りトラクタから外れることがありますので注意してください。

単票用紙をセットする（単票セットフリーON時）

単票セットフリー機能を使用すると、単票テーブルの中央に用紙を差し込むと自動的に吸入されます。なお、単票用紙は一枚ずつ差し込んでください。使用できる用紙サイズは、はがき～B4です（詳細は「第4章 用紙について」を参照）。単票セットフリーオンで使用できない用紙は単票セットフリーオフにして使用してください。（「単票用紙をセットする（単票セットフリーオフ時）」88ページ参照）

1 プリンタの電源を入れる

スイッチが「|」側に倒れていることを確認します。

2 オフライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

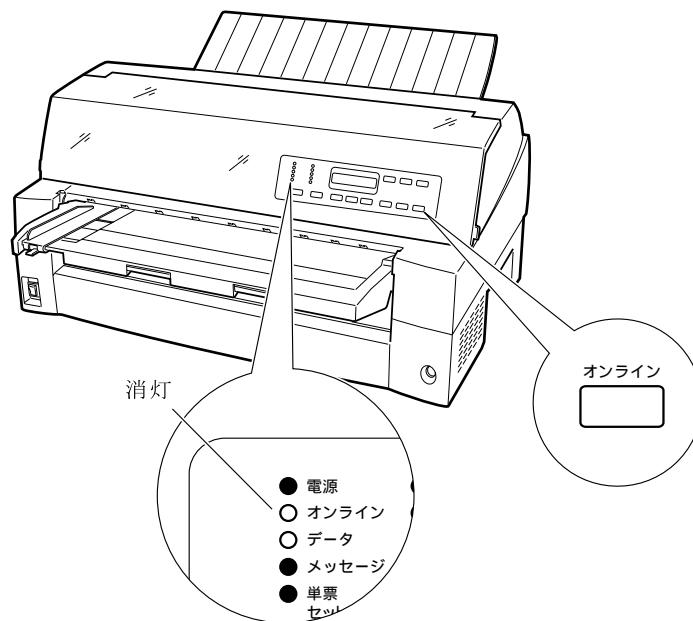
3 「単票セットフリー」ランプが点灯していることを確認する

消灯している場合は単票セットフリー^{スイッチ}を1回押してください。

4 液晶ディスプレイに「テサシ」と表示されるまで給紙口スイッチを押す

「単票手差し」状態にします。

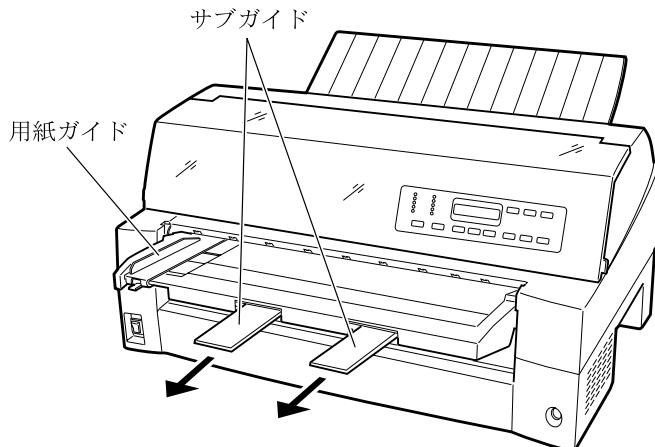
このとき連帳用紙が吸入されたままの場合は、連帳用紙の退避動作を行ってから、単票用紙に切り替わります。



お願い

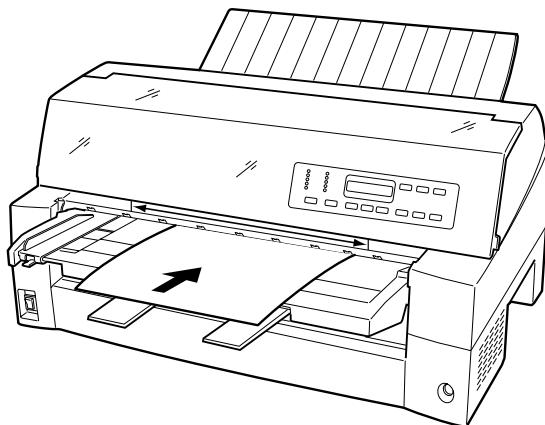
連帳用紙の退避動作が終了する前に単票テーブルに用紙をセットすると、「単票手差し」状態に切り替わらない場合があります。連帳用紙の退避動作が終了し、「単票手差し」状態に切り替わった後に単票をセットするようにしてください。

- 5 用紙ガイドを単票テーブル左端に突き当たるまで左側に寄せる
- 6 用紙サイズに応じてサブガイドを引き出す



- 7 用紙をセットする

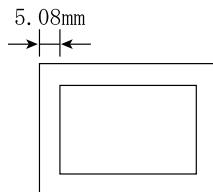
印字する面を上にし、『単票セットフリー』の用紙セット範囲に単票用紙を一枚ずつ差し込むと、自動的に吸入されます。



注 1) サブガイドを引き出して使用する場合は、上図のように 2 つのサブガイドの上に用紙を乗せ、サブガイドの長い辺から用紙がはみ出さないようにセットしてください。サブガイドからはみ出した状態で用紙をセットすると、用紙の端がサブガイドに引っかかり、正しく吸入されない場合があります。

注 2) 「ソウチキノウ セッティ」(44 ページ参照)で「オートローディング」を「ムコウ」に設定している場合は、自動的に吸入されませんので、オフラインにしてから、**用紙カット/用紙吸入/排出**スイッチで用紙を吸入してください。

印字開始位置は、「ヨハクリヨウ セッティ」(49 ページ参照)の左端余白量に従います。工場出荷時は、用紙左端より 5.08mm の位置になります。



注 3) 印字開始位置を帳票に合わせて細かく設定したい場合は、単票セットフリーをオフにして用紙ガイドで調整してください。

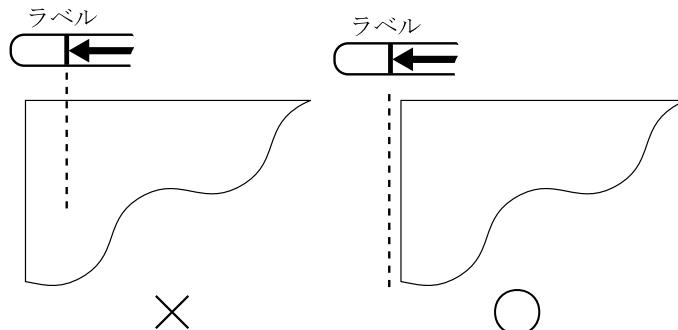
8 オンライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオンライン状態(「オンライン」ランプ点灯)にし、パソコンから印字データを送ります。

注) 「ソノタノセッティ」(55 ページ参照)で「テサシ シド'オンライン」を「ユウコウ」に設定されている場合は、自動的にオンライン状態になり、印字を開始します。

◆ 用紙左端位置に関する注意

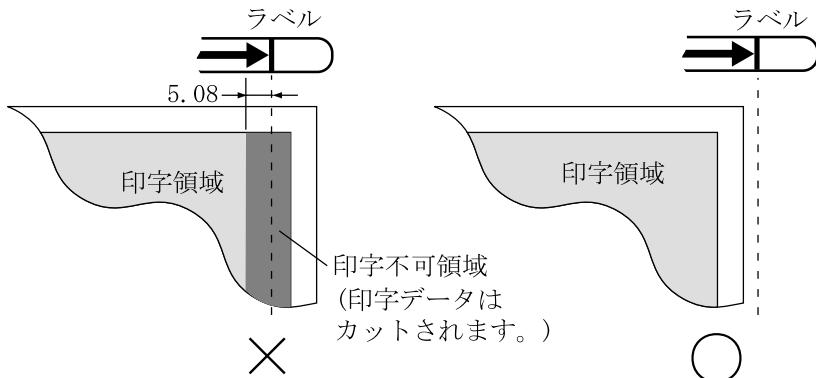
プリンタのラベル←部(「単票セットフリー」の用紙セット範囲)に対して、用紙の左端を下記の×で示す位置にセットした場合、用紙は吸入後排出されます。○で示す位置にセットしてください。



注) プリンタのラベル←部(「単票セットフリー」の用紙セット範囲)付近に用紙をセットする場合、用紙ガイドと単票テーブルの隙間に用紙の先端がもぐり込む場合がありますので注意してください。

◆ 用紙右端位置に関する注意

プリンタのラベル→部(「単票セットフリー」の用紙セット範囲)に対して、用紙の右端を下記の×で示す位置にセットすると、印字データがカットされることがあるので、○の位置にセットしてください。



◆ 用紙に関するご注意

- 用紙の先端や先端のコーナー部に折れや曲がりがあると、うまく吸入できないことがあります。折れや曲がりのない用紙を使用してください。
- 単票セットフリーで使用できる用紙は下記のサイズです。
用紙幅 100 ~ 364mm (はがき ~ B4 サイズ)
用紙長さ 70 ~ 364mm (はがき ~ B4 サイズ)
詳細は「第4章 用紙について」を参照してください。
- 束のりとじの単票は、とじ部分が分離しやすくジャムが発生するので、使用を避けてください。
束とじ：単票の厚み部分だけでのりとじを行っているものです。
- 単票セットフリーで、宅配便伝票などの連続帳票用紙を1枚ごと手切りでご使用になる場合は、用紙先端のカールなどにより、うまく吸入できないことがあります。
用紙のカールなどを取り除いてからご使用ください。

単票用紙をセットする（単票セットフリー オフ時）

単票用紙は一枚ずつセットしてください。また、連続帳票用紙をセットしたままでもセットできます。

単票用紙のセットは、次の手順で行います。

1 プリンタの電源を入れる

スイッチが「|」側に倒れていることを確認します。

2 オフライン状態にする

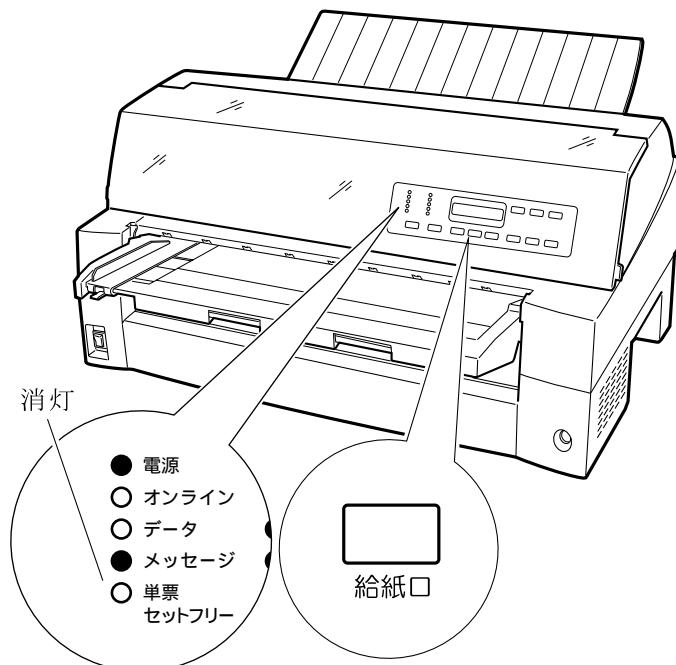
オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

3 **単票セットフリー**スイッチを押して「単票セットフリー」ランプを消灯させる

4 液晶ディスプレイに「テサシ」と表示されるまで**給紙口**スイッチを押す

「単票手差し」状態にします。

このとき連帳用紙が吸入されたままの場合は、連帳用紙の退避動作を行ってから、単票用紙に切り替わります。

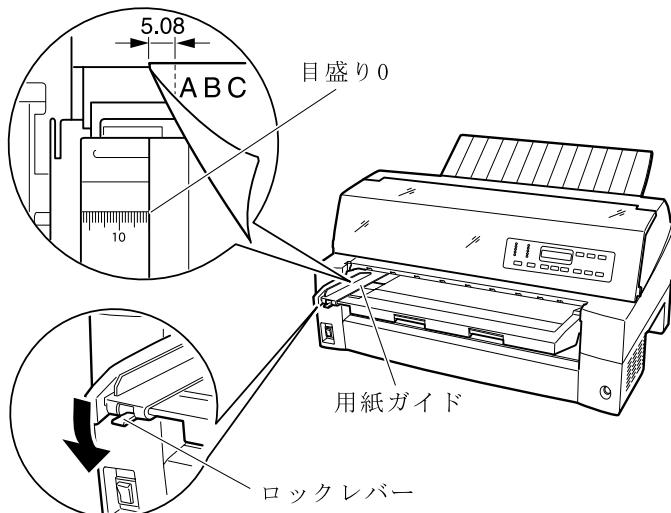


お願い

連帳用紙の退避動作が終了する前に単票テーブルに用紙をセットすると、「単票手差し」状態に切り替わらない場合があります。連帳用紙の退避動作が終了し、「単票手差し」状態に切り替わった後に単票をセットするようにしてください。

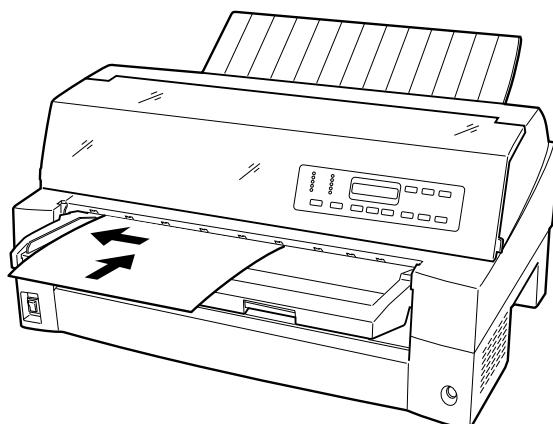
5 印字開始位置に合わせて用紙ガイドを移動する

用紙ガイドの左端を単票テーブルの目盛り 0 (mm) の位置にして、ロックレバーを下側に倒してロックします(第1ドット目が用紙の左端より 5.08mm の位置に印字します)。

**6 単票用紙をセットする**

印字する面を上にし、単票用紙の左端を必ず用紙ガイドに当てて、一枚ずつ差し込みます。

用紙が奥に軽く突き当たるまで、まっすぐに差し込んでください。用紙が自動的に印字開始位置まで送られます。



- 注 1) 「ソウチキノウ セッティ」(44 ページ参照)で「オートローティング」を「ユコウ」に設定している場合は、**用紙カット/用紙吸入/排出**スイッチを押して用紙をセットしてください。
- 注 2) 幅のせまい媒体(100mm 未満の媒体)をセットする場合は、用紙ガイドを目盛り 0(mm)の位置に合わせます。
- 注 3) 用紙ガイドは目盛り 0(mm)の位置より右側にしないでください。

7 **オンライン**スイッチを押し、オンライン状態(「オンライン」ランプ点灯)にしてパソコンから印字データを送ります。

送られた用紙がまっすぐセットされなかった場合は、オンライン状態にする前に**用紙カット/用紙吸入/排出**スイッチを押し、一旦単票用紙を排出してから再度セットしてください。

- 注) 「ソノタノセッティ」(55 ページ参照)で「テサシ シド'オンライン」を「ユコウ」に設定されている場合は、自動的にオンライン状態になり、印字を開始します。

単票用紙をセットする（カットシートフィーダを取り付けた場合）

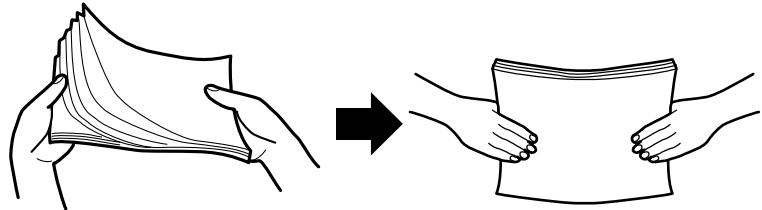
カットシートフィーダを取り付けた場合に用紙をセットする方法について説明します。

カットシートフィーダの取り付けについては、「カットシートフィーダを取り付ける」(167 ページ)を参照してください。

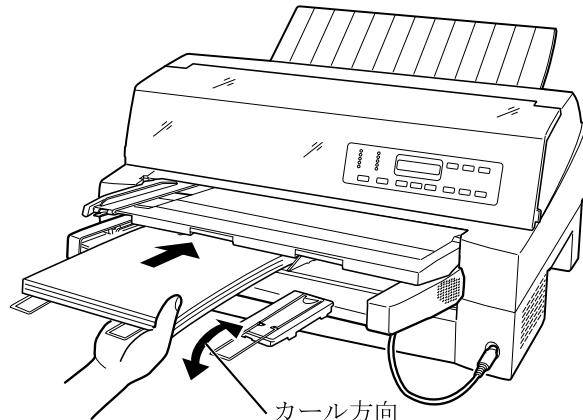


ガイド

- ・セットするときは、図のように用紙をさばき、机の上などで用紙の上下、左右をきちんと揃えてください。



- ・用紙はカールを取り除いた上でセットしてください。用紙は、湿度などの影響でカールしていることがあります。カールした用紙を補充する場合や別梱包の用紙を合わせてセットする場合、カールを取り除いた上、カール方向を合わせてセットしてください。(背中合わせでセットすると複数枚数が同時に吸入される場合があります。)また、少しカールのある場合は、カール方向を下図のようにセットしてください。



ガイド

- ・紙質は同一種類のものをセットしてください。
銘柄や連量(紙厚)などが異なるものを一緒にしてセットしないでください。

1 プリンタの電源を入れる

電源スイッチが「|」側に倒れていることを確認します。

2 オフライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態(「オンライン」ランプ消灯)にします。

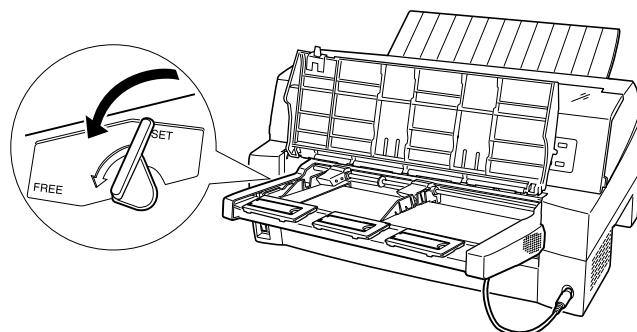
**3 液晶ディスプレイ上にカットシートフィーダが表示されるまで
給紙口**スイッチを押す

プリンタ前部に取り付けられている場合は、「フロント CSF」、プリンタ後部に取り付けられている場合は、「リア CSF」を選択します。

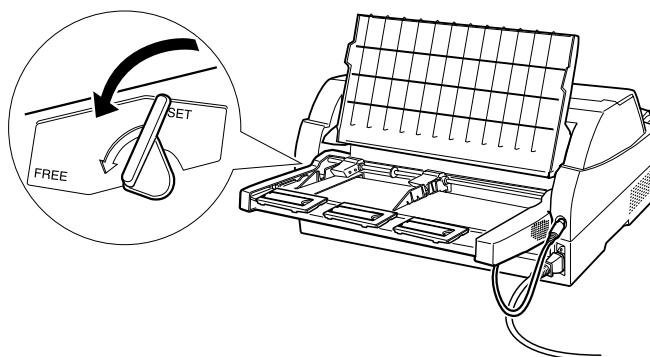
4 カットシートフィーダがプリンタ前部に取り付けられている場合は単票テーブル (14 ページ参照)を、プリンタ後部に取り付けられている場合はリアスタッカを開く

5 カットシートフィーダのセットレバーを「FREE」の位置にする

【カットシートフィーダがプリンタ前部に取り付けられている場合】



【カットシートフィーダがプリンタ後部に取り付けられている場合】



6 用紙ガイドに沿って用紙を載せる

用紙を揃え、左側の用紙ガイドに沿って用紙を載せます。右側の用紙ガイドの赤線が、一度にセットできる用紙の高さを示します。

お願い

左側の用紙ガイドは通常の場合、「」の位置(最も内側)に寄せ
てご使用ください。

A3用紙を横にセットするときは、「」の位置に用紙ガイドを移動し
てください。



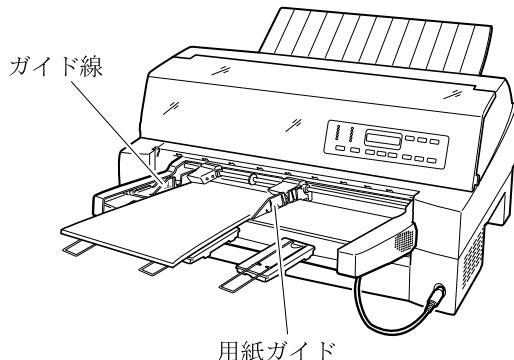
ガイド

55kg紙の場合、総枚数が120枚となります。

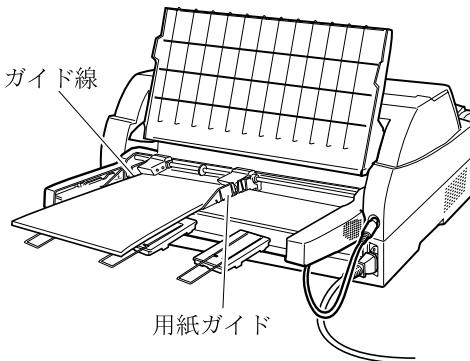
7 長い用紙をセットする場合は、エクステンション、エクステンシ ョンワイヤを展開する (「カットシートフィーダを取り付ける」167ページ参照)

8 右側用紙ガイドの位置を、セットする用紙に合わせる

【カットシートフィーダがプリンタ前部に取り付けられている場合】



【カットシートフィーダがプリンタ後部に取り付けられている場合】

**ガイド**

用紙と用紙ガイドとの間に隙間がある場合は、右側用紙ガイドを左へ動かして隙間をなくしてください。なお、ガイドを用紙に押しつけ過ぎますと、吸入不良を起こすことがありますのでご注意ください。

**9 カットシートフィーダのセットレバーを「SET」の位置に戻し、
単票テーブル、リアスタッカを元に戻す**

10 オンライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオンライン状態(「オンライン」ランプ点灯)にし、パソコンからの印字データを送ります。

お願い

リアスタッカへ印字後の用紙をスタッカしすぎると用紙詰まりなどが発生します。スタッカ可能枚数は120枚(上紙55kg用紙でカットシートフィーダにセット可能な枚数)を目安に適度に取り除いてください。



用紙厚を調整する

用紙厚の調整とは、印字ヘッドとプラテンの間隔を使用する用紙の厚みに合わせることです。

本プリンタは、使用する用紙の厚さ、枚数に応じて自動的に印字ヘッドの位置を上下に調整する自動紙厚調整機能を装備しており、通常は紙厚調整の必要はありません。

宅配便伝票などの段差のある用紙に印字するときに、自動紙厚調整ではうまく印字できない場合に、以下の手順で手動紙厚調整を設定してください。

- 1) ドライバのプロパティで用紙厚を指定する。このとき、操作パネルの自動紙厚調整はオートのままにしておいてください。
- 2) 紙厚調整をオート以外に設定した場合、紙厚に関するドライバの設定は無視し紙厚調整の設定値に従います。

1 オフライン状態にして**設定/メニュー**スイッチを押す

メニュー モードになります。

2 ◇または▷スイッチを押して「ソウチキノウセッティ」を表示させる

3 スイッチを押して、下のレベルに移動する

4 ◇または▷スイッチを押して「カミアツチヨウセイ」を表示させる

5 スイッチを押して、下のレベルに移動する

6 ◇または▷スイッチを押してレンジ 1 ~ D を選択する

操作パネルから用紙厚を調整するときは、97 ページの表を参考にしてください。

操作パネルの紙厚調整のレンジが“1”的とき、印字ヘッドとプラテンの間隔は最も狭くなり、“D”的とき最も広くなります。

7 設定/メニュースイッチを押す

設定値の先頭に「*」が表示され、その値が設定されます。

8 登録・終了スイッチを押し設定登録メニューを表示させる

: セッティトウロク
: セッティトリケシ

9 スイッチを押して設定を登録する

スイッチを押すと、設定した内容で登録します。

これを実行しないとここまで設定した内容は保存されません。

スイッチを押すと、設定した内容が取り消しになります。

用紙の種類と厚さ			レンジ												
1枚紙	複写紙	推奨厚さ (mm)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D
連量 45 ~70kg	一般的な 1P (連量 34kg)	0.08													
連量 70~ 110kg	一般的な 2P	0.13													
連量 110 ~135kg	一般的な 3P	0.18													
ハガキ 各種封筒 特殊紙 など	一般的な 4P	0.23													
	一般的な 5P	0.28													
	一般的な 6P	0.33													
	一般的な 7P	0.38													
	一般的な 8P	0.43													
	一般的な 9P	0.48													
	各種宅配伝 票(ゆうパッ クなど)	0.53													
		0.58													
		0.63													
		0.68													

お願い

手動でお使いになる場合は、用紙の厚さに対して下記の目安に沿って手動紙厚調整レンジをセットしてください。

手動紙厚調整は数字1~9、英字A~Dの13段階あり、操作パネルによりレンジ1から1レンジ増す毎に約0.05mm単位で用紙と印字ヘッドの間隔が広くなります。おおよその目安として1~2の設定で1枚、1レンジ増すごとに用紙1枚分間隔が広くなります。使用する用紙の複写枚数、厚さに応じて適切な印字品質となるように手動紙厚調整レンジを設定してください。

使用する用紙に対して、手動紙厚調整レンジが適切でないときは、次のような現象が起こることがあります。

用紙厚に対して手動紙厚調整レンジの設定が広すぎるとき
印字抜けが生じことがあります。

用紙厚に対して手動紙厚調整レンジの設定が狭すぎるとき

- 印字中にリボンがはずれたり、たるんだりして印字ヘッドの故障の原因になることがあります。
- 用紙の端面が切れたり、しわになったりすることができます。
- リボンによって用紙が汚れることがあります。
- 用紙の送りが悪くなることがあります。
- キャリッジが正常に動かなくなることがあります。

◆ 紙厚調整の動作タイミングについて

・紙厚調整がオートのとき

印字動作を開始するときに、自動的に用紙厚が調整されます。

・紙厚調整が手動のとき

操作パネルでの設定後、次の印字動作を開始するときに、設定した用紙厚に調整されます。

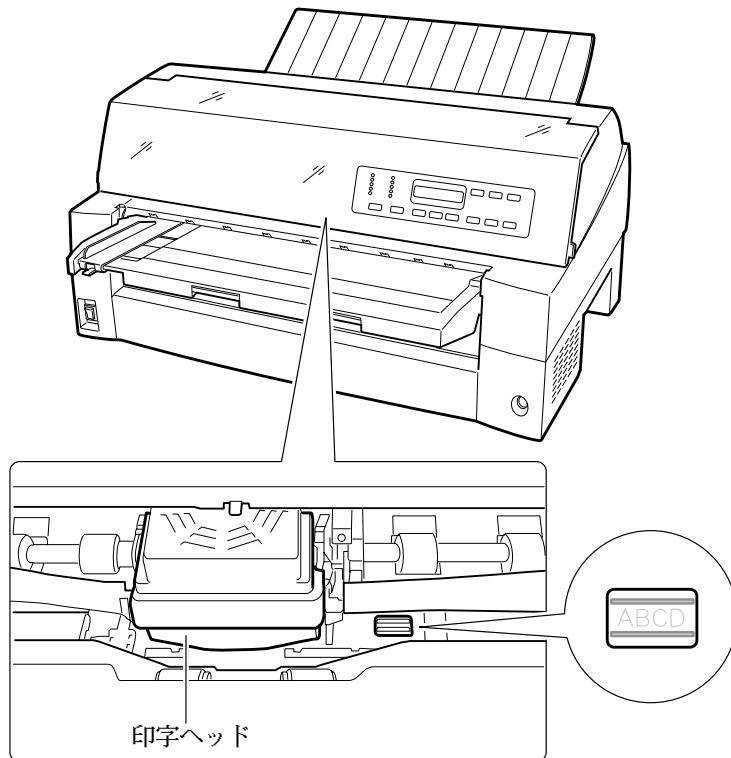


印字開始位置について

必要に応じてセットした用紙の行方向の印字開始位置を変えます。

注) 用紙セット直後は Windows ドライバの上端余白に対応するため、上端余白が最小値となる位置に仮吸込されます。最初に**微小改行**スイッチ、**微小改行**スイッチ、または**改行**スイッチを押したとき、機能設定で設定した上端余白量に移動した後、スイッチ操作分用紙を移動します。

印字開始位置を調整するとき、カードガイドの右側窓のラインが文字の上下端を示しているので、これを目安にして用紙を合わせます。



印字開始位置（行方向）を微調整する

操作パネルの操作で行方向の印字位置を微調整できます。トップカバーを開いているとプリンタが動作しないので、トップカバーを閉じてから操作してください。

◆ 正方向（用紙を送り出す方向）に微調整するとき

微小改行 スイッチを押します。

単票用紙、前カットシートフィーダの用紙、および前トラクタの用紙は、正方向に1/180インチ改行します。

押し続けると連続して正改行します。

後カットシートフィーダの用紙および後トラクタの用紙に対しては、逆改行となります。

◆ 逆方向（用紙を戻す方向）に微調整するとき

微小改行 スイッチを押します。

単票用紙、前カットシートフィーダの用紙、および前トラクタの用紙は、逆方向に1/180インチ改行します。

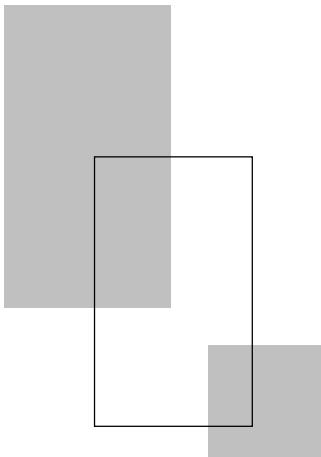
押し続けると連続して逆改行します。

後カットシートフィーダの用紙および後トラクタの用紙に対しては、正改行となります。



ガイド

連続帳票用紙の印字開始位置を**微小改行** スイッチまたは**微小改行** スイッチを押して変更した場合は、変更した分が次ページでも加減されます。また、「連続帳票用紙をカット位置に送る」(67ページ参照)でも、用紙を送り出す際に、変更した分が加減されます。さらに、カット位置に用紙を送り出した状態で、**微小改行** スイッチを押した場合は、その位置から印字が開始されます。



第 4 章

用紙について

この章では、使用できる用紙と取り扱い上の注意点について説明します。

連続帳票用紙	102
一般用紙（前・後トラクタ）	106
はがき用紙（前トラクタ）	107
封筒用紙（前トラクタ・後トラクタ）	108
タック用紙（前・後トラクタ）	110
宅配伝票（前トラクタ）	112
手差しで使用する単票用紙	113
一般用紙	113
用紙のとじ方法	115
はがき	115
封筒	116
宅配伝票	118
カットシートフィーダ（オプション）で 使用する単票用紙	119
一般用紙	119
用紙のとじ方法	121
はがき	121
プレプリント用紙を使用するとき	122
用紙の形状について	125
取り扱い上のご注意	126

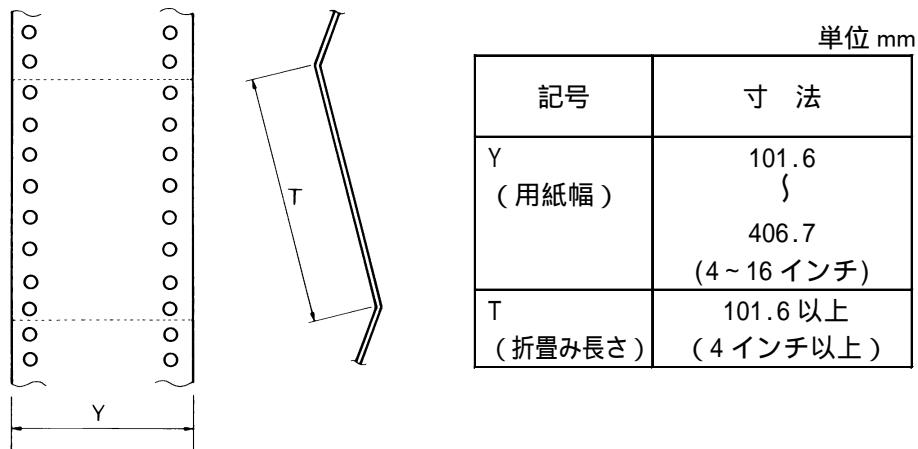


連続帳票用紙

このプリンタで使用できる連続帳票用紙は、次のとおりです。

◆ 用紙の寸法

連続帳票用紙の寸法を下図に示します。



◆ 用紙の構成枚数

オリジナルを含む用紙の構成枚数と用紙の厚さ(連量)の組合せは、下表のとおりです。下表以外の用紙の組み合わせでは、用紙送り精度の乱れなどがより発生しやすくなります。

用紙の構成枚数

用紙種類	枚数	連量 (kg)	備考
一枚用紙	1P	45, 55, 70	
ノンカーボン紙	2P	34, 43, 55, (70)	()内の連量の用紙は、複数つづりの一番下の用紙のみ使用可能です。
	3P	34, 43, (55, 70)	
	4P	34, (43, 55, 70)	
	5P	34, (43, 55)	
	6P	34, (43, 55)	
	7P	34, (43, 55)	
	8P	34, (43, 55)	
	9P	34, (43, 55)	

用紙種類	枚数	連量 (kg)	備考
裏 カーボン紙	2P	34, 45, 55, (70)	
	3P	34, 45, (55, 70)	
	4P	34, (45, 55, 70)	
	5P	34, (45, 55)	
	6P	34, (45, 55)	
	7P	34, (45, 55)	
	8P	34, (45, 55)	
	9P	34, (45, 55)	
中 カーボン紙	2P	30, 40, 45, (55, 70)	
	3P	30, 40, (45, 55)	
	4P	30, 40, (45, 55)	
	5P	30, 40, (45, 55)	

連量 70kg を超える用紙については、はがき用紙を参照してください。
(「はがき用紙（前トラクタ）」107 ページ参照)

注 1) 連量とは、四六判(788×1091mm)の用紙 1000 枚の重量を kg で示した値です。

注 2) ノンカーボン紙および裏カーボン紙の連量は、用紙メーカによって多少異なる場合があります。その場合、表の数値に近いものを選んでください。なお、裏カーボン紙は、多湿環境で使用しないでください。

注 3) 中カーボン紙は、間に挿入されるカーボン紙を用紙 1 枚に相当するものとして数え、複写枚数は 5P までです。
中カーボン紙に使用するカーボン紙の厚さは、0.03mm 以下としてください。

注 4) 用紙の種類および保管状況により、印字品質に差が出る場合があります。
不具合が発生する用紙については、その度合いが容認できるものであるかどうか判断の上ご使用ください。

注 5) 全体の用紙厚さは、0.65mm 以下にしてください。

注 6) とじられた用紙の大きさは、各層とも互いに同一になるようにしてください。

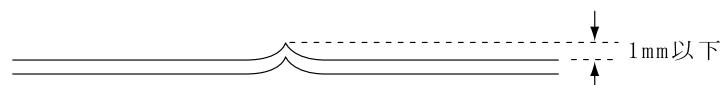
◆ 用紙のとじかた

連続帳票用紙の重ね合わせのとじ方は、「点のりとじ」にしてください。のり付け方法にはいろいろありますが、折り曲げやすいように点のりで、各層間で交互の位置にのり付けする方法をおすすめします。

綴じ方法		適用する用紙枚数	備考
点のりとじ	<p>点のり部 2インチ以下</p>	9枚まで	本プリンタに最も適したとじ方です。
ダブルギャザー	<p>3インチ以下</p>	9枚まで	用紙枚数が多くなるほど、用紙層ズレが出やすくなります。
線のりとじ	一列	9枚まで	用紙のしなやかさが失われ堅くなってしまうので、用紙ジャム等が出やすくなります。
	二列		
<p>線のり部</p>			

注 1) 上記説明図では帳票の片側のみ示していますが、実際には両側をのり付けしてください。

注 2) 完成した用紙の折畳み部分を平らに伸ばしたときのふくらみは、下図に示すように 1mm 以下になるようにしてください。



注 3) プリンタ故障の原因になるので、金属ホチキスとには使用しないでください。

注 4) 帳票の用紙送り穴の層間でのズレは、0.4mm 以下のものを使用してください。

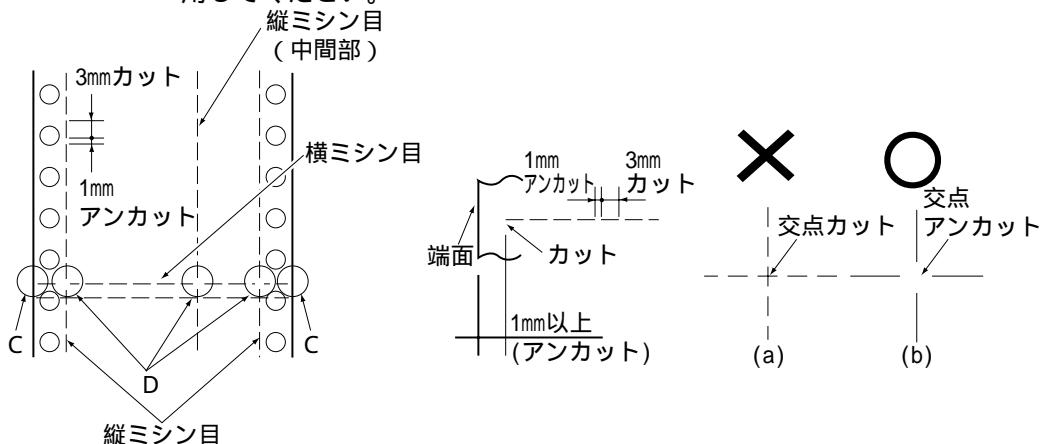
注 5) 用紙綴じ部でリボンがズレて印字の上下が欠ける場合は、機能設定「ソノセッティ」の「リボン ホゴキノウ」を「ユウコウ」にしてください。

◆ ミシン目の入れ方

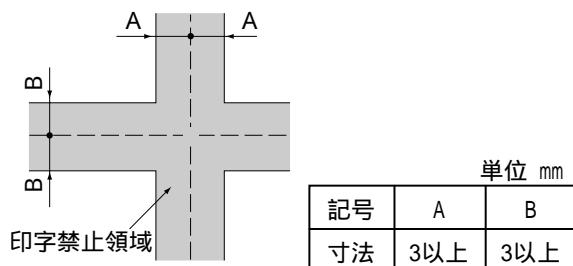
ミシン目の入れ方によっては、用紙送りに悪影響を与えることがあります。特に1枚用紙の場合、ミシン目を強く入れると使用中にミシン目から破けることがあります。

ミシン目の入れ方は、次のようにしてください。

- ・1枚用紙のミシン目（縦、横ミシン目共）のカット（切る部分）およびアンカット（切らない部分）の比率は、約3:1にしてください。
- ・横ミシン目の端面アンカット寸法（両端部C）は、1mm以上にしてください。
- ・縦ミシン目と横ミシン目の交点（D）部は交点アンカット（b）の方法にしてください。交点カット（a）は、行わないでください。
- ・複写用紙についても同様の注意が必要です。あらかじめ確認の上、使用してください。



注) ミシン目上に印字すると、用紙にキズがついたりプリンタの故障となることがありますので、下の図に示す斜線部には印字しないでください。

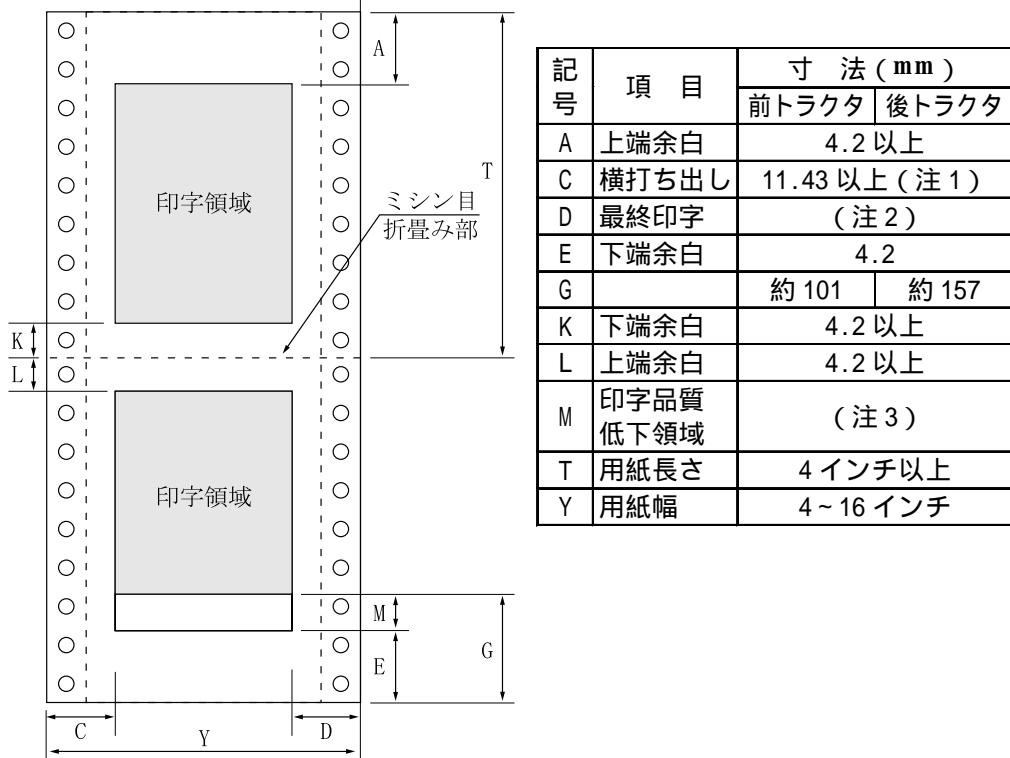


一般用紙（前・後トラクタ）

連続帳票用紙の印字領域を下図に示します。

◆ 用紙サイズおよび印字領域

連続帳票用紙の印字領域を下図に示します。



注 1) C 値は用紙幅 15 インチ以下の場合は、16 インチの場合は、14 ~ 30mm となります。

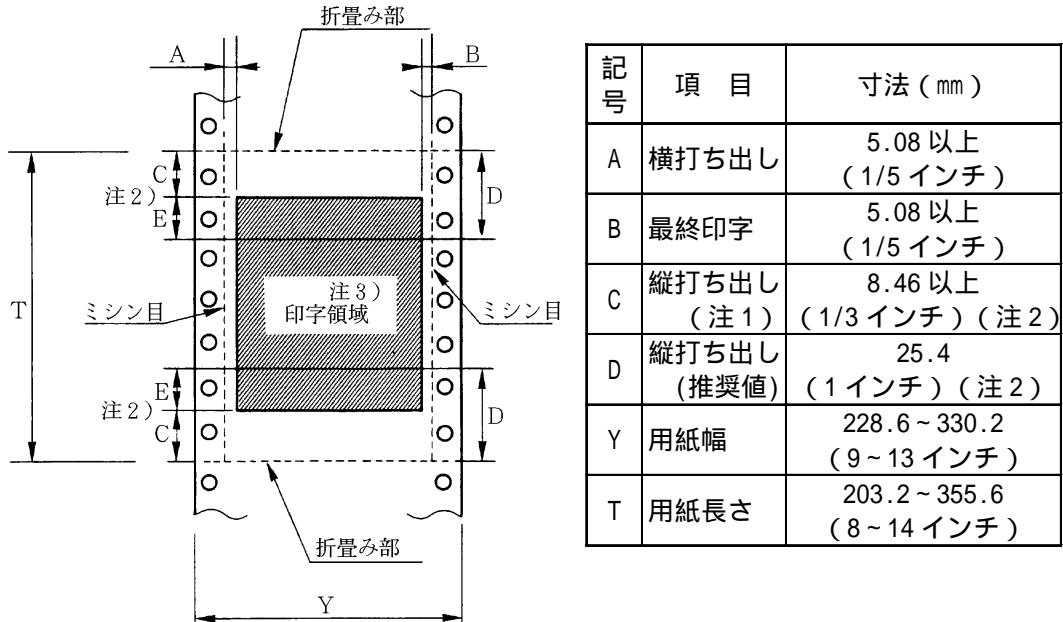
注 2) D 値については用紙幅と印字行数によりますが、最小 11.43mm とします。

注 3) M の領域はトラクタから外れた領域です。トラクタから外れた後の改行がうまくいかない場合や、逆改行を行う場合は、トラクタの位置(前トラクタ約 101mm、後トラクタ約 157mm)で PE を検知するように設定変更してください。機能設定「ヨハクリョウ セッティ」の「Fトラクタ カタンヨハク」、「Rトラクタ カタンヨハク」でそれぞれ変更できます。

はがき用紙（前トラクタ）

このプリンタで連続帳票のはがき用紙を使用できます。はがき用紙を使用する場合は、前方（操作パネル側）から用紙をセットします。

◆ 用紙サイズおよび印字領域



- 注1) C領域では印字ユニットの横移動はさせないでください。
(用紙のふくらみなどにより、リボン汚れおよび用紙引っ掛けの原因になります。)
- 注2) Eの印字領域内では、多少改行が乱れることがあります。
- 注3) 印字領域内にミシン目がある場合、印字はそのミシン目から 5.08mm 以上離してください。ただし、折畳み部以外のミシン目は、カットおよびアンカット比を 2:1 にしてください。

◆ 連量紙

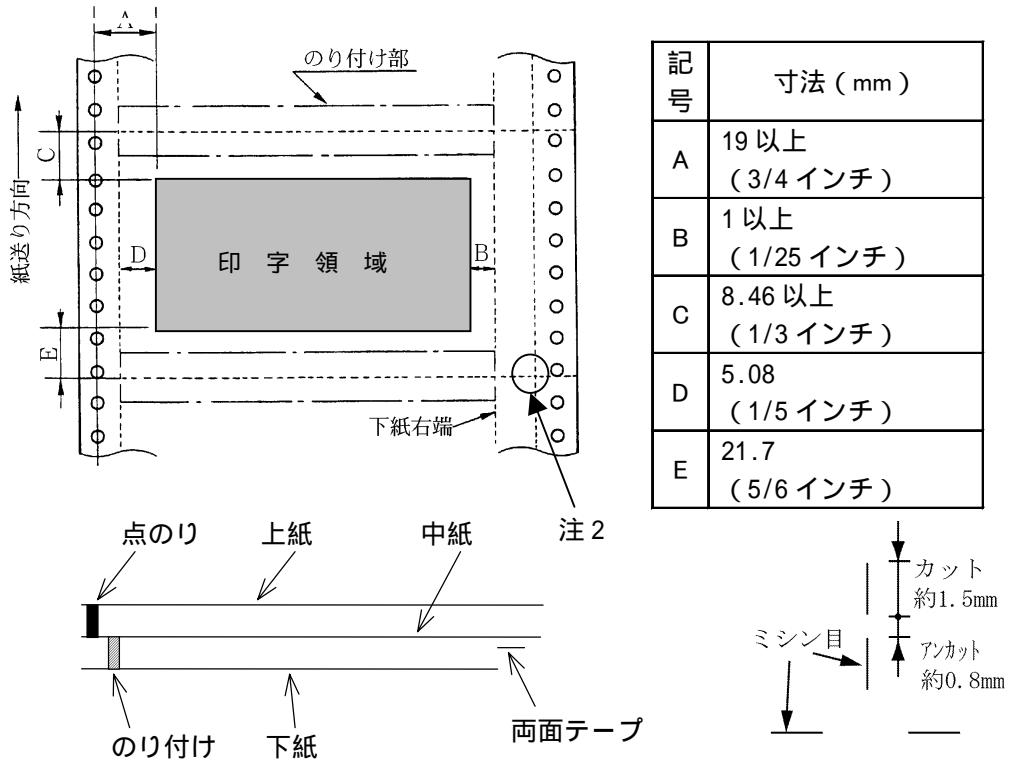
135kg 以下とし、枚数は1枚のみとします。

◆ ミシン目の入れ方

一般連続帳票用紙と同様です。

封筒用紙（前・後トラクタ）

◆ 用紙サイズおよび印字領域



注 1) 改行精度の保証範囲は、25.4mm 以上です。

注 2) ミシン目の寸法は、右図をおすすめします。

(ミシン目の強い場合は、破れやすくなります。)

縦ミシン目と横ミシン目の交点部は交点アンカットの方法にしてください。
(「ミシン目の入れ方」105 ページ参照)

注 3) のり付けの幅は、1/6インチ以下とします。

注 4) のり付けによる厚み増加は、0.1mm 以下とします。

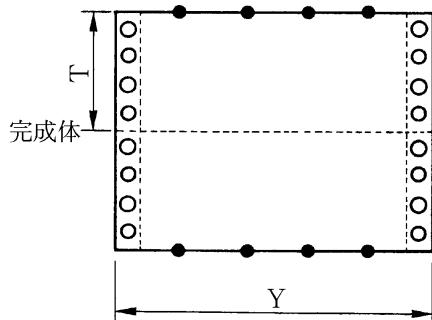
注 5) 穴ズレは、0.3mm 以下とします。

◆ 紙質構成および連量

	上紙	中紙	下紙
紙質	裏カーボン紙	ノンカーボン紙	ノンカーボン紙
連量 (kg)	33.5	70	70

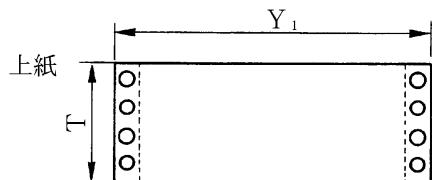
◆ 形状および構造

----- : ミシン目
—●— : ミシン目 + 折り目



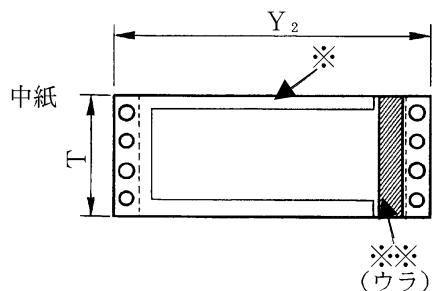
(a) 大きさ

記号	寸法 (mm)
T	127 (5インチ)
Y	254 (10インチ)
Y1	254 (10インチ)
Y2	254 (10インチ)
Y3	228.6 (9インチ)



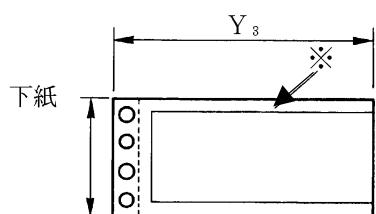
(b) とじ方法

とじ方法	上紙 / 下紙	中紙 / 下紙
種類	点のり	棒のり
位置	両端	左端・上下端 1/6インチ幅 (印)



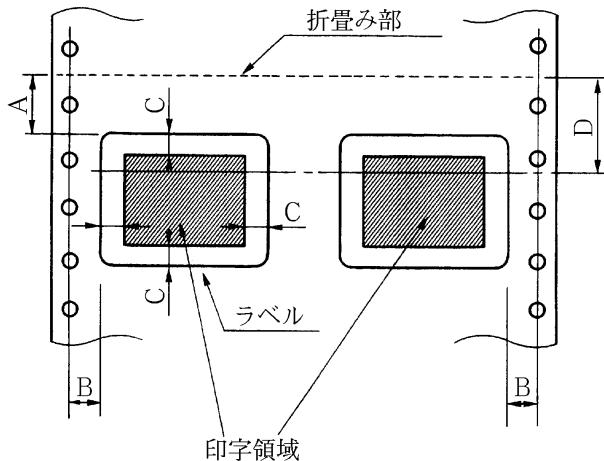
両面テープ使用 (印)

銘柄	アスコットテープ	
幅 (mm)	はくり紙	12
	肉のり	10



タック用紙（前・後トラクタ）

◆ 用紙サイズおよび印字領域



記号	寸法 (mm)
A	2.54 以上 (1/10 インチ)
B	6.35 以上 (1/4 インチ)
C	2.54 以上 (1/10 インチ)
D	25.4 (1 インチ) (注)

用紙サイズ（台紙）は、一般連続帳票用紙と同じです。

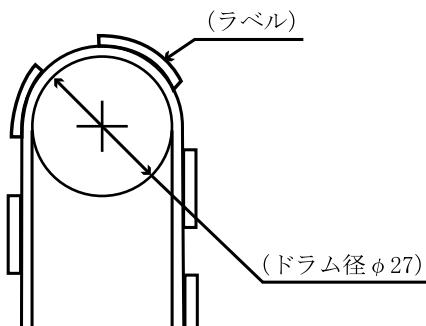
注) D 範囲内での印字領域では、多少改行が乱れる場合があります。
(改行量が 1/6 インチ以上の場合は、となり合う印字行の文字同士
が重なり合うことは有りません。)

◆ 用紙厚さ

- 用紙厚さは、ラベル + 台紙が 0.2mm 以下となるようにしてください。
- 台紙の厚さは、0.1mm 以下としてください。
- ラベルの厚さは、0.1mm 以下としてください。

◆ ラベルの貼付け強度

- 次の条件で、ラベルが台紙からはがれないものを使用してください。
ラベルのめくれのあるもの、折れ曲がりのあるものは使用しないでく
ださい。



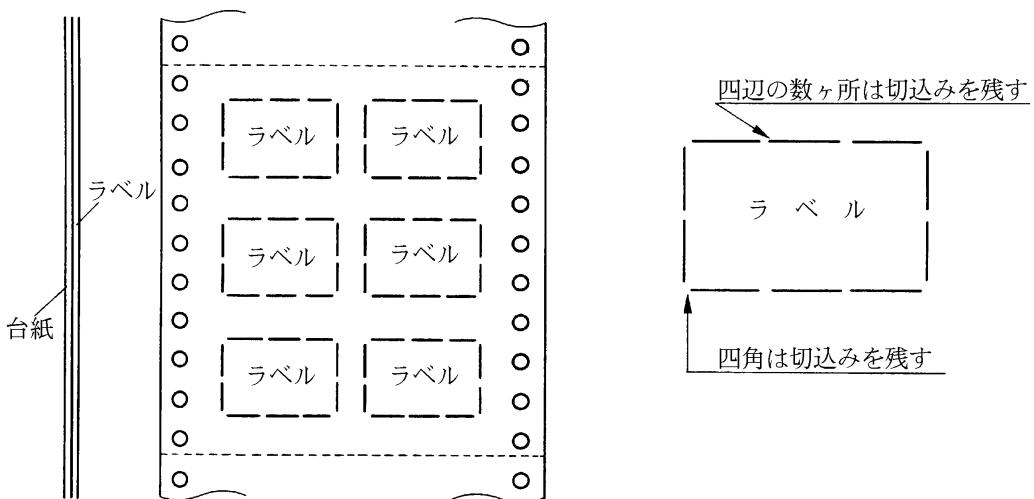
項目	条件
巻付ドラム径	27
巻付角度	180 °
巻付時間	24 時間
周囲温度	40
周囲湿度	30%RH

◆ 用紙の形態

- ラベルのはがれによる用紙送行不能、または印字ヘッドの損傷など、重大なトラブルを防止するために下記用紙形態をおすすめいたします。

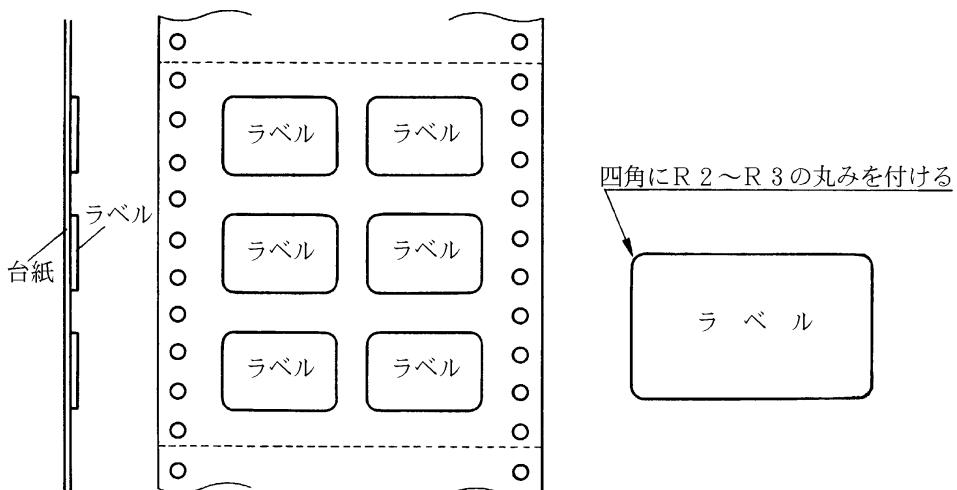
1)カストリは行わず、ラベルの四角および他の四辺に切込みを残した用紙。

カストリとは、台紙全体に張られた粘着シールをラベルの部分だけを残してはぎ取ることを言います。



この形態は、ほぼ完全にラベルのはがれを防止することができ、最もおすすめするものです。できる限りこの形態を使用するようにしてください。

2)カストリを行う場合、必ずラベルの四角に丸みを付けてください。



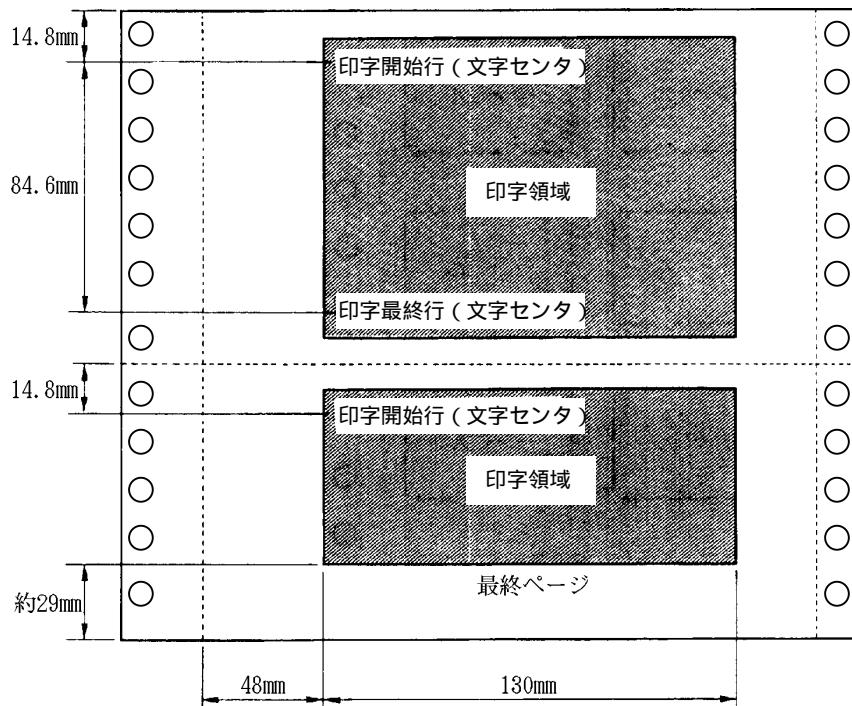
宅配伝票（前トラクタ）

ここでは宅配伝票としての代表的な郵便小包ラベル（ゆうパック B、B-2、B-3）について規定します。

他の宅配伝票を使用する場合は、十分確認の上ご使用願います。

◆ 印字領域

郵便小包ラベル



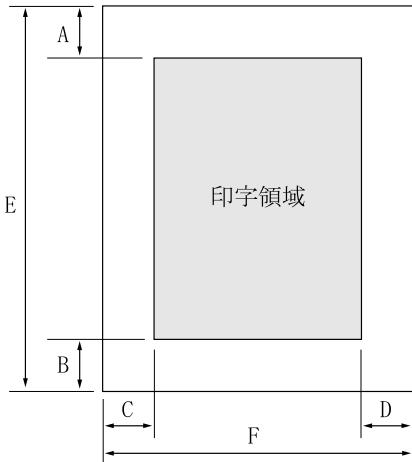
注 1) 印字領域外への印字は禁止します。



手差しで使用する単票用紙

一般用紙

◆ 用紙サイズおよび印字領域



記号	項目	寸法 (mm)	
		単票セット フリーオフ の場合	単票セット フリーオン の場合
A	上端余白 (注2)	4.2 以上	4.2 以上
B	下端余白 (注2)	4.2 以上	4.2 以上
C	左端余白 (注3) (注4)	5.08 以上	5.08
D	右端余白 (注3)	5.08 以上	5.08 以上
E	用紙長さ	70~420(注5)	70~364
F	用紙幅	55~420	100~364

注1) 印字領域以外への印字は禁止します。

注2) A、B 値は、ドットピッチが 1/180 インチのときの値です。

注3) B4 横より幅の大きな用紙を使用する場合は、C 値と D 値は同時に実現できません。

注4) A3 横を使用する場合は、C 値は 33~38.5mm となります。

「ヨリヨウ セッテイ」の「タヨウシノサツヨウ」(49 ページ参照)で印字領域を「ヒダリヨウ」に設定している場合は、C 値は 23.7~29.2mm となります。

注5) 単票セットフリーオフの場合、用紙長さが 90mm 以下の用紙は、セットしにくくなります。

また、前カットシートフィーダを取り付けたとき、用紙長さは 90~420 mm となります。

◆ 用紙枚数

用紙種類	枚数	連量 (kg) (注 1)	備考
一枚用紙	1P	45, 55, 70, 90, 110, 135	
ノンカーボン紙 (注 2)	2P	34, 43, 55, (70)	・()内の連量の用紙は、複数つづりの一番下の用紙のみ使用可能です。
	3P	34, 43, (55, 70)	
	4P	34, (43, 55, 70)	
	5P	34, (43, 55)	
	6P	34, (43, 55)	
	7P	34, (43, 55)	
	8P	34, (43, 55)	
	9P	34, (43, 55)	
裏カーボン紙 (注 2)	2P	34, 44, 55, (70)	
	3P	34, 44, (55, 70)	
	4P	34, (44, 55, 70)	
	5P	34, (45, 55)	
	6P	34, (45, 55)	
	7P	34, (45, 55)	
	8P	34, (45, 55)	
	9P	34, (45, 55)	

注 1) 連量とは、四六判(788mm×1091mm)の用紙 1000 枚の重量を kg で示します。

注 2) ノンカーボン紙および裏カーボン紙の連量は、メーカによって多少異なる場合がありますが、その場合は表の数値に近いものを選んでください。

注 3) 中カーボン紙は、単票用紙の場合使用しないでください。

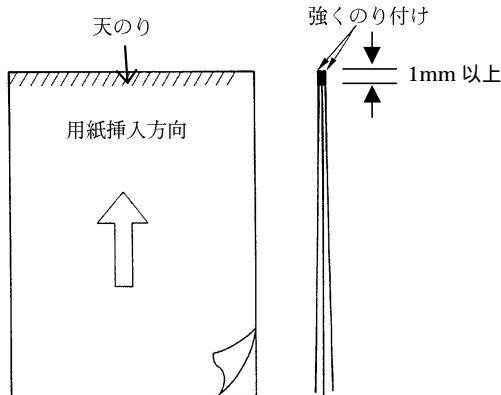
注 4) 単票用紙で用紙の排出方向を手前排出(テーブル側)にしたとき、用紙下端部の角折れが発生する場合には、排出方向を後方排出(スタッカ側)に切り替えてご使用してください。

切り替えるには、操作パネルの「手前排出」スイッチを押して「手前排出」ランプを消灯します(「単票用紙の排出方向を切り替える(手前排出)」31 ページ参照)。または、機能設定の「ソウチキノウ セッティ」の「テサン ハイシュツホウカラ」を「コウホウハイシュツ」に設定します。(44 ページ参照)

(用紙下端部の印字デューティが高い時に、角折れが発生する場合があります。)

用紙のとじ方法

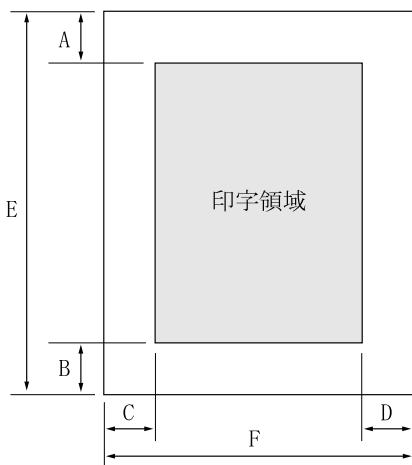
とじ方法は、必ず下図のように天のりとじにしてください。



- 注 1) のり付け部が波打ったり硬くなったりしないように、のりの量と種類に注意してください。
- 注 2) 束のりとじの用紙はとじ力が弱いことから分離したり、のりがはみ出したりしてジャムが発生する可能性がありますので、使用を避けてください。

はがき

◆ 用紙サイズおよび印字領域

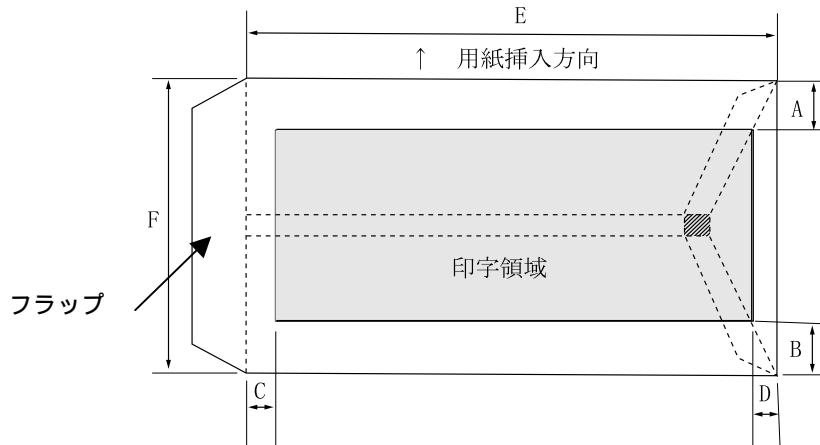


記号	項目	寸法 (mm)
A	上端余白	4.2 以上
B	下端余白	4.2 以上
C	左端余白	5.08 以上
D	右端余白	5.08 以上
E	用紙長さ	100, 148, 200
F	用紙幅	100, 148, 200

- 注) 往復はがきは、折り目のないものを使用してください。
私製はがきを使用する場合は、十分に確認を行ってから使用してください。

封筒

◆ 用紙サイズおよび印字領域



記号	項目	寸法 (mm)
A	上端余白	7.38 以上
B	下端余白	7.38 以上
C	左端余白	12 以上
D	右端余白	12 以上
E	用紙幅	148 ~ 332
F	用紙長さ	90 ~ 240

◆ 封筒サイズおよび坪量

封筒の種類	寸法		坪量 (g/m ²)		最大用紙厚 (mm)
	E (mm)	F (mm)	クラフト紙	その他の紙	
長形2号	277	119	70, 85	70 以上 85 以下	0.48
長形3号	235	120			
長形4号	205	90	50, 60, 70, 85	55 以上 85 以下	0.48
長形5号	185	90			
角形2号	332	240			
角形3号	277	216			
角形4号	267	197	70, 85	70 以上 85 以下	0.48
角形5号	240	190			
角形6号	229	162			
角形7号	205	142			
角形8号	197	119	50, 60, 70, 85	55 以上 85 以下	0.48
洋形1号	176	120			
洋形2号	162	114			
洋形3号	148	98			
洋形4号	235	105	50, 60, 70, 85	70 以上 85 以下	0.46
洋形5号	217	95			
洋形6号	190	98			
洋形7号	165	92			
US10	239	105	81 以下	81 以下	0.46
ジャーマンタイプ	220	111			

注 1) 印字領域以外への印字を禁止します。

注 2) 封筒印字時は、印字汚れ・かすれなどが発生しやすくなりますので、十分確認の上使用してください。また、自動紙厚調整機構(APTC)の故障の原因となりますので、手動紙厚調整に切り替えて使用してください。(「用紙厚を調整する」95 ページ参照)

注 3) 印字領域内の用紙の段差は、最大 0.15mm 以下としてください。

注 4) のり付け部の上およびその周辺 5mm 以内への印字を禁止します。

注 5) フラップ部破線の食込みが封筒肩より 12mm 以上の場合には、破線部の右側で印字してください。

注 6) フラップ部などがのり付け加工された封筒は、使用しないでください。

注 7) 切手およびシールなどを貼付けた封筒は、使用しないでください。

注 8) 斜線部への印字は、リボン汚れが発生し易いのでさけてください。

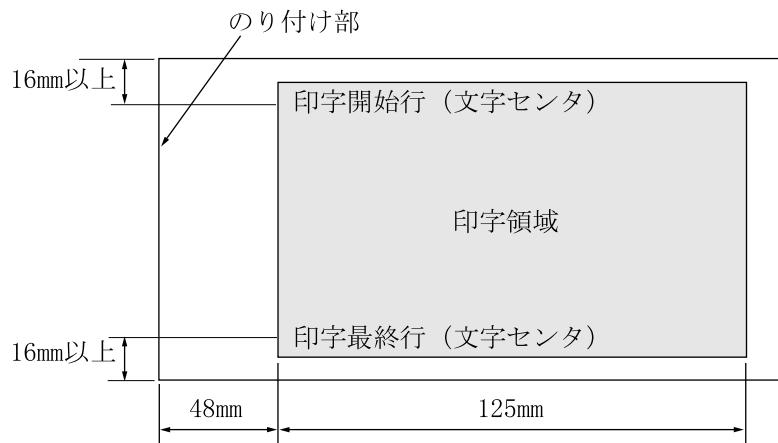
注 9) 封筒は単票セットフリーオフにして印字してください。単票セットフリーオンで印字すると、封筒のフラップ部(斜めの部分)を用紙端面と判断し、印字開始位置がズレることがあります。

注 10) 封筒のフラップ部(斜めの部分)は第1ドットの左側となるように用紙ガイドを移動して使用してください。(116 ページ参照)

宅配伝票

ここでは宅配伝票としての代表的な郵便小包ラベル（ゆうパック）について規定します。他の宅配伝票を使用する場合は、十分確認の上ご使用願います。郵便小包ラベル（普通用A、C）

◆ 印字領域



注 1) 印字領域以外の印字は禁止します。

注 2) 用紙の最大厚さは、ゆうパック伝票(Max 0.6mm)以下としてください。

注 3) 折れ曲がりのある用紙は、斜行、角折れ、および用紙づまりの原因になります。

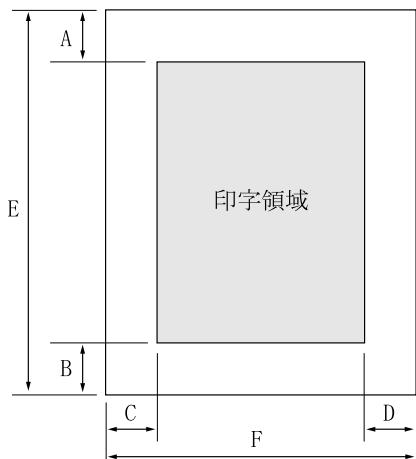


カットシートフィーダ(オプション)

で使用する単票用紙——

一般用紙

◆ 用紙サイズおよび印字領域



記号	項目	寸法(mm)	
		フロントカットシートフィーダ	リアカットシートフィーダ
A	上端余白 (注2)	4.2 以上	4.2 以上
B	下端余白 (注2)	4.2 以上	4.2 以上
C	左端余白 (注3) (注4)	5.08 以上	5.08 以上
D	右端余白 (注3)	5.08 以上	5.08 以上
E	用紙長さ	70 ~ 420	100 ~ 420
F	用紙幅 (注5)	100 ~ 420	100 ~ 420

注1) 印字領域以外への印字は禁止します。

注2) A、B 値は、ドットピッチが 1/180 インチのときの値です。

注3) B4 横より幅の大きな用紙を使用する場合は、C 値と D 値は同時に実現できません。

注4) A3 横を使用する場合は、C 値は約 37.3mm となります。

「ヨルクリヨウ セッティ」の「タヨウシ / サタンヨウ」(49 ページ参照)で印字領域を「ヒダ リヨセ」に設定している場合は、C 値は約 28mm となります。

注5) カットシートフィーダで複写紙を使用する場合、F 値は 182mm 以上のものを使用してください。

◆ 用紙枚数

用紙種類	枚数	連量 (kg) 注1)	備考
一枚用紙	1P	45, 55, 70, 90, 135	
ノンカーボン紙 注2)	2P	34, 43, 55, (70)	・()内の連量の用紙は、複数つづりの一番下の用紙のみ使用可能です。
	3P	34, 43, (55, 70)	
	4P	34, (43, 55, 70)	
	5P	34, (43, 55)	
裏カーボン紙 注2)	2P	34, 44, 55, (70)	
	3P	34, 44, (55, 70)	
	4P	34, (44, 55, 70)	
	5P	34, (45, 55)	

注 1) 連量とは、四六判(788mm×1091mm)の用紙 1000 枚の重量を kg で示します。

注 2) ノンカーボン紙、裏カーボン紙の連量は、メーカによって多少異なる場合がありますが、その場合表の数値に近いものを選んでください。

注 3) 中カーボン紙は、単票用紙の場合使用しないでください。

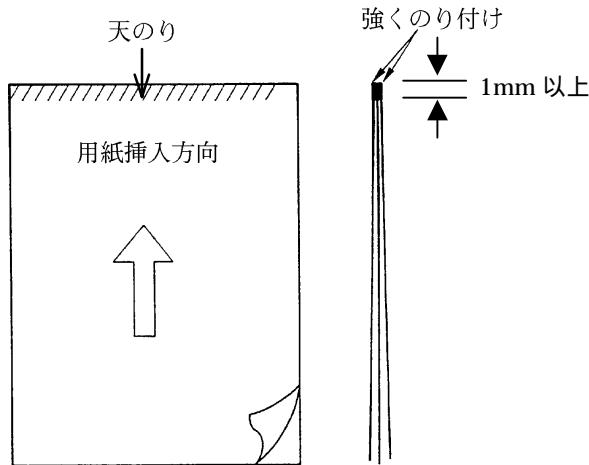
注 4) 単票用紙で用紙の排出方向によっては、用紙下端部の角折れが発生する場合があります。この場合、リアカットシートフィーダの場合は手前排出(単票テーブル側)に、フロントカットシートフィーダの場合は後方排出(スタッカ側)に、排出方向を切り替えてご使用ください。

(用紙下端部の印字デューティが高い時に、角折れが発生する場合があります。)

排出方向を切り替えは、操作パネルの「手前排出」スイッチを押して「手前排出」ランプを点灯させると手前排出になり、消灯させると後方排出になります(31 ページ参照)。または、機能設定の「**カットセイティ**」の「CSF ハイシュウカウ」を「**テマハイシュウ**」または「**カウハイシュウ**」に設定します(44 ページ参照)。

用紙のとじ方法

とじ方法は、必ず下図のように天のりとじにしてください。



注 1) のり付け部が波打ったり硬くなったりしないように、のりの量と種類を注意してください。

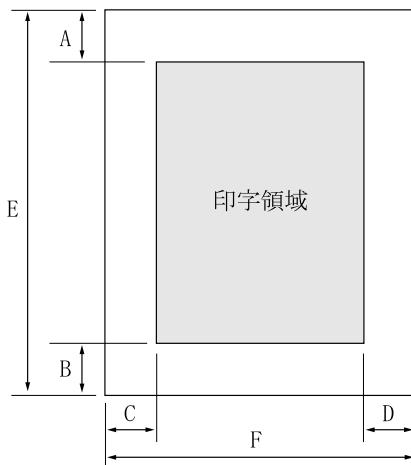
注 2) 束のりとじの用紙はとじ力が弱いことから分離したり、のりがはみ出したりしてジャムが発生する可能性がありますので、使用を避けてください。

◆ ホッパ容量

- (1) 一般用紙 (55kg、1P) … 120 枚
- (2) 5P (34kg) 用紙 ……………… 25 枚
- (3) 官製はがき ……………… 40 枚

はがき

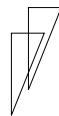
◆ 用紙サイズおよび印字領域



記号	項目	寸法 (mm)
A	上端余白	4.2 以上
B	下端余白	4.2 以上
C	左端余白	5.08 以上
D	右端余白	5.08 以上
E	用紙長さ	100, 148, 200
F	用紙幅	100, 148, 200

注 1) 往復はがきは、折り目のないものを使用してください。

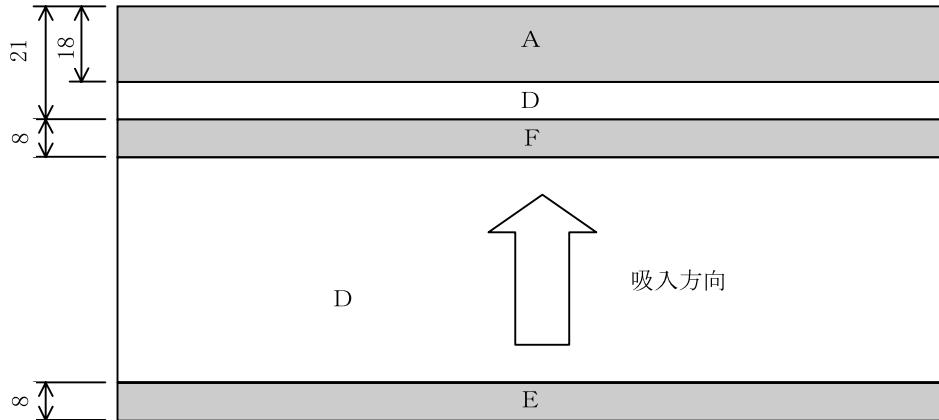
注 2) 私製はがきを使用する場合は、十分に確認を行ってから使用してください。



プレプリント用紙を使用するとき――――――

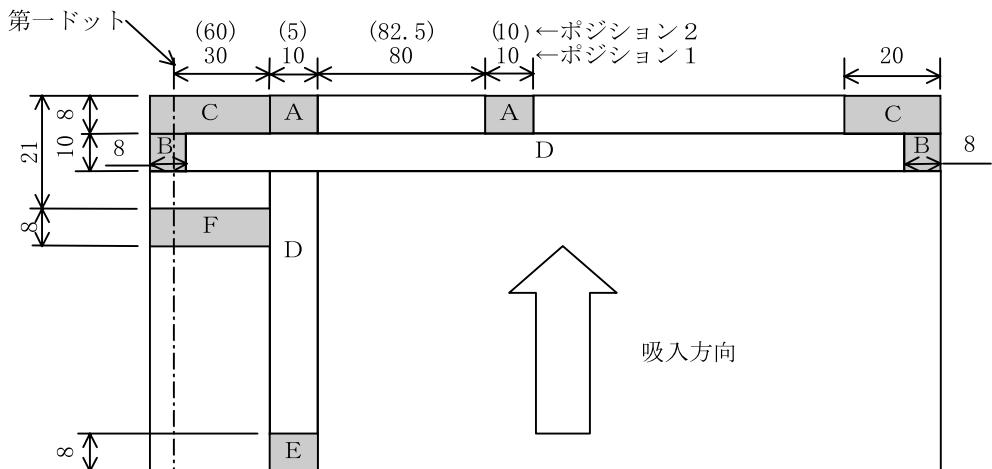
あらかじめ文字や枠などを印刷してある用紙（プレプリント用紙）を作成したり、使用したりするときは、次の点に注意してください。

◆ 単票セットフリーイン時の手差し单票のプレプリント禁止領域



- (1) A、E、F 部は光反射率 60%以下の色(例えば黒)は使用しないでください。
- (2) D 部に反射率 60%以下の色(例えば黒)を使用する場合は、「プレプリント禁止領域に印刷するとき」(124 ページ参照)に示す幅の条件に従ってください。

◆ 単票セットフリーオフ時の手差し単票、カットシートフィーダで
使用する単票、連帳の場合のプレプリント禁止領域

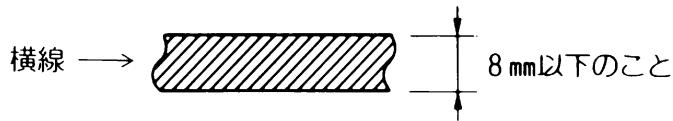


- (1) A、B、C、E、F 部は光反射率 60%以下 の色(例えば黒)は使用しないでください。
- (2) D 部に反射率 60%以下 の色(例えば黒)を使用する場合は、「プレプリント禁止領域に印刷するとき」(124 ページ参照) に示す幅の条件に従ってください。
- (3) B、C 部は「ソタノセッテイ」の「シャコウケンシュツ」と「ヨシガ インジ ポ ウシ」を「ムカ」にした場合は、プレプリントの制約はなくなります。
- (4) F 部は「ソウキノセッテイ」の「オトローテ インジ」を「ムカ」にすると、プレプリントの制約はなくなります。また、連帳使用時は適用外です。
- (5) ポジション 1、2 は「ソタノセッテイ」の「F パス キアリ 仔」と「R パス キアリ 仔」で設定できます。

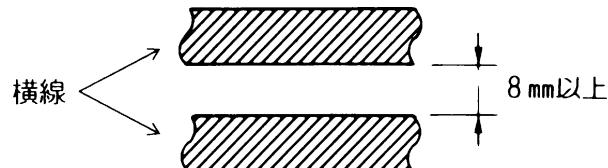
◆ プレプリント禁止領域に印刷するとき

やむを得ず D 部内に印刷するときは、次のようにしてください。

- (1) 斜線内に印刷する横線の太さは、下図に示すように 8mm 以下にしてください。



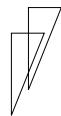
- (2) (1) の横線が連続するときは、下図に示すようにすきまを 8mm 以上あけてください。



注) 線の太さが 0.5mm 以下のときは、すきまが 4mm 以上でも可能です。

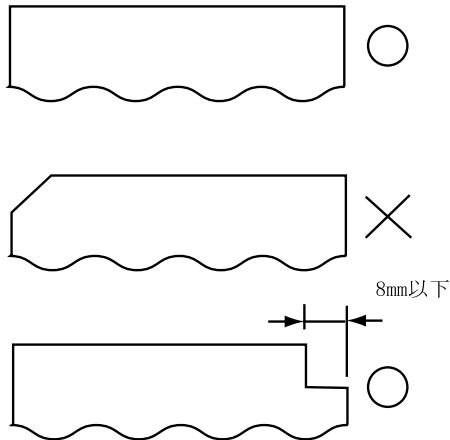
- (3) 斜線内に縦線を入れるときは、線の太さを 0.5mm 以下とし、斜線内に 1 本までとしてください。

やむを得ず A、B、C、E、F 部内に印刷するときは、線の太さを 0.5mm 以下とし、すきまを 4mm 以上あけてください。



用紙の形状について

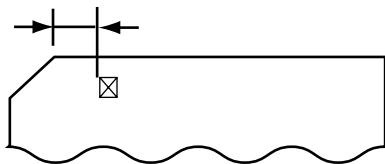
◆ 単票セットフリーイン時の用紙上端について



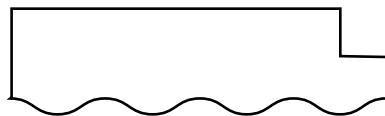
このような用紙はセット位置によって打ち出し位置がズレることがありますので、単票セットフリーインで使用してください。

用紙右上部の切り欠きは 8mm 以下としてください。

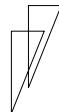
◆ 単票セットフリーイン時の用紙上端について



左端部の面取は第 1 ドットの左側となるように用紙ガイドを移動して使用してください。



用紙上端の切り欠きや面取が 8mm を越える場合は、機能設定で用紙吸入時の斜行検出を無効にして、使用してください。



取り扱い上のご注意

◆ 用紙の保管および取扱いについて

用紙を保管したり、取り扱ったりするときは、変形、破損が生じないように注意してください。湿気の多い所での保管は、絶対に避けてください。

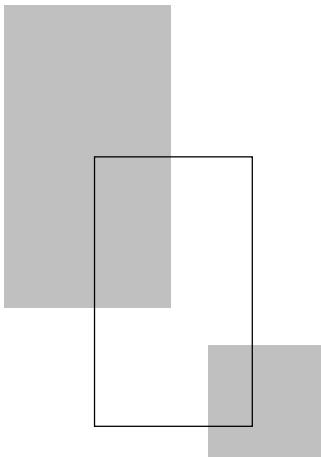
◆ 特殊用紙について

- ・この章に記述した仕様と異なる特殊用紙を使用するときは、用紙づまりなどのトラブルを予防するため、サンプルを作成して十分なためし印字を行い、使えることを確認してから使用してください。
- ・再生紙の種類によっては、インクリボンの寿命が短くなったり、用紙づまりが起きたりすることがあります。このときは、使用を中止し、紙質の良いものに変更してください。
- ・用紙厚段差のある用紙に印字すると、自動紙厚調整機構(APTC)の故障の原因となりますので、手動紙厚調整に切り替えて、使用してください(「用紙厚を調整する」95 ページ参照)。

◆ 使用できない用紙

次のような用紙は使用しないでください。次のような用紙を使用すると、用紙送りが不安定になり、紙づまり、折れ、および印字ずれの原因となります。最悪の場合には、印字ヘッドのピンが折れる可能性もあります。

- ・極端に薄い紙または厚い紙(用紙規格を満たさないもの)
- ・小さすぎる紙または大きすぎる紙(用紙規格を満たさないもの)
- ・とじ穴のある用紙
- ・段差のある用紙
- ・切り抜き部分や窓のある紙
- ・ピン、クリップ、ホチキスの針など金属の付いている紙
- ・のり付け面が露出している紙、波打っている紙、はがれている紙
- ・浮き彫りのある紙
- ・連続帳票用紙の横ミシン目以外で折りたたんだ紙
- ・複写紙において、オリジナルと複写紙で大きさの異なる紙、または部分的に複写枚数が異なる紙
- ・端または角が破れたり、折れている紙
- ・束のりとじの複写用紙



第 5 章

保守と点検

この章では、リボンカセットの交換、用紙詰まりやプリンタがうまく動かないときの処置、テスト印字のしかた、清掃のしかた、輸送のしかたおよびアフターサービスについて説明します。

リボンカセットを交換する	128
用紙詰まりのとき	131
連続帳票用紙がつまつたとき	131
単票用紙がつまつたとき	136
リアスタッカ部に用紙がつまつたとき	138
カットシートフィーダから吸入した用紙がつまつたとき	140
プリンタがうまく動かないとき	143
エラーメッセージが表示されている	143
単票用紙吸入時の不具合	150
単票用紙排出時の不具合	150
連帳用紙吸入時の不具合	151
印字中の問題点	151
印字結果の問題点	152
印字位置の問題点	155
印字位置がページによってズレる	156
カットシートフィーダ使用時の不具合	156
テスト印字をする	158
HEXダンプ印字をする	160
清掃のしかた	161
プリンタを輸送するとき	162
アフターサービス	163

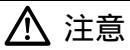


リボンカセットを交換する

◆ リボンカセットの種類

このプリンタで使用するリボンカセットは、下表のとおりです。

商品名	サプライ番号	備考
リボンカセット SDM-9(黒)	0325470	黒色インクリボンが入った リボンカセットです。
サブカセット SDM-9(黒)	0325480	つめかえ用インクリボンで す。



誤 飲 インクリボンをお子様が口に入れたりなめたりしないようにしてください。健康を損なう原因となることがあります。

お願い

- リボンカセットは、指定の純正品を使用してください。指定以外のリボンカセットを使用すると、インクリボンがからまつたり、印字ヘッドが傷んだりしてプリンタの故障を引き起こすことがあります。
- インクリボンがたるんだ状態で使用しないでください。たるんだまま印字を開始すると、インクリボンがからまつたり、巻きとりがロックすることがあります。
- 使用済みのリボンカセットは、不燃物として処理してください。

◆ 交換のしかた

リボンカセットの交換は、次の手順で行います。

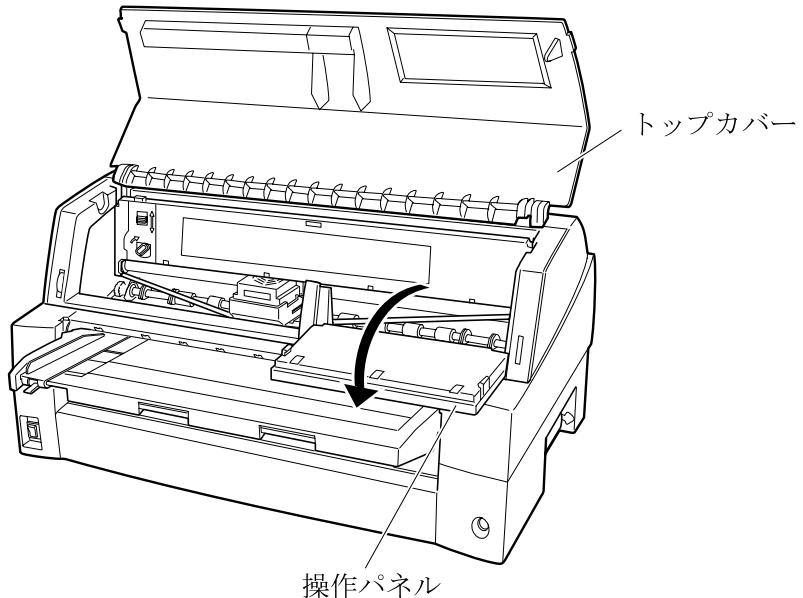
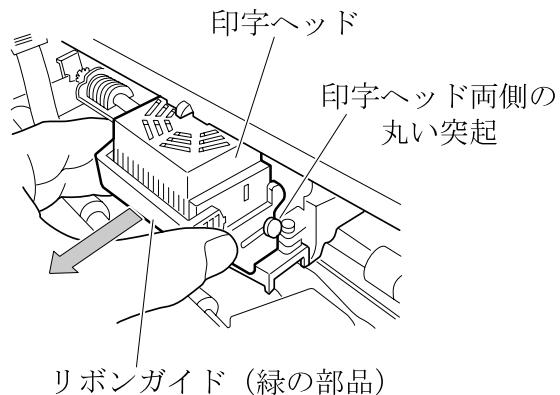
1 印字ヘッドをリボン交換位置に移動する

トップカバーを閉じて、電源を投入すると、印字ヘッドがリボン交換位置に移動します。

2 電源を切る

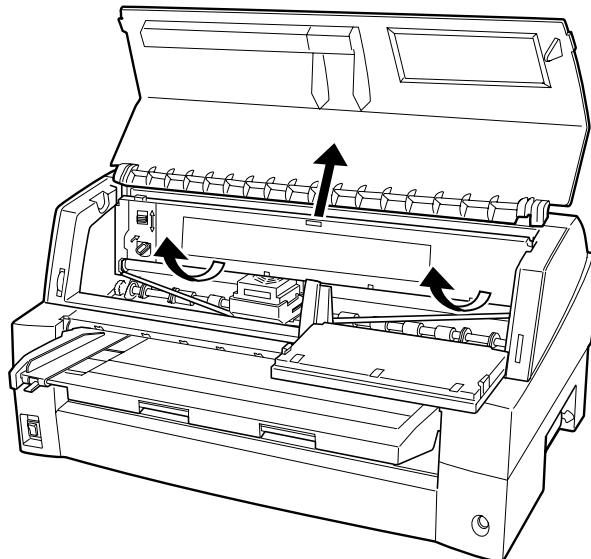
(電源スイッチが()側に倒れた状態になります。)

3 トップカバーを開ける

4 操作パネルを手前側に倒す**5 リボンガイドを外す**

6 リボンカセットを取り外す

リボンカセットを手前に起こしてロックを外し、プリンタから取り外します。



7 新しリボンカセットを取り付ける

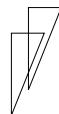
新しいリボンカセットの取り付けは、「リボンカセットを取り付ける」(21 ページ) を参照してください。

⚠ 注意

高 温 印字した直後は、印字ヘッドおよびプリンタ内部が高温になります。温度が下がったことを確かめてから、リボンを交換してください。やけどの原因となることがあります。

◆ サブカセットの交換のしかた

サブカセットの交換方法は、サブカセットに添付してある交換要領書を参照してください。



用紙づまりのとき

連続帳票用紙がつまつたとき

用紙づまりを起こしたときは、用紙を無理に引っ張らず、ゆっくり取り除きます。

まず、はじめに取り出しやすいように連続帳票用紙をミシン目でカットします。

その後、用紙づまりの状態に合わせて次の手順で用紙を取り除きます。

◆ 前トラクタから吸入した用紙がつまつたとき

1 オフライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

動作が停止し、印字ヘッドとプラテンとのすきまが最大となります。

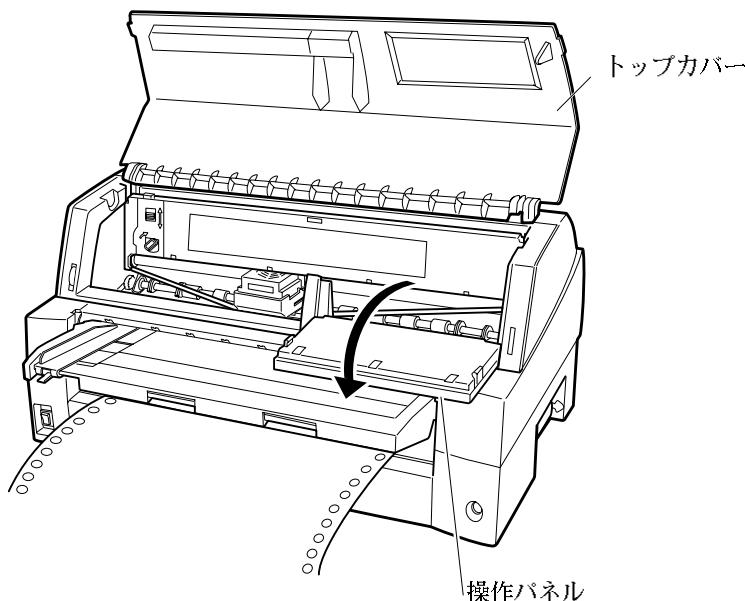
2 プリンタの電源を切る

電源スイッチが「」側に倒れていることを確認します。

3 トップカバーを開く

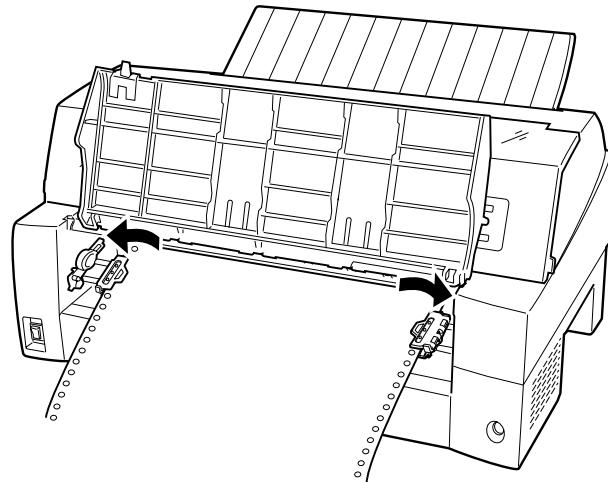
トップカバーを開き、装置内部の用紙づまりの状況を確認します。

4 必要に応じて操作パネルを手前に倒す



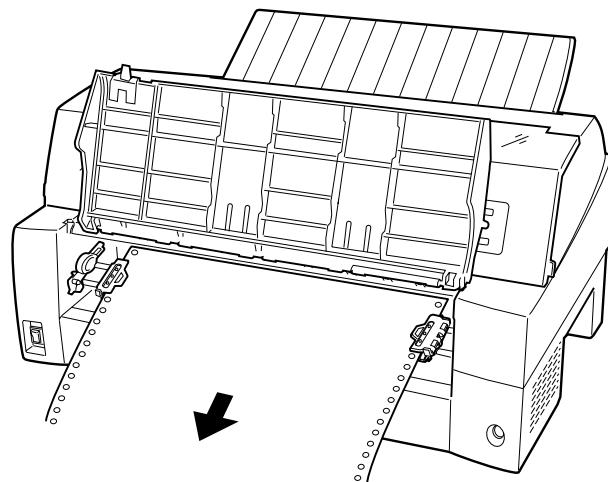
5 トラクタの左右の用紙押さえを開き、トラクタから用紙を外す

単票テーブルを上側に開き、用紙送りトラクタ左右用紙押さえを開いて、トラクタから用紙を外します。

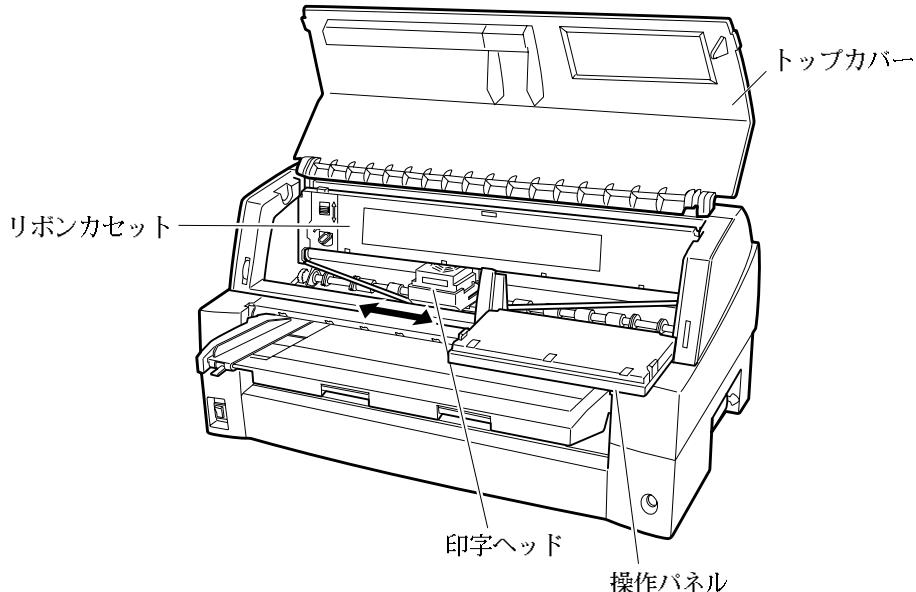


6 用紙を取り除く

プリンタの前もしくは後から出ている用紙の端をゆっくり引いて、取り除きます。



用紙が印字部につまつてうまく取り除けない場合や、小さな紙片が残ってしまった場合は、用紙を取り除きやすいように印字ヘッドを適当な位置に手で動かし（下図参照）、残った用紙を手で取り除きます。また、印字ヘッド先端付近の用紙が取り除きにくい場合は、リボンカセットを取り外してから用紙を取り除きます（取り除きにくい場合はピンセットなどを使用してください）。



7 操作パネルを手前に倒した場合は元に戻し、トップカバーを閉じる

⚠ 注意

高 温 印字した直後は、印字ヘッドおよびプリンタ内部が高温になります。温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを動かしてください。やけどの原因となることがあります。

◆ 後トラクタから吸入した用紙がつまつたとき

1 オフライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

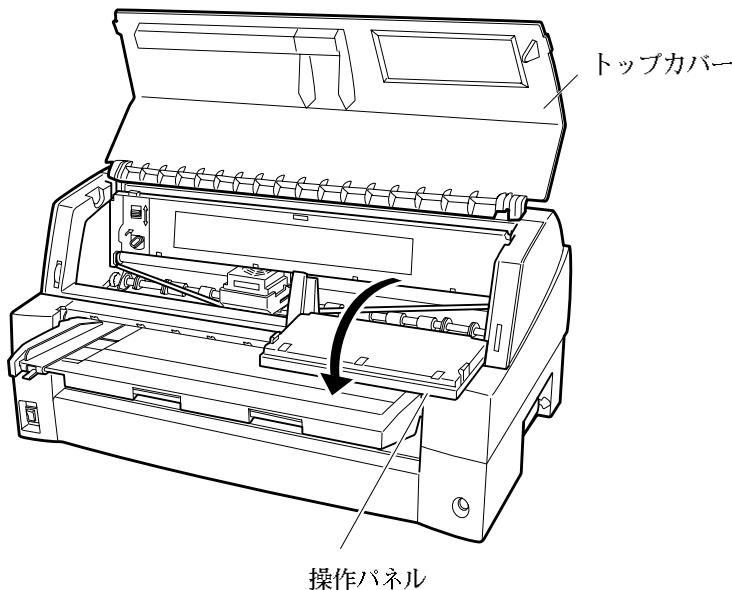
2 プリンタの電源を切る

電源スイッチが「」側に倒れていることを確認します。

3 トップカバーを開く

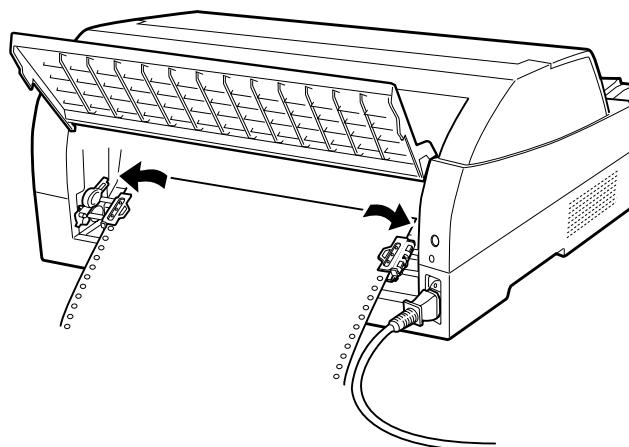
トップカバーを開き、装置内部の用紙づまりの状況を確認します。

4 必要に応じて操作パネルを手前に倒す



5 トラクタの左右の用紙押さえを開き、トラクタから用紙を外す

用紙送りトラクタ左右用紙押さえを開いて、トラクタから用紙を外します。



6 用紙を取り除く

プリンタの前もしくは後から出ている用紙の端をゆっくり引いて、取り除きます。

用紙が印字部につまつてうまく取り除けない場合や、小さな紙片が残ってしまった場合は、用紙を取り除きやすいように印字ヘッドを適当な位置に手で動かし、残った用紙を手で取り除きます。また、印字ヘッド先端付近の用紙が取り除きにくい場合は、リボンカセットを取り外してから用紙を取り除きます（取り除きにくい場合はピンセットなどを使用してください）。



注意

高 温 印字した直後は、印字ヘッドおよびプリンタ内部が高温になります。温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを動かしてください。やけどの原因となることがあります。

7 操作パネルを手前に倒した場合は元に戻し、トップカバーを閉じる

単票用紙がつまつたとき

用紙づまりを起こしたときは、用紙を無理に引っ張らず、ゆっくり取り除きます。

用紙づまりの状態に合わせて、次の手順で用紙を取り除きます。

◆ 手差しで吸入した単票用紙がつまつたとき

1 オフライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

動作が停止し、印字ヘッドとプラテンのすきまが最大となります。

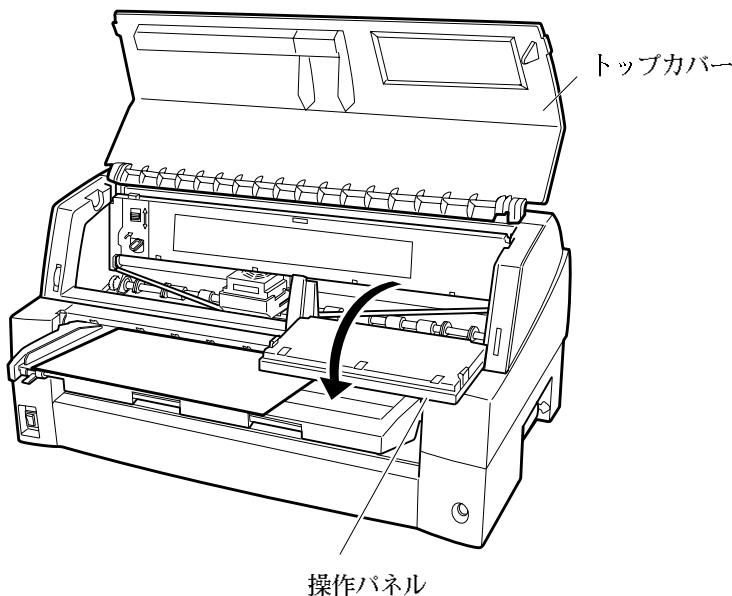
2 プリンタの電源を切る

電源スイッチが「」側に倒れていることを確認します。

3 トップカバーを開く

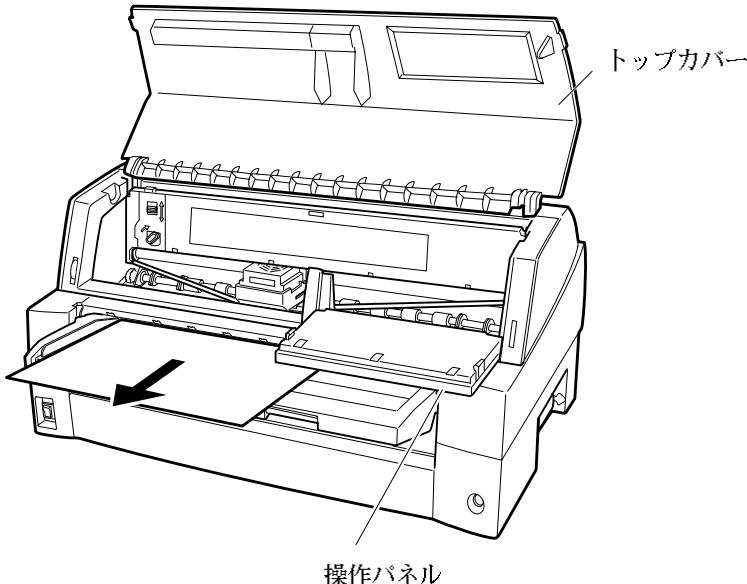
トップカバーを開き、装置内部の用紙づまりの状況を確認します。

4 必要に応じて操作パネルを手前に倒す



5 用紙を取り除く

プリンタの前もしくは後から出ている用紙の端をゆっくり引いて、取り除きます。



用紙が印字部につまってうまく取り除けない場合や、小さな紙片が残ってしまった場合は、用紙を取り除きやすいように印字ヘッドを適当な位置に手で動かし、残った用紙を手で取り除きます。また、印字ヘッド先端付近の用紙が取り除きにくい場合は、リボンカセットを取り外してから用紙を取り除きます（取り除きにくい場合はピンセットなどを使用してください）。

⚠ 注意

高 温 印字した直後は、印字ヘッドおよびプリンタ内部が高温になります。温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを動かしてください。やけどの原因となることがあります。

6 操作パネルを手前に倒した場合は元に戻し、トップカバーを閉じる

リアスタッカ部に用紙がつまったとき

1 オフライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。
動作が停止し、印字ヘッドとプラテンのすきまが最大となります。

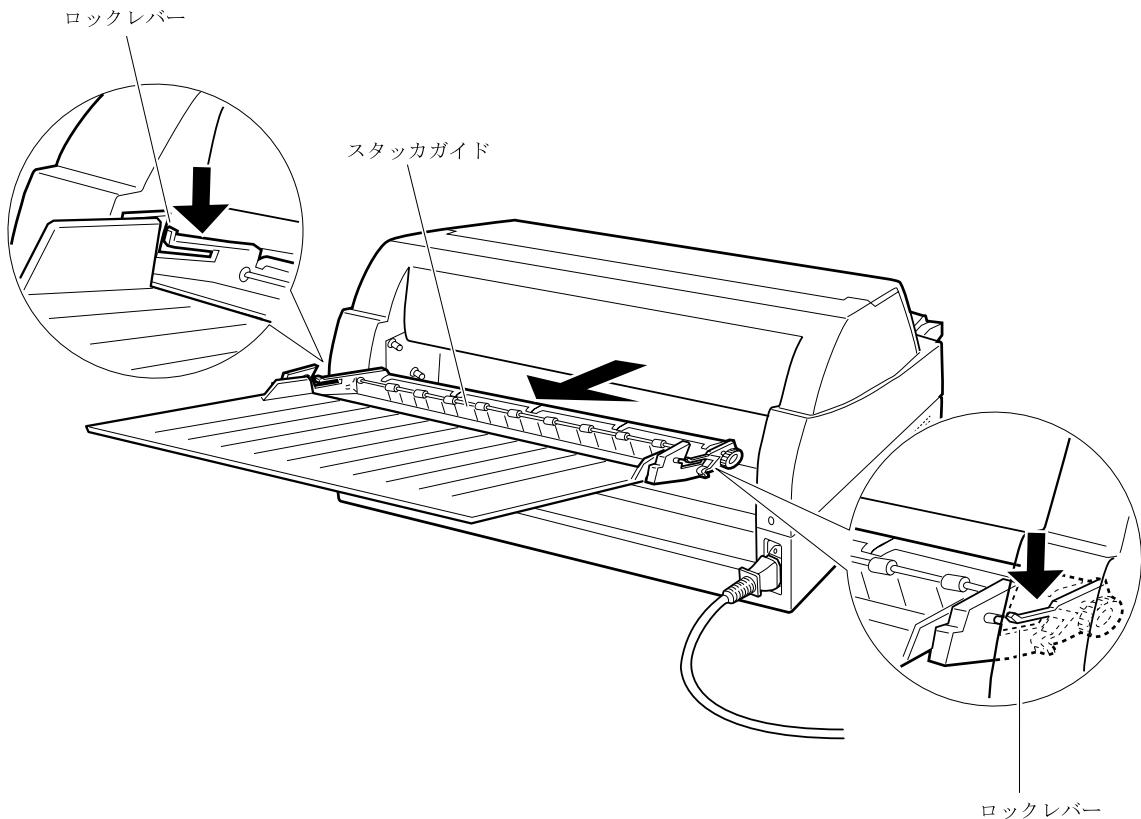
2 プリンタの電源を切る

電源スイッチが「」側に倒れていることを確認します。

3 スタッカユニットを取り外す

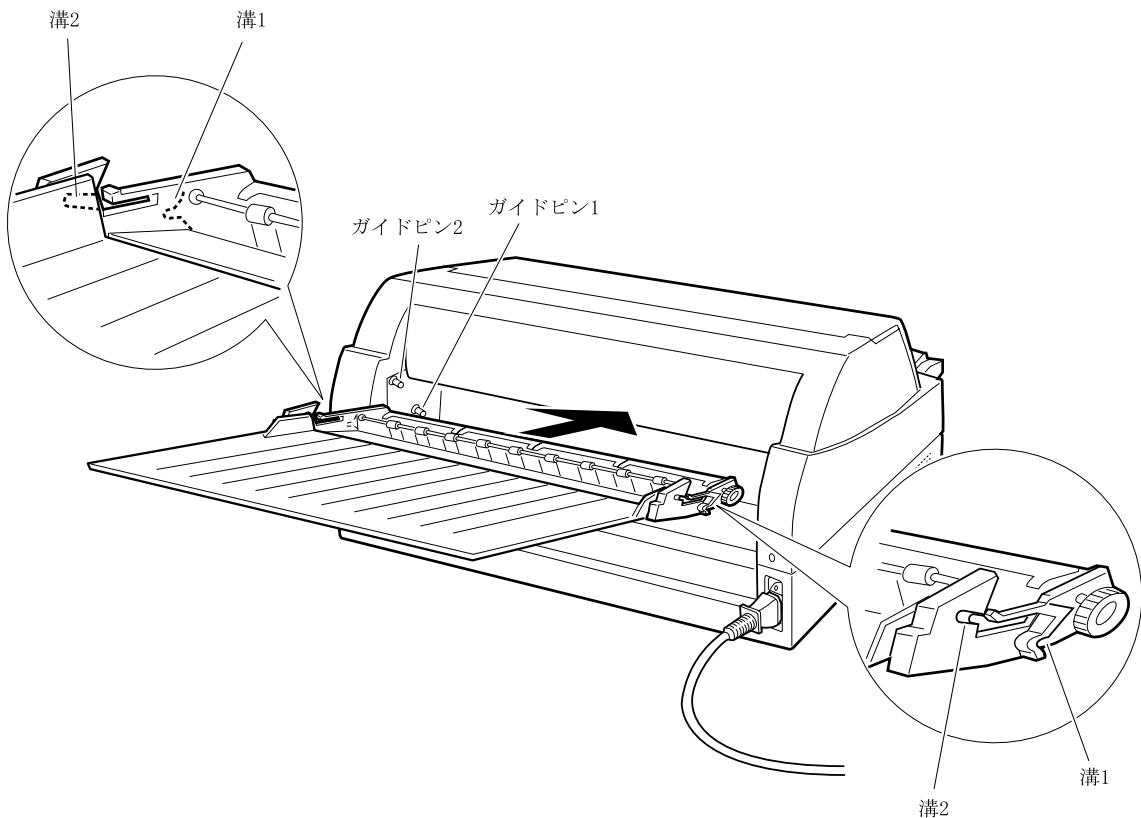
スタッカガイドのロックレバーを押し下げながら、後方に取り外します。

装置内部の用紙づまりの状況を確認します。



4 スタッカユニットを取り付ける

スタッカユニット左右の溝1をガイドピン1に合わせ、ガイドピン2が溝2にロックされるまでスタッカユニットを押し込みます。



カットシートフィーダから吸入した用紙がつまつたとき

1 オフライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

2 プリンタの電源を切る

電源スイッチが「」側に倒れていることを確認します。

3 トップカバーを開く

トップカバーを開き、装置内部の用紙詰まりの状況を確認します。

◆ カットシートフィーダユニット内の用紙詰まりの場合

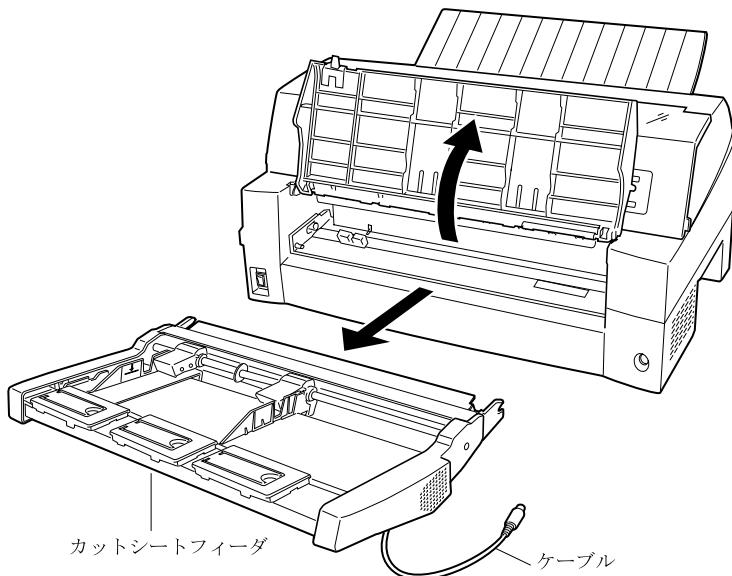
1 カットシートフィーダをプリンタ本体から取り外す

カットシートフィーダのケーブルをプリンタ本体のコネクタから抜いて、カットシートフィーダをプリンタ本体から取り外します。

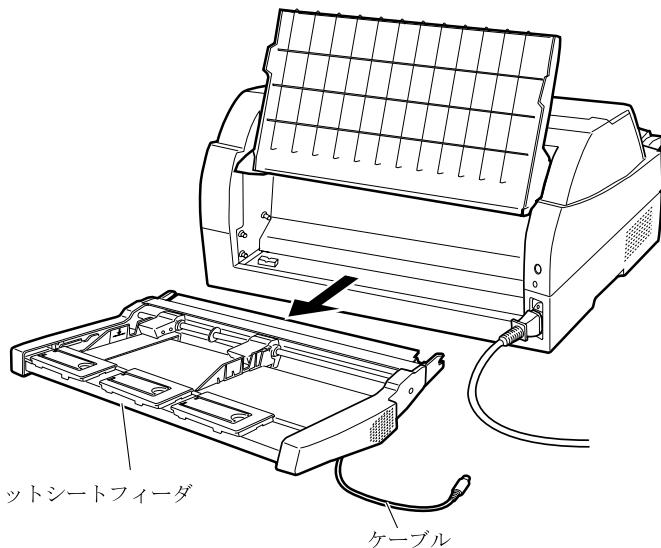


感電 ケーブルを外すときは必ず電源を切ってください。
電源を切らずに作業すると感電の原因となることがあります。

プリンタ前部から取り外す場合

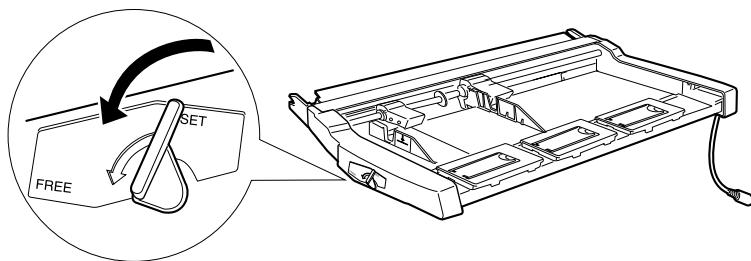


プリンタ後部から取り外す場合



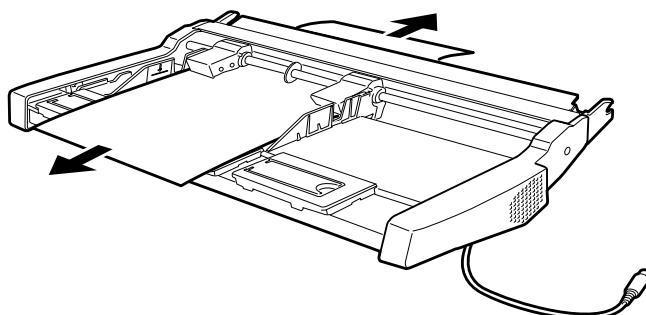
2 セットレバーを「FREE」の位置にする

カットシートフィーダ側面のセットレバーを「FREE」の位置にします。



3 用紙を取り除く

カットシートフィーダの前もしくは後から用紙の端をゆっくり引いて取り除きます。



◆ プリンタ装置内部まで用紙が送られた後の用紙づまりの場合

カットシートフィーダを取り外す

カットシートフィーダのケーブルをプリンタ本体のコネクタから抜いて、カットシートフィーダを取り外します。（「カットシートフィーダを取り外す」174 ページ参照）

【つまつた用紙がカットシートフィーダ側に残った場合は...】

1 セットレバーを「FREE」の位置にする

カットシートフィーダの側面のセットレバーを「FREE」の位置にします。（141 ページ参照）

2 用紙を取り除く

カットシートフィーダの前もしくは後から用紙の端をゆっくり引いて取り除きます。

【つまつた用紙がプリンタ装置に残った場合は...】

用紙を取り除く

プリンタの前もしくは後から出ている用紙の端をゆっくり引いて、取り除きます。

用紙が印字部につまつたまま取り除けない場合や、小さな紙片が残ってしまった場合は、用紙を取り除きやすいように印字ヘッドを適宜な位置に手で動かし、残った用紙を手で取り除きます。また、印字ヘッド先端付近の用紙が取り除きにくい場合は、リボンカセットを取り外してから用紙を取り除きます（取り除きにくい場合はピンセットなどを使用してください）。

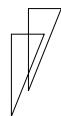


注意

高 温 印字した直後は、印字ヘッドおよびプリンタ内部が高温になります。温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを動かしてください。やけどの原因となることがあります。

お願い

一度紙づまりを起こした用紙の再使用はしないでください。



プリンタがうまく動かないとき

プリンタが動かなくなったり、きれいに印字できなくなったりした場合の処置方法を説明します。

処置を行っても機能が回復しない場合は、お買い求めの販売店、またはハードウェア修理相談センター（163 ページ参照）にご相談ください。

エラーメッセージが表示されている

プリンタに異常が発生すると、操作パネルのランプが点灯、点滅し液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

ランプの状態、液晶ディスプレイのメッセージ、プリンタの状態、および対処方法を次の表に示します。

ランプ	エラーメッセージ	原因	対処方法
メッセージランプ点灯	カバー-オーブン カバ-トジテクダサイ	トップカバーが開いている。	トップカバーを閉じてください。
	ヨウシナシテサシ ヨウシヲセットシテクダサイ	単票用紙がセットされていない。	単票テーブルに用紙をセットしてください。 (「第3章 用紙のセット」参照)
	ヨウシナシフロントラクタ ヨウシヲセットシテクダサイ	フロントトラクタに連続帳票用紙がセットされていない。	用紙をセットしてください。 (「第3章 用紙のセット」参照)
	ヨウシナシリアトラクタ ヨウシヲセットシテクダサイ	リアトラクタに連続帳票用紙がセットされていない。	用紙をセットしてください。 (「第3章 用紙のセット」参照)
	ヨウシナシFCSF ヨウシヲホキウシテクダサイ	フロントカットシートフィーダに用紙がセットされていない。	用紙をセットしてください。 (「第3章 用紙のセット」参照)
	ヨウシナシRCSF ヨウシヲホキウシテクダサイ	リアカットシートフィーダに用紙がセットされていない。	用紙をセットしてください。 (「第3章 用紙のセット」参照)
	タンパヨウキトリマチ ヨウシヲヌキトッテクダサイ	排出された用紙が単票テーブルに残っている。	単票テーブルにある用紙を取り除いてください。
	ヨウシタヒエラ- Fトラクタ ヨウシヲカクニシテクダサイ	プリンタ内部でフロントトラクタ給紙の連続帳票退避中に紙づまりが発生した。	つまった用紙を取り除いてください。 (「連続帳票用紙がつまつたとき」131 ページ参照)。

ランプ	エラーメッセージ	原因	対処方法
メッセージランプ点灯	ヨウシタ化エラー R トロクタ ヨウシフ カクニンシテクダ サイ	プリンタ内部でリアトラクタ給紙の連続帳票退避中に紙づまりが発生した。	つまった用紙を取り除いてください。(「連続帳票用紙がつまつたとき」131ページ参照)。
	ヨウシキュウニユウエラー ヨウシフサイセツシテクダ サイ	プラテン直前直後の用紙ガイド(斜面)上に紙粉がたまり、センサが誤検出している。	紙粉を清掃してください。(「清掃のしかた」161ページ参照)
		単票セットフリー オフのときに、用紙のセットをゆっくり行なったため、規定時間内に吸入動作が完了しなかった。	より素早く用紙をセットしてください。 「ソウキノカセッテイ」で「オ-ロ-テ イング」の時間を変更してください。(44ページ参照)
		用紙が斜めに給紙された(吸入斜行)を検出した。	用紙を傾かない様に再セットしてください。
		プレプリントによりセンサが誤検出している(プレプリントのない用紙は問題無い)。	プレプリントに関しては、「プレプリント用紙を使用するとき」(122ページ)を参照してください。
		単票セットフリー オンのとき、用紙幅に問題がある。	幅 100 ~ 364mm(はがき ~ B4)の用紙を使用してください。
		単票セットフリー オンのとき、セット位置に問題がある。	幅 55 ~ 100mm 未満、365 ~ 420mm の用紙は単票セットフリー オフにして使用してください。
	キュウシジ ャム テサシ ヨウシフリゾ イケクダ サイ	用紙の形状に問題があり、吸入斜行を誤検出している。	86ページを参照し、セット位置を修正してください。 用紙の形状に関しては、「用紙の形状について」(125ページ)を参照してください。

ランプ	エラーメッセージ	原因	対処方法
メッセージランプ点灯	キュウシジヤム F トラクタ ヨウシヲトリゾウ イケダサイ	フロントトラクタから吸入した用紙がつまっている。	つまった用紙を取り除いてください(「連続帳票用紙がつまつたとき」131ページ参照)。
		フロントトラクタ給紙時、単票テーブルを開いている。	単票テーブルを閉じてください。
		用紙の上端部に損傷、折れ曲がりがある。	損傷したり、折れ、曲がりのある連帳を使用しないでください。
		トラクタへのセットで、左右で穴がズレている。	正しくセットし直してください(「第3章 用紙のセット」参照)。
	キュウシジヤム R トラクタ ヨウシヲトリゾウ イケダサイ	リアトラクタから吸入した用紙がつまっている。	つまった用紙を取り除いてください(「連続帳票用紙がつまつたとき」131ページ参照)。
		用紙の上端部に損傷、折れ曲がりがある。	損傷したり、折れ、曲がりのある連帳を使用しないでください。
		トラクタへのセットで、左右で穴がズレている。	正しくセットし直してください(「第3章 用紙のセット」参照)。
	キュウシジヤム FCSF ヨウシヲトリゾウ イケダサイ	フロントカットシートフィーダから吸入した用紙がつまっている。	つまった用紙を取り除いてください(「カットシートフィーダから吸入した用紙がつまつたとき」140ページ参照)。
	キュウシジヤム RCSF ヨウシヲトリゾウ イケダサイ	リアカットシートフィーダから吸入した用紙がつまっている。	つまった用紙を取り除いてください(「カットシートフィーダから吸入した用紙がつまつたとき」140ページ参照)。

ランプ	エラーメッセージ	原因	対処方法
メッセージランプ点滅	イジケタズレ パワー OFF ソウシ カニン	印字ヘッドの左右動作に異常が発生した。 <要因> 1. 段差のある用紙を使用している。 2. 紙厚設定が正しくない。 3. 用紙つまりが発生した。 4. リボンが印字ヘッドにひっかかった。	電源を切って、用紙仕様、紙厚設定を見直してください(「用紙厚を調整する」95 ページ参照)。
	ヨウシツイシ ヨウケンシユツ パワー OFF ヨウシ カニン	用紙が厚すぎる。	「第4章 用紙について」を参照し用紙を確認してください。
		段差のある用紙を使用しているため、正常に自動紙厚検出ができない。	手動紙厚調整で印字するか、ドライバのプロパティでレンジを設定してください(「用紙厚を調整する」95 ページ参照)。
	カキ ヨウジ ャムケンチ パワー OFF ヨウシ カニン	1. 紙送り動作中に紙つまりが発生した。 2. 段差のある用紙を使用している。	つまった用紙を取り除いてください。 段差のある用紙を使用すると、「カキ ヨウジ ャムケンチ」エラーが発生することがあります。その場合は、機能設定で「リゾタセッティ」の「カキ ヨウジ ャムケンチ」を「ムコウ」にしてください(「機能設定の変えかた」56 ページ参照)。

ランプ	エラーメッセージ	原因	対処方法
メッセージランプ点滅	ハイジ'ヤム テサン パワー OFF ヨウシ カクニン	プリンタ内部で手差し单票排出中に紙づまりが発生した。	つまった用紙を取り除いてください(「单票用紙がつまつたとき」136ページ参照)。
	ハイジ'ヤム F トラクタ パワー OFF ヨウシ カクニン	プリンタ内部でフロントトラクタ給紙の連続帳票排出中に紙づまりが発生した。	つまった用紙を取り除いてください(「連続帳票用紙がつまつたとき」131ページ参照)。
	ハイジ'ヤム R トラクタ パワー OFF ヨウシ カクニン	プリンタ内部でリアトラクタ給紙の連続帳票排出中に紙づまりが発生した。	つまった用紙を取り除いてください(「連続帳票用紙がつまつたとき」131ページ参照)。
	ハイジ'ヤム FCSF パワー OFF ヨウシ カクニン	プリンタ内部でフロントCSF給紙の单票排出中に紙づまりが発生した。	つまった用紙を取り除いてください(「カットシートフィーダから吸入した用紙がつまつたとき」140ページ参照)。
	ハイジ'ヤム RCSF パワー OFF ヨウシ カクニン	プリンタ内部でリアCSF給紙の单票排出中に紙づまりが発生した。	つまった用紙を取り除いてください(「カットシートフィーダから吸入した用紙がつまつたとき」140ページ参照)。

ランプ	エラーメッセージ	原因	対処方法
メッセージランプ点滅	SP アラーム パワー OFF シテクダ サイ	スペースモータのドライバで異常を検出した。	<p>《操作手順》</p> <p>1. プリンタの電源を切って、パソコン画面の〔キャンセル〕ボタンをクリックして印刷を中止してください。 注)印刷を中止しない場合、正しく印刷されないことがあります。</p> <p>2. 電源を入れて、再度印刷し直してください。</p>
	LF アラーム パワー OFF シテクダ サイ	LF モータおよびトラクタモータのドライバで異常を検出した。	
	ヘッドアラーム パワー OFF シテクダ サイ	印字ヘッドのドライバで異常を検出した。	
	HIGH VOL アラーム パワー OFF シテクダ サイ	電源電圧の異常を検出した。	
	LOW VOL アラーム パワー OFF シテクダ サイ	電源電圧の異常を検出した。	
	OVERLOAD アラーム パワー OFF シテクダ サイ	電源電圧の異常を検出した。	
	リボンモータアラーム パワー OFF シテクダ サイ	リボンモータのドライバで異常を検出した。	
	CSF モータアラーム パワー OFF シテクダ サイ	CSF モータのドライバで異常を検出した。	
	ファンアラーム パワー OFF シテクダ サイ	ファンの異常を検出した。	
	APTC アラーム パワー OFF シテクダ サイ	APTC ホームポジション検出に失敗した。	
	HCPP アラーム パワー OFF シテクダ サイ	HCPP ホームポジション検出に失敗した。	
	ROM/RAM アラーム パワー OFF シテクダ サイ	ROM/RAM の異常を検出した。	
LRES アラーム パワー OFF ソウチ カクニン		印字キャリアホ - ムポジション検出に失敗した。	<p>《操作手順》</p> <p>1. プリンタの電源を切って、パソコン画面の〔キャンセル〕ボタンをクリックして印刷を中止してください。 注)印刷を中止しない場合、正しく印刷されないことがあります。</p> <p>2. プリンタ(給紙口、内部、排出部)の用紙を取り除いてください。</p> <p>3. 印字ヘッドを手で両端まで動くことを確認してください。 異物があった場合は取り除いてください。</p> <p>4. 電源を入れて、再度印刷し直してください。</p>

ランプ	エラーメッセージ	原因	対処方法
メッセージランプ点滅	シャコユニットアーム パワー OFF ソウチ カクニン	斜行ユニットホームポジション検出に失敗した。	<p>《操作手順》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. プリンタの電源を切って、パソコン画面の〔キャンセル〕ボタンをクリックして印刷を中止してください。 注)印刷を中止しない場合、正しく印刷されないことがあります。 2. 単票テープルの奥に異物がないか確認してください。 3. 電源を入れて、再度印刷し直してください。

単票用紙吸入時の不具合

単票用紙吸入がうまくできない場合の、処置方法を説明します。

現象	原因	処置
吸入しない。	給紙口の選択が、「フロントトラクタ」または「リアトラクタ」になっている。	給紙口スイッチを押して、「テサシ」を選択してください。
	前回吸入した用紙を、手で引き抜いたため、プリンタの状態が紙有り状態となっている。	オンラインスイッチを押してオフライン状態にした後に、用紙吸入/排出スイッチを押し、一度排出動作をさせてから、再吸入してください。
	機能設定でオートローディングが無効になっている	用紙吸入/排出スイッチを押して吸入させるか、機能設定を変更してください。

単票用紙排出時の不具合

単票用紙排出がうまくできない場合の、処置方法を説明します。

現象	原因	処置
用紙排出を手前排出(テープル側)した場合に用紙下端が角折れする。	用紙下端部の印字デューティが高いため、用紙がカールした状態で排出されるため。	手前排出スイッチを押して、「手前排出」ランプを消灯し、排出方向を後方排出(スタッカ側)にしてください。(「単票用紙の排出方向切り替える(手前排出)」31ページ参照)、または機能設定の「ソウキノウセッティ」の「テサシハイシュツホウコウ」を「コウホウハイシュツ」に設定してください(44ページ参照)。

連帳用紙吸入時の不具合

連帳用紙がうまく吸入できない場合の処置方法を説明します。

現象	原因	処置
吸入しない。	プリンタがオンライン状態である。	オンラインスイッチを押してオフライン状態にしてから、用紙吸入/排出スイッチを押してください。
	給紙口が正しく選択されていない。	給紙口スイッチを押して、正しい給紙口（「フロントトラクタ」または「リアトラクタ」）を選択してください。
	前回吸入した用紙を、手で引き抜いたため、プリンタが紙有り状態となっている。	用紙吸入/排出スイッチを押し、一度排出動作をさせてから、再吸入してください。
	プラテン直前直後の用紙ガイド（斜面）上に紙粉がたまり、センサが誤検出している。	紙粉を清掃してください（「清掃のしかた」（161ページ）参照）。
吸入途中で排出される。	左右のトラクタ間で用紙が弛んでいる。	左右のトラクタ間隔を軽く用紙が張る程度に調整してください。

印字中の問題点

印字中の問題点に対する対処方法を説明します。

現象	原因	処置
印字が始まらない。	「オンライン」ランプが消えている。	オンラインスイッチを押して、「オンライン」ランプを点灯させてください。
オンライン状態であるのに、印字できない。	プリンタケーブルの接続に問題がある。	プリンタケーブルを正しく接続してください。
印字開始前に用紙パスが切り替わってしまう。	ドライバのプロパティで設定した用紙パスが正しくない。	ドライバのプロパティで正しく設定してください。
印字音はするのに印字しない。	リボンカセットを取り付ていない。	リボンカセットを取り付けてください。

印字結果の問題点

印字結果の問題点に対する処置方法を説明します。

現象	原因	処置
リボン汚れが出る。	手動紙厚調整のとき、レンジ設定が適正值に対して狭くなっている。	広めに設定し直してリボン汚れが出なくなるようにしてください。
	ドライバのプロパティで設定した用紙厚さが、適正值に対して狭い。	ドライバのプロパティ設定値(レンジ設定)を、リボン汚れが出なくなるまで多くしてください。
	段差のある用紙を使用している。	手動紙厚調整にて印字してください(「用紙厚を調整する」95 ページ参照)。
	自動紙厚調整機構の故障。	応急処置として、手動紙厚調整に切り替えて使用することができます。
	リボンカセットの交換時期が近づいている。リボン生地の波うちが激しくなっている。	新しいリボンカセットと交換してください(「リボンカセットを交換する」128 ページ参照)。
縦線のつなぎの左右方向にズレが大きい(行間ズレが大きい)。	手動紙厚調整のとき、レンジ設定が適正值に対して狭いため、印字ヘッドの左右動作の精度が悪くなっている。	広めに設定し直してください。
	ドライバのプロパティで設定した用紙厚さが、適正值に対して狭いため、印字ヘッドの左右動作の精度が悪くなっている。	ドライバのプロパティ設定値(レンジ設定)を、多くしてください。
	段差のある用紙の段差部分で印字ヘッドの左右動作の精度が悪くなっている。	手動紙厚調整にて印字してください(「用紙厚を調整する」95 ページ参照)。
	行間ズレ調整が正しくない。	「行間ズレを直す」(62 ページ)を参照し、行間ズレを直してください。

現象	原因	処置
印字がうすい。	手動紙厚調整のとき、レンジ設定が適正值に対して広い。	レンジを狭めに設定し直してください。(印字が濃くなるまで設定します、狭くし過ぎると故障の原因となるので注意してください。)
	ドライバのプロパティで設定した用紙厚さが適正值に対して広い。	ドライバのプロパティ設定値(枚数)を印字が濃くなるまで少なくしてください。
	段差のある用紙を使用している。	手動紙厚調整にて印字してください(「用紙厚を調整する」95 ページ参照)。
	自動紙厚調整機構の故障。	応急処置として、手動紙厚調整に切り替えて使用することができます。
	リボンカセットの交換時期が近づいている。リボン生地の印字跡部の黒さが薄くなっている。	新しいリボンカセットと交換してください(「リボンカセットを交換する」128 ページ参照)。
	印字ヘッドの交換時期が近づいている。	印字ヘッドの交換時期が近づくと電源投入時に LCD に「ヘッドコウカンジュンピ」、印字ヘッドの寿命になりますと「ヘッドコウカン」の表示を約 5 秒間行います。電源を入れ直しても「ヘッドコウカンジュンピ」、「ヘッドコウカン」が表示される場合は、印字ヘッドを交換する必要があります。お買い求めの販売店、またはハードウェア修理相談センター(163 ページ参照)にご連絡ください。機能設定の「リターンセッティ」の「ヘッドコウカンヒヨウ」が「ムコウ」に設定されている場合は、表示を行いません(60 ページ参照)。

現象	原因	処置
印字を構成するドットが横一列に欠ける。	印字ヘッドのピンが折れています。	印字ヘッドを交換する必要があります。 お買い求めの販売店、またはハードウェア修理相談センター（163 ページ参照）にご連絡ください。
前給紙の場合、印字の上側が欠ける。 後給紙の場合、印字の下側が欠ける。	リボンカセットが正しく取り付けられていない。	印字を中止して、リボンカセットを正しく取り付けてください（「リボンカセットを取り付ける」21 ページ参照）。
印字が所々でよじれたようく欠ける（用紙を変えても発生する）。	リボンがたるんだり、よじれたりしている。	印字を中止して、リボンカセットを点検してください（リボンつまみを回してリボンのよじれが無いか確認します）。
印字行の左端部や右端部で印字の上下が欠ける。 (連帳用紙のみ発生する)	連帳改行時に用紙の綴じ部や用紙送り穴の影響でリボンがズレて、印字左右端部が欠ける。	機能設定で連帳改行時のリボン保護制御を有効にして使用してください。

印字位置の問題点

印字位置に問題点がある場合の処置方法を説明します。

現象	原因	処置
印字開始位置が上、または下にズれる。	ドライバの余白設定に対してプリンタの設定が正しくない。	機能設定の「ヨハクリヨウ セッティ」の「ジヨウタソヨハクシティ」を「ドライバ ウセン」にしてください(46 ページ参照)。
	ドライバでの給紙方法選択、余白の設定、プリンタの上端余白の設定がアプリケーションに適合していない。	アプリケーションに合わせて、ドライバの給紙方法、余白量設定、プリンタの機能設定を正しく設定してください。
	ソフトウェアによっては上端余白の設定を変更する必要がある。	アプリケーションソフトの説明書で確認してみてください。
	用紙上端のプレプリント禁止領域にプレプリントがある。	プレプリントを修正するか、吸込後用紙の位置合わせを行なって印字してください。
単票セットフリー使用時に印字の左右の位置がズれる。	機能設定の単票左端余白量とドライバの余白設定が異なっている。	プリンタとドライバの設定を合わせてください。
	用紙の左端部に面取、プレプリントがあるために、用紙左端を正しく認識できない。	用紙を修正するか、単票セットフリーをオフにして使用してください。

印字位置がページによってズレる

印字位置がページによってズレる場合の処置方法を説明します。

現象	原因	処置
連続用紙の印字位置がページによってズレる。	仕様外用紙を使用しているため、正しく搬送できない。	「第4章 用紙について」を参照し、仕様にあった用紙を使用してください。
	連続用紙の置きかたが悪く、正しく搬送できない。	連続用紙はプリンタ給紙口の下に置き、斜めになったり、途中に引っかかりのない様にしてください。また、箱からスムーズに引きだされない用紙は、箱から出して設置してください。
	用紙のページ長さと、ドライバのページ長設定値が異なる。	ドライバのページ長指定に合う用紙を使用してください。
	用紙の特性により、吸入位置に対してわずかに印字位置がずれる事がある。	用紙吸入量を調整してください。 調整の行いかたについては、「用紙吸入量を調整する」(65ページ)を参照してください。
	機能設定の「リタノセッティ」の「トラタ キュウセッティ」が「ソド クウセン」に設定されている。 FMPR5600 のみ設定可能。	機能設定で「リタノセッティ」の「トラタ キュウセッティ」を「セド クウセン」にしてください(57ページ参照)。

カットシートフィーダ使用時の不具合

カットシートフィーダ使用時の不具合点に対する処置方法を説明します。

現象	原因	処置
カットシートフィーダが動作しない。	カットシートフィーダのコネクタがプリンタに接続されていない。	プリンタ本体の電源を切斷し、コネクタを接続してください。
用紙が吸入しない。	左右の用紙ガイドで用紙をきつくはさんでいる。	用紙に対して適正なゆとりを持って、用紙ガイドをセットしてください。
	用紙が厚すぎる。	仕様にあった用紙を使用してください。
	セットした用紙が多すぎる(赤線を越えている)。	用紙ガイドの赤線以内にセットしてください。
	セットレバーが「FREE」になっている。	セットレバーを「SET」にしてください。

現象	原因	処置
用紙が吸入しない。	給紙口が正しく選択されていない。	操作パネルの給紙口スイッチを操作し「フロント CSF」または、「リア CSF」にセットしてください。
	カットシートフィーダがプリンタにきちんとセットされていない。	正しくセットし直してください(「カットシートフィーダを取り付ける」167 ページ参照)。
複数枚の用紙が同時に送られてしまう。	用紙を十分にさばいていない。	用紙を十分にさばいてからセットしてください。
	用紙が薄すぎる。	仕様にあった用紙を使用してください。
	用紙に折れ曲がりがある。	折れ曲がりの無い用紙を使用してください。
	左右の用紙ガイドの隙間が狭すぎるか、広すぎる。	用紙ガイドを用紙幅に合わせて正しくセットしてください。
	紙置台内の用紙が不揃いの状態でセットされている。	用紙を揃えて紙置台内に正しくセットしてください。
紙づまりが起きる。	種類の異なった用紙が混在している。	用紙の種類は一種類にして紙置台へセットしてください。
	左右の用紙ガイドの隙間が狭すぎるか広すぎる。	用紙ガイドを用紙幅に合わせて正しくセットしてください。
	仕様以外の用紙を使用している。	仕様にあった用紙を使用してください。
	用紙に折れ曲がりがある。	折れ曲がりの無い用紙を使用してください。
	種類の異なった用紙が混在している。	用紙の種類は一種類にして紙置台へセットしてください。
用紙排出を手前排出(テープル側)した場合に用紙下端が角折れする。	用紙下端部の印字デューティが高いため、用紙がカールした状態で排出されるため。	手前排出スイッチを押して、「手前排出」ランプを消灯し、排出方向を後方排出(スタッカ側)にしてください(「単票用紙の排出方向切り替える(手前排出)」31 ページ参照)、または機能設定の「ソウヰルセッティ」の「CSF ハイシュツホウコウ」を「コウホウシュウ」に設定してください(44 ページ参照)。



テスト印字をする

テスト印字は、次の手順で行います。

- 1 単票用紙または連続帳票用紙をセットする
- 2 オフライン状態で**設定/メニュー**スイッチを押し、メニューモードにする

オンライン状態

「オンライン」スイッチ

オフライン状態

「設定/メニュー」スイッチ



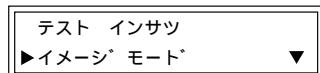
- 3 ◀または▶スイッチを押して「テストインサツ」を表示させる

「◀」「▶」

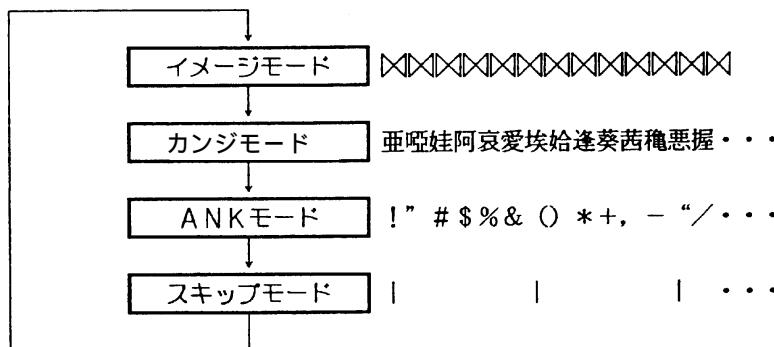


- 4 スイッチで下のレベルへ移り、◀または▶スイッチでテストパターンを選択する

「↑」「↓」



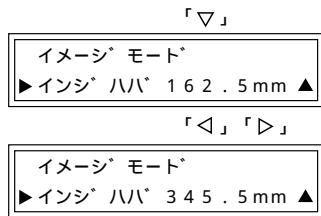
「◀」「▶」



漢字モードは明朝、ゴシック、ANK モードはドラフト、高品位を選択できます。

エミュレーションは、セットアップのモード設定(ESC/P または FM)に従います。

- 5 スイッチで下のレベルへ移り、◁または▷スイッチを押して印字幅を選択する



- 6 設定/メニュースイッチを押す

テスト印字が開始されます。

- 7 テスト印字中に登録・終了スイッチを押すと、テスト印字が終了する



HEX ダンプ印字をする

HEX ダンプ印字は、プログラムの診断に利用してください。パソコンからプリンタへ送られてきたデータを 16 進数のまま印字します。

HEX ダンプ印字は次の手順で行います。

- 1 単票用紙または連続帳票用紙をセットする
- 2 オフライン状態で **設定/メニュー**スイッチを押し、メニュー モードにする

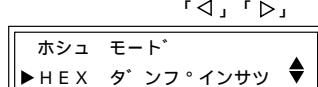
オンライン状態
 「オンライン」スイッチ
 オフライン状態
 「設定/メニュー」スイッチ



- 3 ◇または▷スイッチを押して「ホシュモード」を表示させる



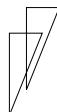
- 4 スイッチで下のレベルに移り、◇または▷スイッチを押して「HEX ダンプインサツ」を選択する



- 6 スイッチで下のレベルに移り、「セッティ」と表示されたら **設定/メニュー**スイッチを押す

オンライン状態になり、パソコンからのデータは 16 進数で印刷されます。

HEX ダンプ印刷を解除するには、**オンライン**スイッチを押してオフライン状態にし、**リセット**スイッチを押します。
 「ショキカ シマスカ?」と表示されたら、再度**リセット**スイッチを押します。通常のオフライン状態に戻ります。



清掃のしかた

プリンタを良好な状態で使用できるように、定期的に清掃してください。

⚠ 注意

感 電 プリンタの清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずにプリンタの清掃を行うと、感電の原因となることがあります。

高 温 印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がったことを確かめてから、清掃してください。やけどの原因となることがあります。

お願い

- ・シンナーやベンジンなど、揮発性の薬品は使用しないでください。プリンタの表面が変質したり、変形したりする恐れがあります。
- ・プリンタの内部を濡らさないでください。電気回路がショートする恐れがあります。
- ・プリンタに潤滑油を補給しないでください。プリンタの故障の原因となる場合があります。潤滑油の補給が必要な場合は、お買い求めの販売店、またはハードウェア修理相談センター（163ページ参照）までご連絡ください。

清掃は、次の手順で行います。

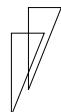
- 1 プリンタの電源を切り、電源プラグを抜く
- 2 トップカバーを開ける
- 3 プリンタを清掃する

印字した用紙が汚れたり、カバー部が汚れたりしているときは、中性洗剤を薄めた水に清潔な軟らかい布を浸し、よく絞ってカバー表面、プラテン、およびゴムローラの表面を拭いてください。プリンタ内の紙粉は除去してください。

お願い

印字ヘッドなどの壊れやすい部品には触らないように注意してください。破損の原因となります。

- 4 トップカバーを閉じて、電源を入れる



プリンタを輸送するとき――――――――――――――――――

プリンタを衝撃から守るため、以下の手順で梱包してから輸送してください。

1 プリンタの電源を一旦入れた後に切る

(電源スイッチが()側に倒れていることを確認します。)

一旦電源を入れることで、印字ヘッドが移動し、以降の作業ができる状態になります。

2 用紙を取り去り、リアスタッカを取り外す

3 プラグを電源プラグから抜いて、プリンタケーブルをプリンタから外す

4 リボンカセットを取り外す

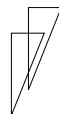
(「リボンカセットを交換する」128ページ参照)

5 リアスタッカを梱包する

6 印字ヘッドを手でゆっくりと右端まで移動する

7 印字ヘッドを保護するために、輸送用固定材を取り付ける

8 プリンタを衝撃から守るために梱包材などでくるみ、届いたときと同じ状態にして箱に入れる



アフターサービス

- ・お買い求めの際に販売店でお渡しする保証書は、大切に保管してください。
- ・保証書は日本国内のみで有効です。
- ・無償保証期間は、お買い上げ日より6か月です。詳細は保証書をご覧ください。
- ・保守部品供給期間は、製造中止後6年です。
- ・分解、改造などを行わないでください。無償保証期間内でも無償修理が受けられないことがあります。
- ・プリンタのご使用にあたっては、純正のサプライ用品をお使いください。

サプライ品以外の用品をお使いになったことによる、製品の誤動作および故障に関しましては、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。

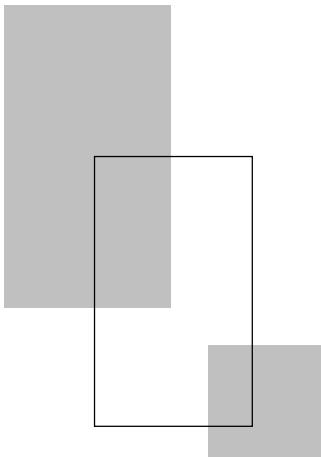
- ・故障の際は下記までご連絡ください。

『ハードウェア修理相談センター』

フリーダイヤル：0120-422-297

受付時間 : 平日 9:00 ~ 17:00

(土曜・日曜・祝日および当社指定の休日を除く)

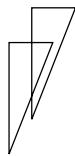


第 6 章

オプション

この章では、オプションの種類および取り付け、取り外しについて説明します。

オプションの概要	166
カットシートフィーダを取り付ける	167
プリンタ前部に取り付ける	167
プリンタ後部に取り付ける	171
カットシートフィーダを取り外す	174



オプションの概要

本プリンタには、次のオプションがあります。

◆ カットシートフィーダ (FMPR673CF1)

単票用紙を一枚ずつ連続的に送る自動給紙装置です。プリンタの前部または後部に取り付けて使用します。



警告

感電 オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。感電・火災または故障の原因となります。



カットシートフィーダを取り付ける――

カットシートフィーダは、プリンタの前部または後部に取り付けて使用します。前後同時に取り付けることもできます。本プリンタでは、カットシートフィーダ FMPR673CF1 を使用できます。



警告

感電 カットシートフィーダを取り付けたり、取り外したりするときは、必ずパソコンと本プリンタの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。感電の原因となります。



ガイド

- ・プリンタの前側にカットシートフィーダを取り付けた場合は、トラクタユニットは取り付けられません。取り外したトラクタユニットは保管しておいてください。
- ・カットシートフィーダをプリンタの前後同時に取り付けた場合は、「リターンセッティング」の「CSF 1 ピンセンタ」（56 ページ参照）でどちらを優先して使用するかを設定する必要があります。

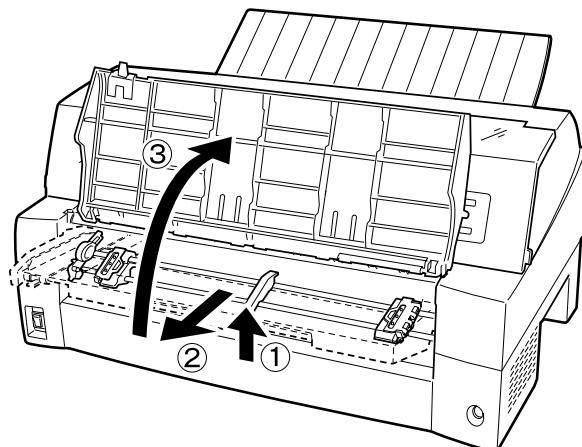
プリンタ前部に取り付ける

1 プリンタの電源を切る

プリンタの電源が「」側に倒れていることを確認します。

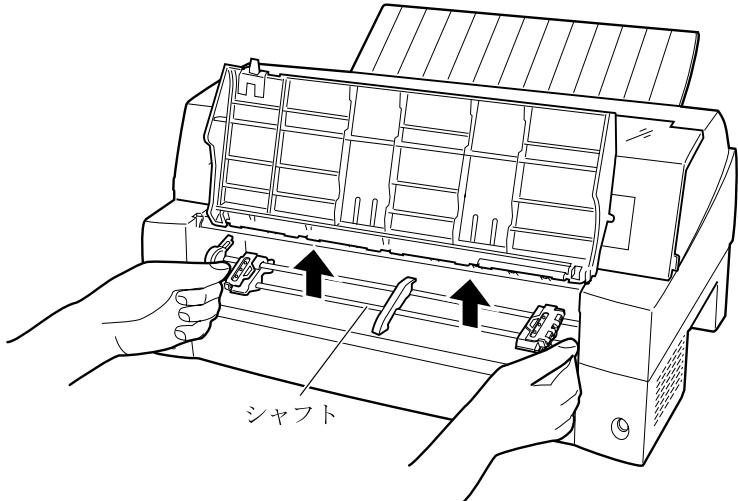
2 単票テーブルを開く

単票テーブルの先端を少し持ち上げ（）、手前に引いた後（）、回転させて開きます（）。



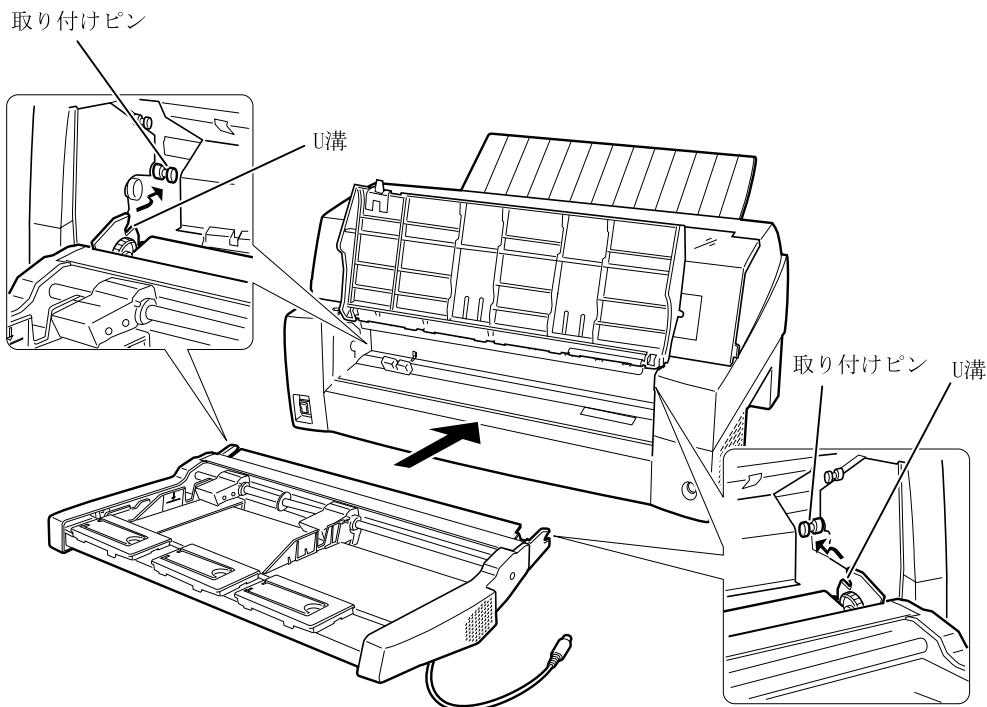
3 トラクタユニットを取り外す

単票テーブルを開きます。トラクタユニット手前側のシャフトの左右を上方に持ち上げてロックを外し、トラクタユニットを取り外します。

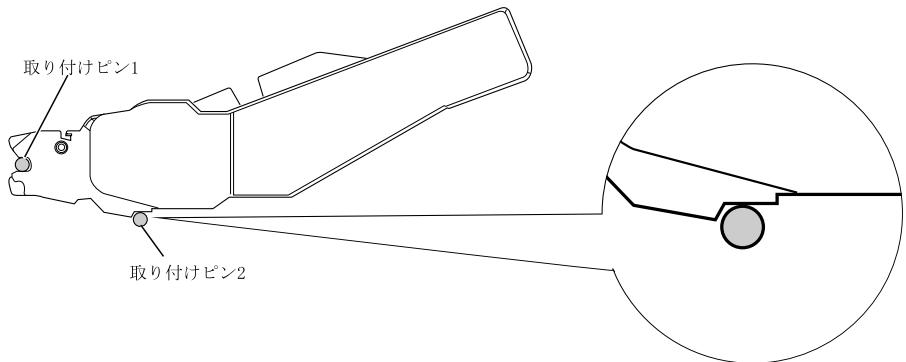


4 カットシートフィーダを取り付ける

カットシートフィーダの両側にあるU溝を、プリンタの奥の取り付けピンに差し込み、ゆっくりと下ろします。



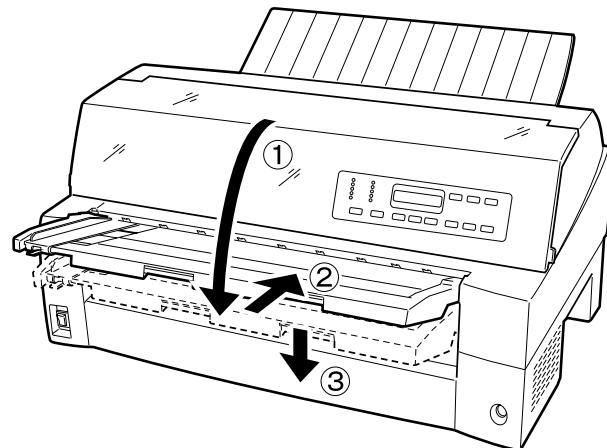
取り付けピン2にカットシートフィーダのフレームが正しく乗っていることを確認してください。



5 単票テーブルを元に戻す

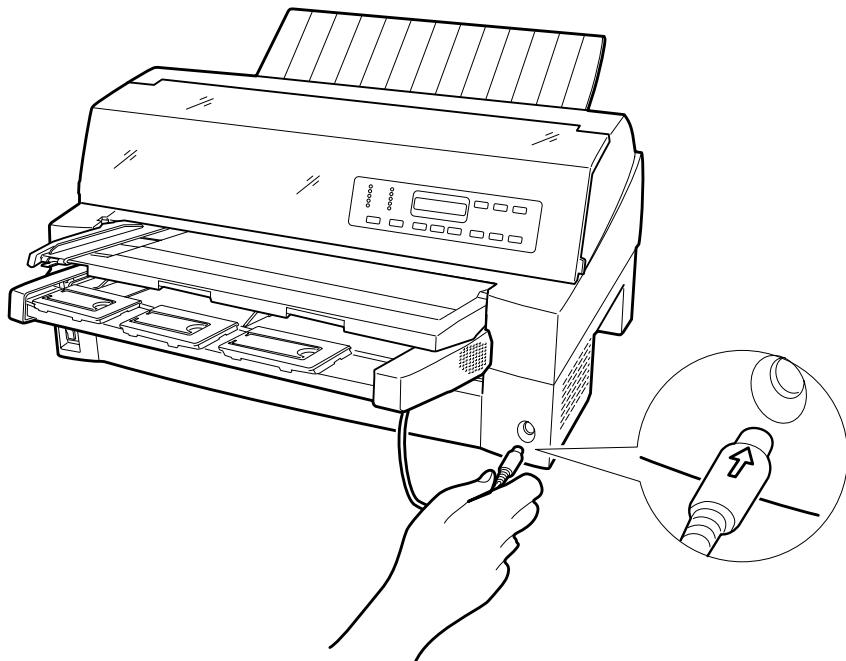
単票テーブルを下図のように回転させた(①)のち、奥に押し込んで(②)閉じます(③)。

単票テーブルのセットが正しくないと、用紙詰まりの原因となります。

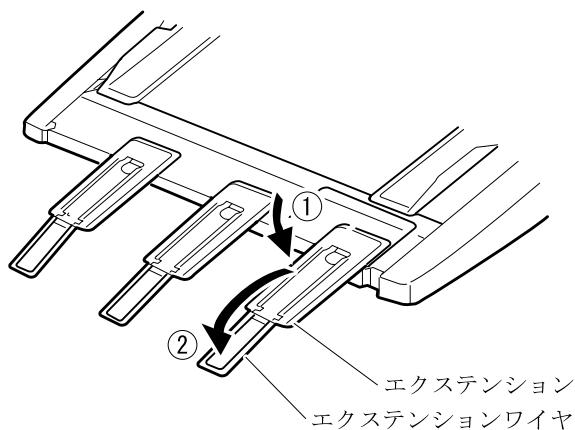


6 ケーブルを接続する

カットシートフィーダのケーブルを、プリンタ前面の右側にあるコネクタに接続します。コネクタの矢印を上にして挿入します。



7 使用する用紙サイズに合わせ、エクステンションおよびエクステンションワイヤを 、 の順に展開する



プリンタ後部に取り付ける

プリンタ後部は、カットシートフィーダとトラクタユニットの同時搭載が可能です。

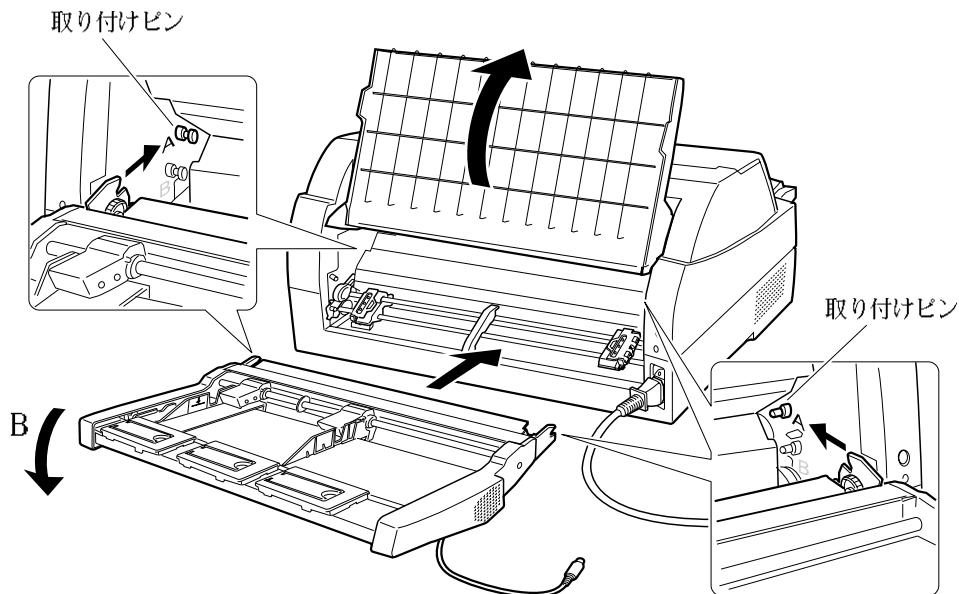
カットシートフィーダの取り付けは、プリンタの電源を切ってから行います。

1 プリンタの電源を切る

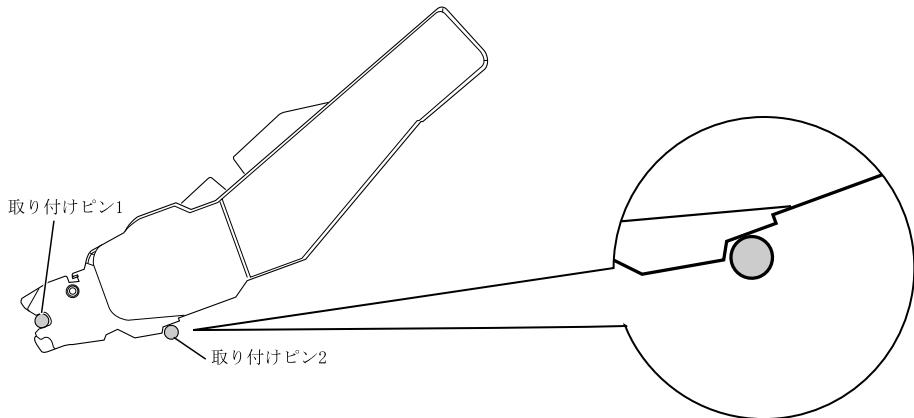
プリンタの電源が「」側に倒れていることを確認します。

2 カットシートフィーダを取り付ける

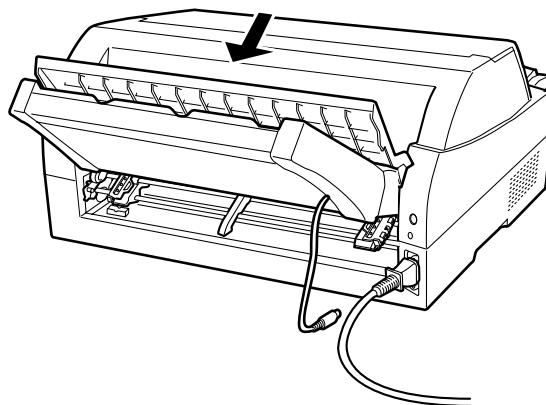
リアスタッカを開きます。カットシートフィーダの両側を持ち、カットシートフィーダの両側にある U 溝を、プリンタの奥にある取付けピンに差し込みます。（カットシートフィーダのラベル A をプリンタ側の刻印 A に合わせて差し込みます。）そのまま取付けピンを支点にして、矢印 B の方向に回転させるように下ろします。



取り付けピン 2 にカットシートフィーダのフレームが正しく乗っていることを確認してください。

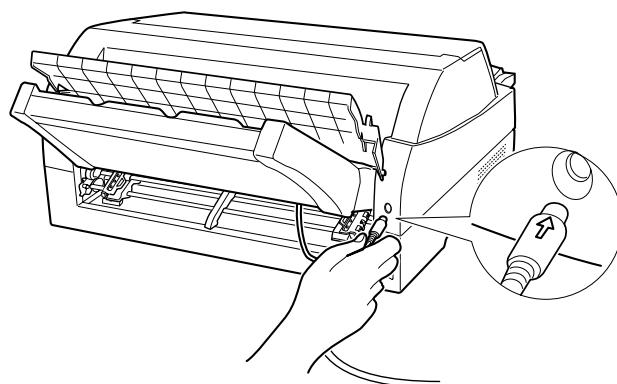


3 リアスタッカを閉じる

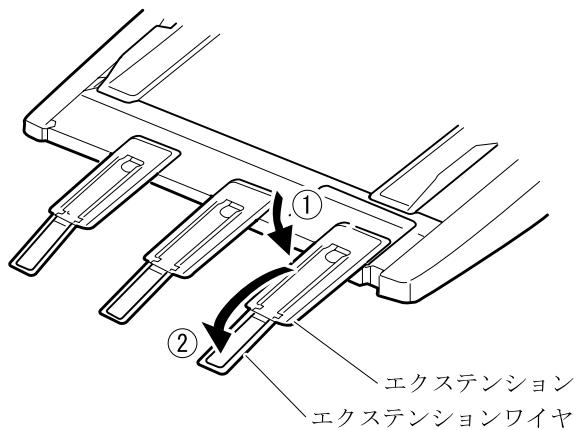


4 ケーブルを接続する

カットシートフィーダのケーブルを、プリンタ後面に向かって右側にあるコネクタに接続します。コネクタの矢印を上にして挿入します。



- 5 使用する用紙サイズに合わせ、エクステンションおよびエクステンションワイヤを 、 の順に矢印の方向に展開する





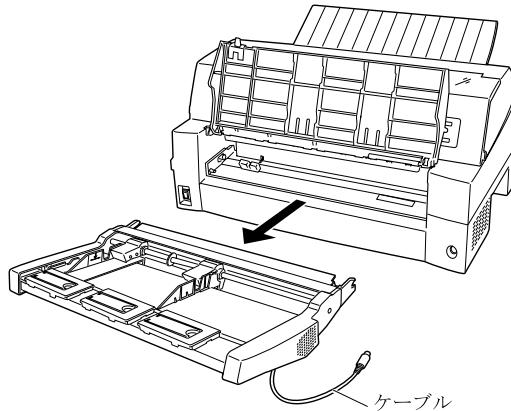
カットシートフィーダを取り外す —————

- 1 プリンタの電源を切る
- 2 カットシートフィーダのケーブルを抜く
- 3 カットシートフィーダを取り外す

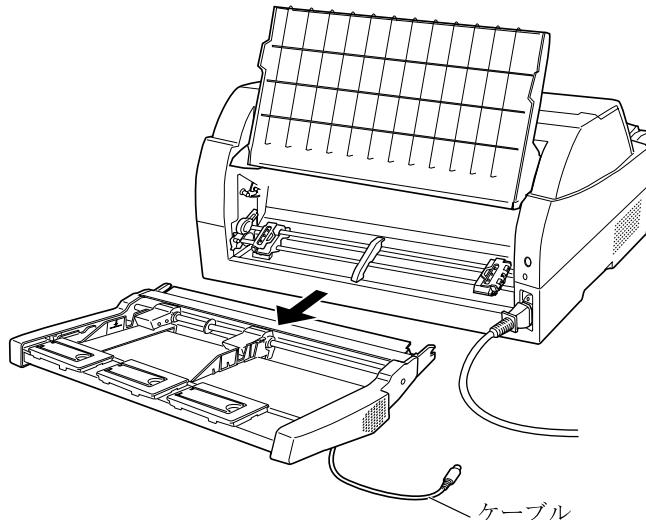


感電 カットシートフィーダを取り付けたり、取り外したりするときは、必ずパソコンと本プリンタの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行なってください。感電の原因となります。

プリンタ前部に取り付けた場合



プリンタ後部に取り付けた場合



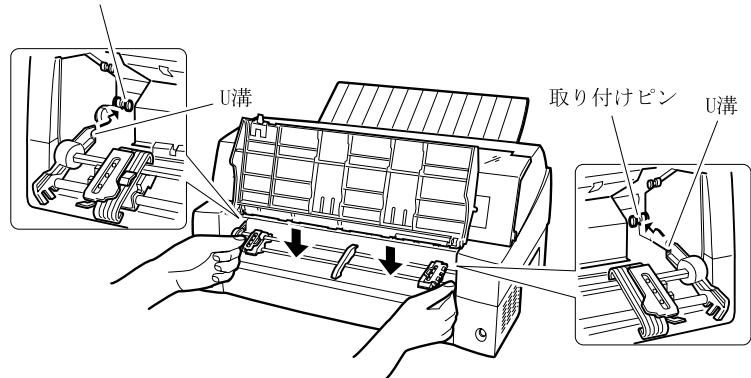


ガイド

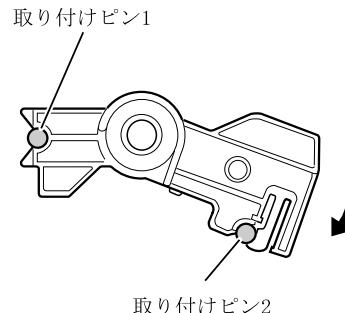
トラクタユニットの取り付けを以下に示します。

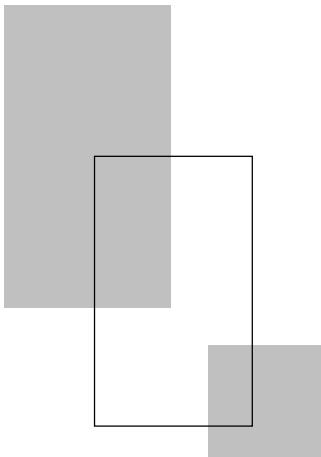
- 1) トラクタユニット左右のU溝をプリンタの取り付けピンに合わせます。（左側の取り付けピンの溝に合わせて取り付けます。右側の取り付けピンには、溝はありません。）
- 2) トラクタユニット手前側のシャフトをカチッと音がするまで押し下げてロックします。

取り付けピン



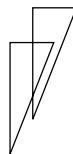
- 3) 下図のように取り付けピン2にトラクタユニットの左右のロック部が固定されていることを確認してください。





付 錄

プリンタの概略仕様	178
外観図	181
標準外観図	181
カットシートフィーダ(オプション)取り付け時の外観図	182
インターフェース仕様	183
ESC/P モードの制限事項	187
初期状態	188
FM モード	188
ESC/P モード	189
コマンド一覧表	190
FM モードコマンド一覧表	191
ESC/P モードコマンド一覧表	199
キャラクタコード一覧表	204
FM モードキャラクタコード一覧表	204
ESC/P モードキャラクタコード一覧表	205
非漢字一覧表	207
JIS ⁻⁹⁰ 第一水準漢字一覧表	214
JIS ⁻⁹⁰ 第二水準漢字一覧表	217
ご注意	220



プリンタの概略仕様

- 印字方式 ワイヤドットマトリックス
- 印字速度

(文字/秒)

	FMPR5400				
	標準		高複写モード1		高複写モード2
	レンジ1~3	レンジ4~8	レンジ1~3	レンジ4~9	
漢字 (27/180 インチ)	130	120	120	100	50
漢字高速 (27/180 インチ)	260	240	240	200	100
ANK レギュラ (パイカ)	195	180	180	150	75
ANK レギュラ (エリート)	234	216	216	180	90
ANK レギュラ高速 (パイカ)	390	360	360	300	150
ANK レギュラ高速 (エリート)	468	432	432	360	180
ANK ドラフト (パイカ)	540	540	540	450	225
ANK ドラフト (エリート)	648	648	648	540	270

(文字/秒)

	FMPR5600				
	標準		高複写モード1		高複写モード2
	レンジ1~3	レンジ4~8	レンジ1~3	レンジ4~9	
漢字 (27/180 インチ)	180	159	159	149	74
漢字高速 (27/180 インチ)	360	318	318	298	148
ANK レギュラ (パイカ)	270	239	239	224	112
ANK レギュラ (エリート)	324	286	286	268	134
ANK レギュラ高速 (パイカ)	540	478	478	448	224
ANK レギュラ高速 (エリート)	648	572	572	536	268
ANK ドラフト (パイカ)	540	540	540	540	330
ANK ドラフト (エリート)	648	648	648	648	396

注) ANK ドラフトは ESC/P モードでフォントを指定する事で選択可能

- ドット径 0.2mm
- ドットピッチ 1/180 インチ (縦、横共)
- 印字桁数

漢字全角 : 90 (文字/行)
 半角漢字 : 180 (文字/行)
 ANK (パイカ) : 136 (文字/行)
 ANK (エリート) : 163 (文字/行)

- 印字動作 両方向最短距離印字

・複写能力(コピー能力)

標準モード : オリジナル + 7P
 高複写モード : オリジナル + 8P
 (ただし、高複写モード1の場合)

・イメージ印字 行ドット数

FM モード選択時 2448
 ESC/P モード選択時 4896

・用紙送り 用紙送り方式 : 押込みトラクタ方式

(連続帳票用紙)
 フリクション方式(单票用紙)
 改行間隔 : 1/360 インチ × n
 (nはプログラム設定による)
 改行速度 : 約 50ms (1/6 インチ改行時)

・スタッカ容量(单票) 120枚以下(A4サイズ、1P用紙、連量55kg)

・用紙の種類、サイズ、カールの度合いや、
 印字デューティ、使用環境などにより減
 少しますので、ご注意ください。

・使用環境 温度 : 稼動時 5~35

非稼動時 -15~60

(ただし、温度勾配 15 /H 以下)

湿度 : 稼動時 30~80%RH

(最高湿球温度 29 以下)

非稼動時 5~95%RH

(ただし、結露しないこと。湿度勾配 30%RH/
 日以下)

・インターフェース

セントロニクス社準拠パラレルインターフェース

・電源仕様 入力電源種別 : 商用単相

電源電圧 : AC100V ± 10%

電源周波数 : 50/60 ± 1Hz

・消費電力 FMPR5400 平均 190W (最大 465W)

FMPR5600 平均 270W (最大 685W)

待機時 10W 以下

・外形寸法 600mm(幅) × 350mm(奥行) × 290mm(高)

・質量 約 22kg

・稼動音 FMPR5400 58dB(A)

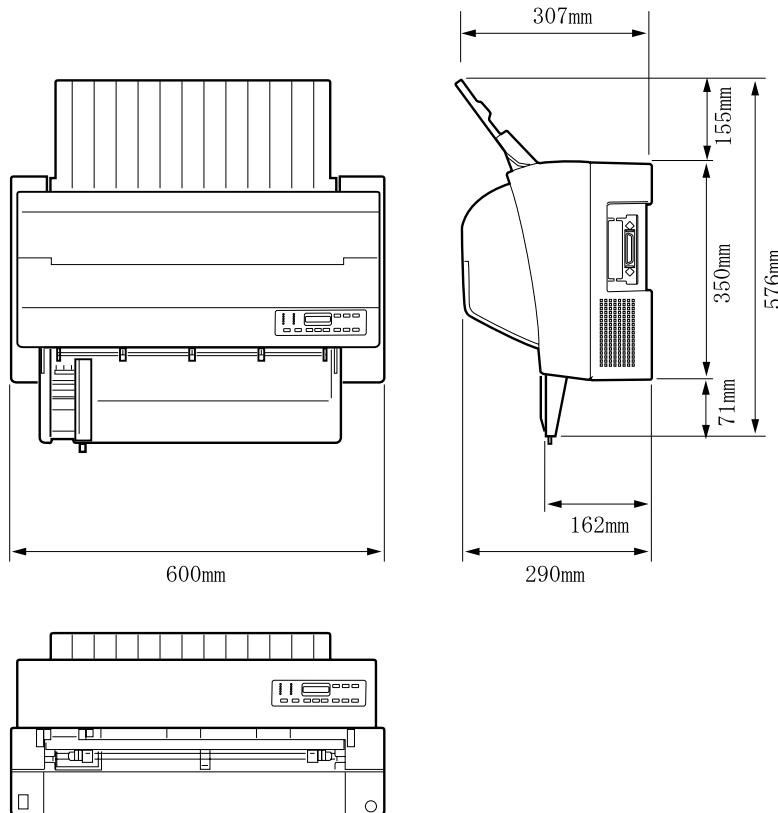
FMPR5600 60dB(A)

- ・リボン 種類： 据置き型リボンカセット
(サブカセット詰め替型)
リボン寿命：
1500 万字 (ANK ドラフト文字)
- 注) 上記の寿命は、製造後 2 年以内のものを下記の環境で保存した場合に保証する値です。
温度 - 10 ~ 50
湿度 20 ~ 90%RH
色：黒単色
- ・耐用期間 プリンタ装置：
5 年 (電源の通電条件:8 時間/日以内)
または 750 万行 (いずれか早い方)
耐用期間はプリンタの設置環境、使用頻度により大幅に変動します。
24 時間通電による運用の耐用期間は 1/3 に減少します。
- 印字ヘッド：
通常モード 5 億打/ピン
高複写モード 1 3 億打/ピン
高複写モード 2 3 億打/ピン
- 注) 黒率の高い印字を連続して行うと、印字ヘッドの寿命を縮める原因となります。
- ・制限事項
- 連続改行 LF モータ劣化防止のため、連続改行、連続改ページ動作は 3 分間以上行なわないでください。
- 高密度印字 印字ヘッド劣化防止のため、50% デューティ以上 のパターンを印刷すると、2 分割印字になることがあります。
- 逆改行動作
- 逆改行動作は改行乱れの原因となる場合がありますので、十分確認の上ご使用ください。
 - カットシートフィーダ使用の場合は 1/3 インチ以上の逆改行はできません。
 - 連帳用紙使用時に 22 インチを越える逆改行動作は、用紙づまりや用紙ガレの原因となるため行わないでください。
- 連続印字 印字ヘッドの温度上昇による劣化を防止のため、連続印刷を行うと 2 分割印字になることがあります。



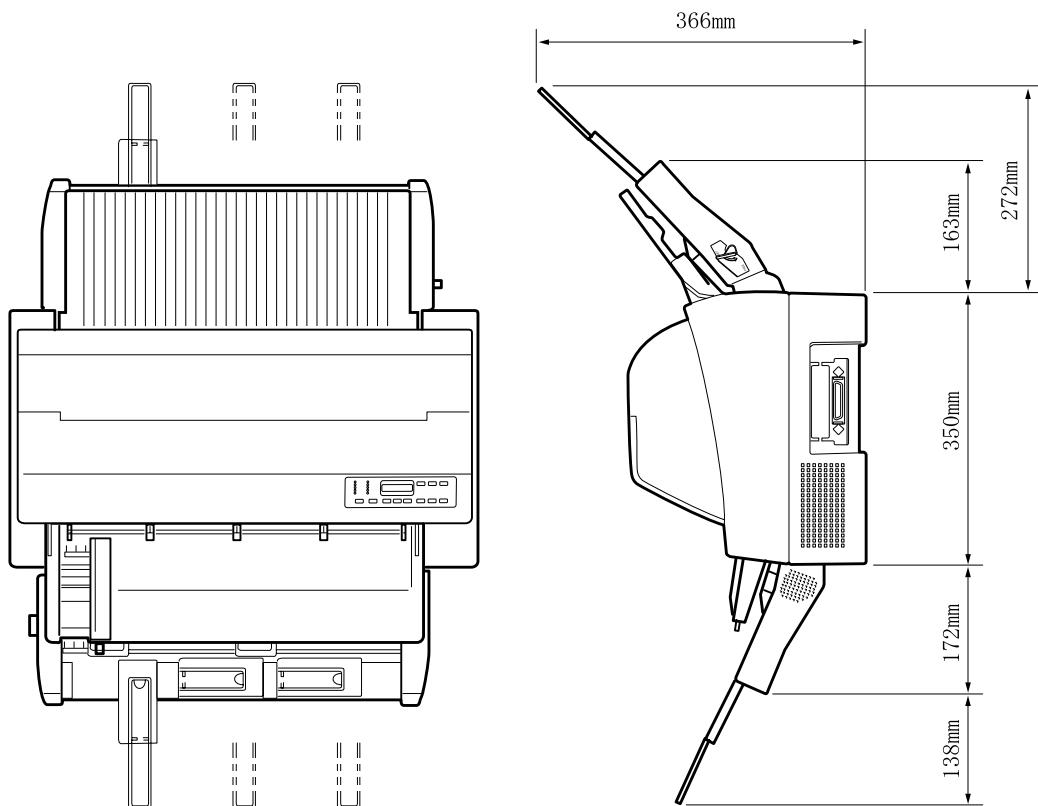
外観図

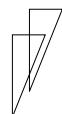
標準外観図



カットシートフィーダ(オプション)取り付け時の外観図

◆ カットシートフィーダを前面と後面に取り付けたときの外観図





インターフェース仕様

◆ インタフェースコネクタ

プリンタ側：レセプタクル : アンフェノール(DDK)57-40360相当
 ケーブル側：プラグ : アンフェノール(DDK)57-30360相当

◆ インタフェースケーブル

素 材 : 7/ 0.12 (AWG28相当)以上
 タイプ : シールド
 長 さ : フラットケーブル : 1.5m 以下
 ツイストケーブル : 3.0m 以下

◆ 信号レベル

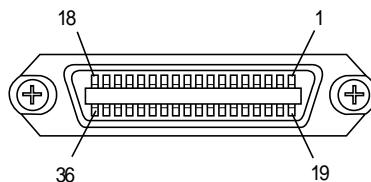
LOW : 0.0V ~ + 0.4
 HIGH : + 2.4V ~ + 5.0V

◆ データ転送方式

8 ビットパラレル

◆ コネクタピン配列

インターフェースコネクタ (36 ピン)



ESC/P モード

ピン No.	信号	ピン No.	信号
1	*STROBE	19	*STROBE-RET
2	DATA1	20	DATA1-RET
3	DATA2	21	DATA2-RET
4	DATA3	22	DATA3-RET
5	DATA4	23	DATA4-RET
6	DATA5	24	DATA5-RET
7	DATA6	25	DATA6-RET
8	DATA7	26	DATA7-RET
9	DATA8	27	DATA8-RET
10	*ACKNLG	28	*ACKNLG-RET
11	BUSY	29	BUSY-RET
12	PE	30	*INIT-RET
13	SLCT	31	*INIT
14	*AUTO FEED XT	32	*ERROR
15	NC	33	SG
16	SG	34	NC
17	FG	35	NC
18	NC	36	*SLCT IN

注 1) -RET 信号は、すべて SG に接続されています。

注 2) “*”は、負論理信号であることを示します。

・入力信号の説明

DATA1～8 プリンタの受信データです。

“H”で信号あり、“L”で信号なしです。

*STROBE DATA1～8 を読み込むためのパルス信号です。

定常状態では“H”です。“H”から“L”になるとき、データを読み込みます。

*INIT プリンタを初期状態にする信号です。

初期状態については、188 ページを参照してください。

“L”になるとプリンタは初期状態になります。

*SLCT IN DC1/DC3 を無効にする信号です。

電源投入時に“L”になっていると、DC1/DC3 コードが無効になります。

*AUTO FEED XT

復帰改行する信号です。

“L”になっていると、CR コードを受信して復帰改行します。

・出力信号の説明

*ACKNLG *STROBE に対する応答信号です。

データ入力完了時に出力される負のパルス信号です。

PE 用紙切れを通知する信号です。

用紙が残り少ないと、この信号は“H”になり、「用紙切れ」ランプが点灯します。

BUSY プリンタのビジー状態を通知する信号です。

この信号が“H”的とき、プリンタはビジー状態で、データは受信できません。

以下の状態のとき、この信号は“H”です。

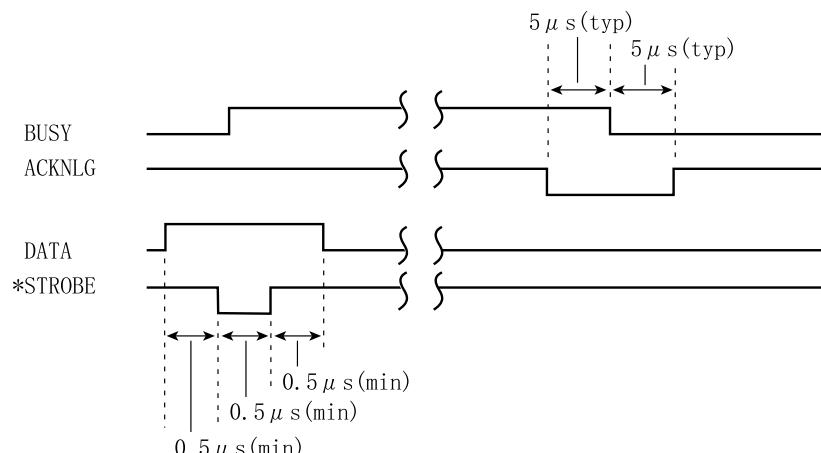
受信データ処理中、アラーム状態、オフライン状態、電源投入時または*INIT 信号を受信しての初期化動作中

SLCT 常に“H”です。

*ERROR アラーム状態、オフライン状態を通知する信号です。

この信号が“L”的ときは、アラーム状態、オフライン状態です。

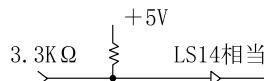
・タイミングチャート



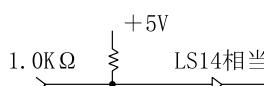
◆ インタフェース回路

・入力回路

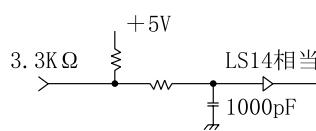
ピン No.	ESC/P モード
2 ~ 9	DATA1 ~ 8



ピン No.	ESC/P モード
14	*AUTOFEED XT

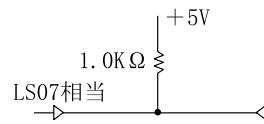


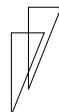
ピン No.	ESC/P モード
1	*STROBE
31	*INIT
34	NC



・出力回路

ピン No.	ESC/P モード
10	*ACKNLG
11	BUSY
12	PE
13	SLCT
15	NC
32	*ERROR
33	SG
18	NC





ESC/P モードの制限事項

このプリンタは、FM モードと ESC/P モードの 2 種類のプリンタの動作モードに対応しています。

ここでは、このプリンタを ESC/P モードで運用するときの制限事項について説明します。

◆ サポートコマンド

このプリンタは、ESC/P 24-J84 に準拠していますが、印字方式、解像度の違いによりサポートしていないコマンドがあるので注意してください。

(「ESC/P モードコマンド一覧表」199 ページ参照)

◆ プリンタの動作モードの切り替え

機能設定で、プリンタの動作モードを FM モードまたは、ESC/P モードに設定することができます。

(43 ページ参照)

◆ ソフトウェアの設定

次のプリンタドライバを使用してください。

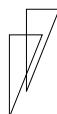
Windows のとき : FMPR5400 の場合

 FMPR5400 プリンタドライバ (プリンタ添付)

 FMPR5600 の場合

 FMPR5600 プリンタドライバ (プリンタ添付)

MS-DOS のとき : VP-1700 または VP-1000 用



初期状態

FM モード

電源投入時、*INIT/*INPRM 受信時、およびリセットコマンド(RIS/RBS)受信時の初期状態を下表に示します。

	電源投入、*INIT	リセットコマンド
解像度	180dpi	同左
行受信バッファ	クリア	〃
左端、右端の設定	左端 = 左端 1 = 左端 2 = 1 ドット (始端) 右端 = 2448 ドット (終端)	〃
タブ設定 (水平、垂直)	すべて解除	〃
ページ長	11 インチ	〃
スキップパーフォレーション行	0 行	〃
改行ピッチ	1/6 インチ	〃
書 体 (ANK)	ドラフト	〃
ANK 文字ピッチ	1/10 インチ	〃
ANK 文字サイズ	標準	〃
ANK アンダーライン	なし	〃
スーパーサブスクリプト指定	解除	〃
プロポーショナル指定	解除	〃
プロポーショナル空白幅	1/10 インチ	〃
書 体	明朝/ゴシック(注)	〃
漢字指定	ANK モード	〃
漢字文字ピッチ	3/20 インチ	〃
漢字縦書き	横書き	〃
漢字縦書き時の文字回転	物理的に左 90° 回転	〃
半角縦書きの制御	2 文字ペア	〃
漢字アンダーライン	なし	〃
漢字文字サイズ	標準	〃
漢字縦拡大の基準	上端合わせ	〃
罫線接続	接続しない	〃
漢字未定義コード	印字	〃
外字登録	すべてクリア	保持
フロント/リアシートフィーダ 搭載時	用紙排出	同左
フロント/リアシートフィーダの ホッパから吸入する用紙の指定	一般紙	〃

注) 機能設定「ソウキノウ セッティ」の「カンジショタイ」設定によります。

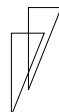
ESC/P モード

電源投入時、*INIT 受信時、およびリセットコマンド(ESC@)受信時の初期状態を下表に示します。

	電源投入、*INIT	ESC@
ページ先頭位置	初期化時に印字ヘッドのある位置	同左
印刷バッファ	クリア	"
メカニズム	印字ヘッドをホームポジションに移動	しない
ダウンロード文字 外字定義文字	クリア	クリアしない
ページ長	11インチ(注1)	
ミシン目スキップ	解除(注1)	
右マージン	136桁(10CPIの文字幅による)	
左マージン	0	
改行量	1/6インチ/行(注1)	
水平タブ位置	8文字ごとの水平タブ	
垂直タブ位置	無指定	
文字ピッチ	10文字/インチ(注1)	
プロポーショナル	解除	
英数カナ文字書体	クーリエ(注1)	
文字品位	高品位(注1)	
国際文字選択	日本(注1)	
文字コード表	カタカナコード表(注1)	
文字間スペース量	0	
文字装飾	解除	
縮小	解除(注1)	
漢字モード	解除	
漢字書体	明朝体(注1)	
縦書き/横書き	横書き	
全角文字/半角文字/・角文字	全角文字	
全角漢字の左右スペース量	左スペース量:0 右スペース量:3	
半角漢字の左右スペース量	左スペース量:0 右スペース量:2	
1/4角文字の左右スペース量	左スペース量:0 右スペース量:2	
漢字装飾	解除	
单方向印字	解除(注1)	
漢字高速印字	解除(注2)	
カットシートフィーダモード	第1ピン選択	

注1) 機能設定の内容により、初期状態が異なります。上記は、機能設定が出荷時の状態の場合です。

注2) ただし、印字モード/改ページスイッチにより高速印字モードにしていた場合、ESC@受信では高速印字を解除しません。



コマンド一覧表

本プリンタで使用できるコマンドについて、簡単に説明します。FM モードのコマンドの詳細は、別売の「FM プリンタシーケンスリファレンスマニュアル（シリアルプリンタ編）」（マニュアルコード：80HP-0700-*）をご覧ください。

（マニュアルコード：80HP-0700-* 末尾の「*」は版数を表します。）

お願い

本プリンタでは、1インチ以上の逆改行を行わないでください。これを行うと、印字が乱れたり、用紙づまりの原因になったりします。



ガイド

フロント/リアシートフィーダ給紙の場合、逆改行のトータル量は 1/3 インチ以下とします。

◆ 表の見方

- ・ < >₁₆ 内の文字は 16 進表記です。
- ・ コマンド欄の記号は、次のコードを意味します。
 $ESC = <1B>_{16}$ $CSI = <1B>_{16} + <5B>_{16}$
 $CEX = <1C>_{16}$ $PUI = <1B>_{16} + <51>_{16}$
- ・ _u は、スペース（空白<20>₁₆）を示します。
- ・ Pa、P₁、P₂、…、Pn はパラメータを示します。

FM モードコマンド一覧表

このプリンタは、基本ピッチが1/180インチです。FMモードでは180dpiモードで動作します。

また、このプリンタのドット位置は次のとあります。

始端：1 ドット

終端：2448 ドット

FM モードのコマンドは、下表のとおりです。

欄の記号は次の意味を表します。

：本プリンタで使用できる

×：本プリンタではサポートしていない

機能名称		名 称	コマンド	機 能	
装置制御	リセット	RIS	リセット	ESC+c	プリンタを初期状態にします。 初期状態については「初期状態」(188ページ)を参照してください。
		RBS	リセット	CEX+]	
	動作モード設定	DCH	解像度変更指定	PU1+Pa!+A	解像度を変更します。
	装置制御	DC1	デバイス・コントロール1	<11> ₁₆	オンライン状態にします。
		DC3	デバイス・コントロール3	<13> ₁₆	印字後、オフライン状態にします。
		PDIR	印字方向指定	PU1+Pa+_-`	印字方向を指定します。 Pa = 0 両方向印字指定 (初期値) 1 片方向印字指定
		HSPR	高速印字指定	PU1+Pa+_- -	高速印字を指定します。 Pa = 0 通常印字 (初期値) 1 高速印字
		BEL	ベル	<07> ₁₆	ブザーが鳴ります。 装置機能設定の「ブザー」の設定がオフに設定してある場合は無効です。
	CAN	抹 消		<18> ₁₆	バッファ内のデータをクリアします。
	DEL	削 除		<7F> ₁₆	1 文字削除します。

機能名称		名 称		コマンド	機 能	
ペ ジ 制 御	用紙制御	CSF	カットシート フィーダ制御	PU1+Pa+ _{..} +[カットシートフィーダの動作(吸入・排出)、吸入する用紙の種類と 吸入口を指定します。 Pa = 0 用紙を吸入 1 用紙を排出 10 一般紙 (上端余白約 22.0mm) (注 1) 11 はがき縦 (上端余白約 12.7mm) 12 はがき横 (上端余白約 9.7mm) 20 第1ピン 21 第2ピン 22 無効	
		CSF2	カットシート フィーダ制御 2	PU1+Pa+ _{..} +\$	カットシートフィーダの自動給紙 を指定します。 Pa = 0 自動給紙を解除 3 自動給紙を指定	
印字領域	SPF	自動改ページ指 定	PU1+Pa+ _{..} +K		スキップパーフォレーション行を 指定します	
	LMRG	左端指定	PU1+P1+ _{..} +P2+ _{..} +Q		左端位置を指定します。	
ページ長 設定	PGL1	ページ長指定 1	PU1+Pa+ _{..} +A		行単位でページ長を指定します。	
	PGL2	ページ長指定 2	PU1+Pa+ _{..} +B		インチ単位でページ長を指定しま す。	
印 字 位 置 制 御	基本制御	CR	復 帰	<0D> ₁₆	印字後、受信位置を同一行の左端 にします。	
		BS	後 退	<08> ₁₆	印字後、受信位置を 1 文字分後退 します。	
		LF	改 行	<0A> ₁₆	印字後、受信位置を次の行の左端 にします。	
		NEL	復 改	ESC+E		
		NEL	復 改	CEX+@		
		FF	改ページ	<0C> ₁₆	印字後、受信位置を次のページの 左端にします。	

注 1) 上端余白とは、用紙の上端から印字開始行の文字上端までのことをい
ます。

機能名称		名 称		コマンド	機 能	
印 字 位 置 制 御	ピッチ 制御	CP	漢字文字ピッチ 指定	CEX+\$+Pa	漢字文字ピッチを指定します。	
		LP	改行ピッチ指定	CEX+%+Pa	改行ピッチを指定します。	
		LP2	改行ピッチ指定 2	PU1+P1+;+P2+ +G	P1/P2 インチで改行ピッチを指定し ます。	
		SPI	改行ピッチ/ ANK 文字ピッチ 指定	CSI+P1+;+P2+ +G	改行ピッチおよび ANK 文字ピッチ を指定します。	
	タブ位置 設定	HTS	水平タブセット	ESC+H	現在位置に水平タブストップを設 定します。	
		SCT	水平タブセット	CEX+F		
		STF	水平タブ位置指 定	CEX#+#P1+ ... +Pn	水平タブストップを指定します。	
		HTSA	水平タブ位置指 定	CSI+P1+;+... +Pn+..+N		
		VTS	垂直タブセット	ESC+J	現在行に垂直タブストップを設 定します。	
		SLT	垂直タブセット	CEX+H		
		VTSA	垂直タブ位置指 定	PU1+P1+;+... +Pn+..+@	垂直タブストップを指定します。	
	タブ位置 解除	RCT	水平タブリセッ ト	CEX+G	現在位置の水平タブストップを解 除します。 TBC で Pa = 0 を指定したときと同 じです。	
		RLT	垂直タブリセッ ト	CEX+I	現在行の垂直タブストップを解 除します。 TBC で Pa = 1 を指定したときと同 じです。	
		TBC	タブクリア	CSI+Pa+g	タブストップを解除します。 Pa = 0 現在位置の水平タブス トップを解除 (RCTと同じ) (初期値) 1 現在行の垂直タブスト ップを解除 (RLTと同じ) 3 すべての水平タブスト ップを解除 4 すべての垂直タブスト ップを解除	

機能名称		名 称		コマンド	機 能
印字位置制御	タブ移動	HT	水平タブ	<09> ₁₆	受信位置を、次の水平タブストップに進めます。
		CHBT	水平逆タブ	CEX+D	印字後、受信位置を手前の水平タブストップにします。
		HPA	絶対水平タブ	CSI+Pa+ _u	受信位置を指定した位置にします。
		HPA2	絶対水平タブ 2	PU1+Pa+ _u +P	受信位置を指定します。
		HPR	相対水平タブ	CSI+Pa+a	受信位置を指定した分だけ進めます。
		PS	指定間隔	CEX+!+Pa	
		HPB	相対水平逆タブ	CSI+Pa+j	同一行内で、指定した分だけ受信位置を戻します。
		VT	垂直タブ	<0B> ₁₆	印字後、受信位置を次の垂直タブストップにします。
		VPA	絶対垂直タブ	CSI+Pa+d	印字後、受信位置を指定した行の左端にします。(注2)
		VPR	相対垂直タブ	CSI+Pa+e	印字後、受信位置を指定した行の左端にします。
		SAP	動作位置指定	CEX+"+P1+P2	印字後、受信位置を指定した位置にします。(注2)
		HVP	動作位置指定	CSI+P1+;+P2+f	
行組み	行組み	LC	行組み指定	CEX+)+P1+P2+P3+P4	右端、左端1、左端2を指定します。
		KNL1	漢字復改 1	CEX+A	印字後、受信位置を次の行の左端1にします
		KNL2	漢字復改 2	CEX+B	印字後、受信位置を次の行の左端2にします
		NPH	段 落	CEX+C	印字後、受信位置を次の行の左端から漢字1文字分進めます。
文字印字制御	漢字/ANK	SCS	漢字指定	ESC+\$+@	JIS ⁷⁸ 漢字モードを指定します。
				ESC+\$+B	JIS ⁸³ 漢字モードを指定します。
		ANK 指定		ESC+(+H	ANKモードを指定します。

注2) このプリンタは、逆改行動作に制限があります。(180 ページ参照)印字位置に誤差が生じたり、他のプリンタでは逆改行動作をできなかつたりする場合がありますので、逆改行動作を伴うコマンドは使用しないことをおすすめします。

機能名称		名 称		コマンド	機 能									
印 字 位 置 制 御	漢字/ANK	TF	書体指定	CEX+ (+P1+P2)	<p>ANK 文字と漢字文字の書体を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> レギュラ文字はドラフト文字より印字速度が低下します。 レギュラ文字で文字ピッチを 1/10 インチ未満にすると文字の右側が欠けることがあります。 <table border="1"> <tr> <td></td><td>P₁ = 0 (ANK)</td><td>P₁ = 1 (漢字)</td></tr> <tr> <td>P₂ = 0</td><td>ド ラ フ ト</td><td>明 朝</td></tr> <tr> <td>P₂ = 1</td><td>レ ギ ュ ラ</td><td>ゴ シ ツ ク</td></tr> </table> <p>初期値</p>		P ₁ = 0 (ANK)	P ₁ = 1 (漢字)	P ₂ = 0	ド ラ フ ト	明 朝	P ₂ = 1	レ ギ ュ ラ	ゴ シ ツ ク
	P ₁ = 0 (ANK)	P ₁ = 1 (漢字)												
P ₂ = 0	ド ラ フ ト	明 朝												
P ₂ = 1	レ ギ ュ ラ	ゴ シ ツ ク												
HSS2	半角指定 2	PU1+Pa+ +	1 バイト半角文字を指定します。 Pa = 0 標準文字 (ANK 文字) (初期値) 1 半角文字											
SPS	欧文ピッチ処理開始	CEX+T	プロポーショナル印字を指定します。											
EPS	欧文ピッチ処理終了	CEX+U	プロポーショナル印字を解除します。											
SSP	上つき文字開始	CEX+N	上つき文字を指定します。											
ESP	上つき文字終了	CEX+O	上つき文字を解除します。											
SSB	下つき文字開始	CEX+P	下つき文字を指定します。											
ESB	下つき文字終了	CEX+Q	下つき文字を解除します。											
KGM	漢字拡大印字指定	CEX+'+P1+P2	<p>漢字文字の拡大 (縮小) 印字のサイズを指定します。</p> <p>SFC コマンドのスケラーブル指定が無効の場合 P₁, P₂ の範囲 50, 100, 200%</p> <p>SFC コマンドのスケラーブル指定が有効の場合 P₁, P₂ の範囲 1 ~ 999%</p>											
GSM	ANK 倍幅拡大印字指定	CSI+P1+;+P2+ +B	ANK 文字の倍幅拡大印字を指定します。 縦方向に 100%、横方向に 100、200% を指定できます。											

機能名称		名 称		コマンド	機 能	
文 字 印 字 制 御	拡大/ 縮小	SFC	スケーラブル 文字制御	PU1+P1+;+P2+ ;+P3+;+P4+;+ P5+!+Q	スケーラブル文字を制御します。 P ₁ = 0 スケーラブル無効 (初期値) 1 スケーラブル有効 P ₂ = 0 ドットフォント優先 1 アウトライインフォント 優先 P ₃ = 0 固定 P ₄ = 0 固定 P ₅ = 0 200%拡大時にアウトラ インフォント使用 1 200%拡大時にドットフ ォント使用	x
強調	HL	カラー/ 漢字アンダーラ イン指定	CEX+*+Pa		漢字アンダーラインを指定しま す。 Pa = 0 通常印字 (初期値) 4 漢字アンダーライン 10 } 13 } 無効 15 } 16 }	
	SGR	カラー/ ANK アンダーラ イン指定	CSI+Pa+m		ANK アンダーラインを指定します。 Pa = 0 通常印字 (初期値) 4 ANK アンダーライン 30 } 33 } 無効 35 } 36 }	
縦書き 横書き	VWF	漢字縦書き指定	CEX+J		漢字の縦書きを指定します。	
	VWF2	漢字縦書き指定 2	PU1+Pa+L+q		漢字縦書き時の文字の回転の扱い を指定します。 Pa = 0 物理的に 90 度回転 (初期値) 1 パターンによる最適変 換	
	HWF	漢字横書き指定	CEX+K		漢字の横書きを指定します。	
	HVWF	半角文字縦書き 指定	PU1+Pa+L+p		漢字縦書き時の半角文字の扱いを 指定します。 Pa = 0 2 文字ペア (初期値) 1 1 文字中心	

機能名称		名 称		コマンド	機 能	
文 字 印 字 制 御	その他	KC	罫線接続指定	PU1+Pa+L+t	罫線接続を指定します。 Pa = 0 接続しない (初期値) 1 接続する	
		KUDC	漢字未定義コード	PU1+Pa+L+X	漢字未定義コードの扱いを指定します。 Pa = 0 印字 (初期値) 1 漢字スペース	
		TSS	スペース幅指定	CSI+Pa+L+E	プロポーショナル文字のときの、 スペースコードの幅を指定します。	
イ メ ージ デ ー タ 印 字	イメージ 処理	NIMG	イメージ転送	PU1+Pa+L+W+ データ	イメージを印字します。	
		SIMG	単密度倍幅 イメージ転送	PU1+Pa+L+V+ データ	単密度倍幅イメージを印字します。	
		DIMG	倍幅イメージ転 送	PU1+Pa+L+X+ データ	倍幅イメージを印字します。	
外 字 登 録	外字登録	CPT	外字登録	CEX+2+0+P1+P 2+D1+...+D144	24×24 ドットの、ユーザ定義文字 を登録します。	
		CPT2	外字登録 2	CEX+2+1+P1+P 2+D1+...+D576	48×48 ドットの、ユーザ定義文字 を登録します。	×

【非推奨コマンド】

以下のコマンドは逆改行動動作を伴います。

このプリンタは、逆改行動動作に制限があります。(180 ページ参照) 印字位置に誤差が生じたり、他のプリンタでは逆改行動動作をできない場合がありますので、以下のコマンドは使用しないことをおすすめします。

機能名称		名 称		コマンド	機 能	
非 推 奨 コ マ ン ド	逆改行 タブ	LBT	垂直逆タブ	CEX+E	印字後、受信位置を手前の垂直タブ ストップの左端にします。	
		VPB	相対垂直逆タブ	CSI+Pa+k	印字後、指定した行だけ逆改行して 受信位置を左端にします。	
	印字位置	KSM	漢字モードセッ ト	CEX+ - +t	文字中心合わせを指定します。	
		KRM	漢字モードリセ ット	CEX+.+t	文字下端合わせを指定します。	
		KUPF	漢字基準線指定	PU1+Pa+..+d	文字中心/下端/上端合わせを指定 します。	

ESC/P モードコマンド一覧表

ESC/P モードコマンドは、下表のとおりです。

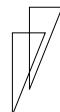
機能名称	名 称	コマンド	機 能
書式設定・実行	印字領域設定	行単位ページ長設定	行単位でページ長を設定します。
		インチ単位ページ長設定	インチ単位でページ長を設定します。
		ミシン目スキップ設定	ページ長下端からのミシン目スキップ位置を設定します。
		ミシン目スキップ解除	ミシン目スキップ設定を解除します。
		右マージン設定	右マージン位置を桁数で設定します。
		左マージン設定	左マージン位置を桁数で設定します。
	改行量設定	1/8 インチ改行量指定	改行量を 1/8 インチに設定します。
		1/6 インチ改行量指定	改行量を 1/6 インチに設定します。
		n/180 インチ改行量指定	改行量を Pa/180 インチに設定します。
		n/60 インチ改行量指定	改行量を Pa/60 インチに設定します。
タブ設定		n/360 インチ改行量指定	改行量を Pa/360 インチに設定します。
	垂直タブ位置設定	ESC + B + P ₁ + P ₂ + ... P _n + NUL	ページ先頭行からの垂直タブ位置を設定します。
	水平タブ位置設定	ESC + D + P ₁ + P ₂ + ... P _n + NUL	左マージン位置からの水平タブ位置を設定します。
	VFU チャネル選択	ESC + / + Pa	チャネル番号を指定します。
	VFU タブ位置設定	ESC + b + Pa + P ₁ + ... P _n + NUL	Pa で指定されたチャネル番号に対して、ページ先頭行からの垂直タブ位置を設定します。
印字・紙送り	印字復帰	CR	バッファ内のデータを印字後、受信位置を同一行の左マージン位置にします。
	改行	LF	バッファ内のデータを印字後、現在の改行ピッチに従って受信位置を次行の左マージン位置にします。
	改ページ	FF	バッファ内のデータを印字後、設定されているページ長にしたがって改ページします

機能名称		名 称	コマンド	機 能
書式設定・実行	印字位置設定	n/180 インチ順方向紙送り	ESC + J + Pa	1/180 インチ単位で、受信位置を現在位置からの移動量で指定します。
		水平タブ実行	HT	受信位置を同一行の次の水平タブ位置へ移動します。
		垂直タブ実行	VT	バッファ内のデータを印字後、受信位置を次の垂直タブ位置の左マージン位置へ移動します。
		後退	BS	受信位置を直前の文字の文字ピッチに従って1文字分左へ移動します。
		絶対位置指定	ESC + \$ + P ₁ + P ₂	受信位置を左マージン位置からの移動量で指定します。
		相対位置指定	ESC + ¥ + P ₁ + P ₂	受信位置を現在位置からの移動量で指定します。
テキスト処理	A N K 文字	文字セット	12CPI 指定	ANK 文字のピッチを 12CPI に設定します
			10CPI 指定	ANK 文字のピッチを 10CPI に設定します。
			15CPI 指定	ANK 文字のピッチを 15CPI に設定します。
		プロポーショナル指定/解除	ESC + p + Pa	プロポーショナル印字の指定、解除を行います。
			ESC + R + Pa	各国別の文字セットを選択します。
		スーパー/サブスクリプト指定	ESC + S + Pa	ANK 文字のスーパー/サブスクリプトを指定します。
			ESC + T	スーパー/サブスクリプトの指定を解除します。
		文字品位選択	ESC + x + Pa	ANK 文字の文字品位を指定します。
		書体選択	ESC + k + Pa	ANK 文字の書体を指定します。
		文字コード表選択	ESC + t + Pa	ANK 文字のコード表を選択します。
	文字定義	ダウンロード文字セット指定/解除	ESC + % + Pa	ANK 文字のダウンロード文字セットの指定、解除を行います。
		ダウンロード文字定義	ESC + & + NUL + P ₁ + P ₂ + { Pa ₁ + Pb ₁ + Pc ₁ + D ₁ ~ D _n } × n	ダウンロード文字を定義するコードを指定し、定義開始コードおよび定義終了コードを指定します。
		文字セットコピー	ESC + : + NUL + P ₁ + P ₂	ダウンロード文字セットへコピーする書体を選択します。

機能名称		名 称	コマンド	機 能
テキスト処理	A N K 文字	文字間スペース量設定	ESC + <u> </u> + Pa	ANK 文字幅に付加するスペース量を指定します。
		位置揃え選択	ESC + a + Pa	文字の印字位置の揃えかたを指定します。
	装飾	縮小指定	SI	ANK 文字の縮小印字を指定します。 どちらのコマンドも同一内容の ANK 文字縮小印字をします。
		縮小指定	ESC + SI	
		縮小解除	DC2	ANK 文字の縮小印字指定を解除します。
		アンダーライン指定/解除	ESC + - + Pa	ANK 文字のアンダーラインの指定、解除を行います。
		縦倍拡大指定/解除	ESC + w + Pa	ANK 文字の縦倍拡大の指定、解除を行います。
	共通	自動解除付き倍幅拡大指定	SO	ANK および漢字文字の自動解除付き倍幅拡大を指定します。
		自動解除付き倍幅拡大指定	ESC + SO	
		自動解除付き倍幅拡大解除	DC4	ANK および漢字文字の自動解除付き倍幅拡大の指定を解除します。
		倍幅拡大指定/解除	ESC + W + Pa	ANK および漢字文字の倍幅拡大の指定、解除を行います。
		強調指定	ESC + E	ANK および漢字文字の強調文字を指定します。
		強調解除	ESC + F	ANK および漢字文字の強調文字指定を解除します。
		二重印字指定	ESC + G	ANK および漢字文字の二重印字を指定します。
		二重印字解除	ESC + H	ANK および漢字文字の二重印字指定を解除します。
		自動解除付き倍幅拡大指定	FS + SO	ANK および漢字文字の自動解除付き倍幅拡大を指定します。
		自動解除付き倍幅拡大解除	FS + DC4	ANK および漢字文字の自動解除付き倍幅拡大の指定を解除します。
		一括指定	ESC + ! + Pa	ANK 文字および漢字の文字修飾を一括指定します。

機能名称		名 称	コマンド	機 能
テ キ ス ト 処 理	共 通	イタリック指定	ESC + 4	ANK および漢字文字のイタリック印字を指定します。
		イタリック解除	ESC + 5	ANK および漢字文字のイタリック印字指定を解除します。
		文字スタイル選択	ESC + q + Pa	ANK および漢字文字の文字スタイルを選択します。
	漢 字	縦書き指定	FS + J	漢字文字の縦書きを指定します。
		横書き指定	FS + K	漢字文字の横書きを指定します。
		半角縦書き 2 文字指定	FS + D	漢字文字 2 文字の半角組み文字を指定します。
		4 倍角指定/解除	FS + W + Pa	漢字文字の 4 倍角の指定、解除を行います。
		漢字アンダーライン指定/解除	FS + - + Pa	漢字アンダーラインの指定、解除を行います。
		漢字一括指定	FS + ! + Pa	漢字文字および ANK 文字の文字修飾を一括指定します。
	文 字 セ ッ ト	漢字モード指定	FS + &	漢字モードを指定します。
		漢字モード解除	FS + .	漢字モード指定を解除します。
		半角文字指定	FS + SI	漢字文字の半角印字を指定します。
		半角文字解除	FS + DC2	漢字文字の半角印字指定を解除します。
		1/4 角文字指定	FS + r + Pa	漢字文字の 1/4 角文字の印字を指定します。
		漢字書体選択	FS + k + Pa	漢字文字の書体を選択します。
	文 字 定 義	外字定義	FS + 2 + P ₁ + P ₂ + D ₁ ~ D ₇₂	外字登録コード、登録パターンを指定します。
	文 字 ピ ッ チ 調 整	全角文字スペース量設定	FS + S + P ₁ + P ₂	漢字全角文字に付加するスペース量を指定します。
		半角文字スペース量設定	FS + T + P ₁ + P ₂	漢字半角文字および 1/4 角文字に付加するスペース量を指定します。
		半角文字スペース量補正	FS + U	漢字半角文字のスペース量を 2 文字ごとに補正します。
		半角文字スペース量補正解除	FS + V	漢字半角文字のスペース量補正の指定を解除します。

機能名称	名 称	コマンド	機 能
イメージ処理	8 ドット単密度ビットイメージ	ESC + K + P ₁ + P ₂ + D ₁ ~ D _n	8 ビット単密度のビットイメージを指定します。
	8 ドット倍密度ビットイメージ	ESC + L + P ₁ + P ₂ + D ₁ ~ D _n	8 ビット倍密度のビットイメージを指定します。
	8 ドット倍速倍密度ビットイメージ	ESC + Y + P ₁ + P ₂ + D ₁ ~ D _n	8 ビット倍速倍密度のビットイメージを指定します。
	8 ドット 4 倍密度ビットイメージ	ESC + Z + P ₁ + P ₂ + D ₁ ~ D _n	8 ビット 4 倍密度のビットイメージを指定します。
	ビットイメージ選択	ESC + * + Pa + P ₁ + P ₂ + D ₁ ~ D _n	ビットイメージのモードおよびカラム数を指定します。
	ビットイメージ変換	ESC + ? + P ₁ + P ₂	8 ビット系のビットイメージ(ESC + K, ESC + L, ESC + Y, ESC + Z)のビットイメージを変換します。
補助機能	初期化	ESC + @	プリンタを初期状態にします。
	キャリッジ制御	ESC + U + Pa	単方向印字の指定、解除を行います。
	漢字高速印字指定/解除	FS + x + Pa	漢字高速印字の指定、解除を行います。
	リターンホーム	ESC + <	プリントヘッドを左端まで移動します。
	データ入力制御	DC1	プリンタを選択状態にします。
	デバイスコントロール 3	DC3	プリンタを非選択状態にします。
	1 文字削除	DEL	直前のデータを 1 文字クリアします。
	データ抹消	CAN	バッファ内のデータをクリアします。
	CSF 制御	カットシートフィーダ制御	プリンタの給紙方法を選択します。
カラー選択	カラー選択	ESC + r + Pa	このコマンドは無効です。
ブザー	ブザー	BEL	ブザーを鳴動させます。



キャラクタコード一覧表

FM モードキャラクタコード一覧表

FM モードのキャラクタコードは以下のとあります。

上 下位 位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0			0	@	P	｀	p	—	—	—	タ	ミ	ニ	×		
1		DC1	!	1	A	Q	a	q	—	—	。	ア	チ	ム	ヒ	円
2			”	2	B	R	b	r	—	—	「	イ	ツ	メ	ヰ	年
3		DC3	#	3	C	S	c	s	—	—	」	ウ	テ	モ	コ	月
4			\$	4	D	T	d	t	—	—	、	エ	ト	ヤ	▲	日
5			%	5	E	U	e	u	—	—	・	オ	ナ	ユ	◀	時
6			&	6	F	V	f	v	—	—	ヲ	カ	ニ	ヨ	▼	分
7	BEL		'	7	G	W	g	w	—	—	ア	キ	ヌ	ラ	▶	秒
8	BS	CAN	(8	H	X	h	x	—	—	イ	ク	ネ	リ	♠	〒
9	HT)	9	I	Y	i	y	—	—	ウ	ケ	ノ	ル	♥	市
A	LF		*	:	J	Z	j	z	—	—	エ	コ	ハ	レ	♦	区
B	VT	ESC	+	;	K	〔	k	{	—	—	オ	サ	ヒ	口	♣	町
C	FF	CEX	,	<	L	¥	l		—	—	ヤ	シ	フ	ワ	●	村
D	CR		—	=	M	〕	m	}	—	—	ュ	ス	ヘ	ン	○	人
E			.	>	N	^	n	—	—	—	ヨ	セ	ホ	。	/	▣
F			/	?	O	—	o	DEL	+	ノ	ッ	ソ	マ	。	＼	

ESC/P モードキャラクタコード一覧表

ESC/P モードのキャラクタコードは以下のとおりです。

◆ カタカナコード

上位 下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL	SP	0	@	P	'	p	—	—	—	—	—	—	—	—	×
1		DC1	!	1	A	Q	a	q	—	—	—	—	—	—	—	円
2		DC2	"	2	B	R	b	r	—	—	—	—	—	—	—	年
3		DC3	#	3	C	S	c	s	—	—	—	—	—	—	—	月
4		DC4	\$	4	D	T	d	t	—	—	—	—	—	—	—	日
5			%	5	E	U	e	u	—	—	—	—	—	—	—	時
6			&	6	F	V	f	v	■	■	■	■	■	■	■	分
7	BEL		'	7	G	W	g	w	■	■	■	■	■	■	■	秒
8	BS	CAN	(8	H	X	h	x	—	—	—	—	—	—	—	〒
9	HT	EM)	9	I	Y	i	y	—	—	—	—	—	—	—	市
A	LF		*	:	J	Z	j	z	—	—	—	—	—	—	—	区
B	VT	ESC	+	;	K	〔	k	{	■	■	■	■	■	■	■	町
C	FF	FS	,	<	L	¥	1	!	—	—	—	—	—	—	—	村
D	CR		—	=	M]	m)	■	■	■	■	■	■	■	人
E	SO		.	>	N	^	n	~	■	■	■	■	■	■	■	ヨセホ。
F	SI		/	?	O	—	o	+	ノ	ツ	ソ	マ	。	＼		

注 1) <15>₁₆ を除く、<00>₁₆～<7F>₁₆ はカタカナコード、拡張グラフィックスコードに共通です。

注 2) <23>₁₆、<24>₁₆、<40>₁₆、<5B>₁₆～<5E>₁₆、<60>₁₆、<7B>₁₆～<7E>₁₆ のコードは国際文字選択によって入れ替わります。

【国際文字コード】

コード 16進 国	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	\$	@	[＼]	^	~	{	!`)	~
フランス	#	\$	à	°	ç	§	^	~	é	ù	è	“
ドイツ	#	\$	ß	Ä	Ö	Ü	^	~	ä	ö	ü	ß
イギリス	£	\$	@	[＼]	^	~	{	!`)	~
デンマーク I	#	\$	@	Æ	Ø	Å	^	~	æ	ø	å	~
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ø	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	\$	@	^	＼	é	^	~	ù	à	ò	è
スペイン I	Pt	\$	@	í	ñ	é	^	~	“	ñ)	~
日本	#	\$	@	[¥]	^	~	{	!`)	~
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
デンマーク II	#	\$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
スペイン II	#	\$	á	í	ñ	é	é	^	í	ñ	ó	ú
ラテンアメリカ	#	\$	à	í	ñ	é	é	ü	í	ñ	ó	ú

◆ 拡張グラフィックスコード

上位 下位 位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL	SP	0	@	P	`	p	ç	é	á	í	ú	ñ	ñ	ñ	ñ
1		DC1	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	í	í	í	í	í
2		DC2	"	2	B	R	b	r	é	æ	ó	ó	ó	ó	ó	ó
3		DC3	#	3	C	S	c	s	â	ô	û	û	û	û	û	û
4		DC4	\$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	ñ	ñ	ñ	ñ	ñ
5			%	5	E	U	e	u	ä	ò	ñ	ñ	ñ	ñ	ñ	ñ
6			&	6	F	V	f	v	å	û	a	ä	ä	ä	ä	ä
7	BEL		,	7	G	W	g	w	ç	ù	o	ó	ó	ó	ó	ó
8	BS	CAN	(8	H	X	h	x	ê	ÿ	ö	ö	ö	ö	ö	ö
9	HT	EM)	9	I	Y	i	y	ë	ö	ñ	ñ	ñ	ñ	ñ	ñ
A	LF		*	:	J	Z	j	z	é	ú	ñ	ñ	ñ	ñ	ñ	ñ
B	VT	ESC	+	:	K]	k	{	í	ç	à	à	à	à	à	à
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	:	î	£	à	à	à	à	à	à
D	CR		-	=	M	】	m	}	ì	¥	í	í	í	í	í	í
E	SO		.	>	N	^	n	~	À	Pt	«	»	»	»	»	»
F	SI		/	?	O	—	o		À	ƒ	»	»	»	»	»	»
																SP

注) <23>₁₆、<24>₁₆、<40>₁₆、<5B>₁₆～<5E>₁₆、<60>₁₆、<7B>₁₆～<7E>₁₆ のコードは国際文字選択によって入れ替わります。

【国際文字コード】

コード 国 16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	\$	@	[\]	^	~	{	¡	}	~
フランス	#	\$	à	^	ç	§	^	~	é	ù	è	»
ドイツ	#	\$	ß	À	Ó	Ù	^	~	ä	ö	ü	ß
イギリス	£	\$	@	[\]	^	~	{	¡	}	~
デンマーク I	#	\$	@	Æ	Ø	Å	^	~	æ	ø	å	~
オランダ	#	¤	É	À	Ó	À	Ù	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	\$	@	^	\	é	^	~	ù	à	ò	è
スペイン I	Pt	\$	@	i	Ñ	é	^	~	»	»	»	»
日本	#	\$	@	[¥]	^	~	{	¡	}	~
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	À	Ù	é	æ	ø	å	ü
デンマーク II	#	\$	É	Æ	Ø	À	Ù	é	æ	ø	å	ü
スペイン II	#	\$	á	í	Ñ	é	é	~	í	ñ	ó	ú
ラテンアメリカ	#	\$	á	í	Ñ	é	é	~	í	ñ	ó	ú

非漢字一覽表

モードによって、コードが割り当てられている文字が異なるものがありますので、注意してください。

◆ FM モードおよび ESC/P モード共通文字コード一覧表

JIS コードはすべて 16 進形式

区	点\$	20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 2A 2B 2C 2D 2E 2F	30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 3A 3B 3C 3D 3E 3F
\$		0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	

点\$区	40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 4A 4B 4C 4D 4E 4F 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 5A 5B 5C 5D 5E 5F 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63
------	--

20	0	
21	1	\~ ……“”()[]{}<>«»「」『』【】+-±×
22	2	∪∩△▽→↔△≡
23	3	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
24	4	だちぢっつづてでとどなにぬねのはばばひびひふぶぶへべべほばばまみ
25	5	ダチヂッツヅテデトドナニヌネノハパパヒビビフブブヘペペホボボマミ
26	6	α β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ ν ξ ο π ρ σ τ υ φ χ ϕ ω
27	7	Ю Ъ

点区	\$	60 61 62 63 64 65 66 67	68 69 6A 6B 6C 6D 6E 6F	70 71 72 73 74 75 76 77	78 79 7A 7B 7C 7D 7E
		64 65 66 67 68 69 70 71	72 73 74 75 76 77 78 79	80 81 82 83 84 85 86 87	88 89 90 91 92 93 94

注 1) 区点コードは点の部分を加算して求めます。%の区点コードは 0180 + 03 で 0183 となります。区点コードは 10 進数です。例えば、%の JIS コードは 2173 と読みます。実際の使用には、&Hをつけて、「&H2173」とします。

注2) コード表の空白部分を印字させると、何らかの文字が出力される場合があります。

◆ FM モード文字コード一覧表

JIS⁷⁸ モード外字登録領域

点\$	20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 2A 2B 2C 2D 2E 2F 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 3A 3B 3C 3D 3E 3F
区\$	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
28:8	※
29:9	※
点\$	40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 4A 4B 4C 4D 4E 4F 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 5A 5B 5C 5D 5B 5F
区\$	32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63
28:8	
29:9	
点\$	60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 6A 6B 6C 6D 6E 6F 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 7A 7B 7C 7D 7E 7F
区\$	64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95
28:8	
29:9	※ ※

注) 部(2820,287F,2920,297F)は登録できません。

JIS⁸³モード

追加文字

点\$	20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 2A 2B 2C 2D 2E 2F 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 3A 3B 3C 3D 3E 3F
区\$	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
28:8	— 『 』 〔 〕 〔+〕 +— 〔 〕 〔+〕 〔+〕 〔+〕 〔+〕 〔+〕 〔+〕 〔+〕 〔+〕 〔+〕 〔+〕 〔+〕 〔+〕
点\$	40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 4A 4B 4C 4D 4E 4F 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 5A 5B 5C 5D 5B 5F
区\$	32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63
28:8	十
点\$	20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 2A 2B 2C 2D 2E 2F 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 3A 3B 3C 3D 3E 3F
区\$	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
74:84	堯 横 遙 瑶

外字登録領域

点\$	20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 2A 2B 2C 2D 2E 2F 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 3A 3B 3C 3D 3E 3F
区	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
\$	
29 9	
2A 10	
点\$	40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 4A 4B 4C 4D 4E 4F 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 5A 5B 5C 5D 5E 5F
区	32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63
\$	
29 9	
2A 10	
点\$	60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 6A 6B 6C 6D 6E 6F 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 7A 7B 7C 7D 7E 7F
区	64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95
\$	
29 9	
2A 10	

注 1) ※部(2920,297F,2A20,2A7F)は登録できません。

注 2) JIS⁻⁸³の 2A21～2A7E と JIS⁻⁷⁸の 2821～287E は同一エリアです。

半角漢字

◆ ESC/P モード文字コード一覧表

点区\$	40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 4A 4B 4C 4D 4E 4F	50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 5A 5B 5C 5D 5E 5F
	32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63	
28 8	+	

点\$区\$	20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 2A 2B 2C 2D 2E 2F 30	31 32 33 34 35 36 37 38 39 3A 3B 3C 3D 3E 3F
	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16	17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
\$		
2D:13	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ I II III IV V VI VII VIII IX X	

外字登録領域

点\$	20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 2A 2B 2C 2D 2E 2F 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 3A 3B 3C 3D 3E 3F
区	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
\$	
77:87	※
78:88	※
点\$	40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 4A 4B 4C 4D 4E 4F 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 5A 5B 5C 5D 5E 5F
区	32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63
\$	
77:87	
78:88	
点\$	60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 6A 6B 6C 6D 6E 6F 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 7A 7B 7C 7D 7E 7F
区	64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95
\$	
77:87	
78:88	※ ※

注) ※部(7720,777F,7820,787F)は登録できません。

JIS⁻⁹⁰第一水準漢字一覽表

JIS コードはすべて 16 進形式

注) 「茜」のJISコードは302Bと読みます。実際の使用には、“&H”をつけて、“&H302B”とします。

（未完）

JIS⁹⁰ 第二水準漢字一覧表

50 18	51 19	52 20	53 21	54 22	55 23	56 24	57 25	58 26	59 27	60 28	61 29	62 30	63 31	64 32	65 33	66 34	67 35	68 36	69 37	70 38	71 39	72 40	73 41	74 42	75 43	76 44	77 45	78 46	79 47	80 48	81 49	82 50	83 51	84 52	85 53	86 54	87 55	88 56	89 57	90 58	91 59	92 60	93 61	94 62	95 63	96 64	97 65	98 66	99 67	100 68	101 69	102 70	103 71	104 72	105 73	106 74	107 75	108 76	109 77	110 78	111 79	112 80	113 81	114 82	115 83	116 84	117 85	118 86	119 87	120 88	121 89	122 90	123 91	124 92	125 93	126 94	127 95	128 96	129 97	130 98	131 99	132 100	133 101	134 102	135 103	136 104	137 105	138 106	139 107	140
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	-----

ご注意

このプリンタが印字する漢字は JIS C6226-1983 (情報交換用漢字符号系) に準拠していますが、JIS C6234-1983 (ドットプリンタ用 24 ドット字形) は採用していません。したがって、コンピュータ本体の表示画面の文字および記号なども必ずしも一致いたしませんのでご了承ください。

JIS C6234-1983 の字体との違いはおおむね次の表の通りです。

JIS 5-1	[区点] [区点]	カタカ	JIS 2-1	JIS 5-1	[区点] [区点]	カタカ	JIS 2-1	JIS 5-1	[区点] [区点]	カタカ	JIS 2-1
3022 1602:	亞	唯	3979 2589:	顛	麗	4578 3788:	儕	荷	漬	漬	漬
303B 1627:	餘	鈴	3A67 2671:	禪	桺	4642 3834:	漬	漬	漬	漬	漬
306E 1678:	盈	溢	3A74 2684:	柵	柵	4654 3852:	禪	禪	禪	禪	禪
3135 1721:	櫛	鑄	3B2A 2710:	鑄	鰐	466A 3871:	插	插	插	插	插
3139 1725:	廄	廄	3B2C 2712:	鑄	鑄	4729 3900:	桶	桶	桶	桶	桶
313D 1729:	尊	嘆	3B39 2725:	珊	珊	4739 3925:	炭	炭	炭	炭	炭
3142 1734:	餉	餉	3C48 2840:	屮	屮	482E 4014:	澁	澁	澁	澁	澁
316B 1775:	焰	焰	3D2B 2911:	補	補	4830 4016:	醜	醜	醜	醜	醜
322A 1810:	鷄	鷄	3D36 2922:	酉	酉	4B4B 4343:	頰	頰	頰	頰	頰
327A 1890:	恢	恢	3E55 3059:	𠂇	𠂇	4B70 4380:	轉	轉	轉	轉	轉
336B 1975:	薦	薦	3E5F 3063:	薦	薦	4C4D 4445:	斬	斬	斬	斬	斬
337A 1990:	塙	塙	3F2A 3110:	触	触	4C5F 4463:	餅	餅	餅	餅	餅
3442 2034:	潤	潤	4066 3270:	焯	焯	4D32 4518:	醜	醜	醜	醜	醜
3540 2132:	祇	祇	4139 3325:	增	增	4D69 4573:	茱	茱	茱	茱	茱
3622 2202:	俟	俟	4169 3373:	瘦	瘦	4E7B 4691:	煉	煉	煉	煉	煉
362A 2210:	卿	卿	4240 3445:	躰	躰	4F31 4717:	揶	揶	揶	揶	揶
366D 2277:	軀	軀	4263 3467:	躰	躰	4F39 4725:	蠟	蠟	蠟	蠟	蠟
367B 2291:	卿	卿	432E 3514:	尊	尊	5022 5402:	屏	屏	屏	屏	屏
3737 2323:	祁	祁	433D 3529:	羣	羣	5060 5764:	擴	擴	擴	擴	擴
3771 2381:	倦	倦	444F 3647:	樹	樹	5A39 5825:	擴	擴	擴	擴	擴
377E 2394:	捲	捲	4522 3702:	鄭	鄭	6546 6938:	綴	綴	綴	綴	綴
3834 2420:	讎	讎	4536 3722:	𠂇	𠂇						
396D 2577:	翹	翹	453F 3731:	顛	顛						

◆ 第一水準と第二水準が入れ替わった文字

コード (区点)	新第1 水準	新第2 水準	コード (区点)	コード (区点)	新第1 水準	新第2 水準	コード (区点)
3083 (1619)	鰯	鰯	724D (8245)	4128 (3308)	賤	賤	6C4D (7645)
3229 (1809)	鶯	鶯	7274 (8284)	445B (3659)	壺	壺	5464 (5268)
3342 (1934)	蛎	蠣	695A (7358)	4557 (3755)	砾	礪	626A (6674)
3349 (1941)	攬	攬	5978 (5788)	456E (3778)	栴	栴	5B6D (5977)
3376 (1986)	竈	竈	635E (6762)	4573 (3783)	濤	濤	5E39 (6225)
3443 (2035)	灌	灌	5E75 (6285)	4676 (3886)	迄	邇	6D6E (7778)
3452 (2050)	諫	諫	6B5D (7561)	4768 (3972)	蠅	蠅	6A24 (7404)
375B (2359)	頸	頸	7074 (8084)	4930 (4116)	桧	檜	5B58 (5956)
395C (2560)	礮	礮	6268 (6672)	4B79 (4389)	僕	儘	5056 (4854)
3C49 (2841)	蕊	蕊	6922 (7302)	4C79 (4489)	藪	藪	692E (7314)
3F59 (3157)	勒	勒	7057 (8055)	4F36 (4722)	籠	籠	6446 (6838)

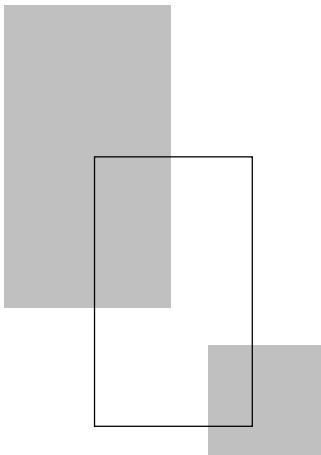
◆ 第二水準に追加された文字

コード (区点)	追加文字	コード (区点)	追加文字
7421 (8401)	堯	7424 (8404)	瑤
7422 (8402)	楨	7425 (8405)	凜
7423 (8403)	遙	7426 (8406)	熙

注) 「凜」と「熙」の2文字はESC/Pモードではサポートされていません。

ソフトウェア編



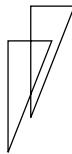


第 1 章

ソフトウェアの概要

この章では、プリンタに添付されているソフトウェアの基本的なことがらおよびインストール方法について説明します。

添付ソフトウェアの機能	226
添付ソフトウェアの動作環境	227
プリンタの動作環境	227
CD-ROM の内容	228
FMPR5600/5400 セットアップディスク	228
ソフトウェアのインストール	229
プリンタドライバのインストール	229
Windows 95/98 のとき	229
Windows Me のとき	240
Windows NT4.0 のとき	253
Windows 2000 のとき	260
FMPR ユーティリティのインストール	274
初めてインストールするとき	274
FMPR ユーティリティをメンテナンスするとき	277



添付ソフトウェアの機能

◆ FMPR ユーティリティ

Windows 環境でプリンタ装置をより使い易くするソフトウェアで、プリンタ装置の状態を監視する FMPR モニタとプリンタ装置の機能設定と消耗品管理を行なう FMPR リモートパネルとがあります。

FMPR モニタ

「FMPR モニタ」は、パソコンとプリンタ間での双方向通信機能を利用して動作するユーティリティです。

「FMPR モニタ」をパソコンにインストールし起動すると、プリンタにエラーが発生したときにパソコン画面にエラー情報、対処方法がポップアップ表示されます。

ご使用になるには、あらかじめ添付のプリンタドライバをインストールし、プリンタドライバの双方向通信機能を有効に設定しておく必要があります。

「FMPR モニタ」のインストール方法および設定方法については、本章の「FMPR ユーティリティのインストール」(274 ページ)をお読みください。

FMPR リモートパネル

「FMPR リモートパネル」は、パソコンとプリンタ間での双方向通信機能を利用して動作するユーティリティです。

「FMPR リモートパネル」を使用してプリンタの機能設定および、消耗品の管理を行うことができます。

ご使用になるには、あらかじめ添付のプリンタドライバをインストールし、プリンタドライバの双方向通信機能を有効に設定しておく必要があります。

「FMPR リモートパネル」のインストール方法および設定方法については、本章の「FMPR ユーティリティのインストール」(274 ページ)をお読みください。

◆ プリンタドライバ

Windows 環境でプリンタ装置をお使いいただくには、プリンタドライバが必要になります。

FMPR5600/FMPR5400 プリンタ装置では、Windows 95、98、Me、NT4.0、2000 用に専用のプリンタドライバを用意しています。

プリンタドライバのインストール方法および設定方法については、第1章、第2章の該当箇所をお読みください。



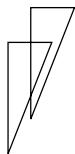
添付ソフトウェアの動作環境

◆ プリンタドライバ／FMPR モニタ／FMPR リモートパネル

対象機種	OS
FMV シリーズ	Windows 95 (日本語版)
各社 DOS/V 互換機	Windows 98 (日本語版)
	Windows Me (日本語版)
	Windows NT 4.0 (日本語版)
	Windows 2000 (日本語版)

パソコンの BIOS 設定

本プリンタを接続するパソコンのパラレルポート設定は必ず「Bidirectional (双方向) 」にしてご使用ください。
確認および設定の方法については、パソコンのマニュアルを参照してください。



プリンタの動作環境

本プリンタドライバは ESC/P モードで動作します。プリンタのモード設定を必ず「ESC/P モード」にしてご使用ください。

お願い

FMPR モニタおよび FMPR リモートパネルは、セントロニクス接続時に使用してください。

以下の環境では、FMPR モニタおよび FMPR リモートパネルを使用できません。

1. プリンタドライバのポート設定がローカルポート以外の場合
2. USB 変換ケーブルで接続している場合



CD-ROMの内容

FMPR5600/5400 セットアップディスク

本プリンタには、「FMPR5600/5400 セットアップディスク」(CD-ROM)が同梱されています。

「FMPR5600/5400 セットアップディスク」は以下の内容になっています。

FMPR5600/5400セットアップディスク

Readme.txt	プログラムの説明が書かれているファイルです。はじめにお読みください。
Driver	プリンタ ドライバが格納されているフォルダです。
FMPR5400	FMPR5400プリンタ ドライバが格納されているフォルダです。 Windows 95用のプリンタ ドライバが格納されているフォルダです。 プログラムの説明が書かれているファイルです。
Win95	Windows 98/Me用のプリンタ ドライバが格納されているフォルダです。 プログラムの説明が書かれているファイルです。
Win98_Me	Windows NT4.0用のプリンタ ドライバが格納されているフォルダです。 プログラムの説明が書かれているファイルです。
WinNT40	Windows 2000用のプリンタ ドライバが格納されているフォルダです。 プログラムの説明が書かれているファイルです。
Win2K	Windows 2000用のプリンタ ドライバが格納されているフォルダです。 プログラムの説明が書かれているファイルです。
FMPR5600	FMPR5600プリンタ ドライバが格納されているフォルダです。 Windows 95用のプリンタ ドライバが格納されているフォルダです。 プログラムの説明が書かれているファイルです。
Win95	Windows 98/Me用のプリンタ ドライバが格納されているフォルダです。 プログラムの説明が書かれているファイルです。
Win98_Me	Windows NT4.0用のプリンタ ドライバが格納されているフォルダです。 プログラムの説明が書かれているファイルです。
WinNT40	Windows 2000用のプリンタ ドライバが格納されているフォルダです。 プログラムの説明が書かれているファイルです。
Win2K	Windows 2000用のプリンタ ドライバが格納されているフォルダです。 プログラムの説明が書かれているファイルです。
FMPRUTY	FMPRユーティリティが格納されているフォルダです。 ユーティリティソフトのセットアッププログラムです。FMPRモニタとFMPRリモートパネルがインストールされます。
Setup.exe	



ソフトウェアのインストール

「FMPR5600/5400 セットアップディスク」にプリンタドライバと FMPR ユーティリティが格納されています。

インストールは、

1. プリンタドライバのインストール
2. FMPR ユーティリティのインストール

の順に行ってください。



プリンタドライバのインストール

Windows 95/98 のとき

ここでは、Windows 95/98 が動作するパソコンにプリンタドライバをインストールする方法について説明します。

以下の手順では、FMPR5600 を例に説明しています。

FMPR5400 をお使いの場合は、FMPR5400 と読み替えてください。

インストール手順は通常のインストールと Plug&Play で異なります。それぞれの手順に従ってください。

Plug&Play でプリンタが検出されない場合は、通常のインストールでプリンタドライバをインストールしてください。



ガイド

ご使用のパソコンにインストールされている Windows 95/98 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

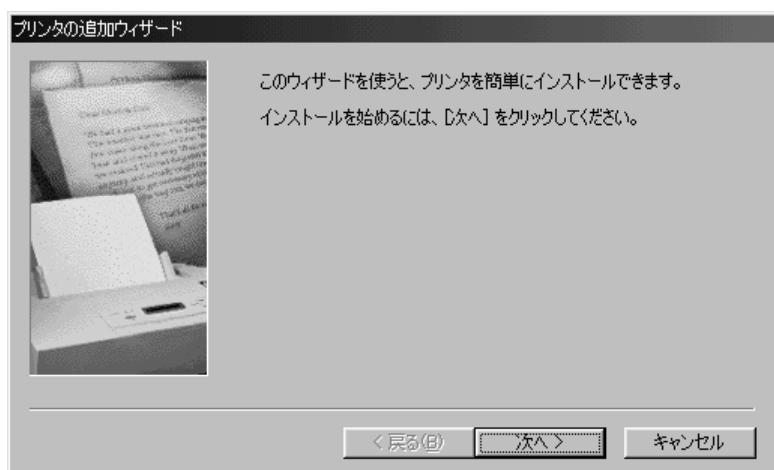
◆ 通常のインストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付の FMPR5600/5400セットアップディスクを準備してください。ここでは、Windows 98の画面を例に説明しています。

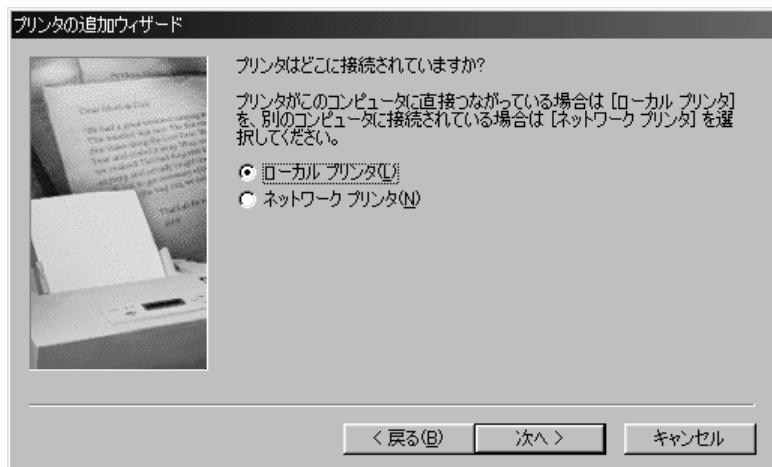
- 1 Windows 95/98 を起動する
- 2 マイコンピュータの〔プリンタ〕をダブルクリックし、次に〔プリンタの追加〕をダブルクリックする



- 3 [次へ] をクリックする



- 4 「ローカルプリンタ」を選択し、[次へ]をクリックする
この画面は、パソコンがネットワークに接続されているときのみ表示されます。



ガイド

- ・スタンドアロン（パソコンとプリンタを1対1で接続）のときや、パソコンをプリントサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。
- 印刷先（ポート）を後で変更する場合も、ローカルプリンタを選択してください。ただし、正しい印刷先に設定するまでテストページなどの印刷は行わないでください。
- ・「ネットワークプリンタ」を選んでインストールするには、プリントサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。
- また、「代替ドライバとネットワークインストール」はサポートしていません。

- 5 [ディスク使用]をクリックする



6 添付のFMPR5600/5400 セットアップディスクをパソコンのCD-ROM ドライブにセットする

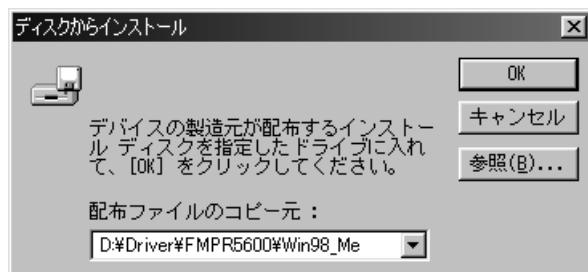
7 <配布ファイルのコピー元 : > に「D:\Driver\FMPR5600\Win98_Me」と入力する、または〔参照〕をクリックして「D:\Driver\FMPR5600\Win98_Me」を選択する

注 1) FMPR5400をお使いの場合は、“FMPR5600”を“FMPR5400”に変えて入力してください。

注 2) 上記はCD-ROM ドライブがD:のときの入力例です。

Windows 95 の場合は、“WIN98_Me”を“WIN95”に変えて入力してください。

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。



8 プリンタを選択し、〔次へ〕をクリックする

実際の画面では、インストール可能なプリンタ名が表示されます。

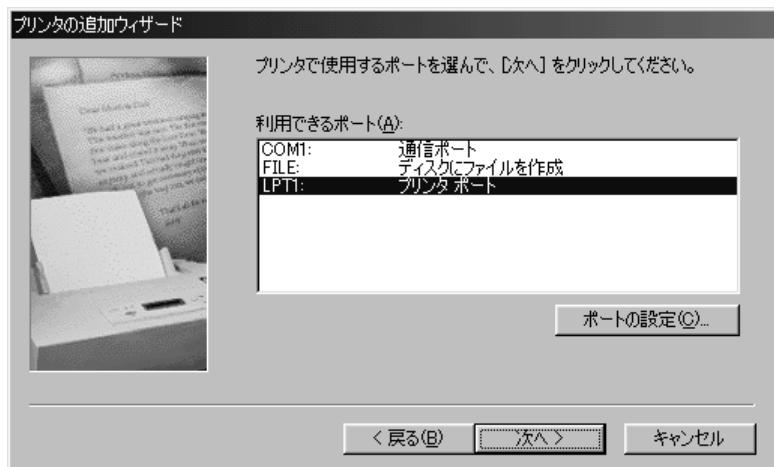


ガイド

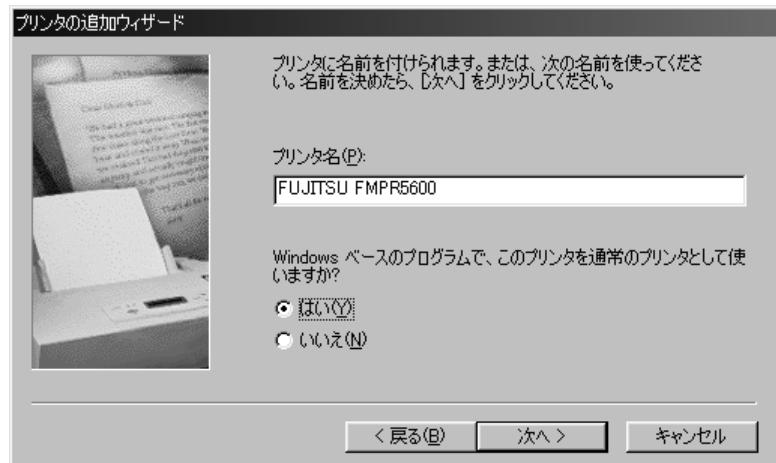
「このプリンタにはドライバが既にインストールされています。現在のドライバをそのまま使いますか？新しいドライバを使うと、印刷結果が異なることがあります。」というダイアログが表示される場合は、「新しいドライバに置き換える」を選択してください。

9 使用するポートを選択し、〔次へ〕をクリックする

使用するポートがまだ作成されていない場合は、仮のポートとしてローカルポート（LPT1）などを選択してください。

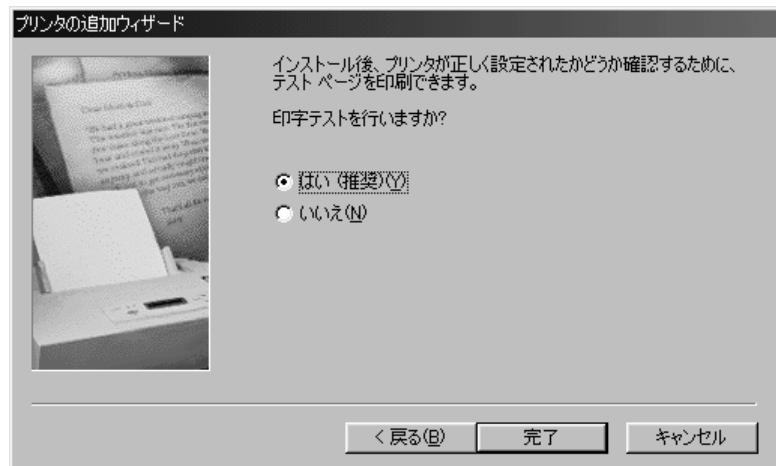


10 <プリンタ名 : >にプリンタの名前を入力し、通常のプリンタに設定する場合は「はい」を選択し、〔次へ〕をクリックする
他にインストールされているプリンタがない場合は、自動的に通常のプリンタとして設定されます。



11 テストページを印刷するか、しないかを選択して〔完了〕をクリックする

手順 9で仮のポートを選択した場合は、「いいえ」を選択してください。



ファイルのコピーが開始されます。

12 〔ディスクの挿入〕ウィンドウが表示されたら、Windows 95/98 セットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットし、〔OK〕をクリックする

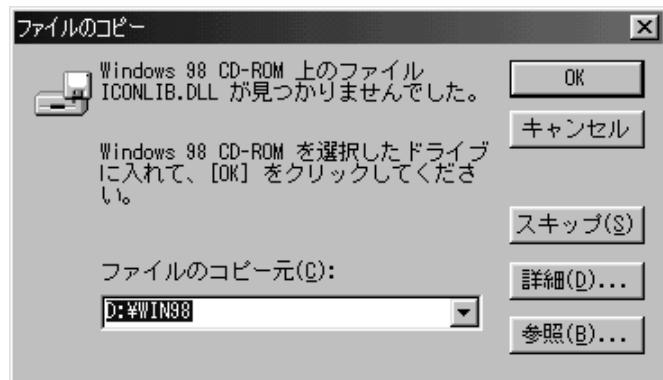


13 <ファイルのコピー元: >に「D:¥WIN98」と入力する、または〔参照〕をクリックして「D:¥WIN98」を選択する

注) 上記は CD-ROM ドライブが D: のときの入力例です。

Windows 95 の場合は、「WIN98」を「WIN95」に変えて入力してください。

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。



ファイルのコピーが開始されます。

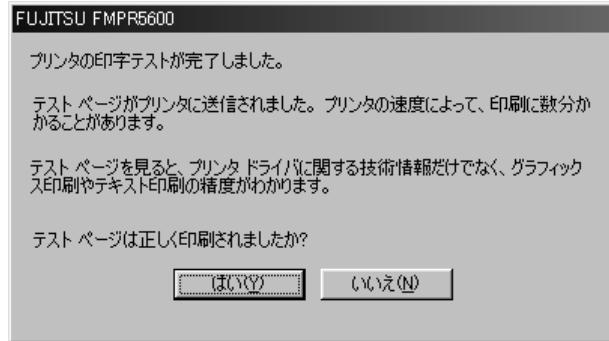
コピーが終了すると、〔プリンタ〕フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効になります。



「印字テストを行いますか？」で「はい（推奨）」を選択した場合は以下の操作を行います。

テストページを印刷する前にプリンタに A4 タテ以上の用紙をセットしてください。用紙のセット方法については、『プリンタ編』「第 3 章 用紙のセット」を参照してください。

14 テストページが正しく印刷されたら〔はい〕をクリックし、インストールを終了する



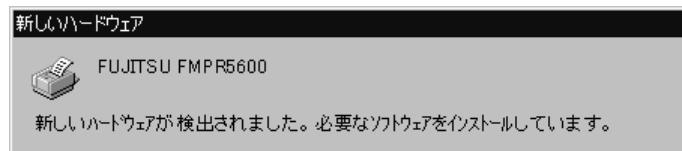
◆ Plug&Play によるインストール

プリンタドライバの Plug&Play によるインストールは、次の手順で行います。

添付の FMPR5600/5400 セットアップディスクを準備してください。

1 プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態で Windows 95/98 を起動する

パソコン起動時に「FUJITSU FMPR5600 新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアをインストールしています。」と表示されます。



ガイド

Plug&Play はプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ行われます。

プリンタが検出されない場合は、「通常のインストール」(230 ページ参照)でインストールしてください。

2 [次へ] をクリックする



3 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択して〔次へ〕をクリックする



4 添付のFMPR5600/5400セットアップディスクをパソコンのCD-ROMドライブにセットして「検索場所の指定」をチェックし、「D:\Driver\FMPR5600\Win98_Me」と入力して〔次へ〕をクリックする

- 注 1) FMPR5400をお使いの場合は、“FMPR5600”を“FMPR5400”に変えて入力してください。
- 注 2) 上記はCD-ROMドライブがD:のときの入力例です。
Windows 95の場合は、“WIN98_Me”を“WIN95”に変えて入力してください。



5 プリンタドライバが見つかったことを確認し、〔次へ〕をクリックする



6 画面の指示に従って、インストールを続ける

プリンタドライバのインストールが完了すると、追加したプリンタのアイコンが〔プリンタ〕フォルダに表示されます。



Windows Me のとき

ここでは、Windows Me が動作するパソコンにプリンタドライバをインストールする方法について説明します。

以下の手順では、FMPR5600 を例に説明しています。

FMPR5400 をお使いの場合は、FMPR5400 と読み替えてください。

インストール手順は通常のインストールと Plug&Play で異なります。
それぞれの手順に従ってください。

Plug&Play でプリンタが検出されない場合は、通常のインストールで
プリンタドライバをインストールしてください。



ガイド

ご使用のパソコンの環境により、インストール手順や表示内容
が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってイン
ストールしてください。

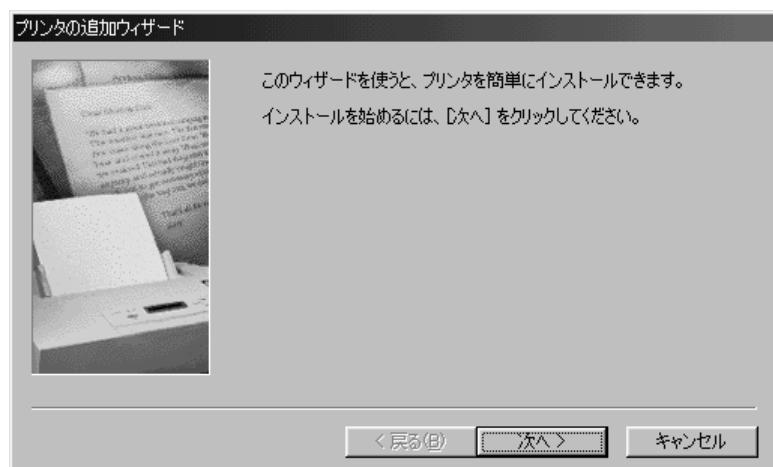
◆ 通常のインストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のFMPR5600/5400セットアップディスクを準備してください。

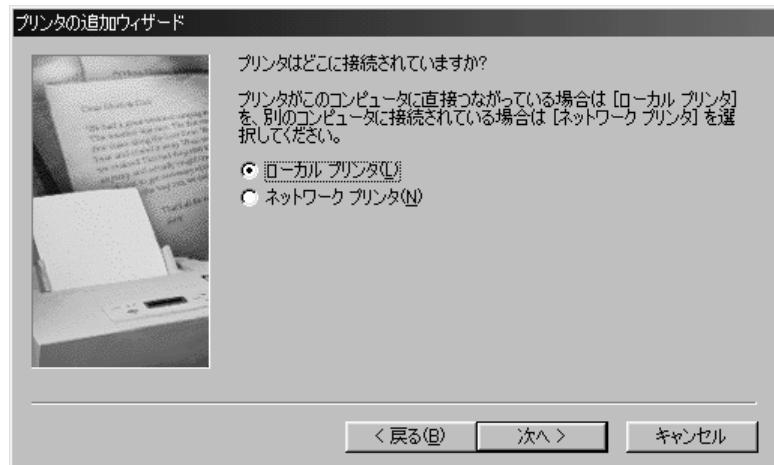
- 1 Windows Me を起動する
- 2 マイコンピュータの〔プリンタ〕をダブルクリックし、次に〔プリンタの追加〕をダブルクリックする



- 3 [次へ] をクリックする



- 4 「ローカルプリンタ」を選択し、[次へ]をクリックする
 この画面は、パソコンがネットワークに接続されているときのみ表示されます。



ガイド

- ・スタンドアロン（パソコンとプリンタを1対1で接続）のときや、パソコンをプリントサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。
- 印刷先（ポート）を後で変更する場合も、ローカルプリンタを選択してください。ただし、正しい印刷先に設定するまでテストページなどの印刷は行わないでください。
- ・「ネットワークプリンタ」を選んでインストールするには、プリントサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。
- また、「代替ドライバとネットワークインストール」はサポートしていません。

- 5 [ディスク使用]をクリックする



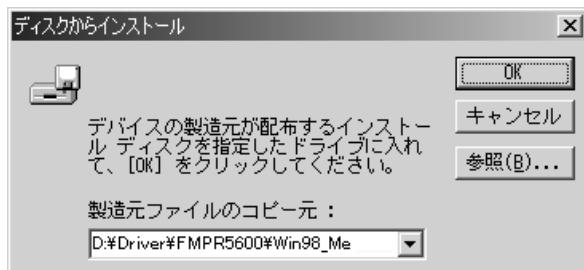
6 添付のFMPR5600/5400 セットアップディスクをパソコンのCD-ROM ドライブにセットする

7 <製造元ファイルのコピー元 : > に「D:¥Driver¥FMPR5600 ¥Win98_Me」と入力する、または〔参照〕をクリックして「D:¥Driver¥FMPR5600¥Win98_Me」を選択する

注1) FMPR5400をお使いの場合は、“FMPR5600”を“FMPR5400”に変えて入力してください。

注2) 上記は CD-ROM ドライブが D: のときの入力例です。

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。



8 プリンタを選択し、〔次へ〕をクリックする

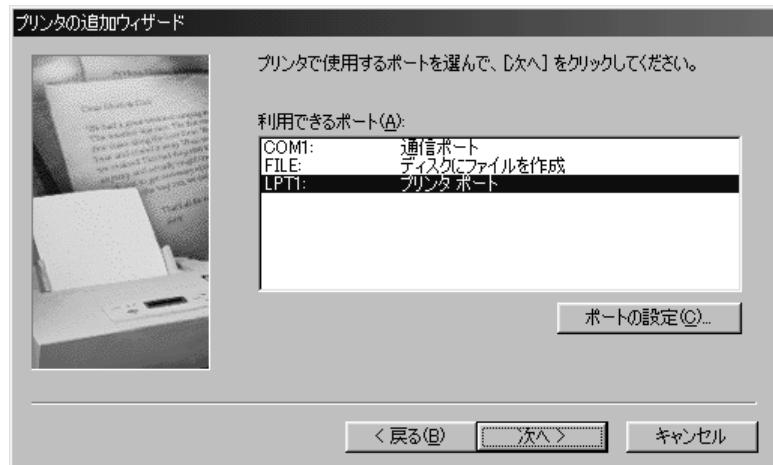
実際の画面では、インストール可能なプリンタ名が表示されます。



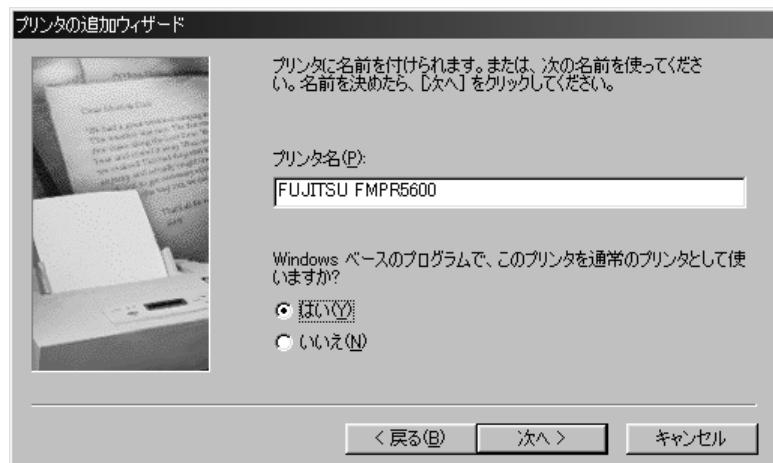
ガイド

「このプリンタにはドライバが既にインストールされています。現在のドライバをそのまま使いますか？新しいドライバを使うと、印刷結果が異なることがあります。」というダイアログが表示される場合は、「新しいドライバに置き換える」を選択してください。

- 9** 使用するポートを選択し、〔次へ〕をクリックする
使用するポートがまだ作成されていない場合は、仮のポートとしてローカルポート（LPT1）などを選択してください。

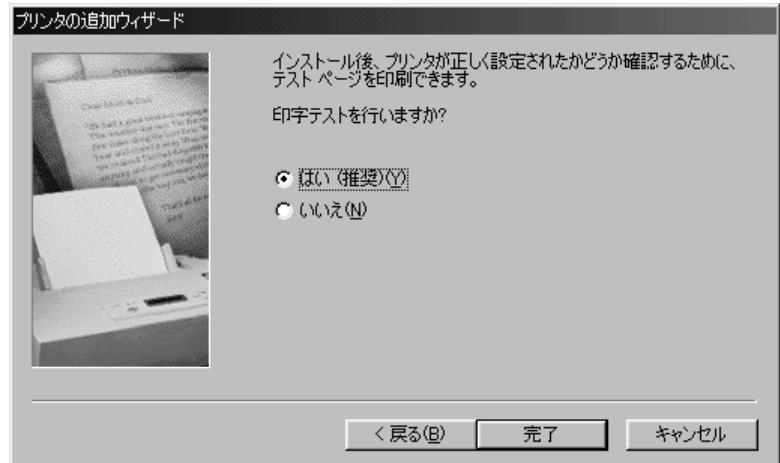


- 10** <プリンタ名 : >にプリンタの名前を入力し、通常のプリンタに設定する場合は「はい」を選択し、〔次へ〕をクリックする
他にインストールされているプリンタがない場合は、自動的に通常のプリンタとして設定されます。



11 テストページを印刷するか、しないかを選択して〔完了〕をクリックする

手順 9 で仮のポートを選択した場合は、「いいえ」を選択してください。



ファイルのコピーが開始されます。

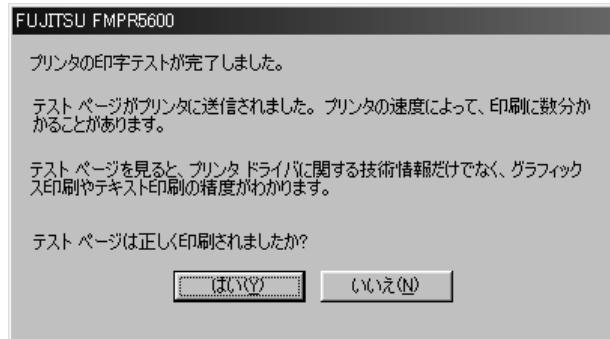
コピーが終了すると、〔プリンタ〕フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効になります。



「印字テストを行いますか？」で「はい（推奨）」を選択した場合は以下の操作を行います。

テストページを印刷する前にプリンタに A4 タテ以上の用紙をセットしてください。用紙のセット方法については、『プリンタ編』「第 3 章 用紙のセット」を参照してください。

12 テストページが正しく印刷されたら〔はい〕をクリックし、インストールを終了する



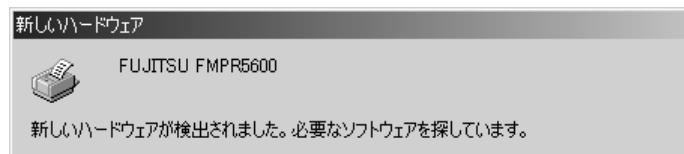
◆ Plug&Play によるインストール

プリンタドライバの Plug&Play によるインストールは、次の手順で行います。

添付の FMPR5600/5400 セットアップディスクを準備してください。

- 1 プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態で Windows Me を起動する

パソコン起動時に「FUJITSU FMPR5600 新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを探しています。」と表示されます。



ガイド

Plug&Play はプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ行われます。

プリンタが検出されない場合は、「通常のインストール」(241 ページ参照)でインストールしてください。

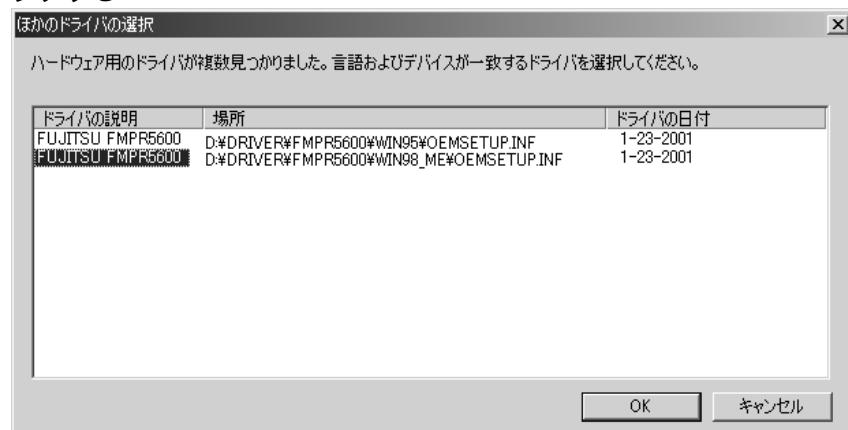
- 2 添付の FMPR5600/5400 セットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

- 3 「適切なドライバを自動的に検索する(推奨)」を選択して、[次へ] をクリックする

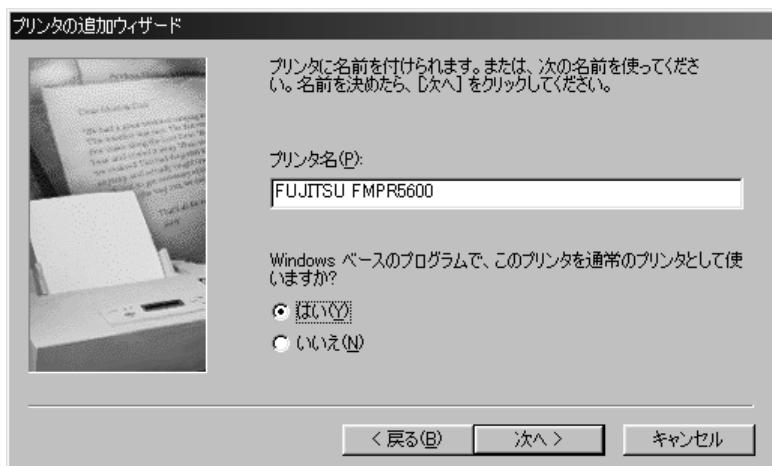


ここで、「ドライバの場所を指定する(詳しい知識のある方向け)」を選択した場合、手順 8 へ進んでください。

- 4 「ほかのドライバの選択」が表示されたら、「場所」を確認し、"Win98_Me"ディレクトリ側のドライバを選択し、[OK]をクリックする



- 5 <プリンタ名 : >にプリンタの名前を入力し、通常のプリンタに設定する場合は「はい」を選択し、[次へ]をクリックする
他にインストールされているプリンタがない場合は、自動的に通常のプリンタとして設定されます。



6 プリンタドライバが見つかったことを確認し、[次へ]をクリックする



7 画面の指示に従って、インストールを続ける
プリンタドライバのインストールが完了すると、追加したプリンタのアイコンが[プリンタ]フォルダに表示されます。



手順 3で「適切なドライバを自動的に検索する（推奨）」を選択した場合は、ここでインストールは終了です。

- 8 手順3で「ドライバの場所を指定する(詳しい知識のある方向け)」を選択した場合、「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、「リームバブルメディア(フロッピー、CD-ROMなど)」と「検索場所の指定」をチェックし、「D:\DRIVER\FMPR5600\WIN98_ME」と入力し、[次へ]をクリックする

注) 上記は CD-ROM ドライブが D: のときの入力例です。



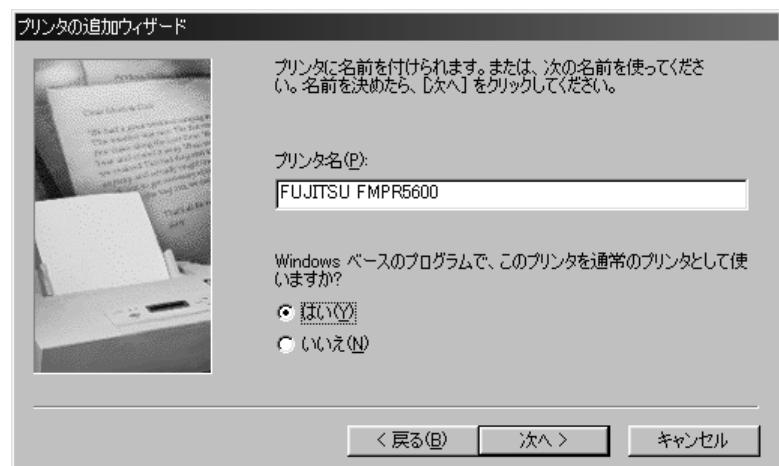
- 9 「更新したソフトウェア(推奨)FUJITSU FMPR5600」をチェックし、[次へ]をクリックする



10 プリンタドライバが見つかったことを確認し、〔次へ〕をクリックする



**11 <プリンタ名 : >にプリンタの名前を入力し、通常のプリンタに設定する場合は「はい」を選択し、〔次へ〕をクリックする
他にインストールされているプリンタがない場合は、自動的に通常のプリンタとして設定されます。**



12 画面の指示に従って、インストールを続ける

プリンタドライバのインストールが完了すると、追加したプリンタのアイコンが〔プリンタ〕フォルダに表示されます。



Windows NT4.0 のとき

ここでは、Windows NT4.0 が動作するパソコンにプリンタドライバをインストールする方法について説明します。

以下の手順では FMPR5600 を例に説明しています。

FMPR5400 をお使いの場合は、FMPR5400 と読み替えてください。



ガイド

ご使用のパソコンにインストールされている Windows NT4.0 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

◆ インストール

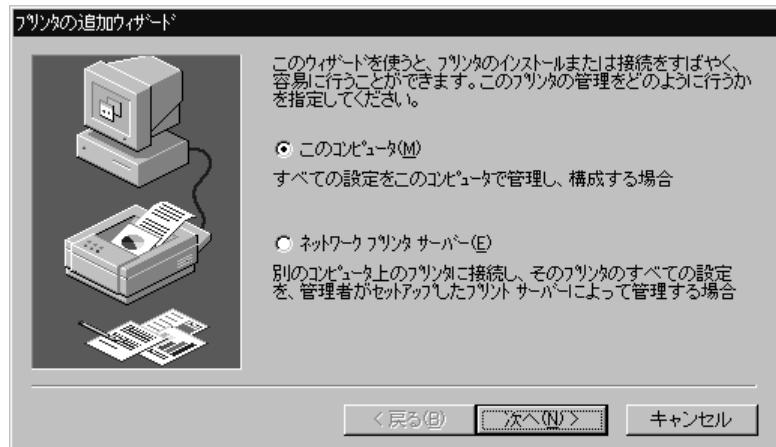
プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。

添付の FMPR5600/5400 セットアップディスクを準備してください。

- 1 Windows NT4.0 を起動し、管理者グループのメンバーとしてログオンする
- 2 マイコンピュータの〔プリンタ〕をダブルクリックし、次に〔プリンタの追加〕をダブルクリックする



- 3 「このコンピュータ」を選択して〔次へ〕をクリックする
 「ネットワークプリンタサーバー」を選んでインストールするには、
 プリンタサーバー上に対応するプリンタドライバがあらかじめインス
 トールされている必要があります。



- 4 プリンタを接続したポートをチェックして〔次へ〕をクリックする

利用可能なポートから、プリンタを接続したポートを選択します。まだ、ポートを作成していない場合は、仮のポートを選択してください。ただし、この場合は正しいポートを設定するまでテストページなどの印刷は行わないでください。



5 [ディスク使用] をクリックする

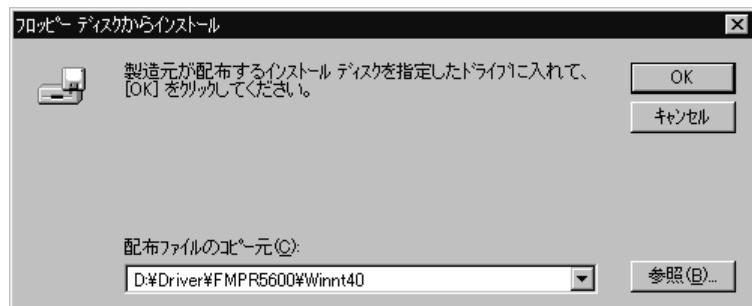


6 添付のFMPR5600/5400 セットアップディスクをパソコンのCD-ROM ドライブにセットする

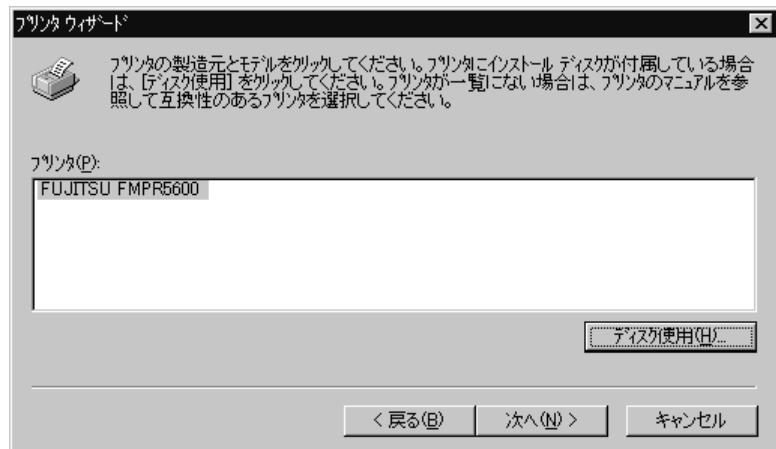
7 <配布ファイルのコピー元: > に「D:¥Driver¥FMPR5600¥Winnt40」と入力するか、または [参照] をクリックして「D:¥Driver¥FMPR5600¥Winnt40」を選択し、[開く] をクリックする

注1) FMPR5400をお使いの場合は、“FMPR5600”を“FMPR5400”に変えて入力してください。

注2) 上記は CD-ROM ドライブが D: のときの入力例です。



- 8** 該当するプリンタを選択して〔次へ〕をクリックする
実際の画面では、インストール可能なプリンタ名が表示されます。



ガイド

「このプリンタにはドライバが既にインストールされています。現在のドライバをそのまま使いますか？新しいドライバを使うと、印刷結果が異なることがあります。」というダイアログが表示される場合は、「新しいドライバに置き換える」を選択してください。

- 9** <プリンタ名 : >にプリンタの名前を入力し、通常のプリンタに設定する場合は、「はい」を選択し、〔次へ〕をクリックする
他にインストールされているプリンタがない場合は、自動的に通常のプリンタとして設定されます。



10 「共有しない」を選択し、〔次へ〕をクリックする

プリンタを共有するかしないかの設定は、プリンタドライバをインストールした後でも変更できます。ここでは「共有しない」を選択します。



11 テストページを印刷するか、しないかを選択して〔完了〕をクリックする

手順 4 で仮のポートを選択した場合は「いいえ」を選択してください。ファイルのコピーが開始されます。



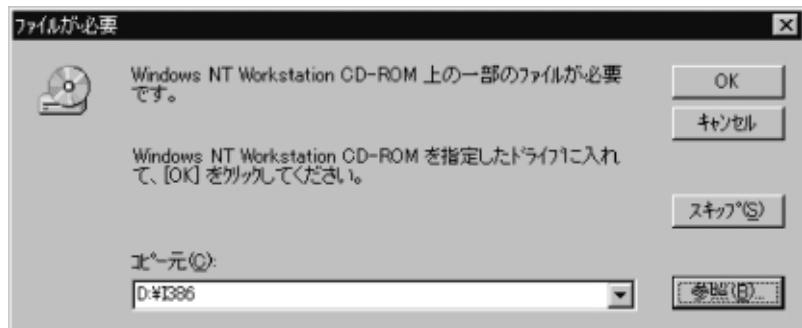
- 12 「ディスク挿入」が表示されたら、Windows NT4.0 セットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットし、[OK] をクリックする



- 13 <コピー元 : > に「D:\!386」と入力する。または [参照] をクリックして「D:\!386」を選択する

注) 上記は CD-ROM ドライブが D; のときの入力例です。

入力が終わったら [OK] をクリックします。



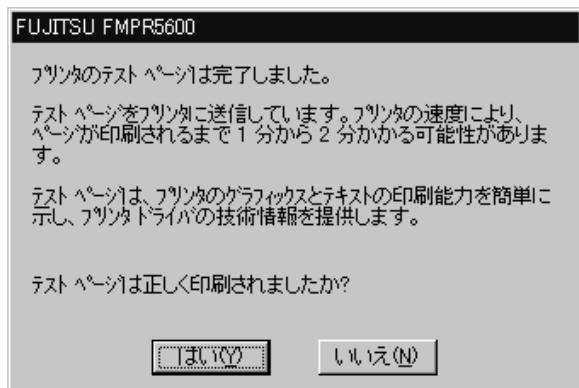
ファイルのコピーが終了すると、〔プリンタ〕フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効になります。



「テストページを印刷しますか？」で「はい（推奨）」を選択した場合は、次へ進みます。

テストページを印刷する前にプリンタに A4 タテ以上の用紙をセットしてください。用紙のセット方法については、『プリンタ編』「第3章 用紙のセット」を参照してください。

14 テストページが正しく印刷されたら、〔はい〕をクリックし、インストールを終了する



Windows 2000 のとき

ここでは、Windows 2000 が動作するパソコンにプリンタドライバをインストールする方法について説明します。

以下の手順では FMPR5600 を例に説明しています。

FMPR5400 をお使いの場合は、FMPR5400 と読み替えてください。

インストール手順は、通常のインストール（プリンタを、プリンタフォルダから手動で指定して、またはプリンタフォルダから Plug&Play で検出してインストール）と Plug&Play で異なります。それぞれの手順に従ってください。また、Plug&Play でプリンタが検出されない場合は、プリンタフォルダから手動で指定してプリンタドライバをインストールしてください。



ガイド

ご使用のパソコンにインストールされている Windows 2000 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

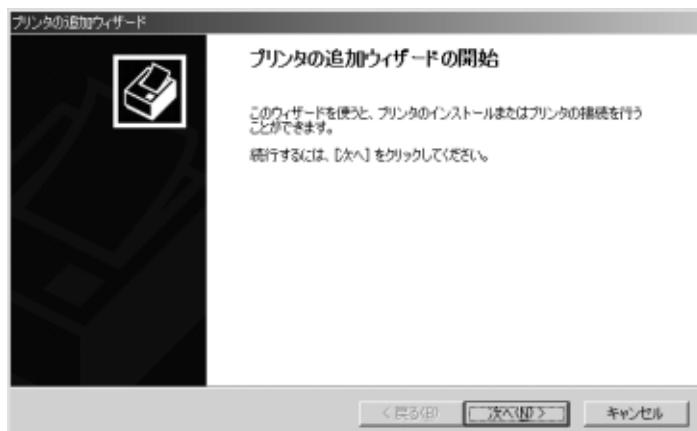
◆ 通常のインストール

通常のインストールには、手動でプリンタを指定する場合と、Plug&Playで検出する場合があります。
添付のFMPR5600/5400セットアップディスクを準備してください。

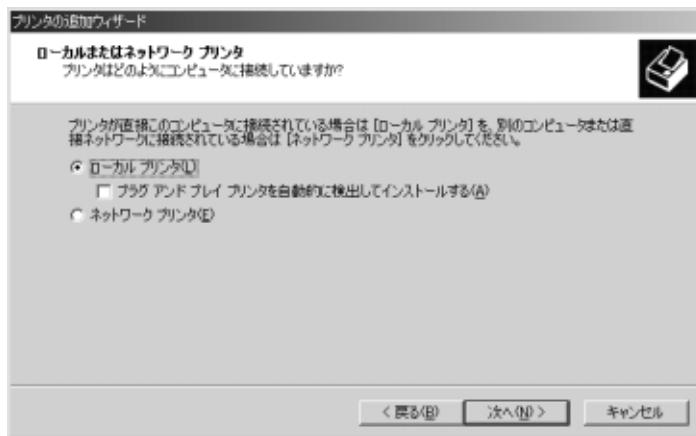
- 1 Windows 2000を起動する
- 2 マイコンピュータのコントロールパネルより〔プリンタ〕をダブルクリックし、次に〔プリンタの追加〕をダブルクリックする



- 3 [次へ]をクリックする



- 4 手動でプリンタを指定する場合は、「ローカルプリンタ」を選択して〔次へ〕をクリックする
 Plug&Play で検出する場合は「ローカルプリンタ」を選択し、「プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする」をチェックして、〔次へ〕をクリックする
 この画面は、パソコンがネットワークに接続されているときのみ表示されます。



手動でプリンタを指定する場合は「手動で指定する場合」(263 ページ参照)に、Plug&Play でプリンタを検出する場合は「Plug&Play で検出する場合」(268 ページ参照)に進んでください。



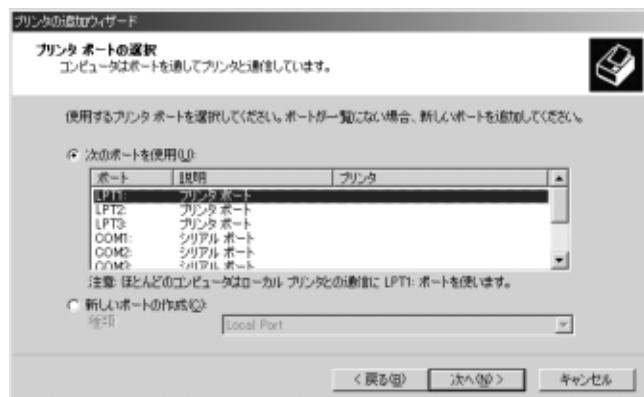
ガイド

- ・スタンドアロン (パソコンとプリンタを 1 対 1 で接続) のときや、パソコンをプリントサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。
 印刷先 (ポート) を後で変更する場合も、ローカルプリンタを選択してください。ただし、正しい印刷先に設定するまでテストページ等の印刷は行わないでください。
- ・「ネットワークプリンタ」を選んでインストールするには、プリントサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。
 また、「代替ドライバとネットワークインストール」はサポートしていません。

【手動で指定する場合】

5 使用するポートを選択し、〔次へ〕をクリックする

使用するポートがまだ作成されていない場合は、仮のポートとしてローカルポート（LPT1）などを選択してください。



6 〔ディスク使用〕をクリックする



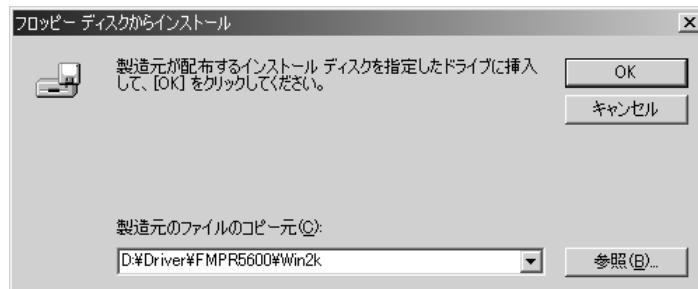
7 添付のFMPR5600/5400セットアップディスクをパソコンのCD-ROMドライブにセットする

8 < 製造元のファイルのコピー元 : > に「D:¥Driver¥FMPR5600¥Win2k」と入力する、または〔参照〕をクリックして「D:¥Driver¥FMPR5600¥Win2k」を選択する

注 1) FMPR5400をお使いの場合は、“FMPR5600”を“FMPR5400”に変えて入力してください。

注 2) 上記は CD-ROM ドライブが D: のときの入力例です。

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。



9 プリンタを選択して〔次へ〕をクリックする



ガイド

「このプリンタのドライバが既にインストールされています。既存のドライバを使うか、またはこのドライバを置き換えることができます。」というダイアログが表示される場合は、「新しいドライバに置き換える」を選択してください。

10 <プリンタ名 : >にプリンタの名前を入力し、通常使うプリンタに設定する場合は「はい」を選択し、〔次へ〕をクリックする
他にインストールされているプリンタがない場合は、自動的に通常使うプリンタとして設定されます。



11 プリンタを共有するか、しないかを選択して〔次へ〕をクリックする



12 テストページを印刷するか、しないかを選択して〔次へ〕をクリックする

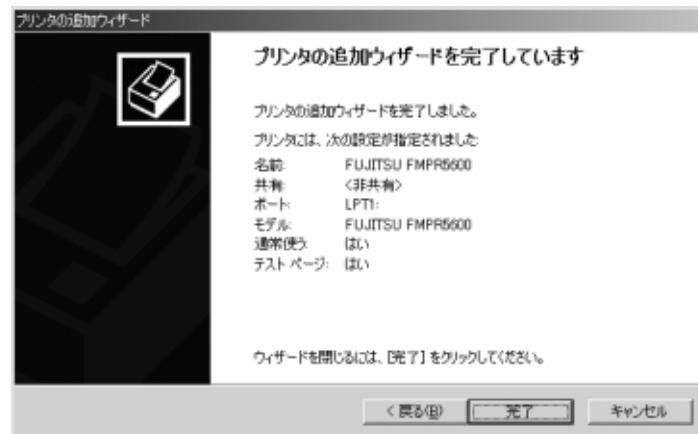
手順 5 で仮のポートを選択した場合は、「いいえ」を選択してください。



「はい」を選択した場合は以下の操作を行います。

テストページを印刷する前にプリンタに A4 タテ以上の用紙をセットしてください。用紙のセット方法については、取扱説明書『プリンタ編』「第3章 用紙のセット」を参照してください。

13 〔完了〕をクリックする

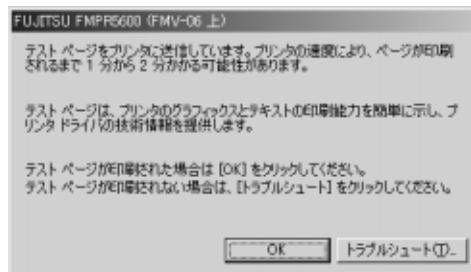


14 [はい] をクリックする



ファイルのコピーが開始されます。手順 12 でテストページを印刷しない設定にした場合は、この手順でインストールは終了です。テストページを印刷する設定にした場合は、手順 15 に進んでください。

15 テストページが正しく印刷されたら [OK] をクリックし、インストールを終了する



インストールが終了すると [プリント] フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効になります。



【Plug&Play で検出する場合】

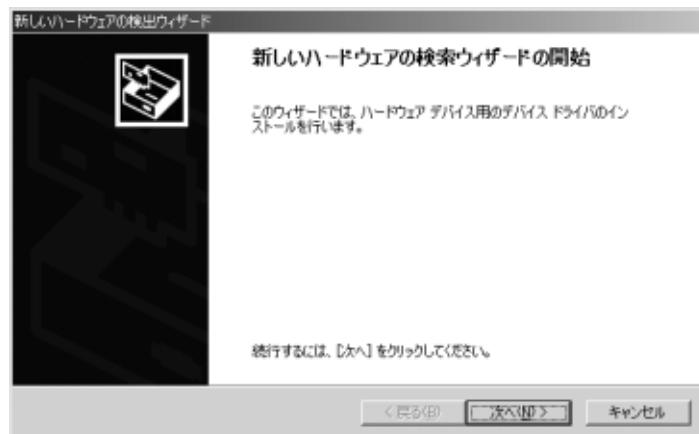
1 新しいプリンタを検出する画面が表示される



プリンタが検出されると以下の画面が表示されます。



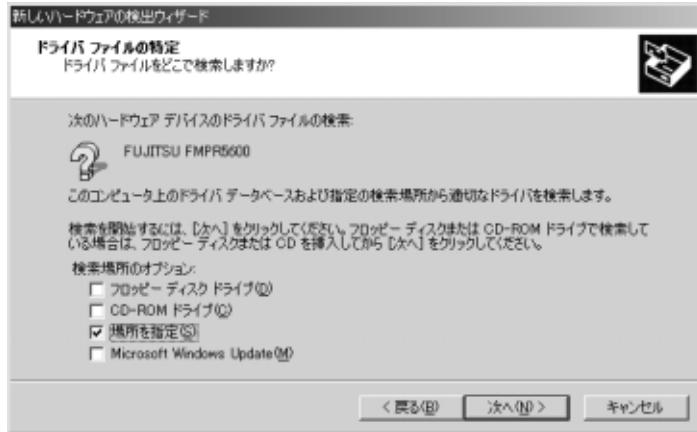
2 [次へ] をクリックする



- 3 「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択して〔次へ〕をクリックする



- 4 添付のFMPR5600/5400セットアップディスクをパソコンのCD-ROM ドライブにセットする
- 5 「フロッピーディスクドライブ」および「CD-ROM ドライブ」のチェックを外し、「場所を指定」をチェックして〔次へ〕をクリックする

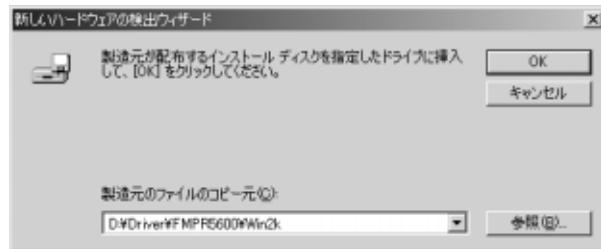


6 <製造元のファイルのコピー元 : > に「D:¥Driver¥FMPR5600¥Win2k」と入力する、または〔参照〕をクリックして「D:¥Driver¥FMPR5600¥Win2k」を選択する

注 1) FMPR5400をお使いの場合は、“FMPR5600”を“FMPR5400”に変えて入力してください。

注 2) 上記は CD-ROM ドライブが D: のときの入力例です。

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。

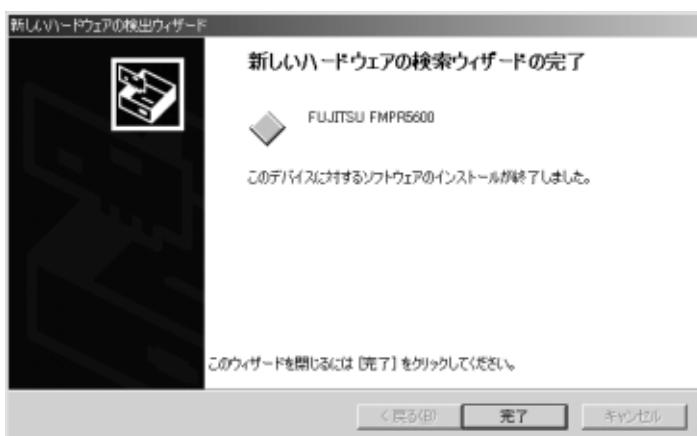


7 〔次へ〕をクリックする



8 [はい] をクリックする

ファイルのコピーが開始されます。

9 [完了] をクリックする

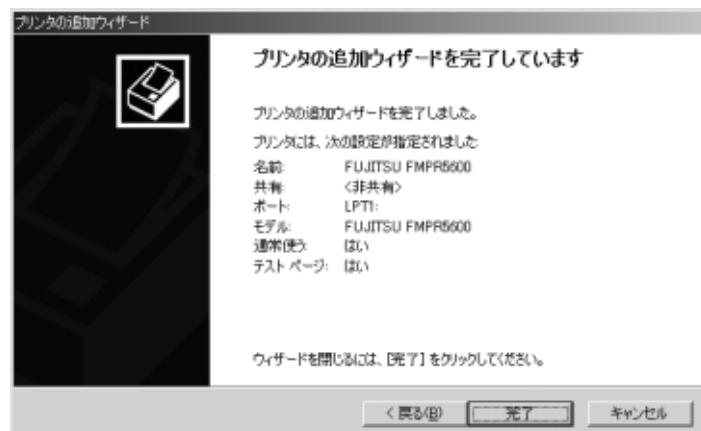
10 テストページを印刷するか、しないかを選択して〔次へ〕をクリックする



「はい」を選択した場合は以下の操作を行います。

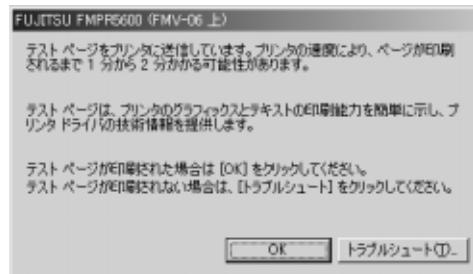
テストページを印刷する前にプリンタに A4 タテ以上の用紙をセットしてください。用紙のセット方法については、取扱説明書『プリンタ編』「第3章 用紙のセット」を参照してください。

11 〔完了〕をクリックする



手順 10 でテストページを印刷しない設定にした場合は、この手順でインストールは終了です。テストページを印刷する設定にした場合は、手順 12 に進んでください。

12 テストページが正しく印刷されたら [OK] をクリックし、インストールを終了する



インストールが終了すると、[プリンタ] フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効になります。



◆ Plug&Play によるインストール

プリンタドライバの Plug&Play によるインストールは、次の手順で行います。

添付の FMPR5600/5400 セットアップディスクを準備してください。

1 プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態で Windows 2000 を起動する

パソコン起動時に「FUJITSU FMPR5600 新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを探しています。」と表示されます。以降の手順は「通常のインストール」の「Plug&Play で検出する場合」手順 2 から 9 の指示に従ってください。



ガイド

Plug&Play はプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ行われます。

プリンタが検出されない場合は、「通常のインストール」(261 ページ参照) の「手動で指定する場合」でインストールしてください。



FMPR ユーティリティのインストール ——

FMPR モニタおよび FMPR リモートパネルのインストールは以下の手順で行ってください。

FMPR ユーティリティの機能については、「第3章 FMPR モニタ」、「第4章 FMPR リモートパネル」を参照してください。



ガイド

Windows 95、Windows 98、Windows Me、Windows NT4.0、Windows 2000 に対応しています。

FMPR5600 または FMPR5400 プリンタドライバがインストールされていない場合、FMPR モニタまたは、FMPR リモートパネルをインストールすることはできません。

必ず FMPR5600 または FMPR5400 プリンタドライバを先にインストールしてからソフトウェアのインストールを行ってください。

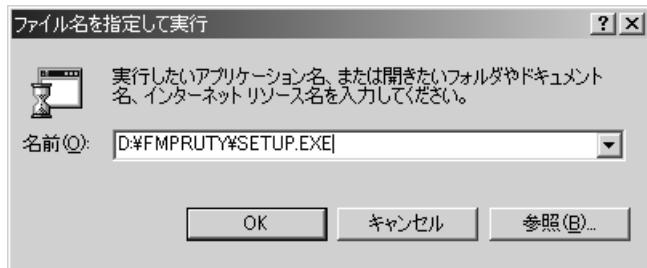
初めてインストールするとき

FMPR ユーティリティを初めてインストールするときは、以下の手順で行います。

- 1 添付のFMPR5600/5400セットアップディスクをパソコンのCD-ROM ドライブにセットする
- 2 [スタート]ボタンをクリックし、スタートメニューから [ファイル名を指定して実行 (R)] をクリックする
<名前> に「D:¥FMPRUTY¥SETUP.EXE」と入力する、または [参照] をクリックして「D:¥FMPRUTY¥SETUP.EXE」を選択する。

注1) CD-ROM ドライブが D: のときの入力例です。

入力が終わったら [OK] をクリックしてください。



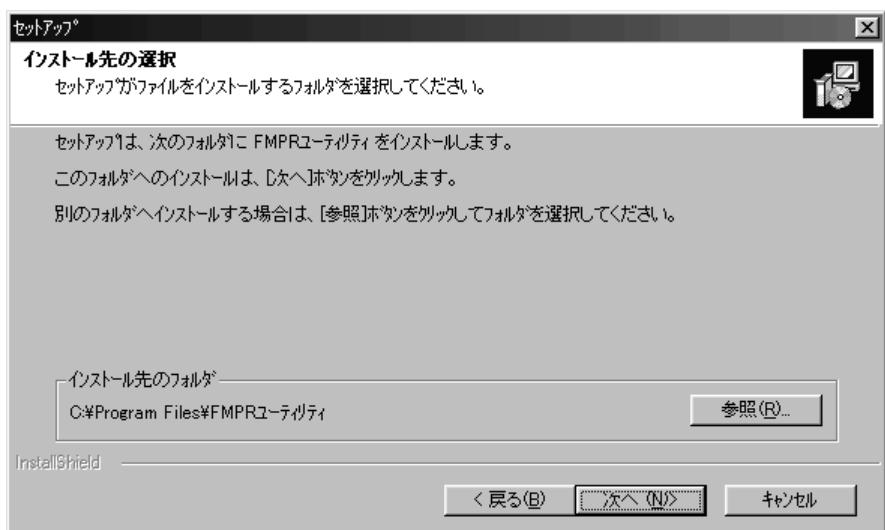
3 内容を確認し、〔次へ〕をクリックする



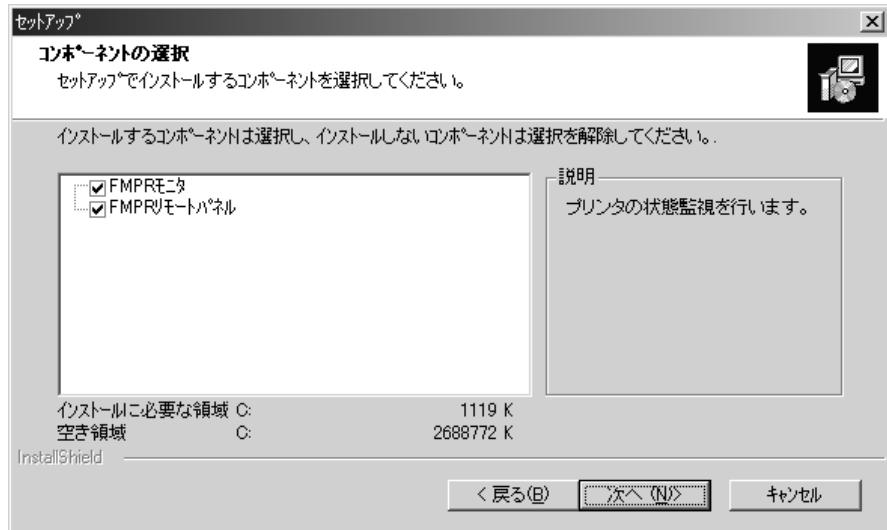
4 プログラムをインストールするフォルダを指定する

フォルダを変更する場合は、〔参照〕をクリックし、フォルダを選択します。

フォルダを指定したら、〔次へ〕をクリックします。

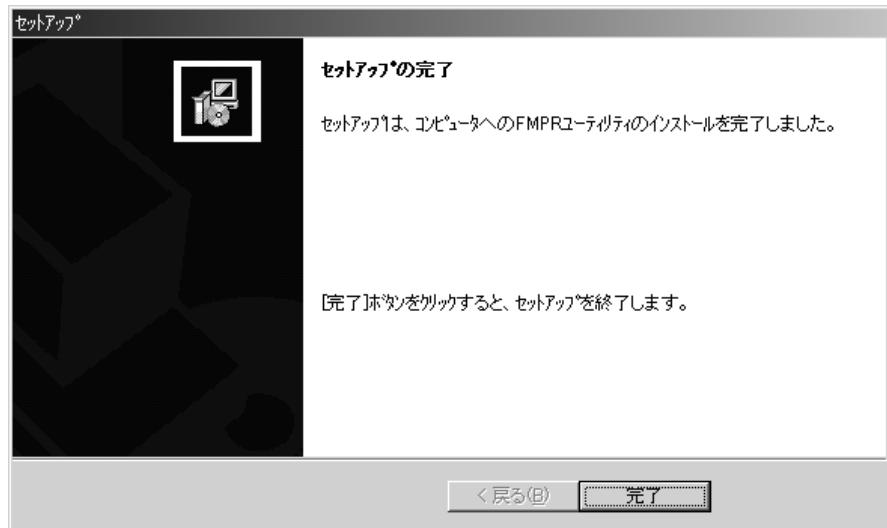


- 5 インストールするソフトウェアにチェックを付け、[次へ]をクリックする
[次へ]をクリックすると、インストールが開始されます。



- 6 [完了]をクリックする

これで FMPR ユーティリティ (FMPR モニタ、FMPR リモートパネル) のインストールは終了です。



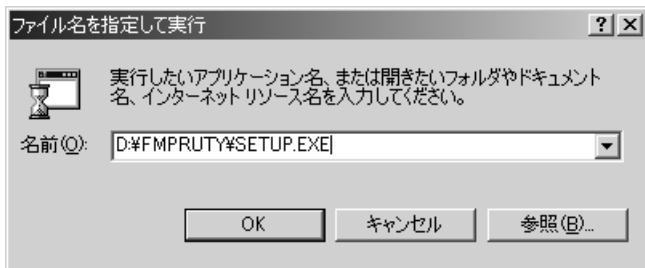
FMPR ユーティリティをメンテナンスするとき

インストールされている FMPR ユーティリティをメンテナンス(プログラムの変更・修正・削除)するときは、以下の手順で行います。

- 1 FMPR ユーティリティ (FMPR モニタ、FMPR リモートパネル) を終了する
- 2 添付のFMPR5600/5400 セットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットする
- 3 [スタート] ボタンをクリックし、スタートメニューから [ファイル名を指定して実行 (R)] をクリックする
<名前> に「D:¥FMPRUTY¥SETUP.EXE」と入力するか、または [参照] をクリックして「D:¥FMPRUTY¥SETUP.EXE」を選択します。

注1) CD-ROM ドライブが D: のときの入力例です。

入力が終わったら [OK] ボタンをクリックしてください。

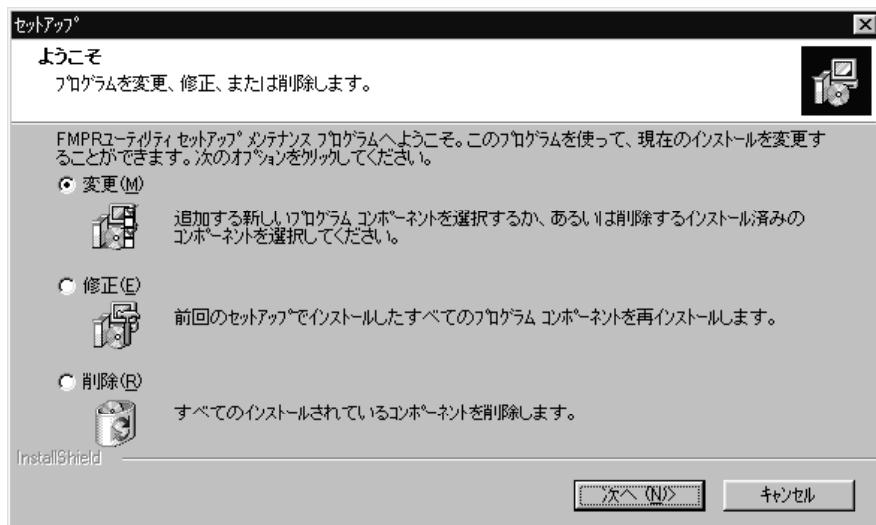


4 オプション選択する

インストール済みの FMPR ユーティリティを変更するときは、「変更」を選択し、〔次へ〕をクリックします。手順 5へ進みます。

前回と同じプログラムを再インストールするときは、「修正」を選択し、〔次へ〕をクリックします。FMPR ユーティリティの再インストールが開始されます。手順 7へ進みます。

インストールされている FMPR ユーティリティを削除するときは、「削除」を選択し、〔次へ〕をクリックします。手順 6へ進みます。



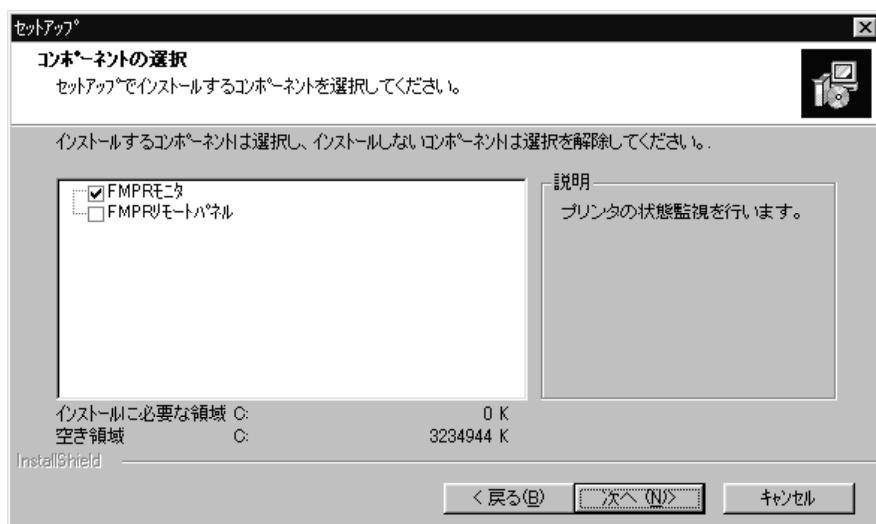
5 変更するプログラムを選択し、〔次へ〕をクリックする

チェックを付けると、プログラムが追加されます。

チェックを外すと、プログラムは削除されます。

〔次へ〕をクリックすると、プログラムの変更が開始されます。

手順 7へ進みます。

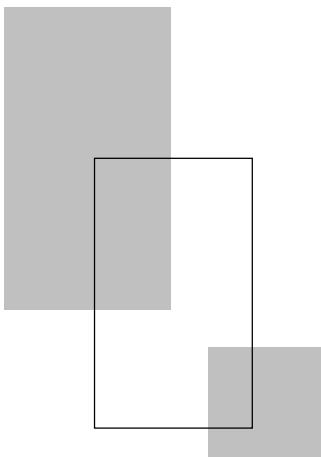


- 6** [OK] をクリックする
プログラムのアンインストールが開始されます。



- 7** [完了] をクリックする
これで FMPR ユーティリティ (FMPR モニタ、FMPR リモートパネル) のメンテナンスが終了します。





第 2 章

プリンタドライバの設定

この章では、プリンタドライバの設定方法や設定項目について説明します。

プリンタドライバの設定	282
Windows95/98/Me の設定画面	282
WindowsNT4.0 の設定画面	292
Windows2000 の設定画面	305
印刷可能領域	318
印刷の向き	322
給紙方法	323
用紙の種類またはメディア	324
印刷品質	324
印字圧	325



プリンタドライバの設定

ここでは、プリンタドライバの設定画面について説明します。

Windows 95/98/Me の設定画面

Windows 95/98/Me でのプリンタドライバの設定は、[プリンタのプロパティ] で行います。

[プリンタのプロパティ] は、アプリケーションソフトから表示させる方法と、Windows のスタートメニューから表示させる方法があります。

表示方法によって設定できる項目が変わりますので、ご注意ください。

以下の画面はFMPR5600 のWindows 98 を例に説明しています。

FMPR5400 をお使いの場合は、FMPR5400 と読み替えてください。



ガイド

- ・ アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタドライバの設定を含む）を保存します。このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で用紙サイズなどを設定できるものもあります。

◆ アプリケーションソフトからの設定画面
(〔プリンタ設定のプロパティ〕)



アプリケーションソフトから印刷を実行するときに表示できる設定画面です。
用紙サイズや解像度などを印刷時に設定できます。

【設定画面の表示と設定の変更】

プリンタ設定のプロパティを表示する方法は、アプリケーションソフトごとに異なります。

ここでは、ワードパットを例に説明します。

- 1 ワードパットの〔ファイル〕メニューから、〔印刷〕をクリックする
- 2 〔印刷〕ダイアログで、〔プロパティ〕をクリックする
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。

〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。

〔既定値に戻す〕のあるダイアログでは、これをクリックすると現在設定中のダイアログの内容を標準値に戻します。

◆ [スタート]からの設定画面([プリンタのプロパティ])



プリンタドライバやポートの選択などが行えます。
 また、用紙サイズや解像度などの印刷に関する既定値の設定が行えます。
 アプリケーションソフトで用紙やプリンタなどの印刷に関する設定を行わない場合は、この設定値で印刷します。

【設定画面の表示と設定の変更】

- 1 [スタート]ボタンをクリックし、スタートメニューから[設定]([プリンタ])の順にクリックする
- 2 該当するプリンタのアイコンをクリックし、[ファイル]メニューから[プロパティ]をクリックする
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する
 [OK]をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
 [キャンセル]をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。
 [既定値に戻す]のあるダイアログでは、これをクリックすると、現在設定中のダイアログの内容を標準値に戻します。

◆ ダイアログ一覧

(注) とあるダイアログは〔プリンタのプロパティ〕にのみ表示されます。

〔全般〕(または〔情報〕)(注)



プリンタに関するコメントの入力や区切りページの指定、テストページ印刷を行います。

区切りページは、印刷を行うパソコンにプリンタが直接接続されている場合のみ使用できます。また、B5 サイズより小さいサイズの用紙では、周囲の一部が欠けて印刷されます。

〔詳細〕(注)



印刷先のポートに関する設定や、使用しているプリンタドライバの表示を行います。

〔共有〕(注)



プリンタの共有に関する設定を行います。

このダイアログは、ネットワークの設定でプリンタを共有に設定したときのみ表示されます。

〔用紙〕



用紙サイズ、印刷の向き、給紙方法などの用紙に関する設定を行います。

設定項目	内 容
用紙サイズ	<p>用紙サイズを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別なサイズの用紙を使う場合、ユーザー定義サイズを選択し、用紙の幅と長さを設定します。『プリンタ編』「第4章 用紙について」の「用紙サイズおよび印字領域」の範囲で使用してください。 複数のユーザー定義サイズの用紙を使いたい場合は、プリンタドライバをユーザー定義サイズごとにインストールしてください。ドライバの名前にサイズ名を指定すれば、ドライバの切り替えで使用できます。 選択できる用紙サイズについては、「印刷可能領域」(318 ページ)を参照してください。
印刷の向き	<p>印刷の向きを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 縦：用紙を縦長に使って印刷します。 横：用紙を横長に使って印刷します。
給紙方法	用紙の給紙方法を選択します。詳細は「給紙方法」(323 ページ)を参照してください。

設定項目	内 容
用紙の種類	用紙厚調整の方法を設定します。 プリンタ装置側の用紙厚調整の設定がオートに設定されている場合のみ、本設定が有効になります。 ・自動：用紙厚を自動で調整します。 ・レンジ1～レンジD ：用紙厚を指定の厚さに設定します。
余白の編集	余白の編集を行います。 選択した用紙サイズに最適な値が設定されています。 設定を変更すると印刷位置がずれる場合があります。 本機能はアプリケーションソフトからは設定できません。
詳細オプション	単票用紙の排出方法を指定します。 ・自動排出：プリンタの操作パネルで指定した排出方法になります。 ・手前排出：単票テーブル側に排出します。 ・後方排出：リアスタッカに排出します。
バージョン情報	本プリンタドライバに関する情報を表示します。
標準に戻す	現在開いているプロパティ内のすべての設定を標準の状態に戻します。

〔グラフィックス〕



解像度やディザパターンなどを設定します。

設定項目	内 容
解像度	印刷するデータの解像度を次の中から指定できます。 180×180dpi (既定値)、120×180dpi、360×180dpi
ディザリング	<p>ディザリングとは、中間色をドットの組み合わせで表現することです。選んだディザリングの設定によって、グラフィックイメージがどの程度に細かく印刷されるかが決まります。</p> <p>なし : ディザリングを行いません。</p> <p>粗く : グラフィックイメージを粗いパターンで表現します。</p> <p>細かく : グラフィックイメージを細かいパターンで表現します。(既定値)</p> <p>ラインアート : グラフィックイメージを線の太さで表現します。印刷をするグラフィックイメージの、黒・白・グレーの間にはっきりした境界線がある場合に指定してください。</p> <p>誤差拡散法 : はっきりした境界のない写真や絵を印刷するときに指定します。</p>
濃度	濃度を変えると、印刷濃度が調整できます。

〔デバイスオプション〕



印刷品質の設定を行います。

設定項目	内 容
印刷密度 (*1)	印刷密度(印字圧)の設定をします。 ・標準 : 標準の印字圧で印刷します。 ・高複写 1 : 高複写の印字圧で印刷します。 ・高複写 2 : 2 度打ちにより高複写 1 よりさらに高複写の印字圧で印刷します。

設定項目	内 容
印刷品質	<p>印字品質および印字方向の設定をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高品質（両方向印字）：高品質モードで両方向印字を行います。 ・高品質（片方向印字）：高品質モードで片方向印字を行います。 ・高速（両方向印字）：高速モードで両方向印字を行います。 ・高速（片方向印字）：高速モードで片方向印字を行います。 ・低騒音（両方向印字）：低騒音モードで両方向印字を行います。 ・低騒音（片方向印字）：低騒音モードで片方向印字を行います。 ・プリンタ設定優先（両方向印字） ：印字方向は両方向、印字品質はプリンタの設定に従います。 ・プリンタ設定優先（片方向印字） ：印字方向は片方向、印字品質はプリンタの設定に従います。

*1) この項目は FMPR5600 のみ表示されます。

*2) ドライバのプロパティによる印字方向の設定は、「ソウチキノウ セッティ」の「インジ ホウコウ」(46 ページ参照)で印字方向の設定が「リョウホウコウ」に設定されているときのみ有効となります。プリンタの印字方向の設定が、片方向に設定されているときは、プロパティの設定にかかわらず、片方向印字となります。

Windows NT4.0 の設定画面

Windows NT4.0 でのプリンタドライバの設定は、〔プリンタ設定のプロパティ〕、〔ドキュメントの既定値〕、〔プリンタのプロパティ〕の3つのプロパティで行います。

プロパティによって設定できる項目が変わりますので、ご注意ください。

以下の画面は FMPR5600 を例に説明しています。

FMPR5400 をお使いの場合は、FMPR5400 と読み替えてください。



ガイド

- ・一般ユーザは、アプリケーションソフトからのプリンタ設定のプロパティのみ変更できます。
また、サーバ共有のプリンタの全ての設定値をクライアントから変更するには、サーバとクライアントの両方で管理者権限が必要です。
- ・アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタドライバの設定を含む）を保存します。このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で用紙サイズなどを設定できるものもあります。

◆ アプリケーションからの設定画面（〔プリンタ設定のプロパティ〕）



各アプリケーションソフトでのプリンタの設定項目から表示するプリンタのプロパティです。

印刷時に用紙サイズや解像度などの印刷に関する設定が行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

プリンタ設定のプロパティを表示する方法は、アプリケーションソフトごとに異なります。

ここでは、ワードパットを例に説明します。

1 ワードパットの〔ファイル〕メニューから、〔印刷〕をクリックする

2 〔印刷〕ダイアログで、〔プロパティ〕をクリックする

3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。

〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。

◆ [スタート]からの設定画面（[ドキュメントの既定値]）



用紙サイズや解像度などの印刷に関する既定値を設定します。
アプリケーションソフトで用紙やプリンタの設定を行わない場合は、
この設定値で印刷します。

【設定画面の表示と設定の変更】

- 1 [スタート]ボタンをクリックし、スタートメニューから[設定]→[プリンタ]の順にクリックする
- 2 該当するプリンタのアイコンをクリックし、[プリンタ]フォルダの[ファイル]メニューから[ドキュメントの既定値]をクリックする
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する
[OK]をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
[キャンセル]をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。

◆ プリンタのプロパティ（〔プリンタのプロパティ〕）



プリンタドライバやポートの選択などが行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

- 1 [スタート]ボタンをクリックし、スタートメニューから〔設定〕〔プリンタ〕の順にクリックする
- 2 該当するプリンタのアイコンをクリックし、〔プリンタ〕フォルダの〔ファイル〕メニューから〔プロパティ〕をクリックする
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する
 〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
 〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。

◆ ダイアログ一覧

(注1)とあるダイアログは〔プリンタ設定のプロパティ〕または〔ドキュメントの既定値〕でのみ表示されます。

(注2)とあるダイアログは〔プリンタのプロパティ〕でのみ表示されます。

〔ページ設定〕(注1)



用紙サイズ、印刷の向き、給紙方法などの用紙に関する設定を行います。

設定項目	内 容
用紙サイズ	<p>用紙サイズを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 選択できる用紙サイズについては、「印刷可能領域」(318ページ)を参照してください。 特別なサイズの用紙を使う場合、〔プリンタ〕フォルダの〔ファイル〕メニューから〔サーバーのプロパティ〕を選択し、〔用紙〕タブの「新しい用紙を作成する」によって登録した用紙名を選択してください。用紙の幅と長さは『プリンタ編』「第4章 用紙について」の「用紙サイズおよび印字領域」の範囲で使用してください。 用紙の登録方法については297ページを参照してください。

設定項目	内 容
印刷の向き	印刷の向きを選択します。 ・縦：用紙を縦長に使って印刷します。 ・横：用紙を横長に使って印刷します。
給紙方法	用紙の給紙方法を選択します。 ・「自動選択」のまま印刷すると、〔デバイスの設定〕タブで、同じ用紙のサイズが割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合は、手差しで印刷します。

用紙の登録方法

1. [プリンタ] フォルダで [ファイル] メニューから [サーバーのプロパティ] をクリックして、[プリントサーバのプロパティ] を開きます。
2. [用紙] タブの「新しい用紙を作成する」をチェックします。
3. 用紙名とサイズを入力して、[用紙の保存] をクリックします。

〔詳細〕(注1)



次の項目の設定が行えます。

設定項目	設定内容	備考
用紙/出力	用紙サイズ	用紙サイズを選択します。
	印刷の向き	印刷の向きを指定します。
	給紙方法	給紙方法を選択します。
グラフィックス	解像度	解像度を設定します。
ドキュメントのオプション	ハーフトーンカラーの調整	ハーフトーンカラーを設定します。 「ハーフトーンカラーの調整」ボタンをクリックすると「ハーフトーンカラーの調整」ダイアログボックスが表示されます。
	メディア	用紙厚調整の方法を設定します。 プリンタ装置側の用紙厚調整の設定がオートに設定されている場合のみ、本設定が有効になります。 ・自動： 用紙厚を自動で調整します。 ・レンジ1～レンジD： 用紙厚を指定の厚さに設定します。

設定項目	設定内容	備考
ドキュメントのオプション	用紙/出力	<p>単票用紙の排出方法を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動排出： プリンタの操作パネルで指定した排出方法になります。 ・手前排出： 単票テーブル側に排出します。 ・後方排出： リアスタッカに排出します。
	印刷品質	<p>印字品質および印字方向の設定をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高品質（両方向印字）： 高品質モードで両方向印字を行います。 ・高品質（片方向印字）： 高品質モードで片方向印字を行います。 ・高速（両方向印字）： 高速モードで両方向印字を行います。 ・高速（片方向印字）： 高速モードで片方向印字を行います。 ・低騒音（両方向印字）： 低騒音モードで両方向印字を行います。 ・低騒音（片方向印字）： 低騒音モードで片方向印字を行います。 ・プリンタ設定優先（両方向印字）： 印字方向は両方向、印字品質はプリンタの設定に従います。 ・プリンタ設定優先（片方向印字）： 印字方向は片方向、印字品質はプリンタの設定に従います。
	濃淡（*1）	<p>印字圧の設定をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標準： 標準の印字圧で印刷します。 ・高複写1： 高複写の印字圧で印刷します。 ・高複写2： 2度打ちにより高複写1よりさらに高複写の印字圧で印刷します。

設定項目	設定内容	備考
ドキュメントのオプション	テキストをグラフックスとして印刷	テキストをグラフィックスとして印刷するかどうかの設定をします。 ・オフ： テキストを設定されているフォントで印刷します。 ・オン： プリンタフォントを使用せず、グラフィックスでテキストを印刷します。
	メタファイルスプーリング	メタファイルのスプーリングの設定をします。 ・オフ： 印刷データをスプールしてから印刷します。 ・オン： 印刷データを直接プリンタに送ります。

*1) この項目は FMPR5600 のときのみ表示されます。

*2) ドライバのプロパティによる印字方向の設定は、プリンタの印字方向の設定が両方向に設定されているときのみ有効となります。プリンタの印字方向の設定が、片方向に設定されているときは、プロパティの設定にかかわらず、片方向印字となります。

「FUJITSU FMPR5600 ドキュメントの設定」を選択すると、次のボタンが表示されます。

変更したオプションを元に戻す	変更した設定をプロパティシートを開いたときの状態に戻します。
ラスタプリンタドライバのバージョン情報	本プリンタに関する情報を表示します。

〔全般〕(注2)



プリンタに関するコメントの入力や区切りページの指定、テストページ印刷を行います。

〔ポート〕(注2)



印刷先のポートに関する設定を行います。

〔スケジュール〕(注2)



プリンタの利用可能時間やスプールに関する設定を行います。

〔共有〕(注2)



プリンタの共有に関する設定や代替ドライバのインストールを行います。

〔セキュリティ〕(注2)



プリンタのセキュリティに関する設定を行います。

〔デバイスの設定〕(注2)



給紙方法と用紙の割り当て、ハーフトーンの設定を行います。

設定項目	内 容
給紙方法と用紙の割り当て	給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定した場合は、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。
ハーフトーンセットアップ	「ハーフトーンセットアップ」ボタンをクリックすると「デバイスカラー/ハーフトーンのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

「FUJITSU FMPR5600 デバイスの設定」を選択すると、次のボタンが表示されます。

変更したオプションを元に戻す	変更した設定をプロパティシートを開いたときの状態に戻します。
ラスタプリンタドライバのバージョン情報	本プリンタに関する情報を表示します。

Windows 2000 の設定画面

Windows 2000 でのプリンタドライバの設定は、〔印刷〕、〔印刷設定〕、〔プリンタのプロパティ〕プロパティで行います。
各プロパティで、設定できる項目が変わりますので、ご注意ください。

以下の画面は FMPR5600 を例に説明しています。
FMPR5400 をお使いの場合は、FMPR5400 と読み替えてください。



ガイド

- ・ アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタドライバの設定を含む）を保存します。このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で用紙サイズなどを設定できるものもあります。

◆ アプリケーションからの設定画面（〔印刷〕）



各アプリケーションソフトでのプリンタの設定項目から表示するプリンタのプロパティです。

印刷時に用紙サイズや解像度などの印刷に関する設定が行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

プリンタ設定のプロパティを表示する方法は、アプリケーションソフトごとに異なります。

ここでは、ワードパッドを例に説明します。

- 1 ワードパッドの〔ファイル〕メニューから、〔印刷〕をクリックする
- 2 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

〔印刷〕をクリックすると変更した設定で印刷が開始されます。

〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないで〔印刷〕プロパティを終了します。

〔適用〕をクリックすると、変更した設定を保存します。このときプロパティは開いたままです。

◆ [スタート]からの設定画面（[印刷設定]）



用紙サイズや解像度などの印刷に関する既定値を設定します。
アプリケーションソフトで用紙やプリンタの設定を行わない場合は、
この設定値で印刷します。

【設定画面の表示と設定の変更】

- 1 [スタート]ボタンをクリックし、スタートメニューから[設定]→[プリンタ]の順にクリックする
- 2 該当するプリンタのアイコンをクリックし、[ファイル]メニューから[印刷設定]をクリックする
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

用紙サイズ、出力部数、印刷品質、オプション機能などに関する詳細な設定を行う場合は、[詳細設定]をクリックし、設定を変更する。
[OK]をクリックすると、変更した設定を保存して[印刷設定]プロパティを終了します。
[キャンセル]をクリックすると、変更した設定を保存しないで[印刷設定]プロパティを終了します。
[適用]をクリックすると、変更した設定を保存します。このときプロパティは開いたままです。



ガイド

- ・変更した設定を以前の設定に戻すには以下の方法があります。
 - (1) [レイアウト] [用紙/品質] タブの場合、設定を変更した後、変更した項目で右クリックして[変更したオプションを元に戻す]を表示し、クリックする。
 - (2) [詳細設定] の場合、「FUJITSU FMPR5600 詳細なドキュメントの設定」を右クリックして[変更したオプションを元に戻す]を表示し、クリックする。

◆ プリンタのプロパティ



プリンタドライバやポートの選択などが行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

- 1 [スタート]ボタンをクリックし、スタートメニューから〔設定〕〔プリンタ〕の順にクリックする
- 2 該当するプリンタのアイコンをクリックし、〔ファイル〕メニューから〔プロパティ〕をクリックする
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する
 〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
 〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。
 〔適用〕をクリックすると、変更した設定を保存します。このときプロパティは開いたままです。

◆ ガイド

- ・変更した設定を以前の設定に戻すには以下の方法があります。（〔デバイスの設定〕タブのみ有効）

設定を変更した後、〔デバイスの設定〕タブの〔FUJITSU FMPR5600 デバイスの設定〕を右クリックします。〔変更したオプションを元に戻す〕が表示されますので、クリックします。

◆ ダイアログ一覧

(注1) とあるダイアログは〔印刷〕、〔印刷設定〕プロパティで表示されます。

(注2) とあるダイアログは〔プリンタのプロパティ〕でのみ表示されます。

〔レイアウト〕(注1)



印刷の向き、ページ順序、シートごとの印刷ページなど、レイアウトに関する設定などを行います。

設定項目	内 容
印刷の向き	印刷の向きを指定します。
ページの順序	印刷するページの順序を指定します。
シートごとのページ	1枚の用紙に何ページ分印刷するのかを指定します。

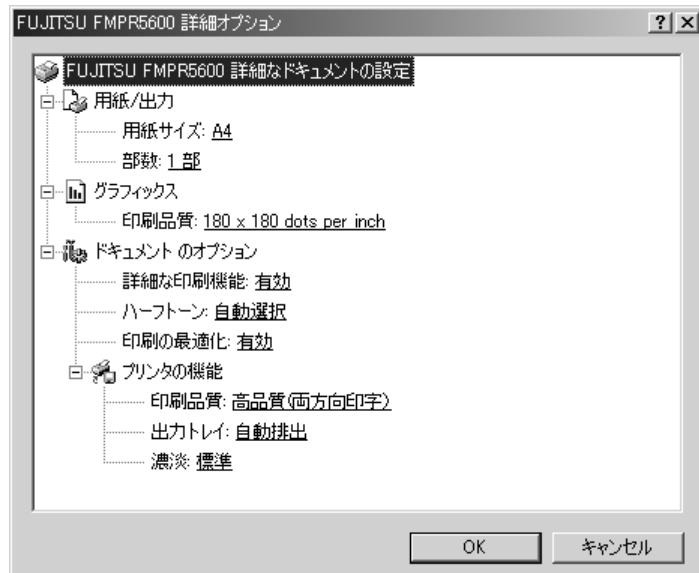
〔用紙/品質〕(注1)



給紙方法・メディアなどの用紙に関する設定を行います。

設定項目	内 容
給紙方法	用紙の給紙方法を選択します。 ・「自動選択」のまま印刷すると、〔デバイスの設定〕タブで、同じ用紙のサイズが割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合は、手差しで印刷します。
メディア	用紙厚調整の方法を設定します。 プリンタ装置側の用紙厚調整の設定がオートに設定されている場合のみ、本設定が有効になります。 ・自動： 用紙厚を自動で調整します。 ・レンジ1～レンジD： 用紙厚を指定の厚さに設定します。

〔詳細〕(注1)



次の項目の設定が行えます。

設定項目	設定内容	備考
用紙/出力	用紙サイズ	用紙サイズを選択します。
	部数	印刷部数を設定します。
グラフィックス	印刷品質	解像度を設定します。
ドキュメントのオプション	詳細な印刷機能	印刷機能の設定を有効にするかしないかを設定します。 有効: [ページの順序] [シートごとのページ] および [部数] の設定が有効になります。 無効: [ページの順序] [シートごとのページ] および [部数] の設定が無効になります。
	ハーフトーン	ハーフトーンの種類を設定します。プリンタによって最適な品質を決定するには「自動選択」を選択します。
	印刷の最適化	印刷の最適化を有効にするかしないかを設定します。印刷結果が正しくないときは、この機能を「無効」にすることができます。

設定項目	設定内容		備考
ドキュメントのオプション	プリンタの機能	印刷品質	<p>印字品質および印字方向の設定をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高品質（両方向印字）：高品質モードで両方向印字を行います。 ・高品質（片方向印字）：高品質モードで片方向印字を行います。 ・高速（両方向印字）：高速モードで両方向印字を行います。 ・高速（片方向印字）：高速モードで片方向印字を行います。 ・低騒音（両方向印字）：低騒音モードで両方向印字を行います。 ・低騒音（片方向印字）：低騒音モードで片方向印字を行います。 ・プリンタ設定優先（両方向印字）：印字方向は両方向、印字品質はプリンタの設定に従います。 ・プリンタ設定優先（片方向印字）：印字方向は片方向、印字品質はプリンタの設定に従います。
	出力トレイ		<p>用紙の排出方法を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動排出：プリンタの操作パネルで指定した排出方法になります。 ・手前排出：単票テーブル側に排出します。 ・後方排出：リアスタッカに排出します。

設定項目	設定内容		備考
ドキュメントのオプション	プリンタの機能	濃淡(*1)	印字圧の設定をします。 <ul style="list-style-type: none">標準：標準の印字圧で印刷します。高複写1：高複写の印字圧で印刷します。高複写2：2度打ちにより高複写1よりさらに高複写複写の印字圧で印刷します。

*1) この項目は FMPR5600 のみ表示されます。

〔全般〕(注2)



プリンタの場所の入力、コメントの入力、機能一覧の表示、印刷設定、テストページの印刷を行います。

〔共有〕(注2)



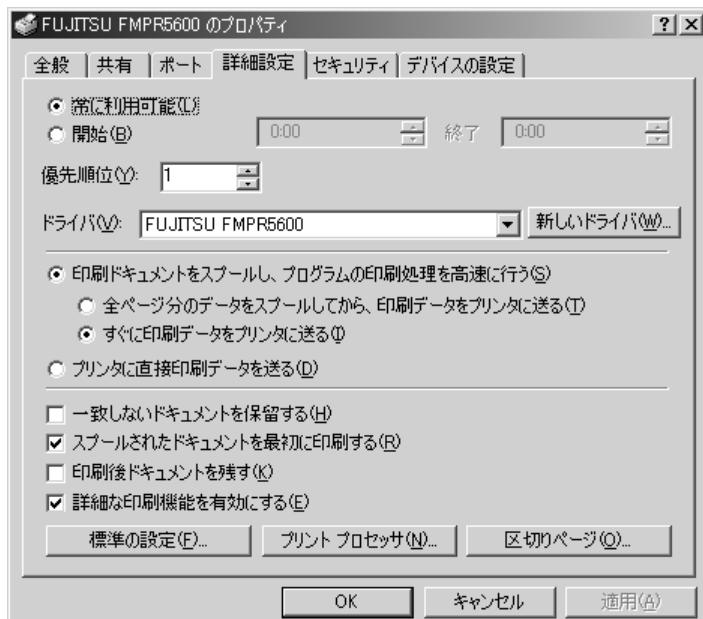
プリンタの共有に関する設定や代替ドライバのインストールを行います。ただし、代替ドライバはサポートしません。

〔ポート〕(注2)



印刷先のポートに関する設定を行います。

〔詳細設定〕(注2)



プリンタの利用可能時間、優先順位、プリントプロセッサ、区切りページを設定します。

[セキュリティ] (注2)



プリンタのセキュリティに関する設定を行います。

〔デバイスの設定〕(注2)



給紙方法と用紙の割り当ての設定を行います。

設定項目	内 容
給紙方法と用紙の割り当て	給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定した場合は、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。



印刷可能領域

このプリンタドライバで使用できる用紙サイズおよび印刷範囲は、次のようになっています。

◆ 用紙サイズ

単位：mm

用紙	縦(ポートレート)		横(ランドスケープ)	
	用紙幅	用紙長	用紙幅	用紙長
A3	297.00	420.00	420.00	297.00
A4	210.00	297.00	297.00	210.00
A5	148.00	210.00	210.00	148.00
A6	105.00	148.00	148.00	105.00
B4	257.00	364.00	364.00	257.00
B5	182.00	257.00	257.00	182.00
レター	215.90	279.40	279.40	215.90
リーガル	215.90	355.60	355.60	215.90
官製はがき	100.00	148.00	148.00	100.00
往復はがき	200.00	148.00	148.00	200.00
封筒(長形4号)			205.00	90.00
封筒(長形3号)			235.00	120.00
封筒(角形3号)			277.00	216.00
封筒(角形2号)			332.00	240.00
名刺	55.00	90.00		
連続紙 10×11inch	254.00	279.40		
連続紙 12×11inch	304.80	279.40		
連続紙 15×11inch	381.00	279.40		
連続紙 3inch	381.00	76.20		
連続紙 4inch	381.00	101.60		
連続紙 4.5inch	381.00	114.30		
連続紙 5inch	381.00	127.00		
連続紙 6inch	381.00	152.40		
連続紙 7inch	381.00	177.80		
連続紙 8inch	381.00	203.20		
連続紙 9inch	381.00	228.60		
連続紙 10inch	381.00	254.00		
連続紙 10.5inch	381.00	266.70		
連続紙 11inch	381.00	279.40		
連続紙 12inch	381.00	304.80		
連続紙 13inch	381.00	330.20		
連続紙 14inch	381.00	355.60		

用紙	縦(ポートレート)		横(ランドスケープ)	
	用紙幅	用紙長	用紙幅	用紙長
ユーザ定義サイズ(注)	55.00	70.00		

注) この値はデフォルト値です。設定可能範囲(mm)は、用紙幅が 55.00～420.00 で、用紙長が 70.00～420.00 です。



ガイド

ユーザ定義サイズは、プリンタにセット可能な最大用紙幅まで指定できますが、本取扱説明書の用紙規格を参照して、印刷可能範囲内で使用してください。

◆ 印刷領域

単位：mm

用紙	余白(既定値)			
	上端	下端	左端	右端
A3	(注)	(注)	5.08	5.08
A3 横	(注)	(注)	37.32	37.32
A4, A4 横	(注)	(注)	5.08	5.08
A5, A5 横	(注)	(注)	5.08	5.08
A6, A6 横	(注)	(注)	5.08	5.08
B4	(注)	(注)	5.08	5.08
B4 横	(注)	(注)	5.08	13.48
B5, B5 横	(注)	(注)	5.08	5.08
レター	(注)	(注)	5.08	5.08
リーガル	(注)	(注)	5.08	5.08
官製はがき	(注)	(注)	5.08	5.08
往復はがき	(注)	(注)	5.08	5.08
封筒(長形4号)	(注)	(注)	12.00	12.00
封筒(長形3号)	(注)	(注)	12.00	12.00
封筒(角形3号)	(注)	(注)	12.00	12.00
封筒(角形2号)	(注)	(注)	12.00	12.00
名刺	(注)	(注)	5.08	5.08
連續紙 10×11inch	(注)	(注)	0	0
連續紙 12×11inch	(注)	(注)	0	0
連續紙 15×11inch	(注)	(注)	0	35.56
連續紙 3inch	(注)	(注)	0	35.56
連續紙 4inch	(注)	(注)	0	35.56
連續紙 4.5inch	(注)	(注)	0	35.56
連續紙 5inch	(注)	(注)	0	35.56
連續紙 6inch	(注)	(注)	0	35.56
連續紙 7inch	(注)	(注)	0	35.56
連續紙 8inch	(注)	(注)	0	35.56
連續紙 9inch	(注)	(注)	0	35.56
連續紙 10inch	(注)	(注)	0	35.56
連續紙 10.5inch	(注)	(注)	0	35.56
連續紙 11inch	(注)	(注)	0	35.56
連續紙 12inch	(注)	(注)	0	35.56
連續紙 13inch	(注)	(注)	0	35.56
連續紙 14inch	(注)	(注)	0	35.56
ユーザ定義サイズ	(注)	(注)	5.08	5.08

注) 給紙方法によって上端、下端余白が異なります。

単位：mm

給紙方法	余白（既定値）	
	上端	下端
手差し（4.2mm）	4.23	4.23
カットシートフィーダフロント（4.2mm）	4.23	4.23
カットシートフィーダリア（4.2mm）	4.23	4.23
手差し（8.5mm）	8.47	4.23
カットシートフィーダフロント（8.5mm）	8.47	4.23
カットシートフィーダリア（8.5mm）	8.47	4.23
前トラクタフィーダ	0	0
後トラクタフィーダ	0	0

お願い

- ・封筒を使用する場合の余白量については、『プリンタ編』「第4章 用紙について」の用紙規格に合わせて調整してください。
- ・「連續紙 縦3inch」～「連續紙 縦14inch」の連續紙については、用紙幅を全て15inchに規定してありますので、使用する場合には『プリンタ編』「第4章 用紙について」の用紙規格を参照し、規格範囲内で右端余白を適宜設定してください。また、これらの連續紙を使用する場合、アプリケーションによりヘッダ、フッタの位置がずれる場合があります。この場合、アプリケーションでヘッダ、フッタの位置を調節して印刷してください。



印刷の向き

印刷方向は、プリンタドライバの設定画面の「印刷の向き」の設定により次のようにになります。

印刷方向：縦	印刷方向：横
<p>A B C D . . . A B C D E . . .</p> <p>↑ 用紙送り方向</p>	<p>A B C D . . . A B C D E</p> <p>↑ 用紙送り方向</p>



ガイド

アプリケーションにより、Windows 画面への表示方法や印刷方法が異なる場合があります。



給紙方法

印刷のときに、どこから用紙を給紙するかを指定します。次のいずれかを指定することができます。

・手差し (4.2mm)

単票テーブルから給紙します。

吸入した用紙の上端余白量は、4.2mm となります。(注)

・手差し (8.5mm)

単票テーブルから給紙します。

吸入した用紙の上端余白量は、8.5mm となります。(注)

・前トラクタフィーダ

単票テーブルの下に装備されている用紙送りトラクタから給紙します。用紙吸入直後の上端余白量は4.2mm となります。(注)

・後トラクタフィーダ

プリンタ後面に装備されている用紙送りトラクタから給紙します。

用紙吸入直後の上端余白量は4.2mm となります。(注)

・カットシートフィーダフロント (4.2mm)

前カットシートフィーダから給紙します。

吸入した用紙の上端余白量は、4.2mm となります。(注)

・カットシートフィーダフロント (8.5mm)

前カットシートフィーダから給紙します。

吸入した用紙の上端余白量は、8.5mm となります。(注)

・カットシートフィーダリア (4.2mm)

後カットシートフィーダから給紙します。

吸入した用紙の上端余白量は、4.2mm となります。(注)

・カットシートフィーダリア (8.5mm)

後カットシートフィーダから給紙します。

吸入した用紙の上端余白量は、8.5mm となります。(注)

注) プリンタの機能設定の上端余白量指定をセットアップ優先に設定している場合は、プリンタの機能設定の単票(FCSF)またはRCSF 上端余白量で設定してある余白量になります(『プリンタ編』「第2章 プリンタの機能とその使いかた」「機能設定を変える」39ページ参照)。

正しい印字結果を得るには、プリンタの機能設定を給紙方法に合わせる必要があります。



用紙の種類またはメディア

印刷する用紙の厚さに応じて設定します。

- ・自動

プリンタ装置が用紙の厚さを自動的に判断します。

- ・レンジ 1、...レンジ D

印刷する用紙の厚さを指定します。



印刷品質

印刷の品位を設定します。

- ・高品質（両方向印字）

高品質モードで両方向印字を行います。

- ・高品質（片方向印字）

高品質モードで片方向印字を行います。

- ・高速（両方向印字）

高速モードで両方向印字を行います。

- ・高速（片方向印字）

高速モードで片方向印字を行います。

- ・低騒音（両方向印字）

低騒音モードで両方向印字を行います。

- ・低騒音（片方向印字）

低騒音モードで片方向印字を行います。

- ・プリンタ設定優先（両方向印字）

印字方向は両方向、印字品質はプリンタの設定に従います。

- ・プリンタ設定優先（片方向印字）

印字方向は片方向、印字品質はプリンタの設定に従います。



印字圧

印字圧を設定します。

お使いの OS により、印刷密度または濃淡と表示されます。

- ・標準

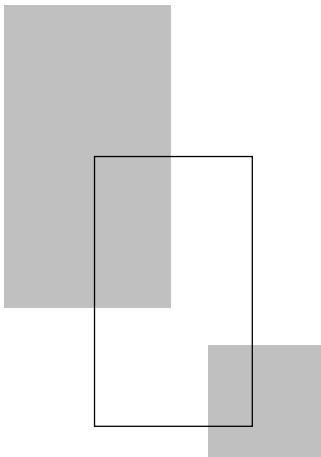
標準の印字圧で印刷します。

- ・高複写 1

高複写の印字圧で印刷します。

- ・高複写 2

2 度打ちすることにより、高複写 1 よりさらに高複写の印字圧で印刷します。



第 3 章

FMPR モニタ

この章では、FMPR モニタについて説明します。

FMPR モニタのインストール	328
FMPR モニタの機能	328
FMPR モニタの起動	328
ステータス表示ウィンドウ	329



FMPR モニタのインストール

『ソフトウェア編』「第1章 ソフトウェアの概要」をお読みください。



FMPR モニタの機能

ここでは、FMPR モニタの機能について説明します。

FMPR モニタは、プリンタ装置の状態（ステータス）を表示するユーティリティプログラムです。

プログラム起動時は最小化（タスクトレイ内のアイコン表示）されており、印刷中にエラーが発生すると、ポップアップ表示（ウィンドウ表示）されます。

Windows の印刷ジョブがないときは、最小化されているアイコンをポップアップさせたときにプリンタの状態を取得し、表示します。（プリンタの状態が変わっても、FMPR モニタの表示は自動的には更新されません。）

FMPR モニタの起動

FMPR モニタをインストールすると、Windows の「スタートアップ」に登録されます。

Windows を起動すると、FMPR モニタは自動的に起動されます。

ただし、印刷を実行しても、自動的には起動しません。FMPR モニタを利用するには、印刷実行前にあらかじめ FMPR モニタを起動しておく必要があります。

お願い

FMPR モニタおよび FMPR リモートパネルは、セントロニクス接続時に使用してください。

以下の環境では、FMPR モニタおよび FMPR リモートパネルを使用できません。

1. プリンタドライバのポート設定がローカルポート以外の場合
2. USB 変換ケーブルで接続している場合

ステータス表示ウィンドウ

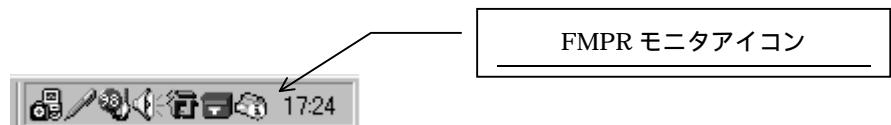
◆ ポップアップ表示



表示項目	内 容
タイトル	FMPR モニタ : プリンタ名
メッセージ本文 (注)	[ステータス番号 プリンタ状態名] プリンタ状態の説明 処置方法
ステータスアイコン	 印刷中、または印刷可能状態であることを示す。(エラーなし状態)  印刷中、または印刷可能状態であることを示す。 (ワーニングメッセージ有り)  エラー発生状態であることを示す。 (復旧可能なエラー)  エラー発生状態であることを示す。 (復旧不可能なエラー)  エラー発生状態であることを示す。 (ハードエラー) ワーニングメッセージについて 印字ヘッドの交換時期が近づくと表示されます。
ユーザ名	印刷要求を行ったユーザ名
文書名	印刷中の文書名(印刷ジョブ名)
OK ボタン	[OK] ボタンを押下することにより、本ウィンドウは最小化されタスクトレイ内にアイコンとして格納される。
印刷中止ボタン	ステータス表示中の印刷ジョブの印刷中止を行う場合に押下する。 「印刷中止」ボタンを押下することにより、該当印刷ジョブの印刷中止を行い、本ウィンドウを消去する。

注) ステータス番号、プリンタ状態名、プリンタ状態の説明の一覧については
「FMPR モニタ状態表示一覧」(358 ページ)を参照してください。

◆ アイコン表示



表示項目	内 容
ステータスアイコン	 印刷中、または印刷可能状態であることを示す。(エラーなし状態)  印刷中、または印刷可能状態であることを示す。(ワーニングメッセージ有り)  エラー発生状態であることを示す。(復旧可能なエラー)  エラー発生状態であることを示す。(復旧不可能なエラー)  エラー発生状態であることを示す。(ハードエラー) ワーニングメッセージについて 印字ヘッドの交換時期が近づくと表示されます。
ツールチップ表示	マウスポインタをタスクトレイ内のステータス表示アイコンに合わせることにより、ツールチップによる動作概要表示が行われる。

◆ アイコン表示時のマウス操作

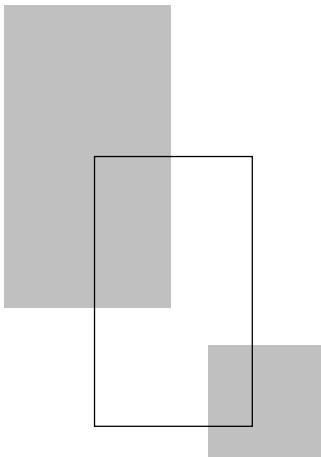
左ボタンダブルクリック： ステータス表示をポップアップ

右ボタンシングルクリック： ポップアップメニューの表示を行う。メニュー内の選択項目を以下に示す。

〔元のサイズに戻す (R) 〕 マウス左ボタンダブルクリックと同じ機能である。

〔印刷中止 (C) 〕 印刷中止ボタンと同じ機能である。

〔ステータス表示の終了 (X) 〕 FMPR モニタプログラムを終了する。



第 4 章

FMPR リモートパネル

この章では、FMPR リモートパネルについて説明します。

FMPR リモートパネルのインストール	332
FMPR リモートパネルの機能	332
FMPR リモートパネルの起動	332
プリンタの機能設定	334
消耗品管理	335



FMPR リモートパネルのインストール

『ソフトウェア編』「第1章 ソフトウェアの概要」をお読みください。



FMPR リモートパネルの機能

ここでは、FMPR リモートパネルの機能について説明します。

FMPR リモートパネルは、プリンタの機能設定と印字ヘッド消耗状況を管理するユーティリティソフトです。

FMPR リモートパネルの起動

- 1 [スタート] ボタンをクリックし、スタートメニューから [プログラム] [FMPR ユーティリティ] [FMPR リモートパネル] の順にクリックする
- 2 プリンタを選択し、[OK] をクリックする



お願い

FMPR モニタおよび FMPR リモートパネルは、セントロニクス接続時に使用してください。

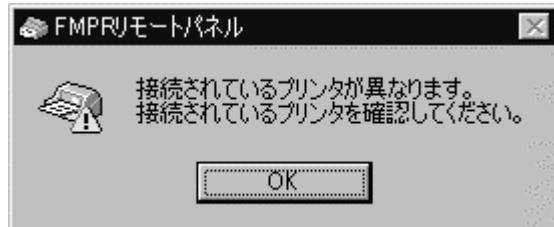
以下の環境では、FMPR モニタおよび FMPR リモートパネルを使用できません。

1. プリンタドライバのポート設定がローカルポート以外の場合
2. USB 変換ケーブルで接続している場合

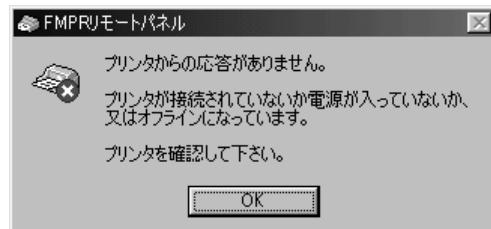


ガイド

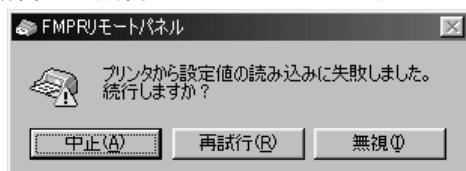
- FMPRリモートパネルがご使用いただけないプリンタには、警告マークが付加されて表示されます。
警告マークの付いていないプリンタを選択してください。
- FMPRリモートパネル起動時に、選択したプリンタと異なるプリンタが接続されていたときは、下記メッセージ表示されます。[OK]をクリックして、再度接続されているプリンタを選択してください。



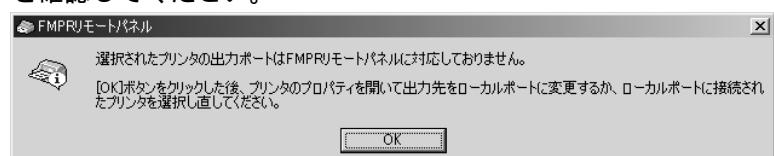
- FMPRリモートパネルは、プログラム起動時に、プリンタ装置から機能設定情報を読み込みます。プリンタからの情報読み込みに失敗すると、下記メッセージが表示されますので、[OK]をクリックしてください。



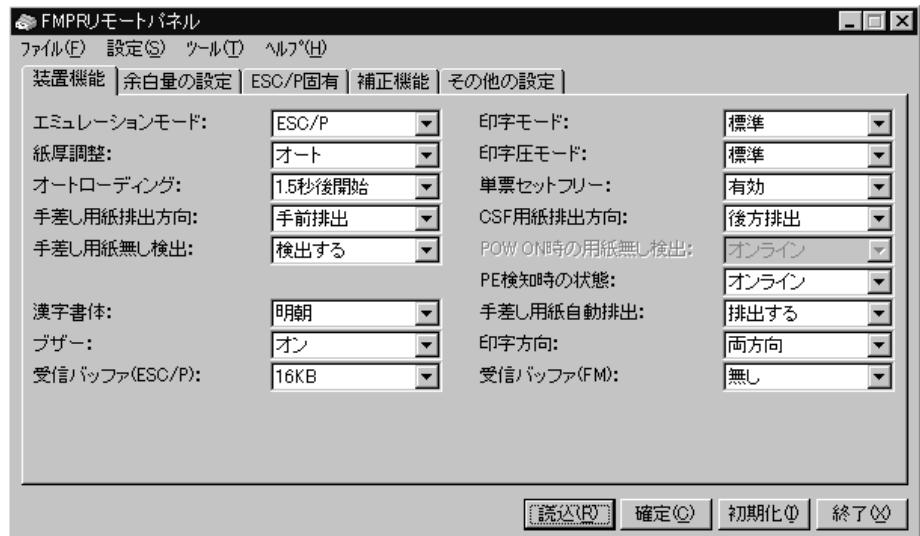
下記メッセージが表示されますので、FMPRリモートパネルの使用を中止する場合は〔中止〕をクリックしてください。
プリンタからの情報読み込みをやり直す場合は〔再試行〕をクリックしてください。
プリンタからの情報を読み込まないでFMPRリモートパネルを起動する場合は〔無視〕をクリックしてください。



- ローカルポート以外にプリンタを接続しているときは、下記のメッセージが表示されます。[OK]をクリックして、接続を確認してください。



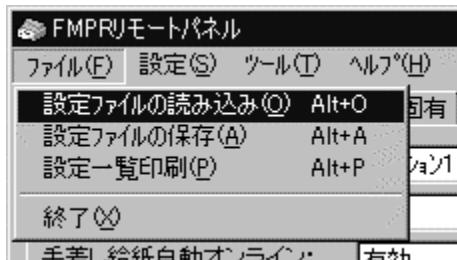
プリンタの機能設定



〔FMPR5600 プリンタ選択時の FMPR リモートパネルの起動画面〕

◆ メニューの説明

【ファイル】メニュー



- ・設定ファイルの読み込み (O) Alt + O

ディスクに保存されている設定値ファイルを読み込み、FMPR リモートパネル上の各項目の設定値表示を設定値ファイルの内容に更新します。

- ・設定ファイルの保存 (A) Alt + A

FMPR リモートパネル上の各項目の設定値表示内容を、設定値ファイルとしてディスクに保存します。

- ・設定一覧印刷 (P) Alt + P

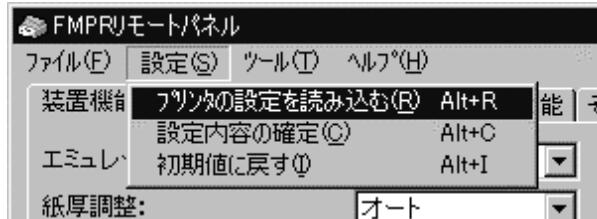
設定内容の一覧印刷を行います。

注)「手前排出」を指定していても、後方に排出されます。

・終了 (X)

FMPRリモートパネルを終了します。

【設定】メニュー



・プリンタの設定を読み込む (R) Alt + R

プリンタ装置から設定値を読み込み、FMPRリモートパネル上の各項目の設定値表示をプリンタの設定値に合わせます。

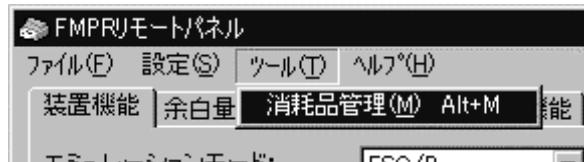
・設定内容の確定 (C) Alt + C

FMPRリモートパネルで設定した内容をプリンタに送信します。

・初期値に戻す (I) Alt + I

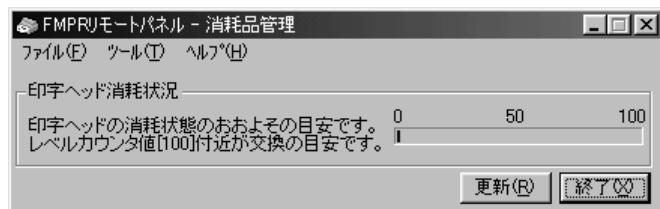
FMPRリモートパネル上の設定値表示を工場出荷時の値に戻します。また、プリンタ装置の設定を初期値にします。

【ツール】メニュー



- 消耗品管理 (M) Alt + M

プリンタ装置から、消耗品使用状況に関する情報を取得し、消耗品管理ウィンドウを表示します。

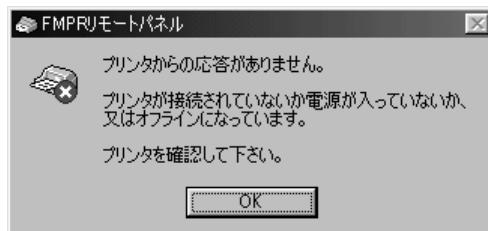


〔消耗品管理ウィンドウ〕



ガイド

- 消耗品管理ウィンドウ起動時に、プリンタ装置から消耗品情報を読み込みます。プリンタからの情報読み込みに失敗すると、下記メッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックしてください。



【ヘルプ】メニュー



・ヘルプ (H)

FMPRリモートパネルのヘルプを起動します。

・バージョン (V) Alt + V

FMPRリモートパネルのソフトウェアバージョンを表示します。

◆ ボタンの説明

〔読み込 (R) 〕

“設定”メニューの「プリンタの設定を読み込む (R) 」と同等機能です。

〔確定 (C) 〕

“設定”メニューの「設定内容の確定 (C) 」と同等機能です。

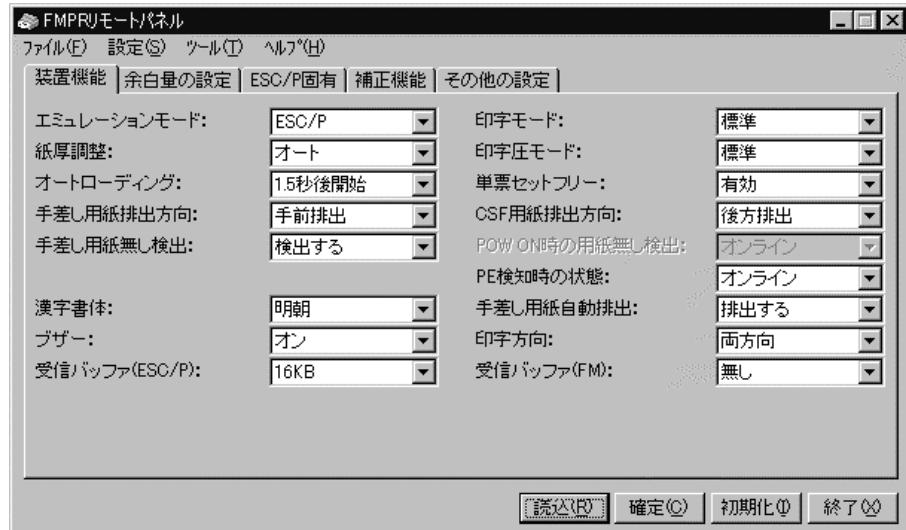
〔初期化 (I) 〕

“設定”メニューの「初期値に戻す (I) 」と同等機能です。

〔終了 (X) 〕

リモートパネルプログラムを終了します。

◆ 装置機能の設定



〔装置機能〕シートでは、次の設定を行うことができます。

機能名	設定内容	初期設定	内 容					
エミュレーションモード FMPR5400 のとき	自動		電源投入直後のエミュレーションモードを設定します。 《FMPR5400 のとき》 「自動」を選択すると、ホストインターフェースの状態で、エミュレーションモードが次のように変わります。					
	ESC/P							
	FM		<table border="1"> <tr> <td>ホストインターフェースの状態</td><td>エミュレーションモード</td></tr> <tr> <td>AT</td><td>ESC/P</td></tr> <tr> <td>FM</td><td>FM</td></tr> </table>	ホストインターフェースの状態	エミュレーションモード	AT	ESC/P	FM
ホストインターフェースの状態	エミュレーションモード							
AT	ESC/P							
FM	FM							
エミュレーションモード FMPR5600 のとき	RSV2		《FMPR5600 のとき》 ホストインターフェースは AT 互換機のみです。 「RSV2」は保守用の機能です。誤動作の原因となりますので、設定しないでください。					
	ESC/P							
	FM							
印字モード	標準		電源投入時の印字モードを設定します。 電源投入後は操作パネルにより変更可能です。					
	高速							
	低騒音							

機能名	設定内容	初期設定	内 容
紙厚調整	オート		電源投入時の紙厚調整方法を選択します。電源投入後は操作パネルにより変更可能です。
	レンジ1～レンジD		<ul style="list-style-type: none"> ・紙厚調整がオートの場合、自動またはプリンタドライバのプロパティ設定にしたがいます。 ・レンジ1～Dの場合、プリンタドライバのプロパティ設定を無視し、操作パネルまたは本設定で選択した用紙厚に設定されます。
印字圧モード	標準		電源投入時の印字圧モードを設定します。
	高複写1		
	高複写2		
オートローディング	無効		単票用紙に印刷するときに、自動的に給紙するかどうかを設定します。自動的に給紙する場合は、単票用紙がセットされてから用紙の吸入が開始されるまでの時間を選択します。単票用紙セットの操作性に合わせ設定を変更してください。
	0.5秒後開始		
	1.0秒後開始		
	1.5秒後開始		
	2.0秒後開始		オートローディングの時間設定は、単票セットフリーオフの場合のみ有効です。エミレーションモードがFMで、給紙口がフロントCSFまたはリアCSFの時は、オートローディングは無効です。
単票セットフリー	有効		電源投入時の手差し単票用紙の単票セットフリー機能の有効／無効を設定します。
	無効		
手差し用紙排出方向	手前排出		電源投入時の手差しモード時の単票用紙の排出方向を設定します。操作パネルにより変更できます。また、プリンタドライバで設定することができます。
	後方排出		
CSF用紙排出方向	手前排出		電源投入時にカットシートフィーダ搭載時の単票用紙の排出方向を設定します。
	後方排出		
手差し用紙無し検出	検出する		給紙口が手差しの時の、単票用紙無しを検出する／しないを設定します。
	検出しない		給紙口がフロントCSFまたはリアCSFの時は、単票手差し口から吸入した用紙に対しても、本設定は無効となります。

機能名	設定内容	初期設定	内 容
POW ON 時の用紙無し検出 (注1)	オンライン		用紙なし状態で電源投入した場合に、オンラインとするかオフラインとするかを設定します。
	オフライン		
PE 検知時の状態 (注2)	オンライン		PE (用紙無し) 検知時の状態をオンライン/オフラインで設定します。
	オフライン		
漢字書体	明朝		電源投入時の全角漢字および半角漢字の書体を、明朝体またはゴシック体に設定します。
	ゴシック		
手差し用紙自動排出	排出する		手差し用紙無し検出が「検出する」に設定されているとき、手差し用紙無しを検出したときに用紙を自動的に排出するかしないかを設定します。
	排出しない		
ブザー	オン		ブザーの鳴動する/しないを設定します。オフを選択すると、一切鳴らなくなります。
	オフ		
印字方向	両方向		電源投入時の印字方向を、両方向または片方向に設定します。プリンタドライバからの設定が優先されるので、プリンタドライバのプロパティ設定を行う必要があります。
	片方向		
受信バッファ (ESC/P)	16KB		エミュレーションモードが ESC/P 時の受信バッファの有無を設定します。
	無し		
受信バッファ (FM)	16KB		エミュレーションモードが FM 時の受信バッファの有無を設定します。
	無し		

注1) 本項目は FMPR5400 プリンタのみ有効です。FMPR5600 プリンタ選択時はグレーアウトされます。

注2) 本項目は FMPR5600 プリンタのみ有効です。FMPR5400 プリンタ選択時はグレーアウトされます。

◆ 余白量の設定



〔余白量の設定〕シートでは、次の設定を行うことができます。

・上端余白量

機能名	設定内容	初期設定	内 容
上端余白指定	ドライバ指定優先		「ドライバ指定優先」にすると、本メニュー モードで設定されている上端余白量にかかわらず、プリンタドライバで指 定した上端余白量となります(前後トラクタフィーダ選択時は4.2mm)。
	プリンタ指定優先		「プリンタ指定優先」にすると、本メニュー モードで設定されている上端余白量になります。

・上端余白量 (ESC/P モード)

機能名	設定内容	初期設定	内 容
手差し・前 CSF (注1)	4.2mm		ESC/P モード時の手差し口および前カットシートフィーダから用紙を吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。 「その他」を選択すると、右側のボックスで設定した上端余白量となります。 右側のボックスは、「その他」を選択した場合に変更可能となります。
	8.5mm		
	22.0mm		
	その他 0.0mm ~ 30.0mm (0.5mm 単位) (注2)		
後 CSF (注1)	4.2mm		ESC/P モード時の後カットシートフィーダから用紙を吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。 「その他」を選択すると、右側のボックスで設定した上端余白量となります。 右側のボックスは、「その他」を選択した場合に変更可能となります。
	8.5mm		
	22.0mm		
	その他 0.0mm ~ 30.0mm (0.5mm 単位) (注2)		
前トラクタ (注1)	4.2mm		ESC/P モード時の前トラクタ用紙吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。 「その他」を選択すると、右側のボックスで設定した上端余白量となります。 右側のボックスは、「その他」を選択した場合に変更可能となります。
	8.5mm		
	22.0mm		
	その他 0.0mm ~ 30.0mm (0.5mm 単位) (注2)		
後トラクタ (注1)	4.2mm		ESC/P モード時の後トラクタ用紙吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。 「その他」を選択すると、右側のボックスで設定した上端余白量となります。 右側のボックスは、「その他」を選択した場合に変更可能となります。
	8.5mm		
	22.0mm		
	その他 0.0mm ~ 30.0mm (0.5mm 単位) (注2)		

注1) 「上端余白指定」の設定が「ドライバ指定優先」のときは、ドライバで設定した上端余白量となります。

(前後トラクタフィーダにおける用紙吸入直後の印字は、上端余白量 4.2mm となります。)

注2) 4.2mm 未満は、印字領域外となりますので印字はしないでください。

・上端余白量 (FM モード)

機能名	設定内容	初期設定	内 容
手差し・前 CSF	4.2mm		FM モード時の手差し口および前カットシートフィーダから用紙を吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。
	9.1mm		「その他」を選択すると、右側のボックスで設定した上端余白量となります。右側のボックスは、「その他」を選択した場合に変更可能となります。
	14.3mm		9.1mm : はがき(横)印刷時 14.3mm : はがき(縦)印刷時
	22.0mm		
	その他 0.0mm ~ 30.0mm (0.5mm 単位) (注1)		
後 CSF	4.2mm		FM モード時の後カットシートフィーダから用紙を吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。
	9.1mm		「その他」を選択すると、右側のボックスで設定した上端余白量となります。右側のボックスは、「その他」を選択した場合に変更可能となります。
	14.3mm		9.1mm : はがき(横)印刷時 14.3mm : はがき(縦)印刷時
	22.0mm		
	その他 0.0mm ~ 30.0mm (0.5mm 単位) (注1)		
前トラクタ	4.2mm		FM モード時の前トラクタ用紙吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。
	22.0mm		「その他」を選択すると、右側のボックスで設定した上端余白量となります。右側のボックスは、「その他」を選択した場合に変更可能となります。
	その他 0.0mm ~ 30.0mm (0.5mm 単位) (注1)		
後トラクタ	4.2mm		FM モード時の後トラクタ用紙吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。
	22.0mm		「その他」を選択すると、右側のボックスで設定した上端余白量となります。右側のボックスは、「その他」を選択した場合に変更可能となります。
	その他 0.0mm ~ 30.0mm (0.5mm 単位) (注1)		

注1) 4.2mm 未満は、印字領域外となりますので印字はしないでください。

・トラクタ下端余白（共通）

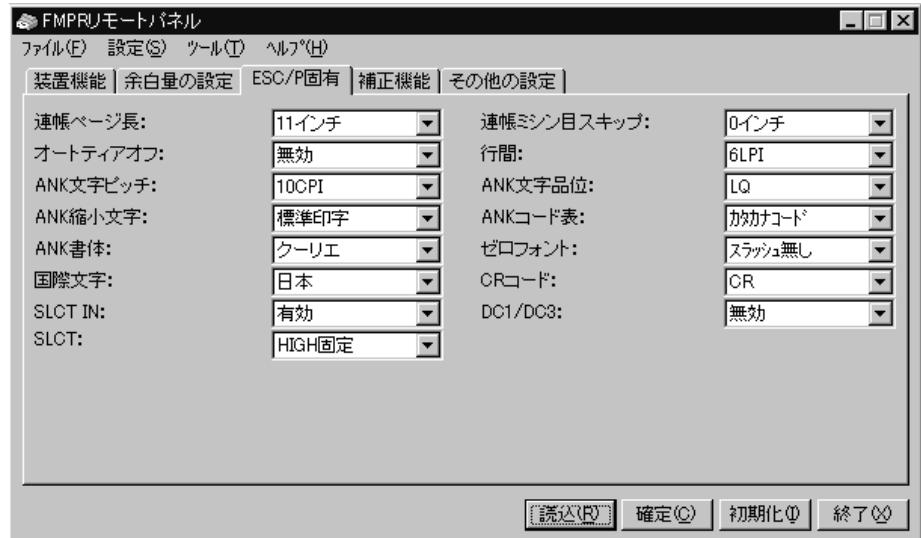
機能名	設定内容	初期設定	内 容
前トラクタ用紙下端余白	4.2mm		前トラクタ用紙の下端余白量を用紙下端から印字可能最終行の文字の下端までの量で設定します。
	101mm		
後トラクタ用紙下端余白	4.2mm		後トラクタ用紙の下端余白量を用紙下端から印字可能最終行の文字の下端までの量で設定します。
	157mm		

・左端余白量（共通）

機能名	設定内容	初期設定	内 容
単票セットフリー時の左端余白（注1）	0.0mm ⋮ 5.1mm ⋮ 45.2mm [約 0.3mm (1/90 インチ) 単位]		単票セットフリー時の左端余白量（用紙の左端から第一印字開始文字の第一ドット目までの量）を設定します。
他の用紙の左端余白	標準		印字領域を全体的に左側へずらす機能です。「標準」の場合、第一ドット目印字開始位置が目盛り（単票テーブル上部の「第1ドット」の部分）の位置となり、「左寄せ」の場合、12.7mm 左になります。
	左寄せ		

注 1) 5.0mm 未満は、印字領域外となりますので印字はしないでください。

◆ ESC/P 固有機能の設定

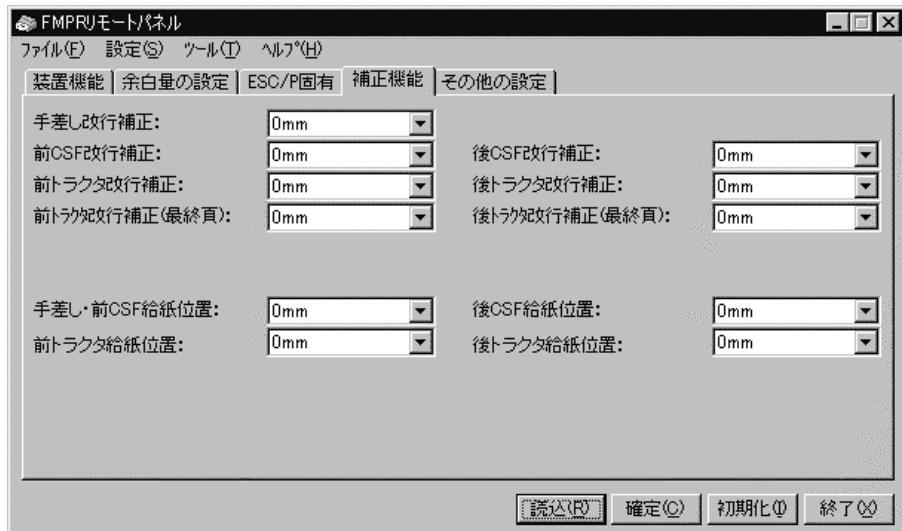


〔ESC/P 固有〕シートでは、次の設定を行うことができます。

機能名	設定内容	初期設定	内 容
連帳 ページ長	11インチ		連帳用紙のページ長を設定します。
	12インチ		前トラクタおよび後トラクタ用紙の両方に有効な値です。Windows から印字した場合は、ドライバからの指定値に変更されます。
連帳 ミシン目 スキップ	0インチ		連帳用紙のミシン目の手前でスキップする量を設定します。前トラクタおよび後トラクタ用紙の両方に有効な値です。Windows でユーザ定義サイズを指定して印字した場合、本機能は動作しません。
	1インチ		
オート ティアオフ	有効		連帳用紙のオートティアオフの有効/無効を設定します。 「オートティアオフ」が「有効」に設定されている時は、印刷位置がページ先頭にあり、約1秒以上データ受信がない時に、トラクタ用紙のミシン目が用紙カッタ位置に来るよう用紙送りを行います。
	無効		
行間	6LPI		改行ピッチを設定します。
	8LPI		

機能名	設定内容	初期設定	内 容
ANK 文字ピッチ	10CPI		ANK 文字の文字ピッチを設定します。
	12CPI		
ANK 文字品位	LQ		ANK 文字の文字品位を設定します。
	ドラフト		
ANK 縮小文字	標準印字		ANK 文字の大きさを設定します。
	縮小印字		
ANK コード表	カタカナコード		ANK コード表を設定します。
	グラフィックコード		
ANK 書体	クーリエ		ANK 文字の書体を設定します。
	サンセリフ		
ゼロフォント	スラッシュ無し		ANK コードの 0(ゼロ)の字体を「0」とするか「Ø」とするかを設定します。 クーリエフォントに対してのみ有効となります。
	スラッシュ有り		
国際文字	日本		国際文字の出力種類を設定します。
	アメリカ		
CR コード	CR		CR コードの機能を印字指令とするか、印字改行指令とするかを設定します。
	CR + LF		
	AFXT		
SLCT IN	有効		SLCT IN 信号の有効/無効を設定します。
	無効		
DC1/DC3	有効		DC1/DC3 コマンドの有効/無効を設定します。
	無効		
SLCT	HIGH 固定		SLCT 信号を HIGH 固定とするか、プリンタの状態により可変とするかを設定します。
	可変		

◆ 補正機能の設定



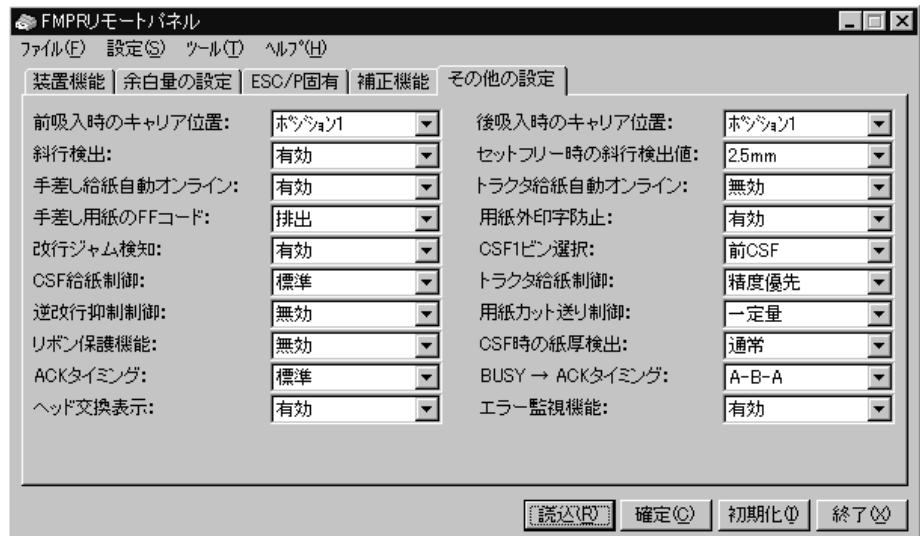
〔補正機能〕シートでは、次の設定を行うことができます。

機能名	設定 内容	初期 設定	内 容
手差し改行補正	+1.0mm		手差し単票用紙に対する累積改行補正量を設定します。(約 254mm 改行した時の改行ズレ量を補正します。印字位置が上にズれている場合は、+ 方向の補正を行います。)
	+0.6mm		
	+0.3mm		
	0mm		
	-0.3mm		
	-0.6mm		
	-1.0mm		
前CSF改行補正	+1.0mm		前カットシートフィーダ用紙に対する累積改行補正量を設定します。(約 254mm 改行した時の改行ズレ量を補正します。印字位置が上にズれている場合は、+ 方向の補正を行います。)
	+0.6mm		
	+0.3mm		
	0mm		
	-0.3mm		
	-0.6mm		
	-1.0mm		

機能名	設定内容	初期設定	内 容
後 CSF 改行補正	+1.0mm		後カットシートフィーダ用紙に対する累積改行補正量を設定します。(約 254mm 改行した時の改行ズレ量を補正します。印字位置が上にズれている場合は、+ 方向の補正を行います。)
	+0.6mm		
	+0.3mm		
	0mm		
	-0.3mm		
	-0.6mm		
	-1.0mm		
前トラクタ改行補正	+1.0mm		前トラクタ用紙に対する累積改行補正量を設定します。(1ページ目に対する、その後のページの印字位置ズレ量を補正します。印字位置が上にズれている場合は、+ 方向の補正を行います。)
	+0.6mm		
	+0.3mm		
	0mm		
	-0.3mm		
	-0.6mm		
	-1.0mm		
後トラクタ改行補正	+1.0mm		後トラクタ用紙に対する累積改行補正量を設定します。(1ページ目に対する、その後のページの印字位置ズレ量を補正します。印字位置が上にズれている場合は、+ 方向の補正を行います。)
	+0.6mm		
	+0.3mm		
	0mm		
	-0.3mm		
	-0.6mm		
	-1.0mm		
前トラクタ改行補正(最終頁)	+1.0mm		前トラクタ用紙の最終頁に対する累積改行補正量を設定します。(最終ページの下端から約 100mm 間の改行ズレ量を補正します。印字位置が上にズれている場合は、+ 方向の補正を行います。)
	+0.6mm		
	+0.3mm		
	0mm		
	-0.3mm		
	-0.6mm		
	-1.0mm		

機能名	設定内容	初期設定	内 容
後トラクタ改行補正(最終頁)	+1.0mm		後トラクタ用紙の最終頁に対する累積改行補正量を設定します。(最終ページの下端から約155mm間の改行ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は、+方向の補正を行います)。
	+0.6mm		
	+0.3mm		
	0mm		
	-0.3mm		
	-0.6mm		
	-1.0mm		
手差し・前CSF給紙位置	+1.0mm : 0mm : -0.1mm		手差し口および前カットシートフィーダから吸入した用紙に対する上端余白量(用紙の上端から第一行目の印字文字上端までの量)の微調整値を0.1mm単位で設定します。
後CSF給紙位置	+1.0mm : 0mm : -0.1mm		後カットシートフィーダから吸入した用紙に対する上端余白量(用紙の上端から第一行目の印字文字上端までの量)の微調整値を0.1mm単位で設定します。
前トラクタ給紙位置	+1.0mm : 0mm : -0.1mm		前トラクタ用紙に対する上端余白量(用紙の上端から第一行目の印字文字上端までの量)の微調整値を0.1mm単位で設定します。
後トラクタ給紙位置	+1.0mm : 0mm : -0.1mm		後トラクタ用紙に対する上端余白量(用紙の上端から第一行目の印字文字上端までの量)の微調整値を0.1mm単位で設定します。

◆ その他の設定



〔その他の設定〕シートでは、次の設定を行うことができます。

機能名	設定内容	初期設定	内 容
前吸入時のキャリア位置	ポジション1 ポジション2		単票手挿入、前トラクタ、前カットシートフィーダから用紙を吸入するときの印字ヘッドキャリアの位置を設定します。 ・ポジション1：約31桁目 ・ポジション2：約42桁目 帳票用紙を事前に印刷したプレプリント用紙を使用する場合、用紙上端が正しく検出できない場合があります。その場合は、ポジションを変更してください。
後吸入時のキャリア位置	ポジション1 ポジション2		後トラクタ、後カットシートフィーダから用紙を吸入するときの印字ヘッドキャリアの位置を設定します。 ・ポジション1：約31桁目 ・ポジション2：約42桁目 帳票用紙を事前に印刷したプレプリント用紙を使用する場合、用紙上端が正しく検出できない場合があります。その場合は、ポジションを変更してください。

機能名	設定内容	初期設定	内 容
斜行検出	有効		単票用紙を吸入するときに斜行を検出するかしないかを設定します。
	無効		
セットフリー時の斜行検出値 (注1)	1.5mm		単票セットフリーが「有効」に設定されており、手差し単票用紙を吸入する時に、斜行吸入と判断する値を設定します。
	2.0mm		
	2.5mm		
手差し給紙自動オンライン	有効		単票用紙吸入後、自動的にオンラインとするかしないかを設定します。
	無効		
トラクタ給紙自動オンライン	有効		連帳用紙吸入後、自動的にオンラインとするかしないかを設定します。
	無効		
手差し用紙のFFコード	ページ送り		単票用紙セット時(手差しモード時)のFFコードおよび改ページスイッチの処理方法を設定します。
	排出		
用紙外印字防止	有効		用紙の左右端を検出し、印字領域を超えるデータの処理方法を設定します。
	無効		
改行ジャム検知	有効		改行ジャムの検出(改行動作中の紙づまりの検出)を有効とするか無効とするかを設定します。
	無効		
CSF 1 ビン選択	前 CSF		前/後カットシートフィーダを同時搭載した場合に、どのカットシートフィーダをビン1として使用するかを設定します。選択されなかったカットシートフィーダがビン2となります。 本項目は、前/後カットシートフィーダを同時搭載した場合のみ有効となる設定です。
	後 CSF		
CSF 給紙制御	標準		カットシートフィーダからの吸入方式を設定します。 「標準」は、カットシートフィーダホッパから用紙を直接吸入する方式です。 「スイッチバック」に比べ、カットシートフィーダ処理時間が短縮されます。 「スイッチバック」は、カットシートフィーダホッパの用紙を一旦途中まで排出させた後に、もう一度吸入する方式です。「標準」に比べ、改行精度が向上します。
	スイッチバック		

注1) 本項目はFMPR5600プリンタのみ有効です。FMPR5400プリンタ選択時はグレーアウトされます。

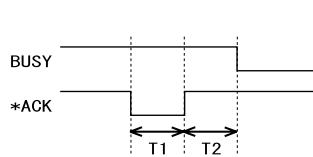
機能名	設定 内容	初期 設定	内 容
トラクタ給紙制御 (注1)	精度優先		トラクタからの給紙方法を設定します。 「精度優先」は、用紙吸入時に紙厚検出動作を行います。「速度優先」に比べ、検出した紙厚に応じた補正を行うため用紙吸入後の改行精度が向上します。
	速度優先		「速度優先」は、一定の補正值で用紙を吸入します。「精度優先」に比べ、用紙厚検出を行わないため、用紙吸入時間が短縮されます。
逆改行抑制制御	有効		逆改行抑制制御を行うかどうかを設定します。
	無効		
用紙カット送り 制御 (注1)	一定量		用紙カットスイッチを押したときの、用紙の送りと戻し動作を設定します。 「一定量」は、用紙カットスイッチを押すと、カット位置へ用紙を送り出します。もう一度、用紙カットスイッチを押すと元の位置に戻します。
	カット位置合わせ		ただし、微小改行スイッチで上余白を変更したときは、用紙のミシン目とプリンタのカット位置は合わなくなります。 「カット位置合わせ」は、微小改行スイッチで上余白を変更しても、用紙のミシン目とプリンタのカット位置が合います。もう一度、用紙カットスイッチを押すと元の位置に戻ります。 用紙カットスイッチを押さないで(用紙を元に戻さないで)、印刷を起動した場合は、用紙を元の位置に戻してから印刷します。 注)用紙を送り出した状態で 微小改行スイッチを押すと、用紙が戻らなくなります。

注1) 本項目はFMPR5600 プリンタのみ有効です。FMPR5400 プリンタ選択時はグレーアウトされます。

機能名	設定内容	初期設定	内 容					
リボン保護機能	有効		連帳改行時に印字ヘッドが用紙送り穴位置に停止した場合、用紙送り穴位置を避けて改行し、リボンを保護するかしないかを設定します。本設定は、用紙外印字防止が「有効」と設定されている場合のみ、有効となります。					
	無効							
CSF時の紙厚検出	通常		紙厚調整が「オート」に設定されているとき、CSF給紙の印刷時に、用紙厚さ検出を毎ページ行うかどうかを設定します。					
	毎回							
ACKタイミング FMPR5400のとき	標準		インタフェースの*ACKNLG信号のパルス幅を設定します。					
	高速							
	A-B		インタフェース信号の*ACKNLGとBUSYのタイミングを設定します。 《FMPR5400の時》 「自動識別」選択時は、ホストインタフェースの設定により、次のようになります。					
	A-B-A							
	B-A							
	自動識別		<table border="1"> <tr> <th>ホスト インタフェース</th> <th>BUSY ACK タイミング</th> </tr> <tr> <td>AT</td> <td>A-B-A</td> </tr> <tr> <td>FM</td> <td>B-A</td> </tr> </table>	ホスト インタフェース	BUSY ACK タイミング	AT	A-B-A	FM
ホスト インタフェース	BUSY ACK タイミング							
AT	A-B-A							
FM	B-A							
BUSY ACKタイミング FMPR5600のとき	A-B							
	A-B-A							
	RSV3							
	RSV4							
ヘッド交換表示	有効		印字ヘッドの交換時期が近づくと電源投入時にLCDに警告表示します。 印字ヘッドの消耗状態はFMPRリモートパネルの消耗品管理、「ホシュモード」の「ヘッドピンカウンタ」、および設定一覧の印刷内容にパーセントで表示します。 消耗状態によって警告表示は以下のようになります。 90%以上：「ヘッドコウカンジュンビ」 100%以上：「ヘッドコウカン」					
	無効							
エラー監視機能	有効		FMPRモニタでのプリンタエラー監視機能を有効とするか無効とするかを設定します。					
	無効							

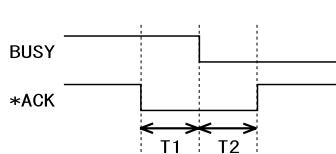
「ACK タイミング」と「BUSY ACK タイミング」について

- BUSY ACK タイミング : A-B



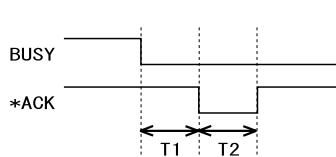
ACK タイミング	T1	T2
標準	$4 \pm 1 \mu\text{sec}$	$0 \pm 1 \mu\text{sec}$
高速	$1 \pm 0.5 \mu\text{sec}$	$0 \pm 0.5 \mu\text{sec}$

- BUSY ACK タイミング : A-B-A



ACK タイミング	T1	T2
標準	$7 \pm 1 \mu\text{sec}$	$5 \pm 1 \mu\text{sec}$
高速	$4 \pm 1 \mu\text{sec}$	$4 \pm 1 \mu\text{sec}$

- BUSY ACK タイミング : B-A (FMPR5400 のみ)

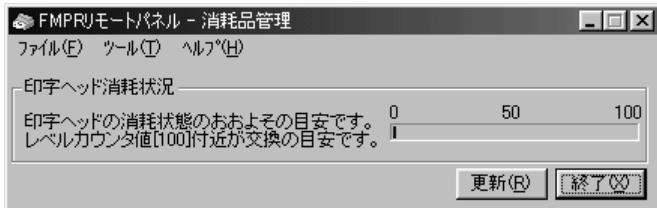


ACK タイミング	T 1	T 2
標準	$0 \pm 1 \mu\text{sec}$	$4 \pm 1 \mu\text{sec}$
高速	$0 \pm 0.5 \mu\text{sec}$	$1 \pm 0.5 \mu\text{sec}$

消耗品管理

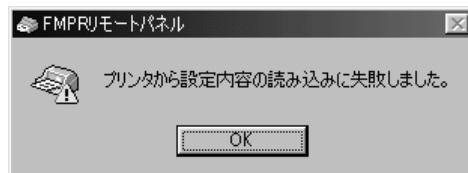
〔ツール〕メニューの〔消耗品管理〕をクリックすると、〔消耗品管理〕ダイアログが開きます。

このとき、プリンタ装置から消耗品情報を読み込みます。



ガイド

- ・プリンタ装置からの情報読み込みに失敗すると、下記メッセージが表示されますので、〔OK〕ボタンをクリックしてください。



- ・〔消耗品管理〕ダイアログは、プリンタがFMモードになっている場合は、ご利用いただけません。

◆ 表示内容

印字ヘッド消耗状況

印字ヘッドの消耗状況をレベルカウンタで表示します。

100付近が交換時期の目安です。

メッセージ

印字ヘッドの交換時期が近づくと、消耗状態（レベルカウンタ値）によって以下のメッセージが表示されます。

90以上：「ヘッド交換準備をしてください。」

100以上：「ヘッド交換をしてください。」

◆ メニューの説明

[ファイル] メニュー

- ・終了 (X)

消耗品管理ダイアログを表示します。

[ツール] メニュー

- ・最新情報に更新 (R)

プリンタ装置から消耗品情報を読み込み、表示を更新します。

[ヘルプ] メニュー

- ・ヘルプ

消耗品管理ダイアログのヘルプを表示します。

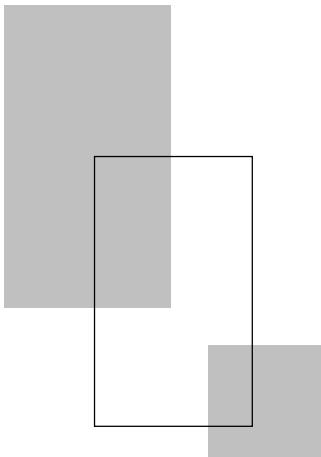
◆ ボタンの説明

[更新 (R)]

“ツール”メニューの「最新情報に更新 (R) 」と同等機能です。

[終了 (X)]

消耗品管理ダイアログを終了します。



付 錄

FMPR モニタ状態表示一覧表 358



FMPR モニタ状態表示一覧表

ステータス番号	プリンタ状態名	プリンタ状態の説明
0002	印刷中	印刷中です。
0300	オフライン	プリンタがオフラインです。
0301	用紙なし (カットシートフィーダ)	選択されているカットシートフィーダに用紙がありません。
0302	用紙なし	用紙がありません。
0303	単票抜き取り待ち	排紙した用紙が単票テーブルに残っています。
0305	連帳後退エラー	後退させる用紙が長過ぎます。
0306	用紙吸入エラー	用紙が正しく吸入できませんでした。
0307	吸入ジャム(手差し)	用紙の吸入中に紙づまりが発生しました。
0308	吸入ジャム (カットシートフィーダ)	用紙の吸入中に紙づまりが発生しました。
0309	吸入ジャム(トラクタ)	用紙の吸入中に紙づまりが発生しました。
0310	カバーオープン	トップカバーが開いています。
0402	排出ジャム(手差し)	用紙の排出中に紙づまりが発生しました。
0403	排出ジャム (カットシートフィーダ)	用紙の排出中に紙づまりが発生しました。
0404	排出ジャム(トラクタ)	用紙の排出中に紙づまりが発生しました。
0406	印字桁ずれ	印字の桁ずれを検出しました。
0407	用紙厚異常	このプリンタで使用できない厚さの用紙に印刷しようとしています。
0408	改行ジャム	用紙の紙送り中に紙づまりが発生しました。
0700	ROM/RAM アラーム	ROM/RAM の異常を検出しました。
0702	シャコウユニットアラーム	斜行ユニットホームポジション検出に失敗しました。
0703	HCPP アラーム	HCPP ホームポジション検出に失敗しました。
0704	APTC アラーム	APTC ホームポジション検出に失敗しました。
0705	LRES アラーム	印字キャリアホームポジション検出に失敗しました。
0707	ファンアラーム	ファンの異常を検出しました。
0708	CSF モータアラーム	CSF モータのドライバで異常を検出しました。
0709	リボンモータアラーム	リボンモータのドライバで異常を検出しました。
0710	OVERLOAD アラーム	電源電圧の異常を検出しました。
0711	LOW VOL アラーム	電源電圧の異常を検出しました。

ステータス番号	プリンタ状態名	プリンタ状態の説明
0712	HIGH VOL アラーム	電源電圧の異常を検出しました。
0713	ヘッドアラーム	印字ヘッドのドライバで異常を検出しました。
0714	LF アラーム	LF モータ及びトラクタモータのドライバで異常を検出しました。
0715	S P アラーム	スペースモータのドライバで異常を検出しました。
1500	応答なし	プリンタからの応答がありません。

索引～プリンタ編

E

- ESC/P 固有設定 38
ESC/P モードの制限事項 187

H

- HEX ダンプ印字 160

J

- JIS⁹⁰ 第一水準漢字一覧表 214
JIS⁹⁰ 第二水準漢字一覧表 217

あ

- アフターサービス 163

い

- 異常電流検出 69
一般用紙

カットシートフィーダで使用する

- 単票用紙 119
 手差しで使用する単票用紙 113
 前・後トラクタ 106
 イメージ印字 179
 印字位置がページによってズレる 156
 印字位置の問題点 155
 印字開始位置（行方向）の微調整 100
 印字開始位置について 99
 印字開始位置の微調整 35
 印字桁数 178
 印字結果の問題点 152
 印字速度 178
 印字中の問題点 151
 印字動作 178
 印字ヘッド 10
 印字ヘッド昇温検出 69
 印字方式 178
 印字モードの切り替え 32
 印字領域

一般用紙(前・後トラクタ) 106

一般用紙（カットシートフィーダで 使用する単票用紙） 119

一般用紙（手差しで使用する単票用紙） 113

宅配伝票（手差しで使用する単票用紙） 118

宅配伝票（前トラクタ） 112

タック用紙(前・後トラクタ) 110

はがき（カットシートフィーダで

 使用する単票用紙） 121

はがき（手差しで使用する単票用紙） 115

はがき用紙(前トラクタ) 107

封筒（手差しで使用する単票用紙） 116

封筒用紙(前・後トラクタ) 108

インターフェース 179

インターフェース仕様 183

う

後トラクタユニット 10

後連続帳票用紙の置きかた 83

うまく動かないとき 143

え

液晶ディスプレイ 27

エラーメッセージの表示 143

お

オプションの概要 166

オフライン状態で行う操作 33

オフライン状態に切り替える 30

オンライン状態で行う操作 31

オンライン状態に切り替える 30

「オンライン」ランプ 28

か

カードガイド 10

外観図

 カットシートフィーダ取り付け時 182

 標準 181

改行 34

外形寸法 179

改ページ 34

各部のはたらき 10

各部の名称 9

カット位置に送る 67

カットシートフィーダ (FMPR673CF1) 166

カットシートフィーダ使用時の不具合 156

カットシートフィーダで使用する単票用紙 119

カットシートフィーダの取り付け 167

 プリンタ後部 171

 プリンタ前部 167

カットシートフィーダの取り外し	174
稼動音	179
紙厚調整の動作タイミング	98
紙厚調整モードの切り替え	35
漢字の書体の切り替え	32
き	
機能設定項目について	37
機能設定を変える	39
給紙口の切り替え	35
行間ズレを直す	62
こ	
交換	
リボンカセット	128
構成品	6
「高速」ランプ	28
「高複写1、2」ランプ	28
高複写モードの切り替え	32
コマンド一覧表	
ESC/P モード	199
FM モード	191
さ	
サブガイド	10
し	
自動検出機能	69
重量	179
仕様	178
使用環境	179
使用上のお願い	7
消費電力	179
使用方法について	8
初期状態	
ESC/P モード	189
FM モード	188
す	
スイッチ	29
スタッカ容量	179
せ	
清掃のしかた	161
製品の内容	6

接続	
電源コードの接続	18
パソコンとの接続	17
設置する	12
設置場所について	7
セットアップ項目一覧	42
線のりとじ	104
そ	
操作パネル	10
操作パネルの機能	27
操作パネルの操作	30
装置機能設定	37
た	
耐用期間	180
宅配伝票(手差しで使用する単票用紙)	118
宅配伝票(前トラクタ)	112
タック用紙(前・後トラクタ)	110
ダブルギャザー	104
単票セットフリー	36
「単票セットフリー」ランプ	28
単票テーブル	10
単票テーブルのセット	14
単票テーブルの取り扱い	15
単票手差しの方法の切り替え	36
単票用紙(カットシートフィーダ)	119
単票用紙がつまたったとき	136
単票用紙吸入時の不具合	150
単票用紙のセット	
カットシートフィーダを取り付けた場合	91
単票セットフリーOFF時	88
単票セットフリーON時	84
単票用紙の排出方向の切り替え	31
単票用紙排出時の不具合	150
て	
「低騒音」ランプ	28
「データ」ランプ	28
手差しで使用する単票用紙	113
テスト印刷	37
テスト印字	158
手前排出	31
「手前排出」ランプ	28
電源コードの接続	18
電源コネクタ	10
電源仕様	179

電源スイッチ	10
電源について	7
「電源」ランプ	28
電源を入れる	19
電源を切る	20
点のりとじ	104
添付品	6

と

登録	38
特長	4
ドット径	178
ドットピッチ	178
トップカバー	10

は

はがき	
カットシートフィーダで使用する	
単票用紙	121
手差しで使用する単票用紙	115
はがき用紙(前トラクタ)	107
パソコンとの接続	17
パソコンのBIOS設定	8

ふ

封筒	
手差しで使用する単票用紙	116
封筒用紙(前・後トラクタ)	108
複写能力	179
プラテンロール	10
プリンタがうまく動かないとき	143
プリンタケーブルコネクタ	10
プリンタの概略仕様	178
プレプリント用紙を使用するとき	122
フロントカットシートフィーダ	
コネクタ	10

へ

ヘビーデューティ検出	69
------------------	----

ほ

保守モード	38
補正機能	38

ま

前トラクタユニット	10
前連続帳票用紙の置きかた	78

め

「メッセージ」ランプ	28
メニュー印刷	37

ゆ

輸送するとき	162
輸送用固定材の取り外し	13

よ

用紙厚の調整	95
用紙右端位置に関する注意	
単票セットフリーオン時	87
用紙送り	179
用紙ガイド	10
用紙吸入量の調整	65
用紙サイズ	

一般用紙(カットシートフィーダで 使用する単票用紙)	119
一般用紙(手差しで使用する単票用紙)	113
一般用紙(前・後トラクタ)	106
タック用紙(前・後トラクタ)	110

はがき(カットシートフィーダで 使用する単票用紙)	121
はがき(手差しで使用する単票用紙)	115
はがき用紙(前トラクタ)	107
封筒(手差しで使用する単票用紙)	116
封筒用紙(前・後トラクタ)	108

用紙左端位置に関する注意	
単票セットフリーオン時	86

用紙詰まりのとき	131
カットシートフィーダ	140
手差しで吸入した単票用紙	136
リアスタッカ部	138
連続帳票用紙(後トラクタ)	133
連続帳票用紙(前トラクタ)	131

用紙無し検出	69
--------------	----

用紙に関するご注意	
-----------	--

単票セットフリーオン時	87
用紙について	8
用紙のカット	31
用紙の吸入	33
用紙の形状	125

用紙のセット	72	リアスタッカ	10
単票用紙(カットシートフィーダを取り付けた場合)	91	リアスタッカの取り付け	16
単票用紙(単票セットフリーOFF時)	88	リアスタッカ部に用紙がつまつたとき	138
単票用紙(単票セットフリーオン時)	84	リセットする	36
連続帳票用紙(後トラクタ給紙の場合)	79	リボン	180
連続帳票用紙(前トラクタ給紙の場合)	72	リボンカセットの交換	128
用紙のとじ方法		リボンカセットを取り付ける	21
カットシートフィーダで使用する			
単票用紙	121	連続帳票用紙	102
手差しで使用する単票用紙	115	ミシン目の入れ方	105
用紙の取り扱い上のご注意	126	用紙の構成枚数	102
用紙の排出	33	用紙の寸法	102
用紙枚数		用紙のとじかた	104
手差しで使用する単票用紙	114	連続帳票用紙がつまつたとき	131
余白量設定	38	連帳用紙吸入時の不具合	151
ら		連続帳票用紙のセット	
ラベルの貼付け強度	110	(後トラクタ給紙の場合)	79
ランプ	27, 28	連続帳票用紙のセット	
り		(前トラクタ給紙の場合)	72
リアカットシートフィーダコネクタ	10	連続帳票用紙をカット位置に送る	67

索引～ソフトウェア編

C

CD-ROM の内容 228

E

〔ESC/P 固有〕シート 345

F

FMPR モニタ状態表示一覧表 358

FMPR モニタの機能 328

FMPR ユーティリティ 226

FMPR ユーティリティのインストール 274

FMPR リモートパネルの機能 332

P

Plug&Play によるインストール

Windows 2000 273

Windows 95/98 237

Windows Me 247

II

印刷可能領域 318

印刷の向き 322

印刷品質 324

印刷領域 320

印字圧 325

インストール

FMPR モニタ 328

FMPR ユーティリティ 274

FMPR リモートパネル 332

Windows 2000 のとき 260

Windows 95/98 のとき 229

Windows Me のとき 240

Windows NT4.0 のとき 253

通常のインストール(Windows 2000) 261

通常のインストール(Windows 95/98) 230

通常のインストール(Windows Me) 241

プリンタドライバ 229

き

起動

FMPR モニタ 328

FMPR リモートパネル 332

機能設定

FMPR リモートパネル 334

給紙方法 323

〔共有〕 286, 302, 314

く

〔グラフィックス〕 289

し

〔詳細〕 286, 298, 311

〔詳細設定〕 315

〔情報〕 285

消耗品管理 355

す

〔スケジュール〕 302

ステータス表示ウィンドウ 329

せ

〔セキュリティ〕 303, 316

〔全般〕 285, 301, 314

そ

〔装置機能〕シート 338

〔その他の設定〕シート 350

ソフトウェアのインストール 229

て

〔デバイスオプション〕 290

〔デバイスの設定〕 304, 317

添付ソフトウェアの機能 226

と

動作環境

添付ソフトウェア 227

プリンタ 227

ふ

プリンタドライバ 226

プリンタドライバのインストール

Windows 2000 のとき 260

Windows 95/98 のとき 229

Windows Me のとき 240

Windows NT4.0 のとき 253

プリントドライバの設定	
Windows 2000 の設定画面	305
Windows 95/98/Me の設定画面	282
Windows NT4.0 の設定画面	292
へ	
〔ページ設定〕	296
ほ	
〔ポート〕	301, 315
〔補正機能〕シート	347
め	
メディア	324
よ	
〔用紙〕	287
〔用紙/品質〕	310
用紙サイズ	318
用紙の種類	324
〔余白量の設定〕シート	341
れ	
〔レイアウト〕	309

水平漢字プリンタ-15 FMPR5600/FMPR5400

取扱説明書

B5WY-0221-01-00

発行日 2001年3月

発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

本書の一部または全部を無断で転載しないよう、お願いいたします。

本書は、改善のため予告なし変更することがあります。

本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、その他の権利、損害については、当社はその責を負いません。

落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

FUJITSU[∞]

このマニュアルは再生紙を使用しています。